



新入生アンケート報告書

平成15年度版

高等教育研究開発推進機構

平成 15 年度 新入生アンケート報告書
目 次

1.はじめに	1
	副機構長 林 哲介
2.平成 15 年度新入生ガイダンス.....	
1) 日程等	
2) 本学の教育理念及び教養教育の目的・目標について.....	
	機構長 赤岡 功
3) 全学共通科目の履修について.....	
	副機構長 林 哲介
3.新入生アンケート結果の統計的分析.....	
	高等教育研究開発推進センター 助教授 大山 泰宏
4.アンケート回答	
1) 総合人間学部	
2) 文 学 部	
3) 教 育 学 部	
4) 法 学 部	
5) 経 済 学 部	
6) 理 学 部	
7) 医 学 部	
8) 薬 学 部	
9) 工 学 部	
10) 農 学 部	

1．はじめに

副機構長 林 哲介

本学では、平成 15 年 4 月から新たに「高等教育研究開発推進機構」(以下「機構」と略す)が活動を始めることになった。これは、本学における全学共通教育・教養教育の実施・運営に責任を持ち、学生諸君と教員それぞれの要望を聞きながら絶えず教育の改善を進める役割を担うものとして設けられた“機能”である。

4 月にスタートした「機構」がまずはじめに手がけたのが「新入生ガイダンス」であった。平成 13 年以来、本学では「京都大学の理念」を検討し、さらに全学共通教育・教養教育の「目的・目標」を検討して、これらを纏めたところであった。その検討の過程で、教育の目的・目標をどのように捉えているかを学生諸君にも理解してもらい、共に考えてもらうことは重要であるという想いを強くしたことが、このガイダンスの実施に結びついた。

4 月 2～4 日の 3 日間それぞれ、学部別に 900 余人ずつの新入生諸君に、本学の概要と理念、教養教育の目的・目標を説明し、また全学共通科目の具体的な履修の仕方と勉学へのアドバイス等をお話した。その際に学生諸君全員に、入学に際しての抱負と、ガイダンスを受けたうえでの勉学への期待を自由に記述してもらうアンケートを実施した。

教員は、最近の学生諸君の傾向として、無気力、無関心あるいは打算的といった印象を語ることがしばしばあるが、このアンケートの結果を見る限りその印象とはまったく異なることが明瞭になる。本学の教養教育の目的を「学術的教養」、「文化的言語力」及び「基盤的知力」という 3 つのキーワードで表してそれぞれを説明しているが、学生諸君はこれらの意味を正確に捉え、京都大学らしい自由闊達な勉学への強い期待を抱いていることが明らかになった。

この小誌は、新入生諸君の抱負、期待をすべて生のまま記録している。これが学生諸君にも改めて目に触れ、また教員の再認識を促して、入学時の学生諸君の高いポテンシャルが短時間に減衰することなく、持続的に高められるよう、双方の努力の糧になることを期待している。

2. 平成15年度 新入生ガイダンス

1) ・日程

平成15年 4月 2日(水)～ 4日(金)のいずれも午後1時半から3時まで

月 日	学 部 名	学 生 数	合 計
4月 2日(水)	文学部、教育学部、法学部、経済学部	905	2,822
" 3日(木)	工学部	982	
" 4日(金)	総合人間学部、理学部、医学部、薬学部、農学部	935	

・実施方法

E号館4教室同時中継システムを使用し、E31教室をメインスタジオとし、本学における教養教育、全学共通科目の履修、事務手続き及び学生支援の説明については、他の3教室に映像、音声を送信し、質疑・応答及び新入生アンケートについては、各教室個別に対応のため、4教室に教職員を配置して実施した。

・プログラム

1. 本学の教育理念及び教養教育の目的・目標等について 機構長 赤岡 功
2. 全学共通科目の履修について 副機構長 林 哲介
3. 事務手続きについて 共通教育事務部
4. 質疑・応答
5. アンケート実施
6. 学生支援について 学生部

・当日配布資料

1. 全学共通教育関連
 - 1) 全学共通科目履修の手引き
 - 2) 全学共通科目授業内容(シラバス)
 - 3) 新入生向け少人数セミナー(ポケット・ゼミ)全学共通科目履修案内
 - 4) 事務手続きについて
 - 5) アンケート用紙
2. オリエンテーション関連
 - 1) 学生便覧
 - 2) 自由で平等な社会をつくるために - 人権関係法令等資料集 -
 - 3) 大学間・部局間交流協定一覧
 - 4) 海外留学奨学金一覧
 - 5) セクシュアル・ハラスメントの防止と解決のために
 - 6) 健康指南書

2) 本学の教育理念及び教養教育の目的・目標等について



**京都大学
全学共通教育
ガイダンス**

2003年4月2日、3日、4日

京都大学
高等教育研究開発推進機構

機構長 赤岡 功
副機構長 林 哲介

入学式は、4月7日。

このときに、
総長から新入生の
皆さんにお話が
あります。
お祝いの言葉も
そのときあると
思います。



2003.4.2 工学部前から撮影

入学式で総長からお祝いの言葉を聞いて、
初めて皆さんは京都大学の学生になります。
というのは、総長からのお祝いの言葉が入学
の許可を意味するからです。
それで、昔は、入学式で宣誓書に筆で署名し
たものでした。
ですから、今日のガイダンスは、京都大学入
学予定者への説明会です。

ガイダンスを始める前に

今日のガイダンスの終わりの方で、アンケート
をします。
記入する時間を
設けます。
ガイダンスをよく
聞いて、お答え
ください。



2003.4.2 教育学部南

京都大学のホーム・ページで

入学案内

を見たと思います。

ここに受験生に向けた
総長のメッセージがあります。
京都大学について簡潔に紹介されています
ので、それを一部ですが、見ましょう。

入学案内

京都大学

1. 総長からのメッセージ **総長 長尾 眞**

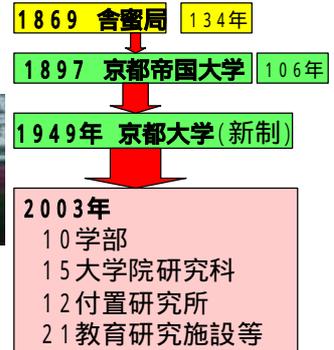


受験生の皆さん、京都大学は
創立以来百年余りの歴史のなかで、常に 学問と
は何か、学問の自由とは何か を問いつづけてき
ました。そうすることによって真に創造的な学問を
建設してきたのです。

そして、自然科学分野において5名のノーベル賞
受賞者を出すなど、世界的な数々の成果 を出し
て来ました。

人文科学分野においては、西田哲学など、“京都学派”として広く知られている独自の学問の流れを作ってきていますし、学問における実証性ということを特に重要視する伝統をもってフィールドワークを盛んに行っており、多くの独創的な成果を挙げています。

京都大学



京都大学 12付置研究所 21教育研究施設等

総合人間学部	文学研究科	人間・環境学研究科
文学部	教育研究科	エネルギー
教育学部	法学研究科	科学研究科
法学部	経済学	アジア・アフリカ地域
経済学部	研究科	研究研究科
理学部	理学研究科	情報学研究科
医学部	医学研究科	生命科学研究科
薬学部	薬学研究科	地球環境学舎・学堂
工学部	工学研究科	
農学部	農学研究科	
10学部		15研究科

全学共通科目

京都大学の基本理念

京都大学は、創立以来築いてきた自由の学風を継承し、発展させつつ、多様な課題の解決に挑戦し、地球社会の調和ある共存に貢献するため、自由と調和を基礎に、ここに基本理念を定める。

研究
 教育
 社会との関係
 運営

<http://www.kyoto-u.ac.jp/GAD/idea.htm>

教育理念 3(再掲)

3. 京都大学は、多様かつ調和のとれた教育体系のもと、対話を根幹として自学自習を促し、卓越した知の継承と創造的精神の涵養につとめる。

京都大学の伝統：「既成の知識や技能の『壓制填込主義』はとらない。
 「自由の学風」が京都大学の誇り。

自学自習を強調。多様な科目を用意。

しかし、放縦、安易に流れないことを期待。

対話を根幹として

4. 京都大学は、**教養が豊かで人間性が高く責任を重んじ、地球社会の調和ある共存に寄与する、優れた研究者と高度の専門能力をもつ人材を育成する。**

教養の重要性を強調。

人間性も高く、指導性をもって、地球社会の調和ある共存にむけ、活動する研究者と、高度な専門能力をもつ人材の養成。

京都大学の教育課程

「最初の2年間、教養課程として一般的な人間性の涵養・修練、技能修得のためや総合的学習をめざすコースを一律に課す」という組み立て方ではない。

学部4年(医では6年)一貫教育。

大学院大学:大学院の研究者が担当。

常に学問分野の先端的活動を身近に感じながら教養科目、基礎科目を学ぶ。

知的興奮を味わいながら、学ぶことができる。

専門と教養を関連させて学んでいくことができる。

全学共通科目

全学共通科目:本学の教養教育の中心

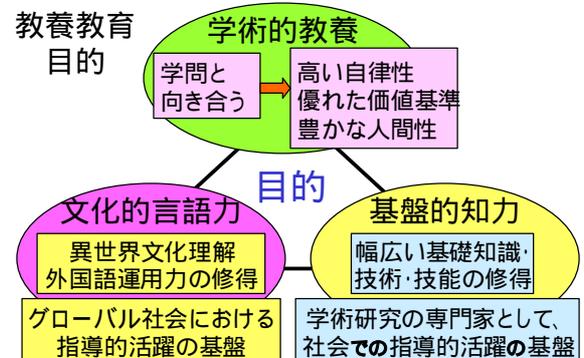
人文・社会科学系科目、自然科学系科目、外国語科目、保健体育科目に区分。

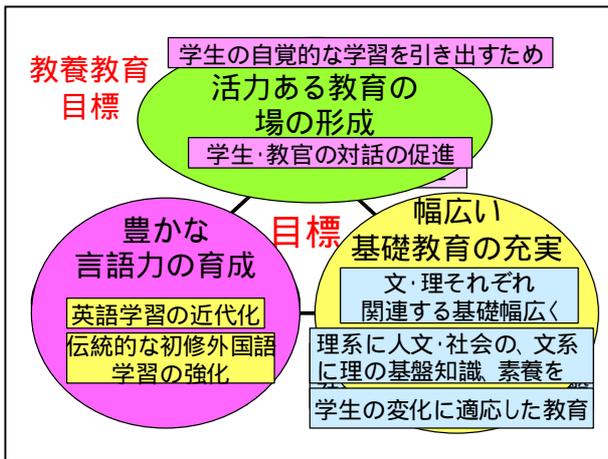
基礎から高度な内容のものまで多様な科目を用意。

(詳しくは、副機構長の林哲介先生から説明がある。)

全学共通科目

科目の選択は、基本的には学生の自由な意志にまかされている。この選択によって、高い自律性を発揮することが期待されている。





京都大学 2002.5.

学部学生	13,567	大学院生/学部生	2002 60.8%
大学院生	8,246	1992 32.2%	(4,215)
研究生	551		
合計	22,256		

留学生 (1,197) (75ヶ国)

外国人研究者 698 (64ヶ国)

各種研修員 799

大学院大学化学部生比で6割が大学院に入る時代

教官、職員等をふくめ総計 約3万人

新たな教育への試み

ポケットゼミ 1年生対象の少人数ゼミ

1998年 (平成10) ~

全学部と一部研究所で

平成15年度は、134科目開講予定

5-10人の規模 個性的なテーマ

1年生に「ポケットゼミ」

新たな教育への試み

国際教育プログラム

国際化の進展

1997年(平成9)~ KUINEP 京都大学国際教育プログラム

交流協定大学に在籍する学生を1年単位または短期留学生として受け入れ、英語による講義を留学生と日本人学生が同時受講する全学共通科目を開講

外国人研究者、留学生の受け入れ

国際化の進展

留学生	75ヶ国	外国人研究者	64ヶ国
1,197人		698人	

UCLA(カリフォルニア大学ロスアンゼルス校)と京都大学との間の遠隔講義

国際化の進展

長尾総長

京都大学

UCLA

京大朝、UCLA夕方:同時に受講
学生が相互に議論:共同でレポート作成も

京大



UCLA



遠隔講義受講者が
相互に相手大学
訪問・交流

(再掲)

	12 付置研究所	21 教育研究施設等
高等 教育 研究 開発 推進 機構	総合人間学部 文学部 教育学部 法学部 経済学部 理学部 医学部 薬学部 工学部 農学部	文学研究科 教育研究科 法学研究科 経済学 研究科 理学研究科 農学研究科 人間・環境学研究科 エネルギー 科学研究科 アジア・アフリカ地域 研究研究科 情報学研究科 言語学 学堂
	全学 共通 10 学部	自由の学風を生かして 大いに勉学してください。 15 研究科

全学共通教育のガイダンスを始めたいと思います。

4月7日が皆さん方の入学式です。このときに総長から新入生の皆さんにお話があります。お祝いの言葉もそのときにあると思いますが、入学式で総長のお祝いの言葉を聞いて初めて皆さん方は京都大学の学生になるということでもあります。というのは、総長からのお祝いの言葉が、言うなれば入学の許可を意味するからです。昔は、入学式で宣誓書に筆で署名したものでした。ですから、今日のガイダンスは、京都大学入学予定者への説明会ということになります。

ガイダンスを始める前に、一言ご案内します。先ほどお話がありましたが、今日のガイダンスの終わりにアンケートを実施します。記入する時間を設けますので、ガイダンスをよく聞いてお答えください。

まず、時計台と桜の写真を見て頂きましょう。今、京都大学の桜はこんな感じです。さて、京都大学のホームページで入学案内を見た方がかなりいらっしゃると思いますが、ここに受験生に向けた総長のメッセージがあります。京都大学について、そこでは非常に簡単に要領よく紹介されていますので、それを一部見てみましょう。

「受験生の皆さん」という呼びかけから始まりまして、「京都大学は創立以来百年余りの歴史のなかで、常に学問とは何か、学問の自由とは何かを問いつづけてきました。そうすることによって真に創造的な学問を建設してきたのです。そして、自然科学分野において5名のノーベル賞受賞者を出すなど、世界的な数々の成果を出して来ました。人文科学分野においては、西田哲学など、“京都学派”として広く知られている独自の学問の流れを作ってきていますし、学問における実証性ということを特に重要視する伝統をもってフィールドワークを盛んに行っており、多くの独創的な成果を挙げています。」と総長は述べておられます。

京都大学の歴史ですが、詳しくは述べられませんが、一番最初に京都大学の誕生といたしますと、1869年の舎密局まで遡ることになります。それが約130年前です。京都大学が大学になりましたのが1897年、京都帝国大学として、この時から数えると今年で106年。そして、1949年に新制の大学になって、現在までに随分大きくなりまして2003年には10学部、15大学院研究科、12の附置研究所、21の教育研究施設等があるというわけでありませぬ。

皆さん方はこの中で教育を受けるわけですが、今年から全学共通教育を担当する部門として新しく組織ができました。それが高等教育研究開発推進機構というものです。

次に、京都大学の基本理念についてご説明しますが、前文では、「京都大学は、創立以来築いてきた自由の学風を継承し、発展させつつ、多元的な課題の解決に挑戦し、地球社会の調和ある共存に貢献するため、自由と調和を基礎に、ここに基本理念を定める。」となっています。

これが前書きですが、その次に研究について2つ、教育について2つ、社会との関係について2つ、そして運営について2つという、計8つの項目を挙げて理念としております。

ご承知のように、現在、地球社会にも日本にも問題が山積しています。ここのところで地球社会となっているところを注目しておいていただきたいのですが、人類社会と書かずに地球社会となっておりますのは、河川の付け替え、ダムをつくるとか、そういったこと

を含めて調和ある共存に貢献するという意味合いを考えているわけでありませう。

さて、ここでは教育が中心でありますので、教育についての理念をもう少し詳しく述べます。これには、2つあるわけですが、1つは、「京都大学は、多様かつ調和のとれた教育体系のもと、対話を根幹として自学自習を促し、卓越した知の継承と創造的精神の涵養につとめる。」とうたっております。

これは古い頃から、京都大学は自由を旗印にやっさいこうというわけだ、ここに壓制填込主義とありますが、これは今で言う詰め込み主義になるのでしょうか、そのようなやり方は京都大学ではとりたくない。自由な学風を京都大学の誇りとしてやっさいきましたし、今後もそうしたい。そういうわけだ、こういう形で自学自習を強調し、多様な科目を用意しているわけでありませう。しかし、自由というのは、うっかりしますと放縦になったり、安易に流れたりというようなことがありますので、そういうことがないように、自由を大事にしながら、しっかり勉強していきたいと思うわけでありませう。それ故、対話を根幹として自学自習を促す。こういう形で進んでいきたいと考えているわけだ。

教育に関する2つ目の理念ですが、「京都大学は、教養が豊かで人間性が高く責任を重んじ、地球社会の調和ある共存に寄与する、優れた研究者と高度の専門能力を持つ人材を育成する。」というわけだ、教養の重要性を非常に強調しておりますし、教養が加われれば加わるほど人間ということがわかるわけでありませうから、人間性も高くなって、つまり指導性をもって地球社会の調和ある共存に向けて皆さん方が活躍していただけるのではなからうか、と。そういうことを期待しているわけでありませう。

さて、京都大学の教育課程ですが、1つのやり方は、ここに上の方に書きましたように、最初の2年間は教養課程として、一般的な人間性の涵養や修練、あるいは技能修得のためや総合的学習を目指すコースを一律に受けていただくというやり方がありますが、京都大学としては、そのやり方をとっているわけではありませう。学部4年間、医学部では6年ですが、一貫教育という形でやっさいきたい。最初の2年間は予備教育的なようなもの、あるいは総合学習、そういったようなものにするのではなくて、4年一貫でやっさいたい。また、京都大学は、大学院大学になっておりますから、科目を担当するのは基本的にすべて大学院の研究者で、大学院の研究者が教育に当たるということでありませう。

このようなやり方がどういうメリットを持っているかといいますと、常に学問分野の先端的活動を身近に感ずることができ、そしてそのもとで教養科目、基礎科目を学ぶことができる。また知的興奮を味わいながら学ぶことができるだろう。さらには専門と教養を関連させて学んでいくことができるだろう。以上のようなことを期待しているわけでありませう。

今日は全学共通科目の説明でありませう。詳しくは副機構長の林哲介先生からご説明がございませうけれども、本学の教養教育の中心が全学共通教育ですが、全学共通科目は、人文・社会科学系の科目と、自然科学系の科目と、外国語科目と、保健体育科目の4つに区分しております。科目の選択は、基本的には皆さん方の自由な意思に任されています。自由にお任せすることによって高い自律性を発揮していただきたい。また期待しているわけでありませう。

その教養教育の目的でありませうが、学術的教養、文化的言語力、基盤的知力、この3つで考えているわけでありませうが、学術的教養についてはもう少し詳しく言いますと、学問

と皆さん方が向き合って、そのことによって高い自律性だとか、優れた価値基準、豊かな人間性をつくり上げていていただきたい。更に、文化的言語力では、異世界文化を理解できるようになっていただく。あるいは外国語運用力を修得していただく。これらのことを修得することによってグローバル社会において指導的活躍をするための基盤ができ上がるだろうと、期待しているわけです。また、基盤的知力というところでは、幅広い基礎知識及び技術・技能を修得していただく。こうすることによって学術研究の専門家として、あるいは社会での指導的役割を果たせる人として、いっそう活躍の基盤ができ上がると期待しているわけであります。

このように目的を3つ持っているわけでありますが、この目的を達成するために目指すべき目標といえますか、そういう道標みたいなものとして3つ考えています。

学術的教養につきましては、目標としては、活力ある教育の場の形成。文化的言語力につきましては、豊かな言語力の育成。さらには基盤的知力につきましては、幅広い基礎教育の充実。こういった形で目標にしておるわけでありまして、詳しく言いますと、学生の自覚的な学習を引き出す。そして学生と教官の対話を促進して、活力ある教育の場をつくり出していきたい。また、豊かな言語力の育成につきましては、英語学習の近代化をやっておられます。

更にもう1つは幅広い基礎教育の充実ですが、文・理それぞれが関連する基礎を幅広く学んでいただきたい。特に理系の方には人文・社会系の科目を、文系の方には理系の基礎知識や素養を身につけていただきたいと考えているわけであります。京都大学としては、学生の変化に適應した教育をやっていこうというわけであります。具体的にこのために何をするかといえば、伝統的基礎教育を評価する形で進んでいこうと考えているわけであります。

ところで、京都大学全体の大きさですが、学部学生が13,567人います。大学院生を含めまして22,256人。ほかに外国人研究者や教官それに職員がいますが、全て合わせると京都大学には約3万人ほどおります。

ここで注意すべきことは、大学院生が近年非常に増えてきておりまして、この10年前は4,215人だったのですが、それが去年で、8,246人。今年何人入学されたかは総長が入学式のときに多分言われるだろうと思いますが、去年で8,246人、10年でほぼ倍になっていいますが、それを反映して、大学院生と学部生の割合で見ましても10年でやはり約倍ぐらいになっているというわけで、大学院重点化ということで大学院生がこれだけ多くなってきたということであります。したがって皆さん方は、大学院のことも視野に入れて、大学院のことも十分に考えながら最初から勉強していただきたいと思っているわけであります。

それからもう1つ、ポケット・ゼミというのをやっております。1年生対象の少人数ゼミで98年から実施しておりますが、非常に評判のいいものであります。詳しくは次に林先生からも説明されると思います。

それからもう1つはKUINEPといいますが、Kyoto University International Education Programというわけですが、20人ほどの外国人の留学生とほぼ同数の日本人学生が教室で一緒になって勉強するというのをやっております。皆さん方もぜひ受けていただきたいと思います。

3) 全学共通科目の履修について

副機構長 林 哲介

本日、出席の皆さんは工学部に入学された諸君ですから、これから4年間で何をいかに学んでいくかは、工学部の履修要項に基づくわけですが、主として1、2回生の間に、全教育課程の中で大きな比重を占めるものとして「全学共通科目」があり、これは学部の専門教育と区別して、京都大学での教養教育として非常に重視しているものです。

この全学共通教育の授業の大部分は、人間・環境学研究科と総合人間学部のある吉田南キャンパスで行います。残念ながら今年は大きな工事があってキャンパスがとても狭くなっていますが、少しの間我慢してください。来週の月曜日に入學式があり、翌日から直ちに授業が始まります。そこで、今から「全学共通科目」についてどのように履修するかについて概要の説明をします。

「全学共通科目履修の手引き」の見方について

お手元の資料で、中心に説明するのは「全学共通科目履修の手引き」で、まずこれを見てください。また、既に皆さんにお渡ししている「全学共通科目履修の手引きのダイジェスト版」を持ってきている人は、併せて見たほうが便利です。まず「手引き」の1ページから開いてください。

初めに、先ほど赤岡先生からお話がありましたように京都大学の教育課程の説明があり、本学での教養教育の目的・目標の説明があり、5ページに「全学共通科目の履修」の項目があります。

まず、どのような授業科目が開講されているかについて、この5ページの一番下に、人文科学及び社会科学系の科目をまとめてA群科目と区分されています。A群科目は、その下に書かれている7つの系列にそれぞれ科目が配列され、哲学・思想系列から始まって、複合系列まであります。

次に、6ページのB群科目ですが、これは自然科学系科目のことで、皆さんが最もなじみの深い数学、物理、化学、生物学、地球科学及び情報科学等の科目です。

次に、C群科目は外国語科目で、英語からアラビア語までの9つの外国語、それに留学生のための日本語で合計10カ国語の授業があります。

最後にD群科目は、スポーツ実習をはじめとした健康科学科目です。以上のこの大きな4つの区分に従ってカリキュラムが組まれています。

具体的にそれぞれどういう科目が開講されているかを示してあるのが10ページから29ページまでの科目一覧の表です。この見方を簡単に説明すると、まず左側のページは全部前期開講科目で、右側のページはすべて後期開講科目です。したがって、当面、皆さんが見る必要があるのは、左側の前期開講科目になります。

また、前期開講科目と後期開講科目の中には同じ科目名でAとBとに区分されている科目が相当数あります。これは前期から後期へと内容が繋がっているもので、後期にBの

名前のついた科目を受ける場合は、原則的には前期にAを履修していることが望ましいというものです。ただし、京都大学はセメスター制を採用していますので、夏休み直前の7月の終わりまでの前期と、10月から始まる後期を2つのセメスターと呼び、完全に区分されて、原則的には、すべての科目は前期と後期でそれぞれ独立に成績をつけることになっています。つまり、単位を半期ごとに取得していくこととなります。

また、科目一覧の表で、何曜日の何限目にどんな授業があるか、また担当教官の名前もすぐわかるようになっています。担当教官は人間・環境学研究科や理学研究科の先生方が多いですが、それ以外に全学部の先生方も担当されています。週に何コマ開講されているかについてもわかります。

次に、単位数について、一般に、講義科目は月曜日から金曜日まで1日5コマあり、そのうちの1つを半年間、1セメスターとすると2単位が原則です。全国的な規定では大学の1単位は、講義の場合で15週、30時間の試験を含む学習になっています。京都大学では1コマが90分ですから、これを一応2時間にカウントして、前期、後期それぞれ試験期間を含めて15週、合計30時間になります。規定で言うと1単位ですが、京都大学では2単位に扱います。この2単位としている意味は、単に授業だけではなく、その授業の内容についてそれぞれ諸君が授業と同程度の時間の予習・復習をすることを含んで2単位という理解になっています。そのことを念頭に置いてください。1セメスター2単位が原則ですが、例外があり、外国語科目と実験・実習等についてはその半分の1単位になります。

次に、対象回生について、これは1回生から4回生、あるいは2回生から4回生の区分のことで、1～4と書いてあるのは1回生からいつでも履修してよろしいというもので、2～4と書いてあるのは原則として2回生以上を対象とした授業のことで、

次に、学部指定科目欄について、例えばB群科目の22ページ、23ページを見ると、この学部指定科目欄に二重丸がついて「工学部」と書いてある科目があります。これは工学部の皆さんがこの科目を履修する場合には、全学共通科目ではなく、工学部の専門科目として履修することになると指定されているもので、この点は工学部の履修要覧を参考にしてください。

この表の一番右にページ数が書いてありますが、このページ数は、「全学共通科目授業内容」のページ数のことです。これは普通「シラバス」といって、全ての科目についての科目内容、どういう基準で成績判定するか、あるいはどういうテキストを使うか等について詳しく書かれているもので、皆さんが、授業を選択する場合、このページ数に従ってシラバスを見て参考にするようになっています。

単位について

次に、履修単位数について説明します。「手引き」の41から46ページに、工学部のそれぞれの学科ごとに修得すべき全学共通科目の単位数が表にしてあります。見てわかるように、どの学科も基本的にはまずA群科目で16単位、B群科目何単位、C群科目及びD群科目、この4つの区分に従って、それぞれについて最低限必要な取得単位数が書かれてい

ます。これだけの単位を取らないと卒業できないというものです。1単位あるいは2単位のカウントの原則は先ほど説明したとおりです。それに従って科目を選択していくことになります。

A群科目は、工学部の皆さんの場合は、各学科ともすべて16単位以上になっているので、半期の科目で合計8つの科目を受講すれば十分ということになります。次に、B群科目は自然系の科目で、この場合には、先ほど赤岡先生のお話にありましたように、自然科学系の各分野の基礎をきちっと学ぶことが基本的なことで、数学、物理、化学、生物学等を学ぶことになりますが、それぞれの学科ごとに推奨する、あるいは指定する科目があるので、大体これに従って判断をしていけばいいということになります。この点についてはそれぞれの学科ごとに見ておいてください。

また、群にまたがる科目があって、28ページと29ページのところに、A・B群、あるいはA・C群、B・D群に名づけられた分類があります。これは、この科目をA群又はB群あるいはC群としてとってもいいことになっていて、どの群の単位として取得するかは諸君が選ぶことができる科目と理解したらいいと思います。

以上で履修単位の基本的なことは理解できると思います。これに基づいて自分が選択する科目を決めて、履修届を提出してください。履修届は、4月24日と25日に提出することになっています。またこの履修届の提出がないと、一切単位をとることができないことになっています。

時間割と外国語科目について

次に、時間割をいかに組み立てていくかについて説明します。時間割は、「手引き」の77ページを見てください。細かい表ですが、クラス指定科目というのがあります。ダイジェスト版を持っている人は、ダイジェスト版の7~8ページを見ると、この表がよりわかりやすくカラー刷りで大きくなっているので、こちらのほうが見やすいと思います。

そこで、工学部を見ると、クラスが1組から20組まであります。地球工学科が1から4組まで、建築学科が5、6組、理工工学科が7から11組まで、電気電子工学科が12から14組、工業化学科が15から18組まで、情報工学科が19、20組と区分されています。

このクラスは皆さんがどの外国語を選択するかの申請に基づいて編成しますが、技術的に大変なので、本日はクラス編成が発表されていませんが、入学式の日、4月7日の朝に発表します。したがって、今は自分がどの組になるのかわからない状態ですが、少なくともクラスは学科別になっているので、そのうちのどのクラスになるかはわかるので、そのことを念頭に置いて、どんな授業をとれるかを眺めて考えてください。

この時間割表の中でアルファベットでD、C、Eのように書き込んであるのは、すべて外国語の授業のクラスです。1回生は合計4つの外国語を履修します。英語は、6単位を必要単位数としている学科と7単位を必要単位数としている学科があって、自分の学科はどれかというのを見ればわかります。いずれにしても6単位の学科の人も7単位の学科の人も、そのうちの6単位分は、この「手引き」にある英語及び英語でとります。英語は1回生の皆さんがとる分で、英語を2つとって4単位で、1回生に課せられている

ものです。2回生になってから英語を2単位とります。これが最低限です。7単位を指定している学科については、残りの1単位は全学共通科目ではなく、それぞれの学科で開講される英語1単位のことです。学部の便覧に指定があるので、そちらで判断してください。

英語について、1回生でとる英語は2種類あって、1つはリーディングとライティングを中心にしたもので、原則30人1クラスで、時間割表の小文字のeと打ってあるコマです。それからもう1つはリスニング・スピーキングを中心にしたクラスで、これは50人単位で、1組から20組までのクラス単位の授業で、これが大文字のEです。それ以外はドイツ語や、中国語や、ロシア語や、フランス語のクラス指定がありますが、これらの外国語を選択した人は原則としてこの指定されたクラスでとることになります。外国語については人数の調整を厳密にしなければならないので、指定されたクラス以外でとることは認められません。例えば、同じコマのところに自由科目でとりたい科目があっても、優先することはできません。何故なら自由科目はまた来年でもとることができるからです。外国語はきちっと1回生のうちにとっておかないと後々大変なので、このクラス指定を基本に自分の時間割を考えていくことになります。

次に、初修外国語についてです。英語以外のドイツ語、フランス語、スペイン語等の第二外国語のことで、多分初めて学ぶ外国語だと思いますが、皆さんの場合は最低4単位をとることになります。したがって、1回生のときに2コマをとればクリアできますが、1つが文法、1つが講読という形でこの時間割の中に組み込まれています。

初修外国語を含む外国語の教育は、京都大学としては非常に重視している科目です。外国語を勉強することは、現代は英語が出来れば良いのではないかと思うかもしれませんが、英語を使うことは、今の時代、とても簡単なことで、少しその気になればいろんなツールもあるし、また、大学での専門課程に入ったら、いや応なしに英語漬けにならざるを得なくなりますので、むしろ大事なことは、英語だけでなく、他の国の外国語も含めて、非常にレベルの高いインテリジェンスのある外国語のセンスを身につけるということに重要視しているからです。このことは皆さんがやってみられたらわかると思います。英語読みができないアルファベットが並んでいるものを見て、すらすらとそれを発音することができ、辞書を自由に駆使して基本的に意味を理解できるようになることは、4単位分をきちっと勉強すれば到達できます。その力を持っているだけで、恐らく卒業してずっと一生の間、非常に豊かなものを持っていると感ずることが出来ますので、そういう意味で教養教育として重視しているわけです。

ただ、外国語を勉強するというのはそんなに楽しいことではありません。例えばドイツ語であれば、最初はアー、ベー、ツェーから始まって、文法をきちっと勉強していかなければならないし、授業は必ず予習と復習をしていかないと、たちどころについていけなくなるので、1回生のうちは外国語を軽視しないことが非常に重要なことです。外国語がいかげんになると、到底4年間では卒業できない事態が起こるので、そのことをぜひ心に置いてください。

以上のことを重点としているので、1回生で受けるすべての外国語について、 Semester制とはせず、通年で、2単位です。前期、後期という区分がなく、クラス編成に従って

通年であることを理解してください。

新入生向け少人数セミナー(ポケット・ゼミ)と国際教育プログラム(KUINEP)について

次に、新入生向け少人数セミナー(ポケット・ゼミ)について説明します。「手引き」の10ページからの科目表の中にポケット・ゼミの科目は含まれていないので、「新入生向け少人数セミナー(ポケット・ゼミ)全学共通科目履修案内」を参考にしてください。

ポケット・ゼミはすべて1回生の前期だけを対象にしています。基本的には1つのゼミに10人の人数制限をして、全学の先生が、それぞれ先生方の意思に基づいて提供されているもので、科目名を見ても、基本的な授業とは全然違う名前で、担当の先生方の専門や興味に従って、ゼミナールをしてみようと提案されているものです。参加してくれた諸君と色々な議論をし、色々な材料を使って、大学での研究とはどういうものかを紹介する趣旨のゼミナールです。このゼミナールは工学部向け又は文学部向けとの区分は一切なく、理系の諸君や文系の諸君が混在しているゼミで、これもこのゼミの1つの特徴です。

ただ残念ながら、1回生の皆さん全員を収容できるだけのコマ数が出ていないので、希望者は申し込み、定員を越えた場合には抽選をして決めることになっています。来週から1週間、ポケット・ゼミの申し込みを受け付けます。全学共通教育棟の1Fで、各自パソコンに打ち込んで申し込みをするシステムになっていて、第1希望、第2希望、第3希望まで申し込みをして、その結果を抽選し、1週間後に履修者を発表します。

このポケット・ゼミがいつどれだけあるかについては、「手引き」の99から114ページまでの自由選択科目(前期登録科目)の教室欄に、「新入生向け少人数セミナー冊子参照」と書いてあるので、注意して見てください。

次に、「国際教育プログラム(KUINEP)」について、先ほど赤岡先生がご紹介になりましたが、これも履修を希望する場合、やはり申し込んで、希望者が多い場合は、抽選し、その結果、履修者を決めることになっています。どの科目が国際教育プログラムかは、「手引き」の10ページからの科目表の中で、科目名の一番初めに「英語講義」と明記している科目のことで、例えば、14ページの上にA群科目の地域文化系の欄がありますが、その一番下に「英語講義：日本の社会」というベッカー先生が担当される講義名が書いてあります。このように「英語講義」と明記されている科目は国際教育プログラムの科目です。なお、「国際教育プログラムの履修案内」は全員には配布していませんが、希望者にお渡ししますので、興味のある方は事務で受け取ってください。

履修の仕方について

科目選択、履修の単位、時間割等についての概要は以上です。あとは履修の仕方、実際に履修をしていくときの注意点を説明します。

まず履修届の提出について、「手引き」の一番最後に履修届の用紙が前期と後期用の各1枚ずつ挟み込まれており、前期を見ると、月曜から金曜日の1限から5限まで、各自が履修する科目を書き込むことになっています。さらに、通年の欄と前期・後期の欄があり、通年は先ほど説明した外国語の のことで、1回生でとる外国語は通年になります。また、

後期科目についての履修届は 10 月 16・17 日に提出することになっていますが、例外的に D 群科目のスポーツ実習のみ、後期の履修を前期の履修届用紙に書くことになっていますので、注意してください。

もう一度先ほどの時間割を見るとわかると思いますが、外国語について、それぞれのクラスごとにコマが埋まっていると説明しましたが、それ以外に、工学部の諸君の場合は、既に、かなりの科目が時間割表に明記してあります。例えば数学、物理の科目、あるいは実験、微分積分等の科目が多数あり、これはそれぞれの学科が指定されている基礎科目としてぜひとも学ぶ必要があるものについて原則的にはクラス単位で授業をすることになっていて、その区分が入っているからです。もちろんこの全てをとらなければならないかは諸君の判断及び各学科の指定によります。例えば、微分積分学をとろうと思う場合には、ここで指定されたコマをとらなければならないということです。

以上のように見て、この表を活用していくことになります。

その結果、理系の学部では、月曜から金曜日までの各コマに、自ずとクラス指定で埋まってしまうものがかなりあって、外国語が 4 つと、それ以外に数学や物理をはじめとした基礎的な科目が埋まります。これをまず履修届の用紙に書き込むことになります。クラス指定科目も全部書き込まなければならないので、あと空いているところがどれくらいあるかがわかります。1 週間 25 コマですが、大体空いているところが約 10 コマから 12~13 コマと思います。その空いたところで自由に選択する科目を埋めていくことになるわけです。今、「埋めていく」と言いましたけれども、埋めてはだめだという話をします。

外国語科目と理系の B 群科目は、指定された必要なものが埋まっていくことになっているので、あと諸君が、ぜひとも興味を持って履修してほしいのは A 群科目 16 単位を中心とした科目つまり人文・社会系の科目です。人文・社会系の科目を本当にきちっと勉強する機会なんてもうこの 1、2 年以外にはまずありませんので、そういう意味では大切なものだと思ってほしいわけです。

ただ、この 16 単位は、1 科目、1 セメスター 2 単位とすると 8 科目になります。前期に 4 科目、後期に 4 科目埋めたら、もうそれで卒業単位 16 単位の最低限は全部そろいます。ただし全部合格したらの話ですが、そんなに大変なものではありません。ところが、月曜の 1 限から金曜日の 5 限まで全部履修申し込みをされている場合が非常に多いです。

履修届を出すことは、同時に試験を受験する受験届を兼ねています。したがって、履修届した科目を途中でやめると、成績には「不合格」又は「0 点」がつくことになります。月曜から金曜日まで朝の 1 限から夕方 5 限まで全部授業を埋めて、全部の授業に出席するという生活を想像してみてください。まず 2 カ月はもたないです。外国語を基本にして、理系の場合だと数学や物理等について、一切予習・復習なしで過ごしていくと、まず中頃で完全にアウトになる。やはりきちっと一つ一つをフォローし、追跡していかなければならないものです。1 週間のコマを全て埋めたら、まず 2 カ月はもちませんし、途中でダウンせざるを得なくなりますので、皆さんにはそのような受講の仕方をしないように勧めたいと思っています。

人間は、何でもいから“数撃ちゃ当たる”という発想を往々にして持ってしまいます

が、全学共通教育のA群科目、つまり、人文・社会系の科目の一つ一つは、哲学、歴史及び文学の分野で、日本中あるいは世界的に活躍されている先生方の講義が多数開講されていますので、その内容は極めて豊富な内容であり、かつ高度で、そういうものに触れる絶好の機会ですから、慢然とただ聞き、適当に試験を受け、たまたまうまくいけばいいような聞き方をすることは、これほど勿体ないことはありません。A群科目の非常に多くの科目、いろんな系列から出されている科目を諸君は自由に選ぶことができるわけですから、自分はこの機会にどういうことを聞いてみようかとよく精選して、ターゲットを絞ってほしいと思います。1年で済ます必要はありません。2回生、3回生になってから履修しても卒業単位は必ず取れるものです。京都大学で開かれている、他の大学ではないような高度なすばらしい内容に触れること、これが京都大学での教養教育で一番重視している点です。教養教育というと何か「教養」を教えてもらえると思うのは全くの間違いで、京都大学での教養教育には教養を教えるというスタンスはありません。それぞれの先生方がエネルギーを注いでいる研究に触れ、その世界の持つ意味を問うことに狙いがあります。特に理系の諸君が人文・社会系の科目を学ぶときには、自分たちとは大分異なる世界の学問になる。それが人間にとってどういう意味を持つのかを鋭く問うこと。それが「対話を重視する」ということです。これまでの高校までに過ごしてきた一方的といいますが、「授業は何か有難いもので、先生の言っていることをただ聞けばいい」というのとは異なる意識を持って臨んでほしいのです。

履修登録は先ほど説明したように4月24・25日の2日間です。それまでには授業が始まっておよそ2週間あるので、その間に、今からよく考えて、自分はどれを狙おうかをよく考え、2週間のうちにその授業に参加してみて、最終的に履修登録を出してください。

履修の概要については以上です。

4月3日(木)工学部生を対象として実施したものをまとめたものである。

3. 新入生アンケート結果の統計的分析

高等教育研究開発推進センター 助教授 大山 泰 宏

本章では、新入生アンケートの結果を統計的に要約し、全体の傾向を把握する。本報告書末には、学生の回答の原文が掲載されているが、それを読む際のひとつの手がかりとなるであろう。

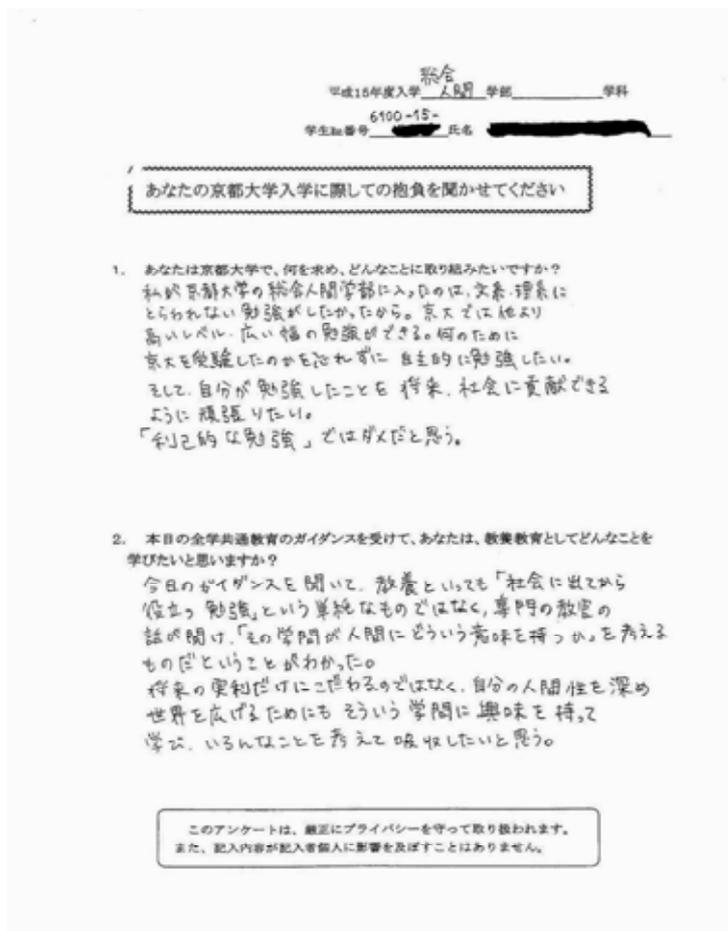


図1 回答のサンプル

アンケートは、全学共通教育ガイダンスの参加者全員に、ガイダンス後、あらかじめ質問項目が書かれた A4 の用紙に記入してもらうことで回答を得た。設問は、「あなたの京都大学入学に際しての抱負を聞かせてください」という教示のもと、質問1「あなたは京都大学で、何を求め、どんなことに取り組みたいですか?」という設問と、質問2「本日の全学共通教育のガイダンスを受けて、あなたは教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか?」の2つからなる。(以下、質問1はQ1, 質問2はQ2と記述。)図1に実際の学生の回答のサンプルを示す。学部、性別ごとの回答者の数は、表1に示すとおりである。

表1 学部、性別ごとの回答者数

	総人	文	教育	法	経済	理	医	薬	工	農	全体
男性	92	115	27	218	192	254	76	53	881	211	2119
女性	38	102	34	103	56	24	20	25	66	94	562
計	130	217	61	321	248	278	96	78	947	305	2681

1. カテゴリーコーディングによる分析

自由記述で得られた回答を要約するため、複数の評価カテゴリーを設定してコーディングをおこなうこととした。具体的には、それぞれの評価カテゴリーについて「当てはまる」もしくは「当てはまらない」と判断されるものの出現頻度を測定し、全体の動向、学部と性別の動向を見る。

1. 分析カテゴリーの設定

1) カテゴリー抽出

回答の中から 50 事例をランダムにサンプリングし、その自由記述から読み取れる事項を要約し、ワーキンググループで、最小数のカテゴリーで感覚上最大の説明となるようカテゴリーの検討を重ねた。さらに、ワーキンググループとして確認したいカテゴリーを数項目付け加えた。

学生の回答は、Q1 と Q2 とに必ずしも区別して書かれているわけではないので、両者を包括して評価可能なカテゴリーを立てた。当初 20 の評価カテゴリーが立てられたが、実際にコーディングした結果、井戸効果¹が甚だしいものを省いた結果、18 のカテゴリーが最終的に抽出された。以下に、設定された評価カテゴリーと、その評価基準を記しておく。

2) 設定された評価カテゴリー

1. 具体的な専門分野や目標が読み取れる

- ・どんな専門領域が学びたいか、どんなテーマの研究がしたいか、どんな職業につきたいか、が示されている場合。
例：「臨床心理学を学びたい」「地球科学をやりたい」「遺伝子について研究したい」「臨床心理士になりたい」「弁護士になりたい」
など。
- ・その学生の主たる進路や職業を決定するものに限る。「 の資格をとりたい」とあっても、それが主たる目標でない場合は、省かれる。

2. 今までやれなかったことをやりたがっている

- ・受験勉強の制約などのために、これまで自分が学べなかったものを学ぶとするもの。
例：「世界史をやっていなかったのでやりたい」「これまでやれなかったことをやりたい」

3. 「自分探し」も含め、いろいろやりたがっている

- ・どんなことを学びたいかが明確に示されておらず、動機やヤル気が先行する場合。
例：「自分にあうことを見つけて取り組みたい」「好きなことを何でもやりたい」「新しいことに取り組みたい」

¹ 出現頻度が極端に少なく、群差が見られないものである。省かれた項目は、「ポケット・ゼミナールへの言及がある」「ガイダンスでの気づきを述べている」という項目である。

4. 積極的に主体的な学びをおこなう構えが読み取れる

- ・大学での勉学を自主的・主体的におこなうという決意や、具体的な履修計画のイメージを持っているもの。

例：「自分にとって何が大切かを考え、勉強進めていきたい」「人間について考えるための科目を積極的に受講したい」

5. 「国際的な活躍がしたい」と書いている

- ・国際弁護士やユネスコ、世界銀行など、国際的な舞台に活動の場を求めるとき。

例：「世界の舞台に立ちたい」「世界に貢献できることがしたい」

6. 「世界的水準の研究がしたい」と書いている

- ・自分の活躍の場ではなく、研究の質に限定しているとき。

例：「国際的に認められる研究をしたい」「世界水準の研究がしたい」

7. 「未知や至高、創造性などを探究したい」と書いている

- ・学習や研究の価値判断基準が外的なものではなく、研究自体や自己に目が向いているとき。

例：「未知を探究したい」「創造性を発揮したい」「自己の才能を開花したい」

8. 「とにかく単位をとって卒業したい」と書いている

- ・単位をとることや卒業することが自己目的化して、学びの内容に言及されていないもの。

例：「とにかく単位をとりたい」「はやく卒業がしたい」

9. 京大の学風や風土を意識した回答

- ・京大の学風、京都の風土などに関して言及しているもの。

例：「自由の学風にあこがれて」「京都大学という環境を活かして」「京都という町に憧れていた」

10. 京大の研究・教育の卓越性を意識した回答

- ・京都大学の研究・教育が優れていることに期待を持っているもの。

例：「京都大学には優秀な教授たちがいるので」「京都大学は一流の研究をしているので」

11. 自分の社会的役割や責任の自覚が読み取れる

- ・大学生としてあるいは卒業後に、社会的に期待されている役割や使命などに言及していたり、社会に役立ちたいとしているもの。

例：「社会に役立つ人材になりたい」「社会に還元するような研究がしたい」

12. 「課外活動や人間関係も大切にしたい」と書いている

- ・正課教育以外に大学内外での人間関係（友人、先輩、教授など）や、課外活動での体験の意味に言及しているもの。

例：「クラブ活動を積極的にしたい」「これまで会ったことのないような人と接して成長したい」

13. 全学共通教育で学びたいこと - 「外国語の習得」を挙げている

- ・英語や第二外国語などの語学を学びたいとしているもの。

例：「英語を勉強して・・・」「いろんな言語を習得したい」

14. 何のために外国語を学びたいか

- ・14で「外国語を学びたい」と判断された場合は、以下の3つに細分される。

- ・1．ツールとして：外国語を実社会でのコミュニケーションの道具として捉えているもの。

例：「英語を勉強して世界の人々と話したい」「英会話ができるようになって・・・」

- ・2．教養として：外国語を実社会の道具としてではなく、その習得自体に意味を置いたり思考訓練として位置づけているもの。

例：「ラテン語を習得して古典を読みたい」「外国語を通して考える力を養う」「その国の文化に目を向けたい」

- ・3．不明：上記2つの分類に当てはまらなかったり、分類に必要な情報がない場合は、「不明」とされる。

15. 全学共通教育で学びたいこと - 「他分野や多くの分野を学び、幅広い教養を身につける」を挙げている

- ・自分の専門とは異なる分野を学びたい(たとえば理系の学生が人文社会を学びたいなど) 場合や、幅広くいろんな分野の知識を得たいとしているもの。ただし、それを通して人格的に成長することをめざすというより、科目の内容自体に興味を示しているもの。

例：「専門に進む前に、いろんな科目を勉強したい」「専門バカにはなりたくない」「いろいろ学びたい」「哲学に興味があります(たとえば去学部学生が言った場合)」

16. 全学共通教育で学びたいこと - 「専門の基礎となる科目」を挙げている

- ・自分が目指している専門につながる科目を学びたいとするもの。いわゆる専門基礎科目だけではなく、もっと広い意味。

例：「心理学がやりたいのでそれに関する科目を勉強したい」「基礎となる数学をやりたい」

17. 全学共通教育で学びたいこと - 「判断力・思考力・問題解決能力を養う」を挙げている

- ・特定の科目の内容よりも、それを通して「ものの考え方」や「批判的思考」「学ぶ姿勢」など、メタ的な技能を習得したいとするもの。

例：「自ら学ぶ姿勢を身につけたい」「課題へのアプローチの仕方を学びたい」

18. 全学共通教育で学びたいこと - 「人間性や世界観の涵養、人格的成長」を挙げている

- ・人格的な成長を目指したり、学問が人間にとって持つ意味、自分と世界との関係を考えるなど、教養教育の意味を内面的に捉えているもの。

例：「生きていくための基本になる」「幅広い視野を身につけたい」

3) 分析対象データのサンプリング

回答自体は全数で 2600 をこえ膨大であるため、分析の対象とするデータのサンプリングをおこなった。統計的な信頼性と労力のカウンターバランスを考慮して、各学部から男女それぞれ 15 人分のデータをランダムにサンプリングし分析の対象とした。表 1 に示したように、学部と性によって母数に差があるが、その比率は勘案せず、学部×性のセルが同数となるようサンプリングした。これは、各学部そ

して男女を対等なものとして扱い、大学全体の動向を捉えるという発想のもとである。複数の学科から構成されている学部の場合、学科に偏りがないようサンプリングした。

4) カテゴリーに従った評定

評定作業は、サンプルデータの評定の一致率が8割を超えるまで、分析に関する研修と評定の練習をおこなった4名の評定者²に、評定する学部と性に偏りがないようデータを配分し、おこなわれた。評定された結果はすべて、とりまとめ役(高等教育研究開発推進センター・大山)が再確認し、必要があれば修整をおこなった。

2. カテゴリー分析による結果の解釈

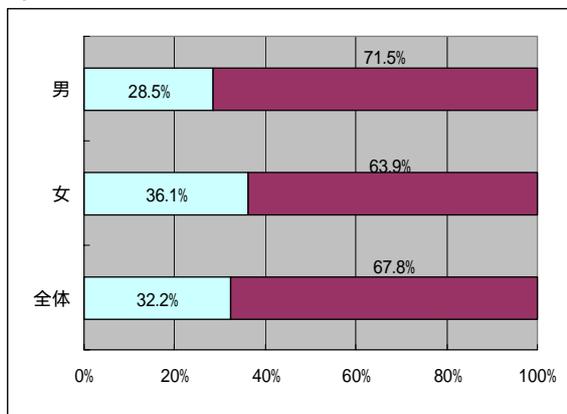
次ページから、評定項目ごとに、全体、性別、学部別、学部と性のクロス別に、結果と簡単な解釈を記していく。

結果を読む際に留意しておきたいのは、これは学生の自由記述回答をもとにした分析であるので、グラフに見られる数値は、必ずしもそのような評定項目にあてはまる学生の存在の比率を表しているわけではないということである。それを知らうと思えば、あらかじめ設定された多肢選択方式や尺度項目による調査を行わなければならない。今回はあくまでも、「学生がそのようなものとして自己を表明した」ものとして、読み取って頂きたい。

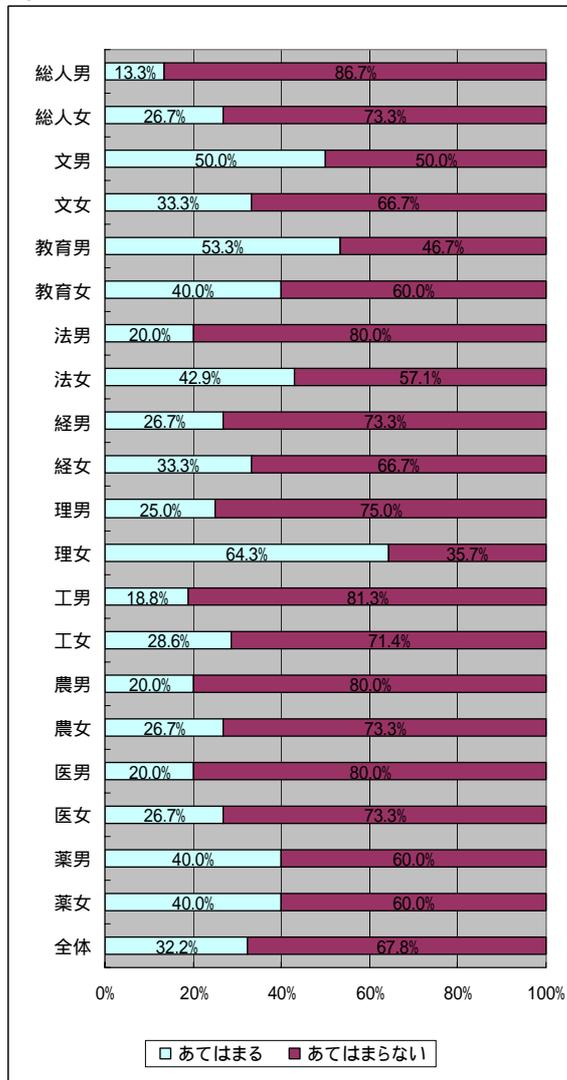
² 教育学部3回生

1. 具体的な専門分野や目標が読み取れる

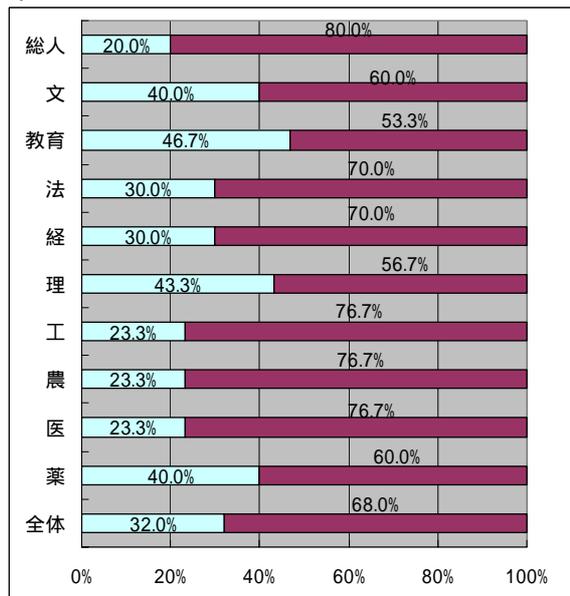
1) 男女別



3) 学部 × 性別



2) 学部別

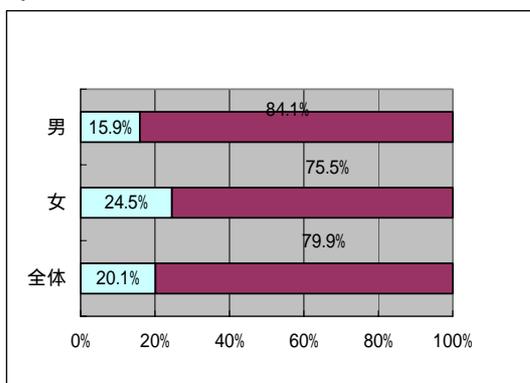


具体的にやりたい分野に言及している記述は、全体の32%に及んだ。これは、「専攻したい分野は決まっていますか」という構造化された質問への答えではなく、「京都大学で求め取り組みたいこと」というオープンクエスチョンへの回答であることに留意したい。構造化された質問であれば、もっとこの数は多くなるであろう。昨今の大学生は目的意識が希薄とする論も多い中、この数字には励まされる。

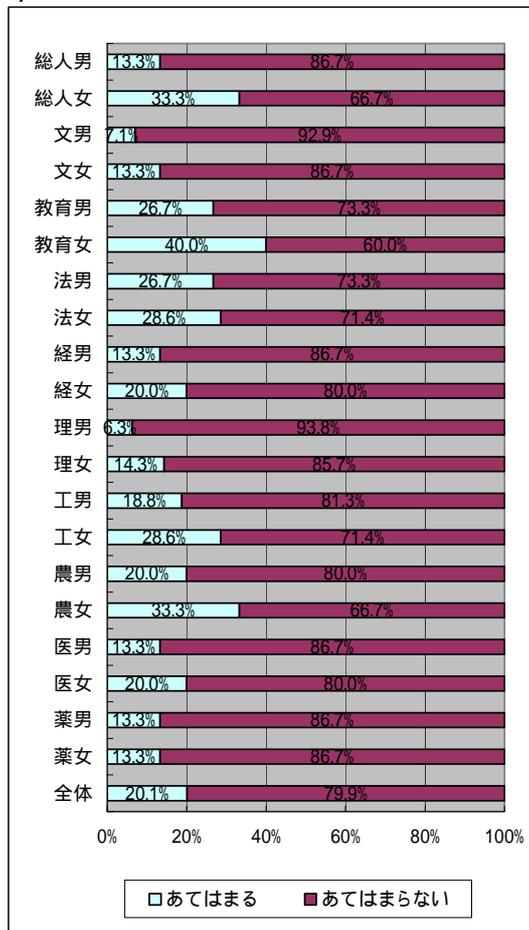
性差を見れば、女性のほうがやや多いようである。また、学部別では教育と理が高く、文と薬がそれに続いている。また、性と学部のクロスでは、理学部女子が有意に高い。

2. 今までやれなかったことをやりたがっている

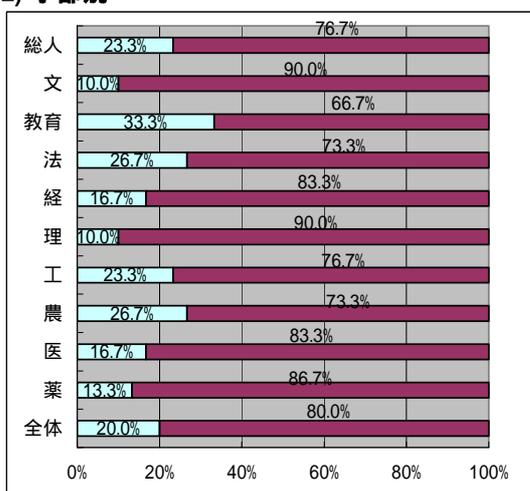
1) 男女別



3) 学部 × 性別



2) 学部別



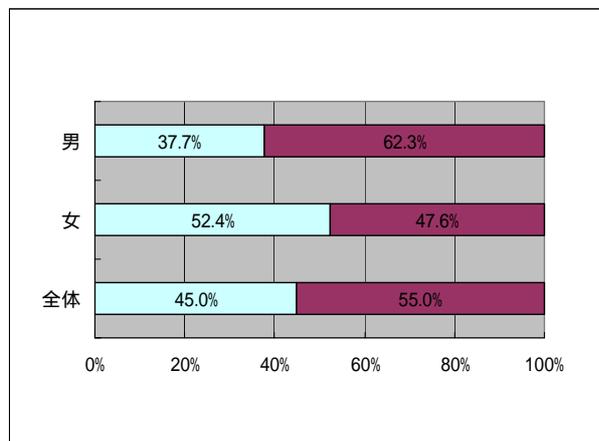
これまでは受験勉強を優先するためできなかったが、大学に入学したのを機に取り組んでみたいことを記述していた学生の割合である。全体で約2割の学生にあたる。

性差を見るならば、女性のほうがやや多い。学部別に見れば教育、法、農が多い。逆に文と理は、もっとも少ない。この2つはいずれも、「1. 具体的な分野が決まっている」学生が多かった学部である。

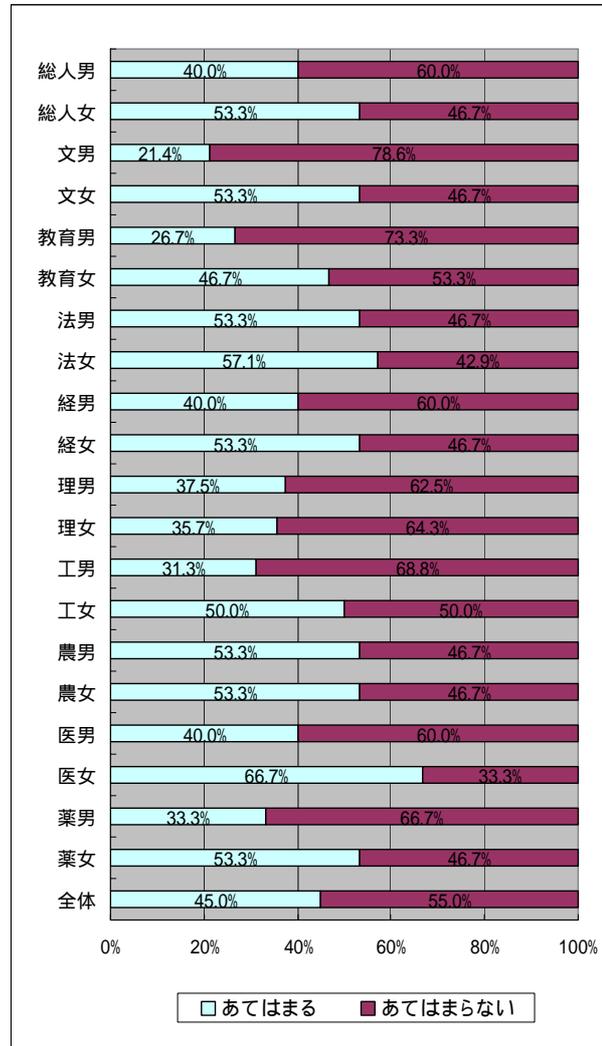
性と学部のクロスでは、教育の女性、農の女性、総人の女性に多い。これらの学部では性差が大きく、男性より女性のほうが多い。法では、男性も女性も同じ程度である。もっとも少ないのは、文と理の男性である。

3. 「自分探し」も含め、いろいろやりたがっている

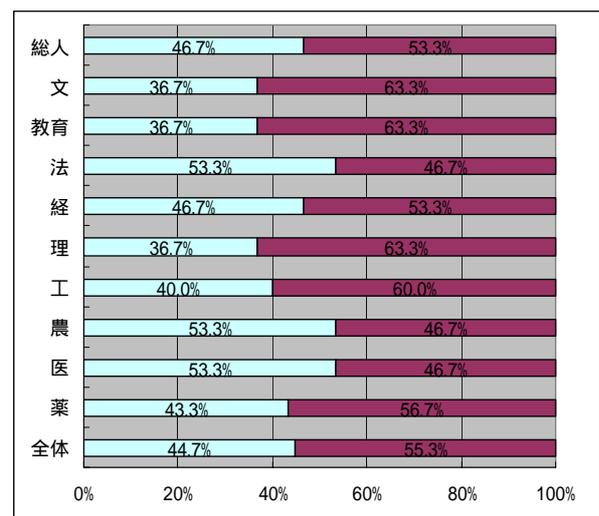
1) 男女別



3) 学部 × 性別



2) 学部別



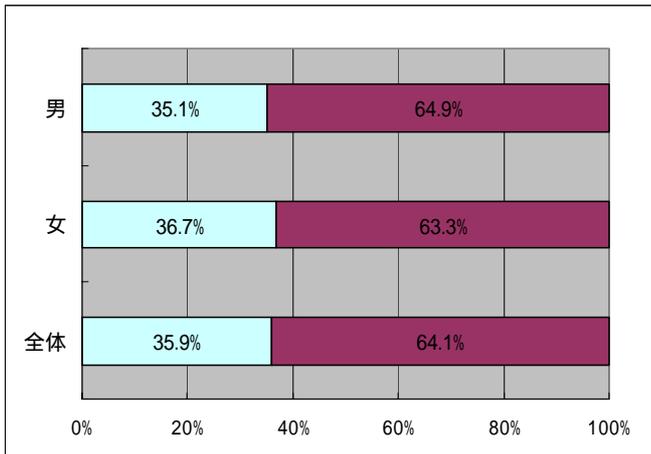
自分の興味や関心に従って色々な学問や活動を体験しながら、自分に向いているものや本当に自分がやりたいことを探したいと、全体の4割以上の学生が表明している。

性差を見るならば、これも女性のほうが多い。学部差を見るならば、どの学部もほぼ高い水準を保っている。「自分探し」型の学生が増えているというのは、他大学での調査にも共通するところである。

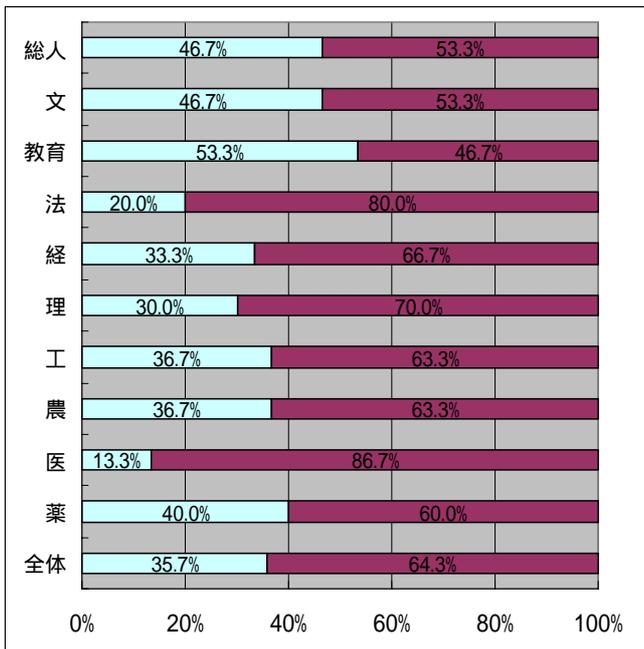
性と学部のクロスで見ると、医の女性に突出して多い。逆にもっとも少ないのは、文の男性である。文の男性は、「1. 具体的な専門分野」に言及している割合が高く、「2. 今までやりたいことをやりたがっている」割合は低かった。このことを考え合わせると、入学時にすでに特定の具体的な目標を持ち、それに専念したいと思っている学生が多いと思われる。

4. 積極的で主体的な学びをおこなう構えが読み取れる

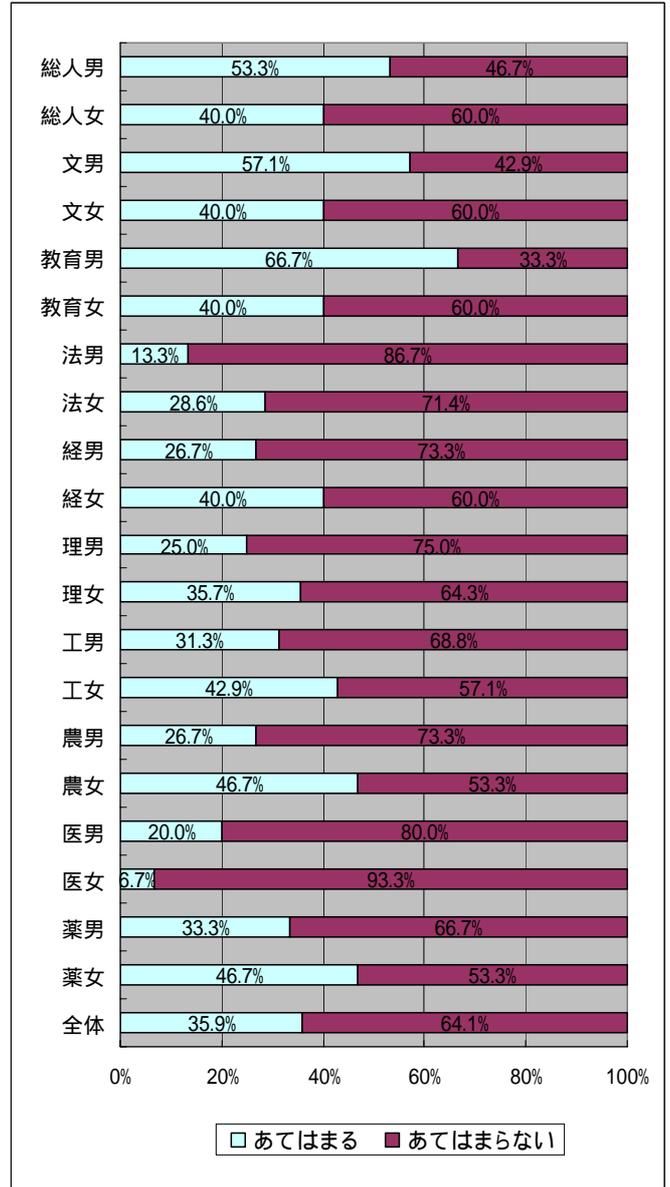
1) 男女別



2) 学部別



3) 学部×性別



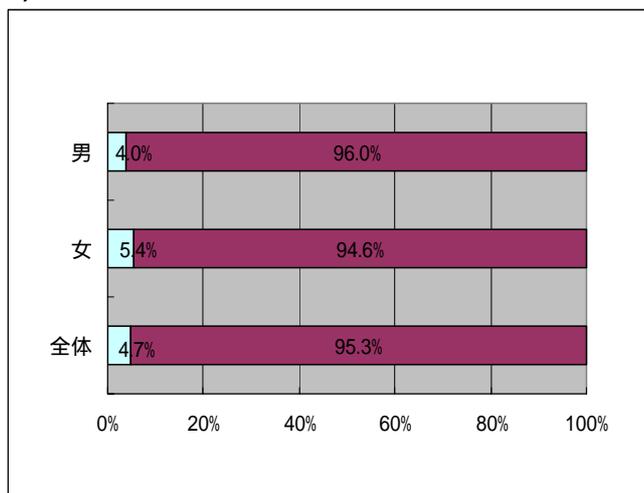
受動的でもなく単にヤル気のみが先行するのではなく、自分のやりたいことや目標を達成するために、何をしたらよいか何を学んだらいいかを、自分で具体的にイメージしている記述である。

全体では4割弱であるが、学部別に見ると教育にもっとも多い。もっとも少ないのは医であるが、これは、医師や医学研究者になるという目標とそのためのカリキュラムが確定しているので、学生の記述には上がってこないためである。

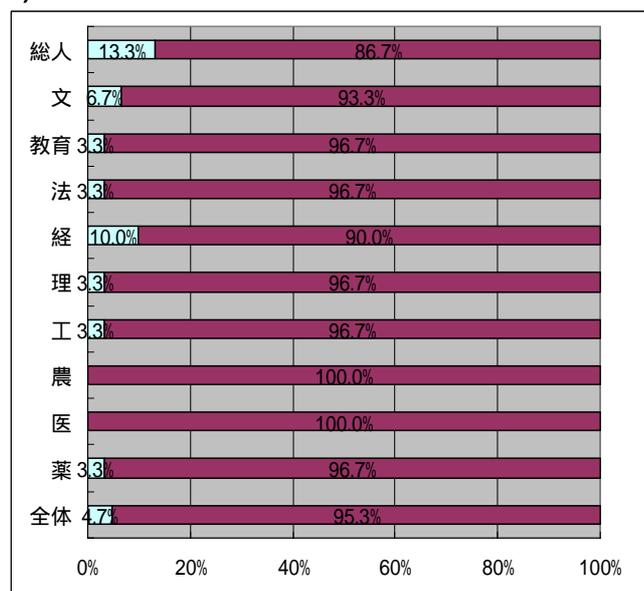
学部と性のクロスでは、教育の男性がもっとも多い。次いで文の男性である。総人、文、教育では女性より男性に多く、法経と理系学部（医を除く）では男性より女性に多く見られた。

5. 「国際的な活躍がしたい」と書いている

1) 男女別



2) 学部別



3) 学部 × 性別

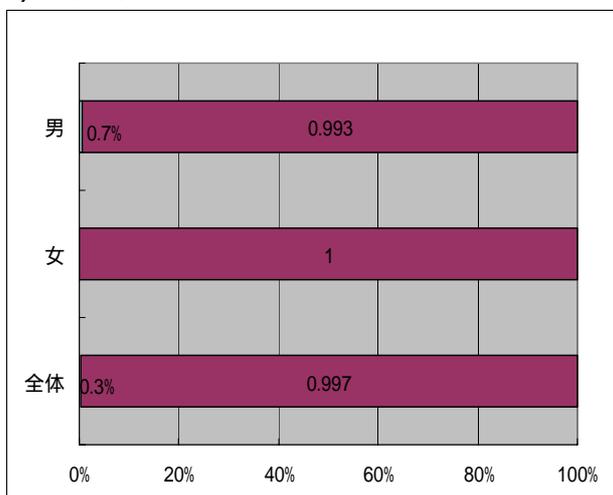


学生の回答自体には、それほど多くない記述であるが、国際的舞台での活躍ということを果たして新入生が意識しているのかどうか、見てみたかった項目である。全体では5%に満たない。

学部別に見ると、総人と経に1割程度である。学部と性のクロスでは、経済女性に2割程度であった。

6. 「世界的水準の研究がしたい」と書いている

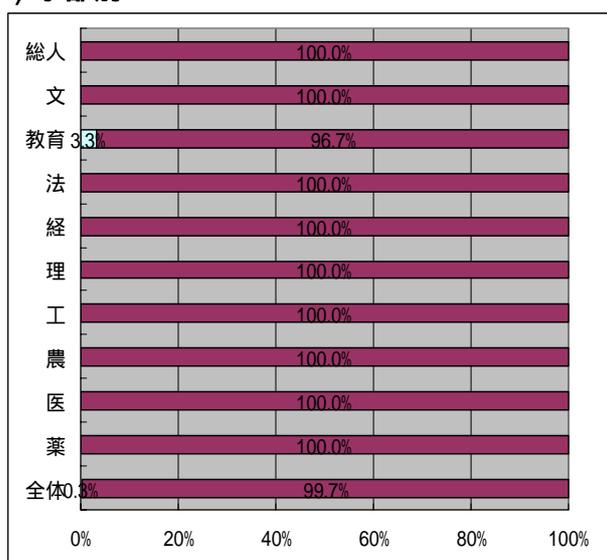
1) 男女別



3) 学部及び性別



2) 学部別

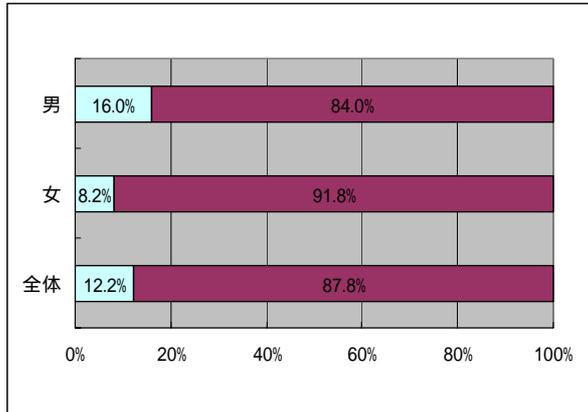


「国際的な活躍」が世界を舞台にして活動することであったのに対して、このカテゴリーは、たとえ日本に居ながらにしても、世界で認められるような研究をしたいというものである。これも、学生の回答自体には、出現頻度が非常に少なかったが、ワーキンググループとして確認したい項目であったので採用したい。

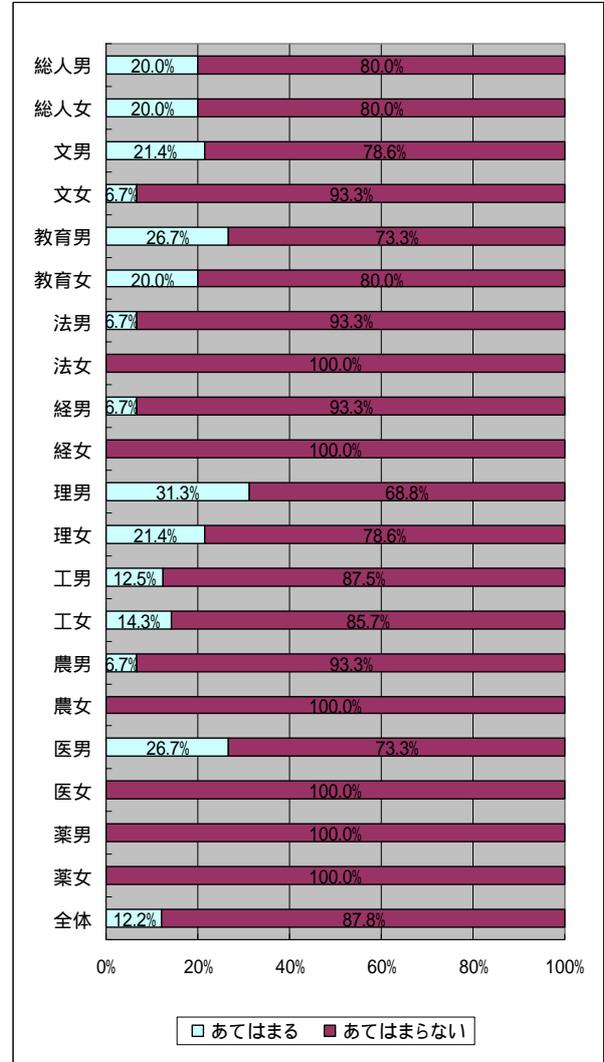
結果は、今回のサンプリングからは、教育の男性に1名見いだされたのみであった。もっとサンプルを拡大すれば他にも出現してくるだろうが、新入生自身が「世界水準の研究がしたい」と言明するのは、憚られるようである。潜在的にはこのような野望を持っている学生は、少なくないと思われるが。

7. 「未知や至高、創造性などを探求したい」と書いている

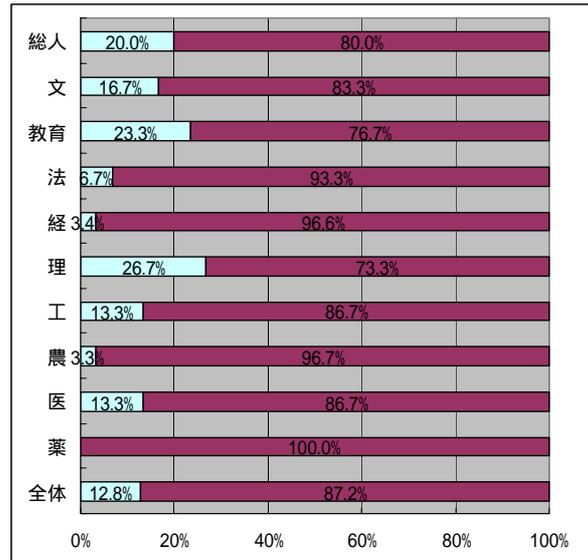
1) 男女別



3) 学部及び性別



2) 学部別

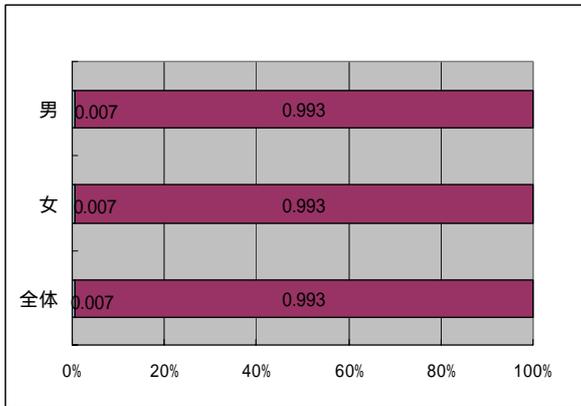


これは、人間や社会や自然の不思議を探求したい、未知の領域を探求したい、誰もなし遂げたことのない研究や発明などに取り組みたい、という態度である。一言でいえば学究的な態度であり、功名心に導かれるものではなく、内面的で学術的な価値に導かれるものである。「6. 世界水準の研究がしたい」に比べ、格段に多くなり、全体の1割程度に見られた。

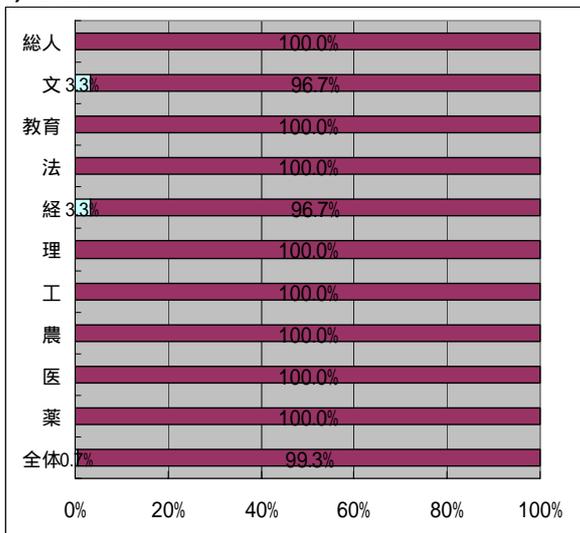
学部では特に理に多く3割弱の学生がそのように表明していた。学部と性のクロスでは、理男性、教育男性、医男性に多いといえる。

8. 「とにかく単位をとって卒業したい」と書いている

1) 男女別



2) 学部別



3) 学部×性別



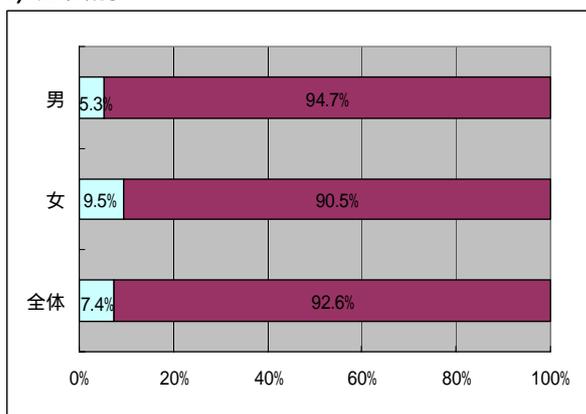
安易な方法でもよいからとにかく単位をとって卒業したいという学生は、当然のことかもしれないが、入学時にはほとんどいないことがわかる。

ただし、入学したばかりの頃は、最も希望に燃えている時期である。その後、5月の連休明けあたりで、急速に意欲を失っていく学生が少なくないことは、経験的にも知られているし、別の調査でも明らかになっている（『教育改善のための1・2回生アンケート調査』 調整(評価)小委員会, 2002）。また、大学は楽に単位をとって卒業するものだという、先輩同輩からの悪しきオリエンテーションもよく耳にする。

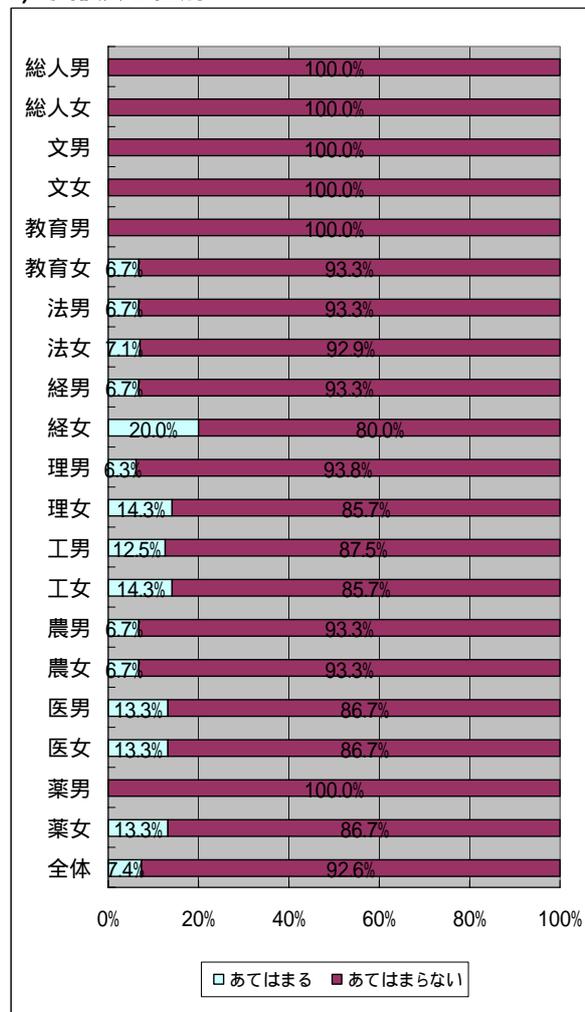
あるいは、新入生の高い動機を維持していくよう、全学共通教育をさらに充実したものにしていく必要もあるだろう。

9. 京大の学風や風土を意識した回答

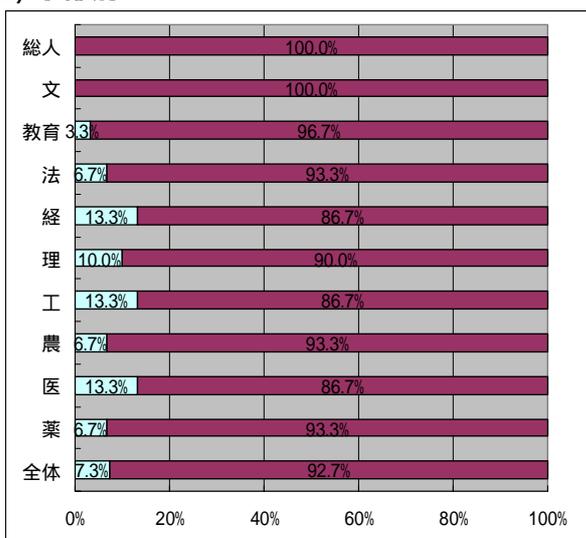
1) 男女別



3) 学部及び性別



2) 学部別

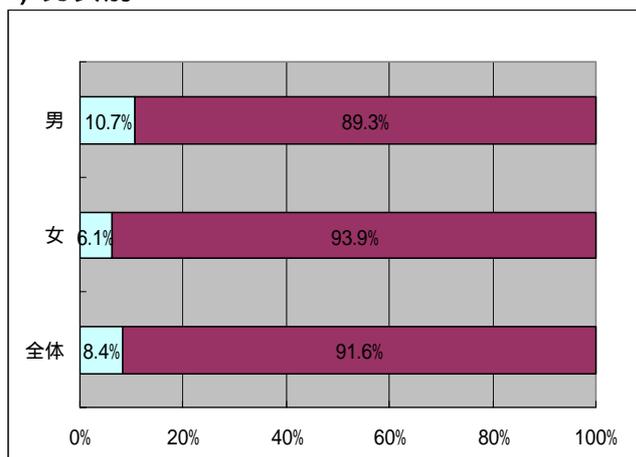


「自由の学風」は本学の堅持する理念であり、この「自由の学風」は良きにつけ悪しきにつけ、京都大学を語る際の常套句となる。「自由の学風に憧れて・・・」という回答は、選択肢式の調査であれば、半数以上の学生から得られる。大学ばかりでない。この自由さは、京都の町自体にもある。中央から離れた伝統ある土地で学問研究に打ち込めるといふわけである。

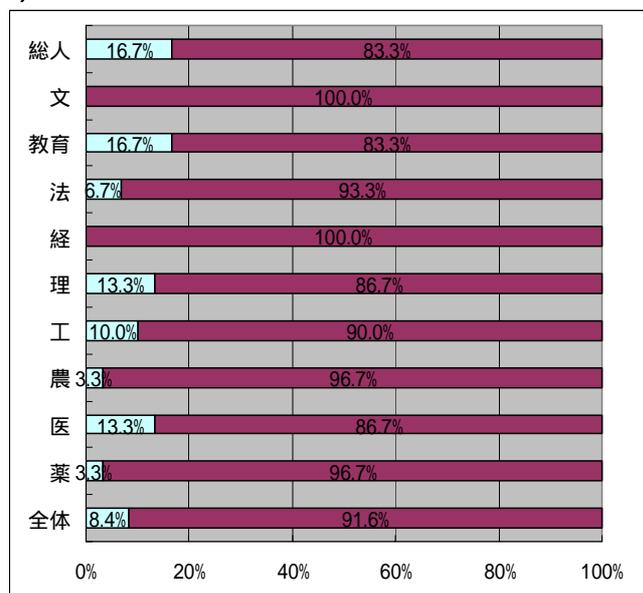
このような回答をなした学生は女性に1割。特に経済に多く、理、工、医、薬と続く。

10. 京大の研究・教育の卓越性を意識した回答

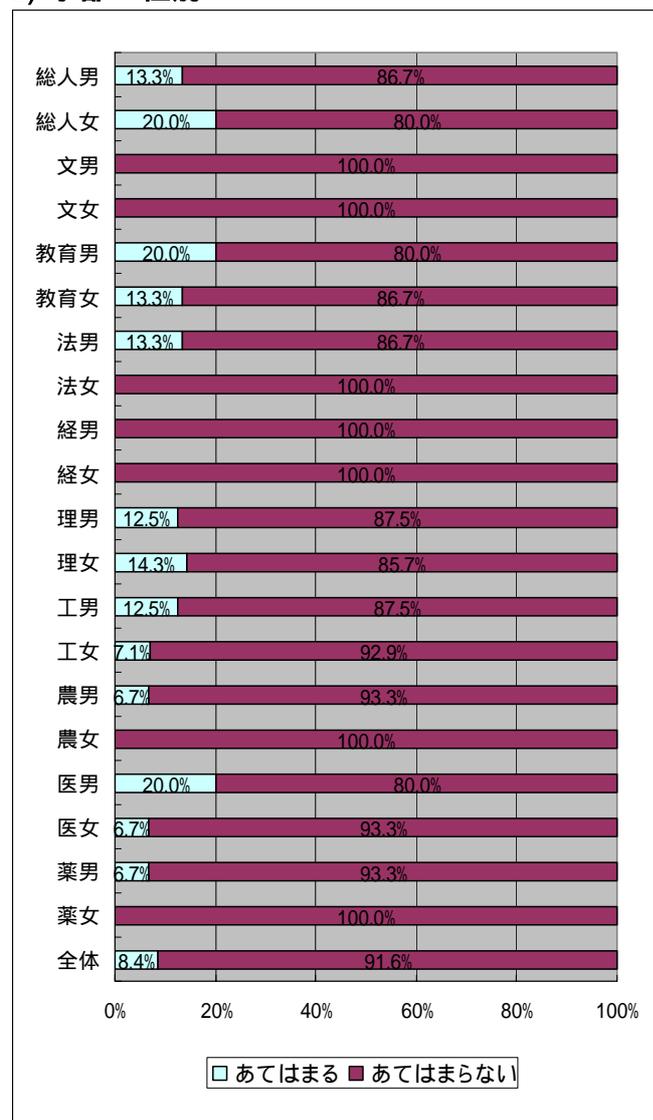
1) 男女別



2) 学部別



3) 学部 × 性別

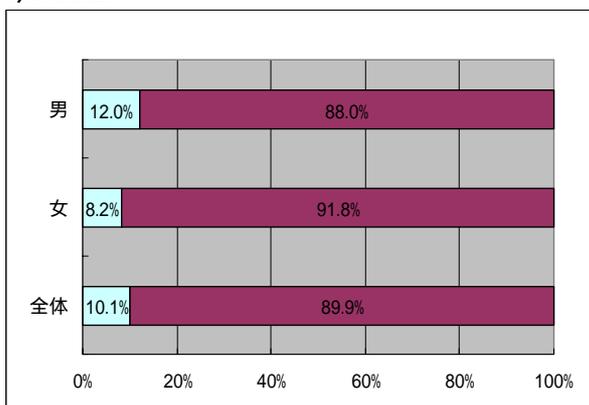


京都大学の特徴は、「自由の学風」ばかりでない。何人ものノーベル賞受賞者を輩出したことに象徴されるように、卓越した研究教育環境を持つ。このことを意識した回答も見られた。

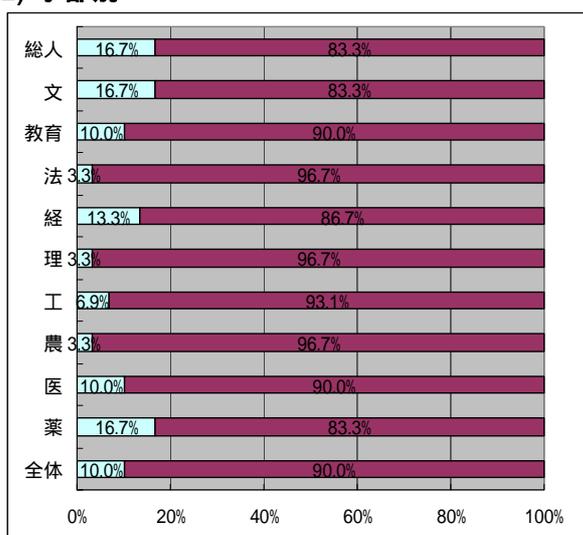
「自由の学風」を意識していたのは女性が多かったのに対して、「研究・教育の卓越性」を意識しているのは、全体では男性に多い。学部では、総人、教育、理、医である。学部と性のクロスでは、総人女性、教育男性、医男性が、5人に1人の割合で、それに言及していた。

11. 自分の社会的役割や責任の自覚が読み取れる

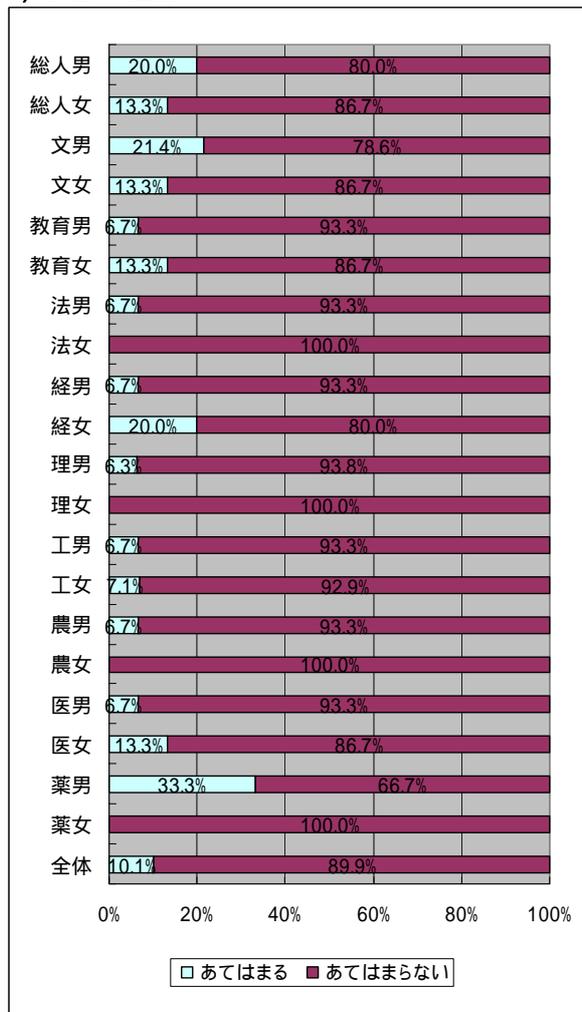
1) 男女別



2) 学部別



3) 学部 × 性別

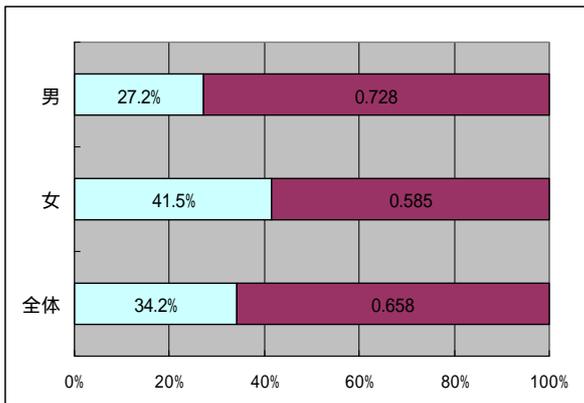


大学生といえども、社会的存在である。大学という特別な空間においても、そこで学ぶ学生に対しては社会の人々からの期待があり、学生にはそれに自分なりに応えていく責任性がある。あるいは、大学という特別な空間だからこそ、一般社会の中で社会に参加していくのとは違った、固有の連帯の仕方があるかもしれない。また、学問・研究の共同体の一員としての役割と責任とが、同然のことながらある。

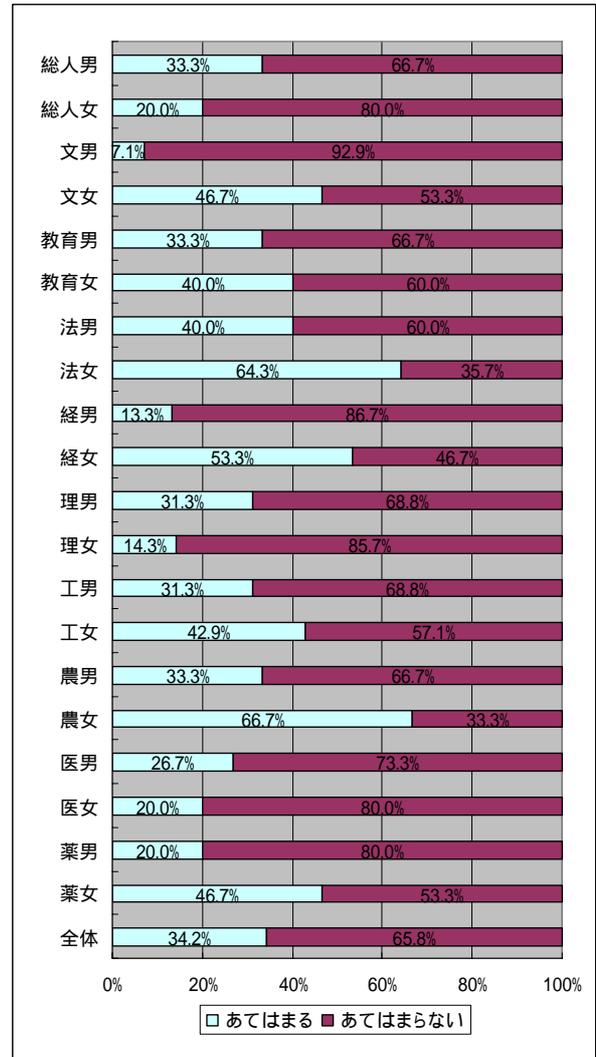
こうしたことを意識した記述が、全体の 1 割に見られた。学部別では、総人、文、経、薬に目立つ。学部と性のクロスでは、薬学部の男性が 3 人に 1 人、そのような意識を明確に表現していた。薬の研究者として社会に寄与したいというものである。

12. 「課外活動や人間関係も大切にしたい」と書いている

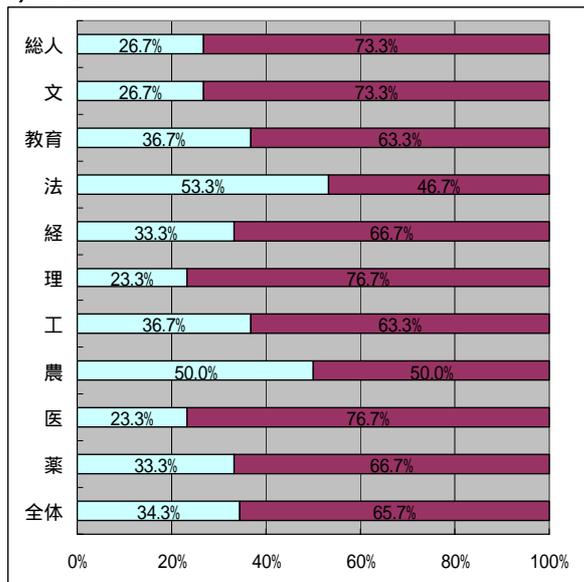
1) 男女別



3) 学部 × 性別



2) 学部別

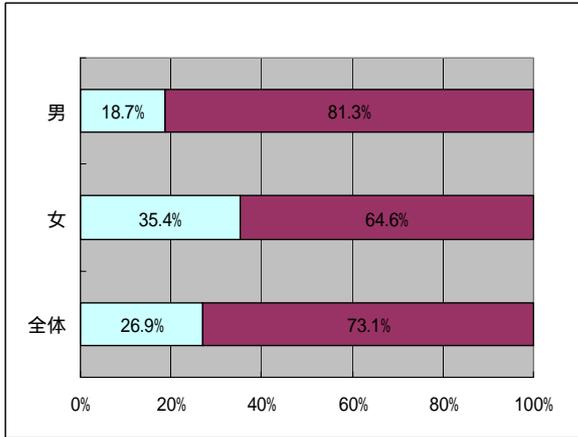


大学の学生生活において、学びの場は授業を中心とする正課教育の場だけではない。課外活動を通して、あるいはアルバイトやボランティアなどを通して展開する学びがあり、それは人格的成長に大きく寄与する機会となるかもしれない。また教授陣とも、学術的な知識を伝達されるだけでなく人間的なふれあいがあり、学友との人間関係がある。

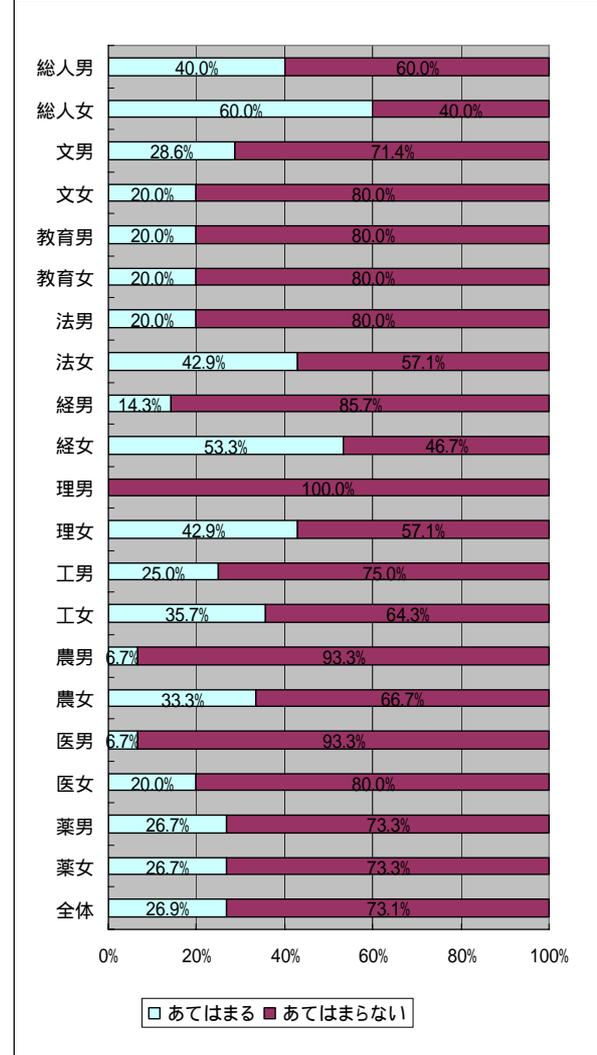
以上のようなことを大切にしながら大学生活を送りたいとする回答は、全体の3割強、とりわけ女子学生に多く見られた。学部では法と農に多い。学部と性のクロスでは、法女性、農女性に多く、7割近くの学生が、そのようなことを意識した回答をしていた。

13. 全学共通教育で学びたいこと 「外国語の習得」を挙げている

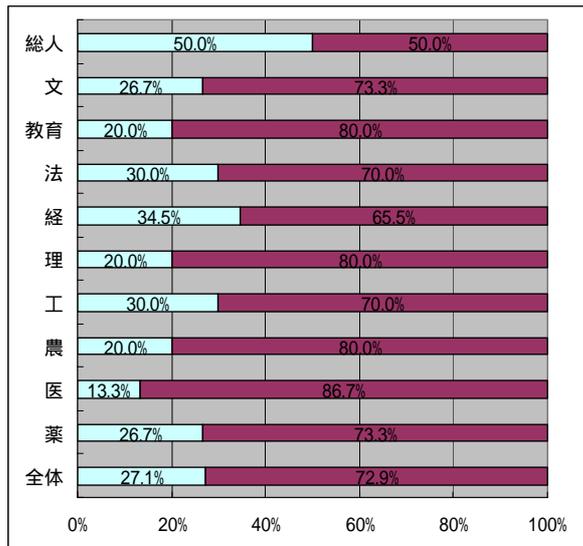
1) 男女別



3) 学部 × 性別



2) 学部別



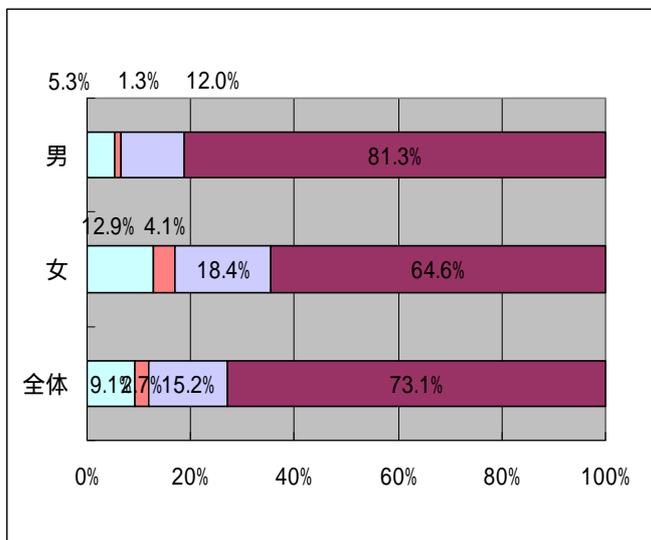
この設問からが、「全学共通教育で教養教育として学びたいこと」に特に関わる設問である。外国語を学びたいと表明した学生は、全体の3割弱である。女性は男性の約2倍にのぼる。

学部別では、総人で半数の学生がこのように表明している。学部と性のクロスでは、総人女性が6割でもっとも多く、続いて経済の女性である。経済学部の場合、男性と女性の差が顕著で、女性は半数以上が外国語を学びたいとしているのに対して、男性は1割強である。同様の傾向は、法、理、農、医にも見られ、女性のほうが圧倒的に外国語を学ぶことを希望している。

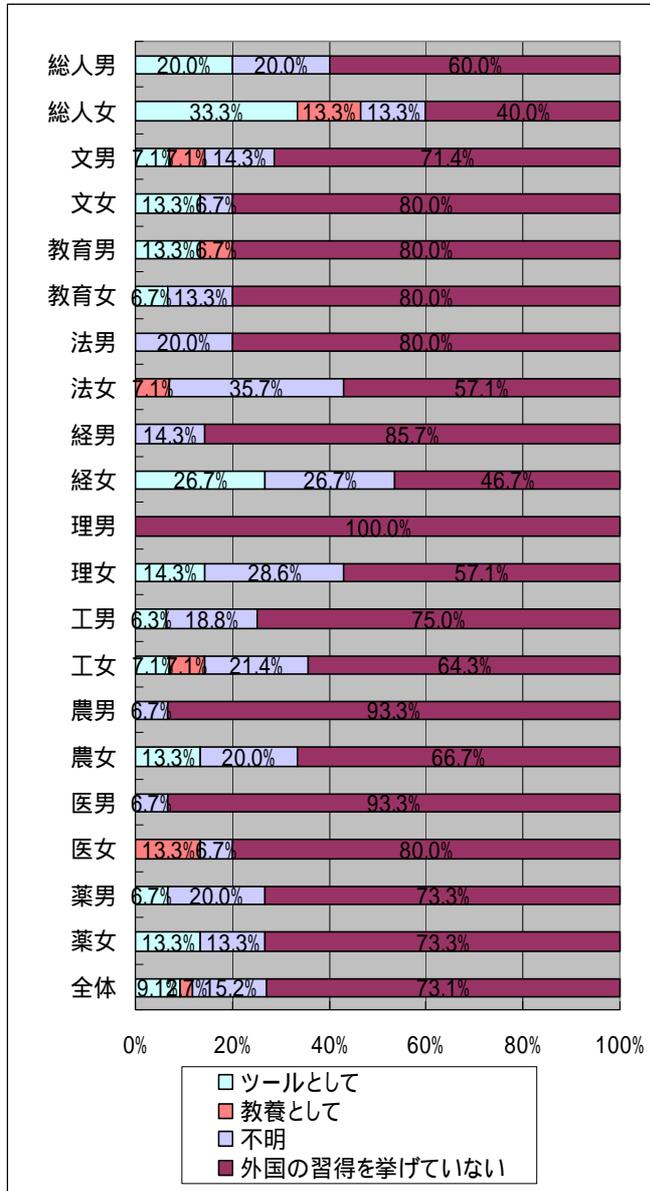
14. 何のために外国語を学びたいか

1. ツールとして 2. 教養として 3. 不明

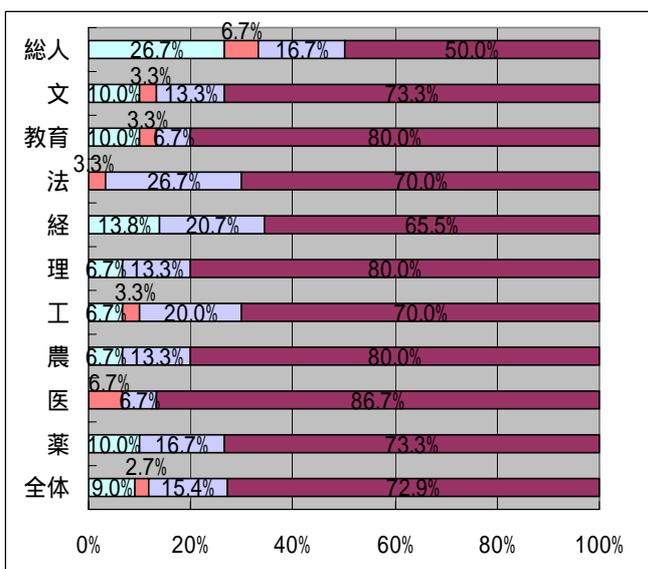
1) 男女別



3) 学部 × 性別



2) 学部別



外国語を学ぶ目的は、単にコミュニケーションの道具（ツール）としてではない。外国語を学ぶことは、異文化を知ることにもなり、また思考の訓練にもなる。前者の目的の「ツールとして」の外国語習得、後者の目的を「教養として」の習得と呼ぼう。

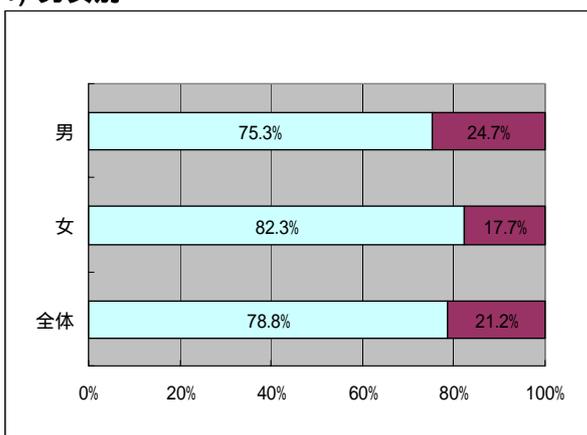
「13 外国語を学びたい」に該当した回答を、この観点からさらに分類した。約半数からは、どのような動機で学びたいのかは読み取れなかったが、読み取れたもののうち、コミュニケーションツールとして考えているのが8割、教養として考えているのが2割であった。

学部と性のクロスに関しては、サンプル数が極端に少ないので有意な差とは言いにくく、説明は控えない。

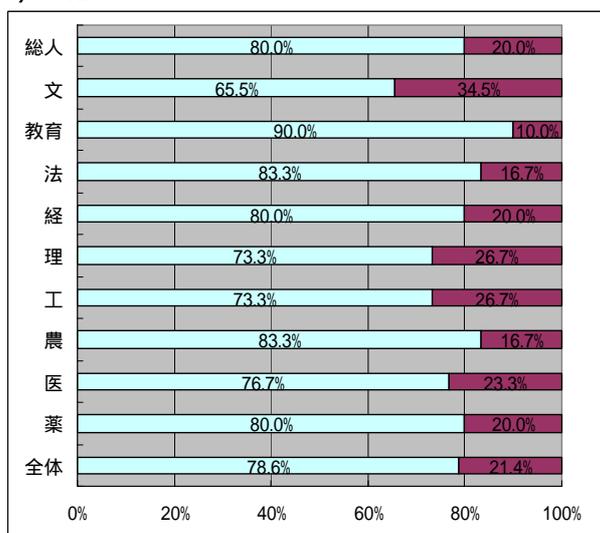
15. 全学共通教育で学びたいこと

「他分野や多くの分野を学び、幅広い教養を身につける」を挙げている

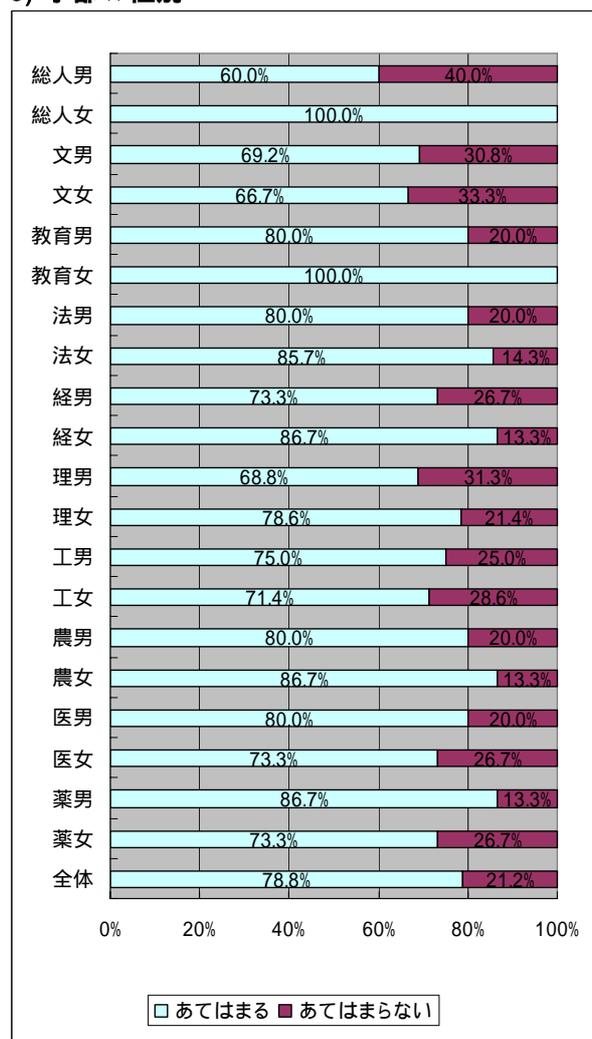
1) 男女別



2) 学部別



3) 学部 × 性別

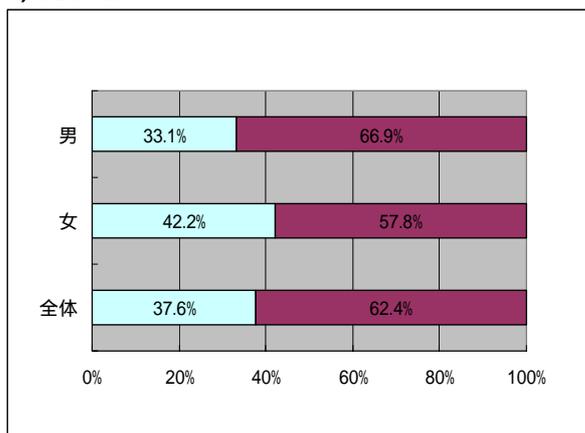


他分野や多くの分野を学び幅広い知識を身につけるとするのは、「教養教育」のもっとも基本的なことである。全体の8割の学生が、そのように表明している。いずれの学部、性別でも、高い水準を保っている。

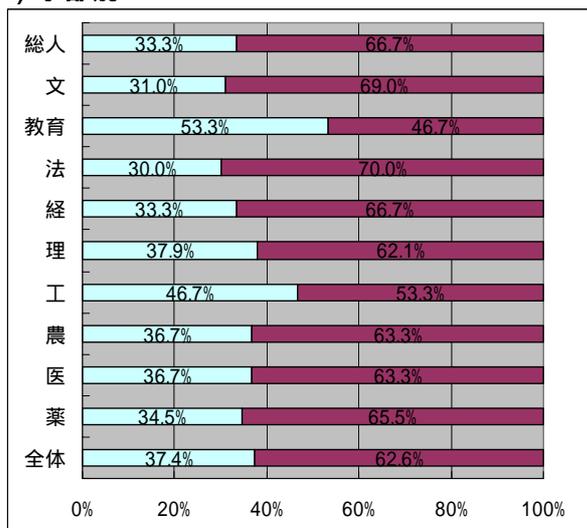
理系の学生は文系を、文系の学生は理系をとったわけではなく、「文理にとらわれず、多くの分野を学ぶ」ということであるということが、原文を参照すると見て取れる。

16. 全学共通科目で学びたいこと 「専門の基礎となる科目」を挙げている

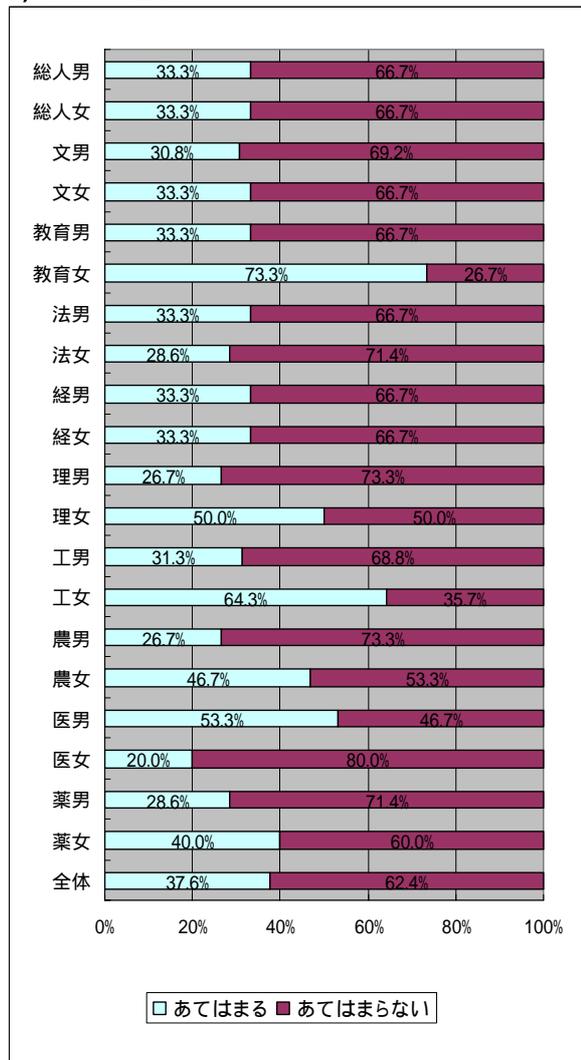
1) 男女別



2) 学部別



3) 学部 × 性別



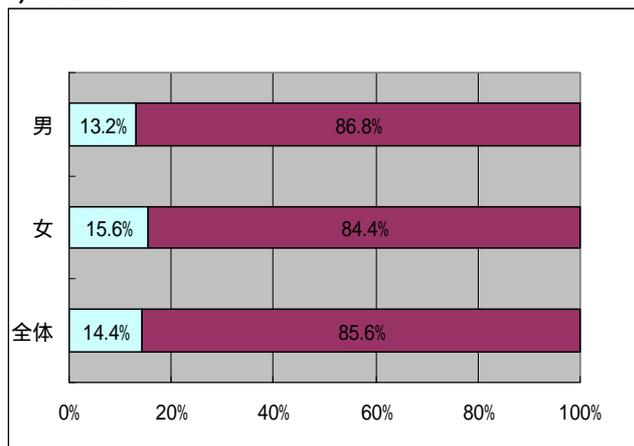
全学共通科目には、後の専門へ進むために重要な科目がある。それは専門基礎の科目ばかりでなく、学生が自らの目標に向かって履修計画を立てるとき、意識するものである。

そのような科目を学びたいとする回答は、全体の4割程度であった。各学部ともほぼ4割前後であるが、その意味するところは、カリキュラムの自由度が高い学部と、習得すべきことがほぼ決まっている学部とでは、異なるであろう。

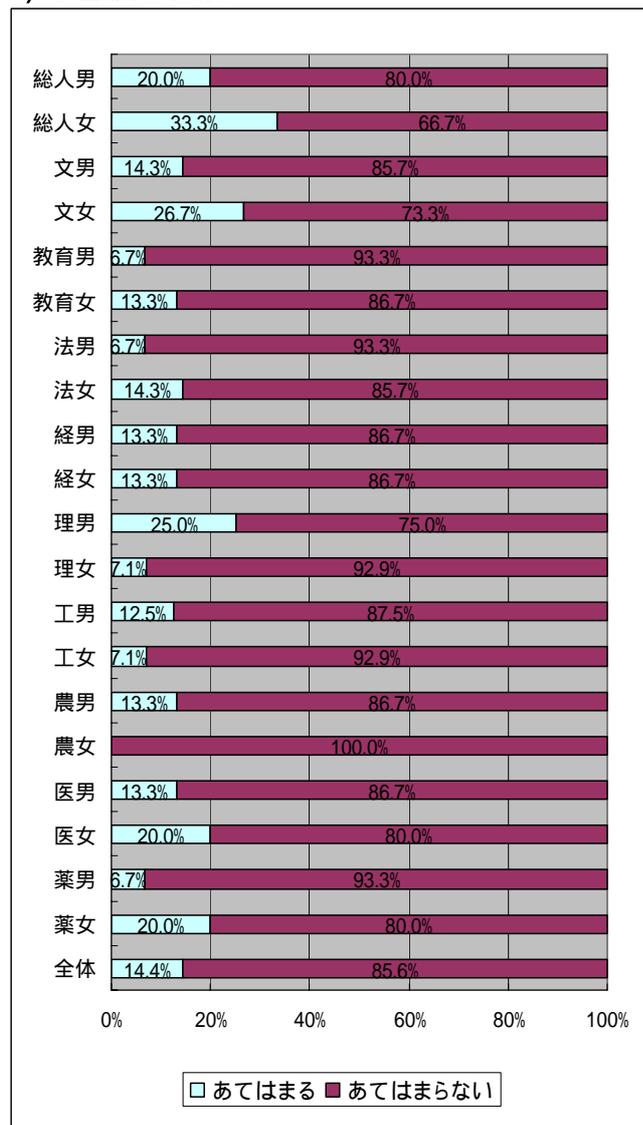
17. 全学共通教育で学びたいこと

「判断力・思考力・問題解決能力を養う」を挙げている

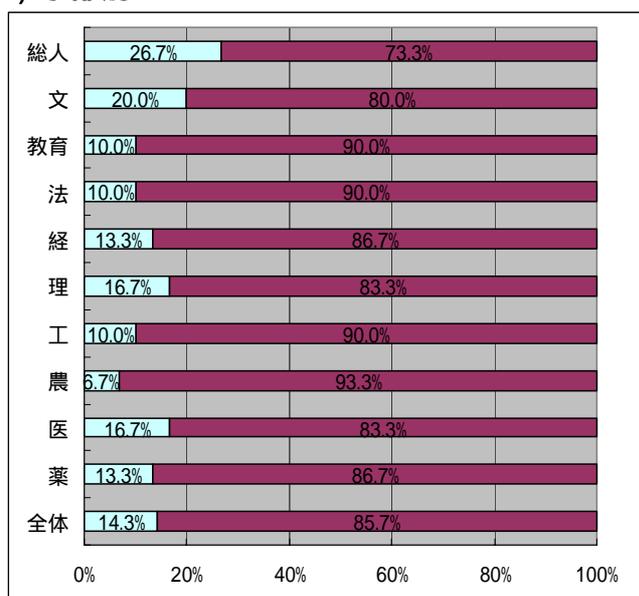
1) 男女別



3) 学部及び性別



2) 学部別

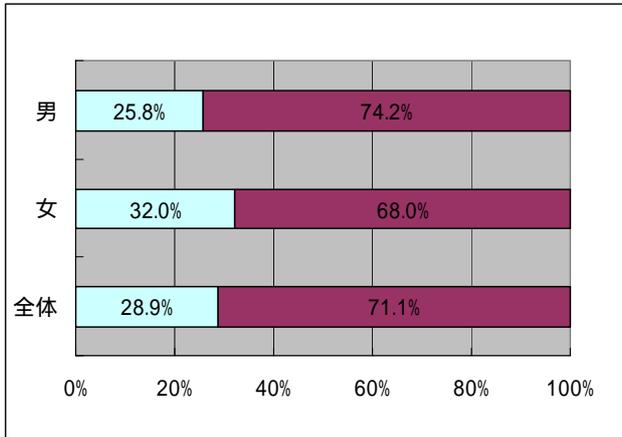


教養教育とは、単に該博な知識を得ることではない。京都大学の全学共通教育では、今生まれつつある最先端の学問に触れ、その世界の持つ意味に触れることによって、それが人間にとってどういう意味を持つかを探求することをも、目指している。そこでは、知識の内容というよりも、知識を生むとはどういうことなのか、どのようにして考えるのか、どのようにして問題を解決していくのかといったことをも、学んでいくのである。

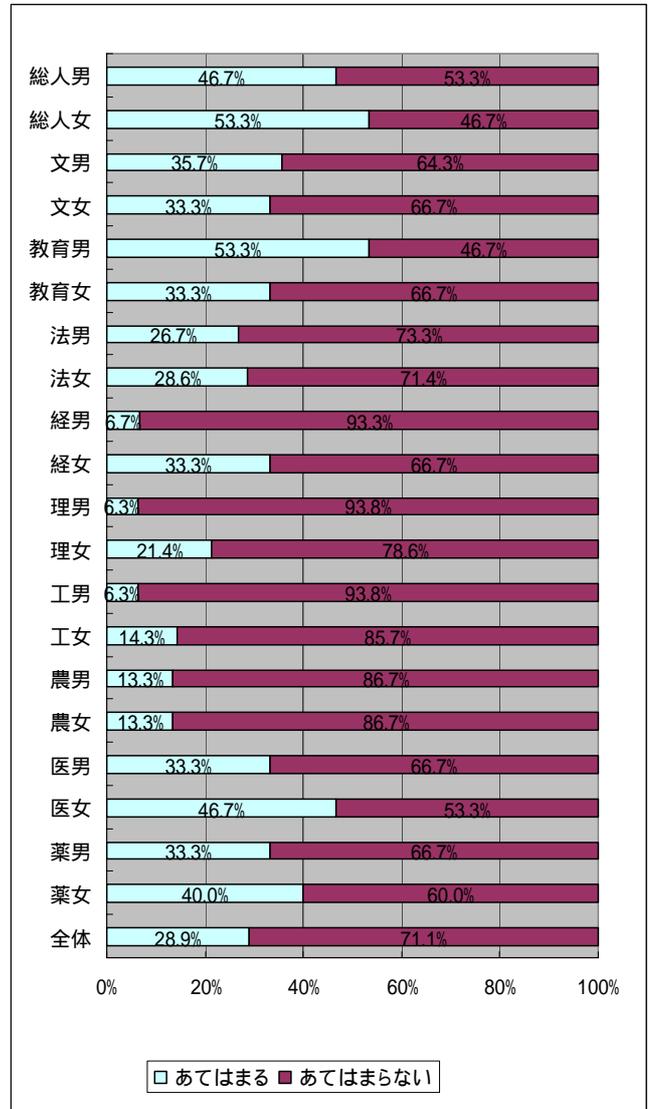
オリエンテーションでも強調されたこのような点に着目した記述をしていた学生は、全体の1割半である。学部別では、総人に多く2割半の学生が、それを意識していた。

18. 全学共通教育で学びたいこと 「人間性や世界観の涵養、人格的成長」を挙げている

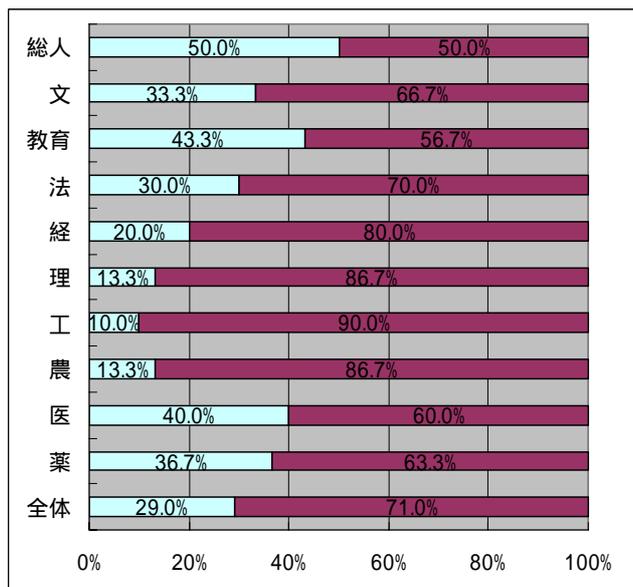
1) 男女別



3) 学部 × 性別



2) 学部別



教養教育の目的はさらに究極的には、「人間とは何か」「世界とは何か」という問いかけに対して考えていくことである。このような人間理解そして世界理解の過程は、同時に自己理解の過程でもある。

このような観点から、全学共通教育を履修したいとする記述は、全体の3割に見られた。学部別に見るならば、総人、教育、医に多い。原文を参照すれば、総人では人間存在についての解明を、教育では他者や世界に対する自分の目を養っていくことを、医では医師としての人格的成長を挙げる記述が目につく。

2. テキストマイニングによる分析

ここまで述べてきたカテゴリコーティングによる分析では、学部別、性別、学部と性のクロス別の分析をおこなってきた。これは、各群の差を見る際には有効な方法である。しかし、この手法から全学の「平均的な」動向を把握することは難しい。というのもこの手法では、学部別在籍数比率や男女比率が捨象されており、必ずしも平均的な学生の姿を示すものではないからである。実際に教員が全学共通科目で接する学生のイメージは、学部による人数の偏りや性別の比率から影響を受けている。具体的にいえば、学部学生の3分の1を占める工学部、そして男子学生の傾向を強く反映したものとなるのである。したがって、学生の平均的動向を把握しようと思うのなら、学部や性の偏りを含む形で分析する必要がある。

大量の自由記述の分析に適切な方法として、テキストマイニング(ワードマイニング)という手法がある。これは、自由記述からキーワードを抽出し、その出現頻度を明らかにするとともに、キーワード間の相関を得てキーワード間の距離を可視化するものであり、大量の自由記述から、直感的に全体の動向を知ることに適した手法である。たとえば、企業が顧客から得た膨大なアンケートの自由記述を分析する際に、近年よく用いられている。

先述したように、Q1とQ2への回答は、いずれもガイダンス終了後に記入してもらっているので、学生は必ずしもこれら2つの質問に対応するように回答を分けて書いているわけではない。ここまでおこなってきた評価カテゴリによる分析では、特定の記述が出現するか否かを見るものであったため、両設問の回答を合成して分析をおこなわざるをえなかった。しかし、テキストマイニングを用いた分析は、両設問を別々に分析することが可能であり、実際そのほうが分析の結果得られる情報も多くなる。ただし、得られた結果において、たとえキーワード間の相関があったとしても、どの程度の割合の学生がそのような回答したのかは、見えにくくなる。

以上のように、テキストマイニングによる分析は、評価カテゴリを用いた分析と補償的であると判断されたため、この手法による分析もおこなった³。

1. Q1「あなたは、京都大学で何を求め、どんなことに取り組みたいですか？」に対する分析

Q1は、学生に「京都大学でやりたいこと」を聞くものである。「京都大学で何を求め」という表現は、「京都大学で自分が探求したいこと」を質問しているとも「京都大学に求めるもの」を質問しているとも解釈可能で、どちらの意味に解釈するかは、個人のスタンスが現れると考えられる。2667名分の有効回答を分析した。

1) キーワードの抽出と頻出度の確認

すべての回答は電子テキスト化され、テキストカッティングソフト T-CAS により文章を意味崩れの

³ 今回のテキストマイニングの分析は、株式会社カレンの協力を得た。

ない最小単位（単語、複合語などの単位）に分割し、キーワードが抽出された。抽出されたワードを頻出順位上位 100 まででソートして示したものが、表 2 である。

表 2 Q1 に対する上位 100 頻出ワード
あなたは京都大学で、何を求め、どんなことに取り組みたいですか？

1	自分	830	31.12%
2	知識	772	28.95%
3	したい	645	24.18%
4	取り	563	21.11%
5	専門	490	18.37%
6	分野	440	16.50%
7	学び	413	15.49%
8	興味	393	14.74%
9	人間	383	14.36%
10	勉強	372	13.95%
11	大学	366	13.72%
12	求め	327	12.26%
13	学問	320	12.00%
14	身につけ	312	11.70%
15	教養	301	11.29%
16	将来	283	10.61%
17	に取り組み	282	10.57%
18	研究	264	9.90%
19	社会	256	9.60%
20	考え	249	9.34%
21	思う	248	9.30%
22	できる	246	9.22%
23	様々な	226	8.47%
24	つけたい	215	8.06%
25	ために	208	7.80%
26	サークル	202	7.57%
27	見つけ	198	7.42%
28	活動	192	7.20%
29	自由	191	7.16%
30	生活	188	7.05%
31	環境	180	6.75%
32	京都大学	163	6.11%
33	学生	151	5.66%
34	深め	142	5.32%
35	今まで	138	5.17%
36	授業	137	5.14%
37	やりたい	135	5.06%
38	特に	134	5.02%
39	広げ	127	4.76%
40	身に付け	125	4.69%
41	世界	121	4.54%
41	中で	121	4.54%
43	深く	120	4.50%
44	視野	118	4.42%
45	多く	117	4.39%
46	学んで	115	4.31%
47	高校	113	4.24%
48	学習	112	4.20%
48	講義	112	4.20%
50	広く	111	4.16%
51	科目	110	4.12%
52	色々	108	4.05%
53	受け	103	3.86%
54	友人	102	3.82%
54	学ぶ	102	3.82%
56	それに	101	3.79%
57	経験	100	3.75%
57	必要	100	3.75%
59	ではなく	96	3.60%
59	に触れ	96	3.60%
61	基礎	95	3.56%
62	技術	91	3.41%
63	しっかり	90	3.37%
64	そのため	89	3.34%
65	成長	88	3.30%
65	問題	88	3.30%
67	科学	87	3.26%
68	勉強	86	3.22%
69	学部	83	3.11%
70	通し	82	3.07%
71	交流	81	3.04%
72	物理	80	3.00%
72	ようになりたい	80	3.00%
74	知り	79	2.96%
74	参加	79	2.96%
76	能力	77	2.89%
77	高度な	76	2.85%
78	高め	74	2.77%
79	外国語	73	2.74%
80	理系	72	2.70%
80	経済	72	2.70%
82	語学	71	2.66%
82	教育	71	2.66%
84	理解	70	2.62%
84	化学	70	2.62%
86	日本	69	2.59%
87	幅広く	68	2.55%
88	目標	67	2.51%
89	挑戦	65	2.44%
90	高い	63	2.36%
90	たくさん	63	2.36%
92	数学	62	2.32%
93	持ち	61	2.29%
94	人生	60	2.25%
95	英語	59	2.21%
96	決め	58	2.17%
97	京大	57	2.14%
97	付けたい	57	2.14%
99	作り	56	2.10%
100	得たい	55	2.06%
100	何か	55	2.06%

2) キーワード間の相関の算出と距離の可視化

次に、キーワード間の相関が計算された。この場合の相関とは、それぞれのキーワード間の共起関係を意味する。すなわち、あるワードが使用された場合、別のワードも同時に使用される確率である。これを上位 100 のキーワードの全ての組み合わせで計算し、多次元尺度法により、キーワード間の相関を 2 次元平面上に可視化した。すなわち、相関が高いワードは近くに配置され、相関が低いワードは遠くに配置されることになる。この分析の結果得られたのが、次頁の図 2 である⁴。

3) 可視化された図にもとづく分析

図 2 によると、頻出順位の上位 2 つの「自分」と「知識」との間に距離が見られ、これら 2 つの語は頻出度が高いものの、同時に出てくることが少ないことがわかる。すなわち、「京都大学で求め、取り組みたいこと」として、「自分」というキーワードを基点として回答している「自分指向」と、学ぶべき「知識」を基点として答えている「知識指向」とに分かれていることを意味している。「知識」に近いワードとして、「専門」「身につけたい」が見られるので、「知識指向」は特に「専門的な知識を身につけること」

⁴ 多次元尺度法に基づく図の軸（次元）自体には、意味はない。空間化するための便宜的なものである。

に重きがあり、「専門知識指向」と命名することができよう。これに対して、「自分」というワードと距離の近い語はない。これは、自分指向の場合、何を指向するかは多様であるということを示している。

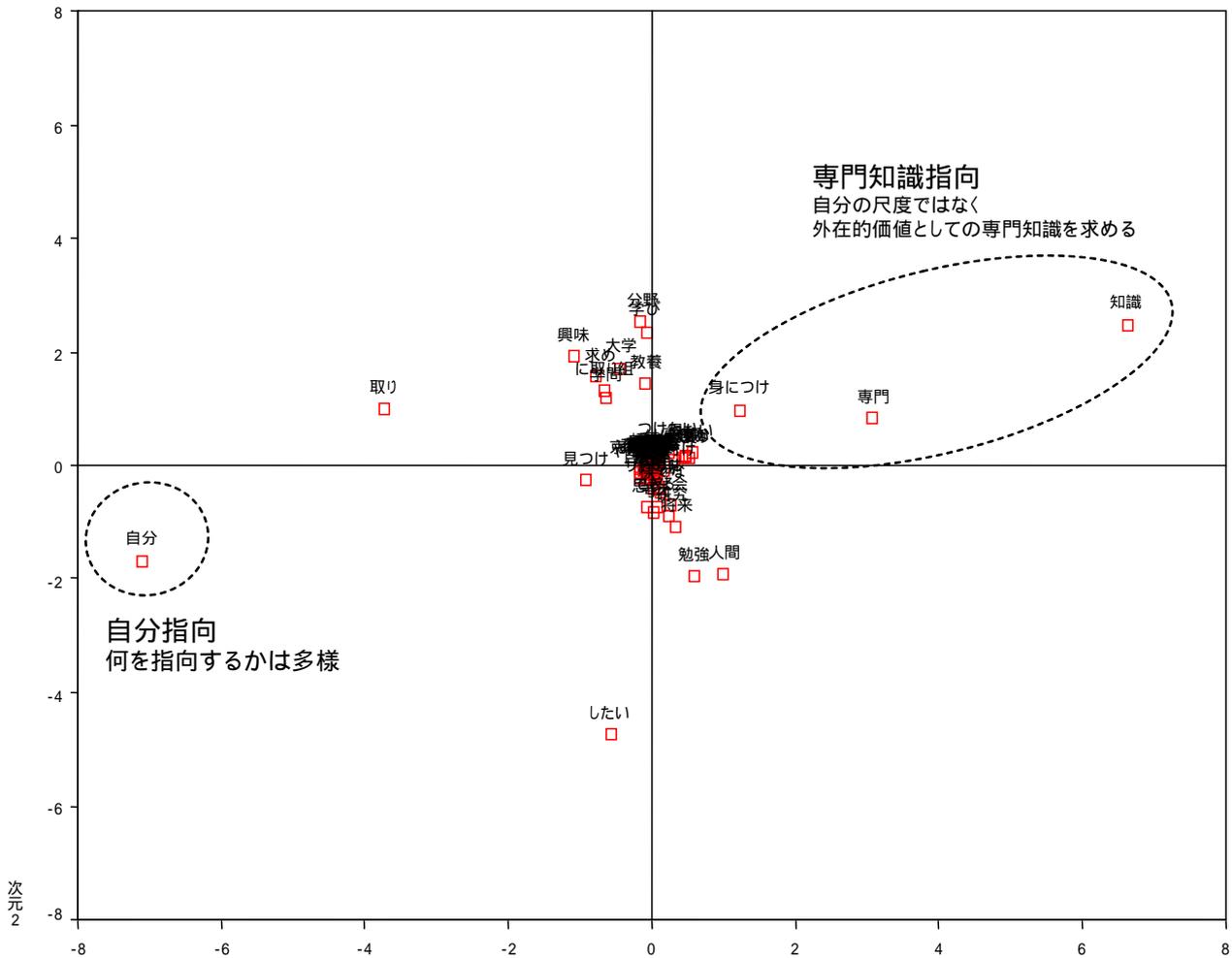


図2 Q1の頻出上位100ワードの位置関係(全体図)

図2の中心に集積しているキーワードを詳しく見るために、中心付近を拡大したものが、次の図3である。

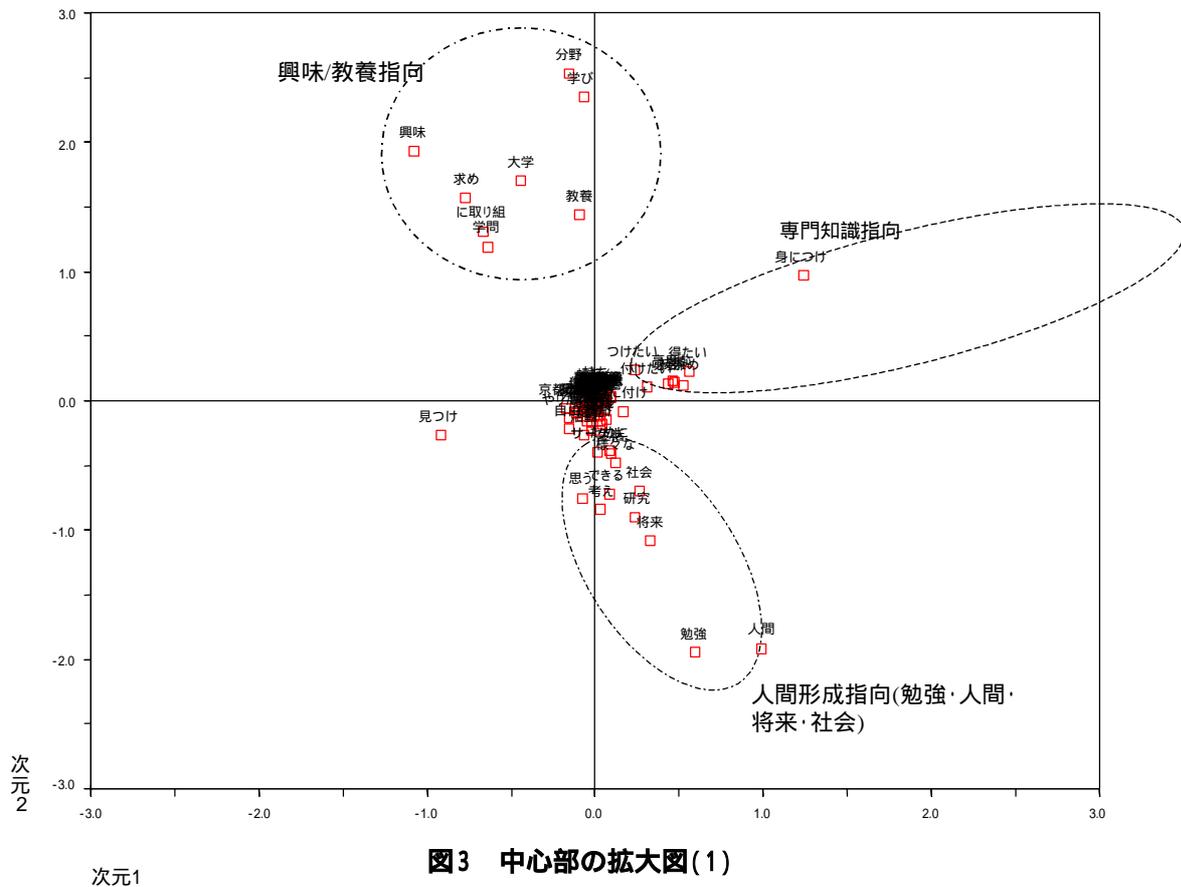


図3を見ると、第4象限に「大学」「教養」「学問」「興味」「求め」「取り組み」「分野」「学び」といったキーワードから形成されるクラスターが見られる。ここからは、「大学では興味のある学問分野に取り組み教養を身につけたい」という記述が浮かび上がる。このキーワード群には、「研究」という言葉が含まれていないので、特定の分野を研究するというよりも、多くの学問分野を学び教養を身につけるといふ教養指向が強く、「興味/教養指向」といえる。第2象限には、「人間」というキーワードを極に、「勉強」「将来」「研究」「考え」「社会」などの語が集まり、大学を出た後の将来を意識して、人間形成、研究や研究をおこなう指向が読み取れ、「人間形成指向」といえよう。

さらに、中心部を拡大したものが図4である。

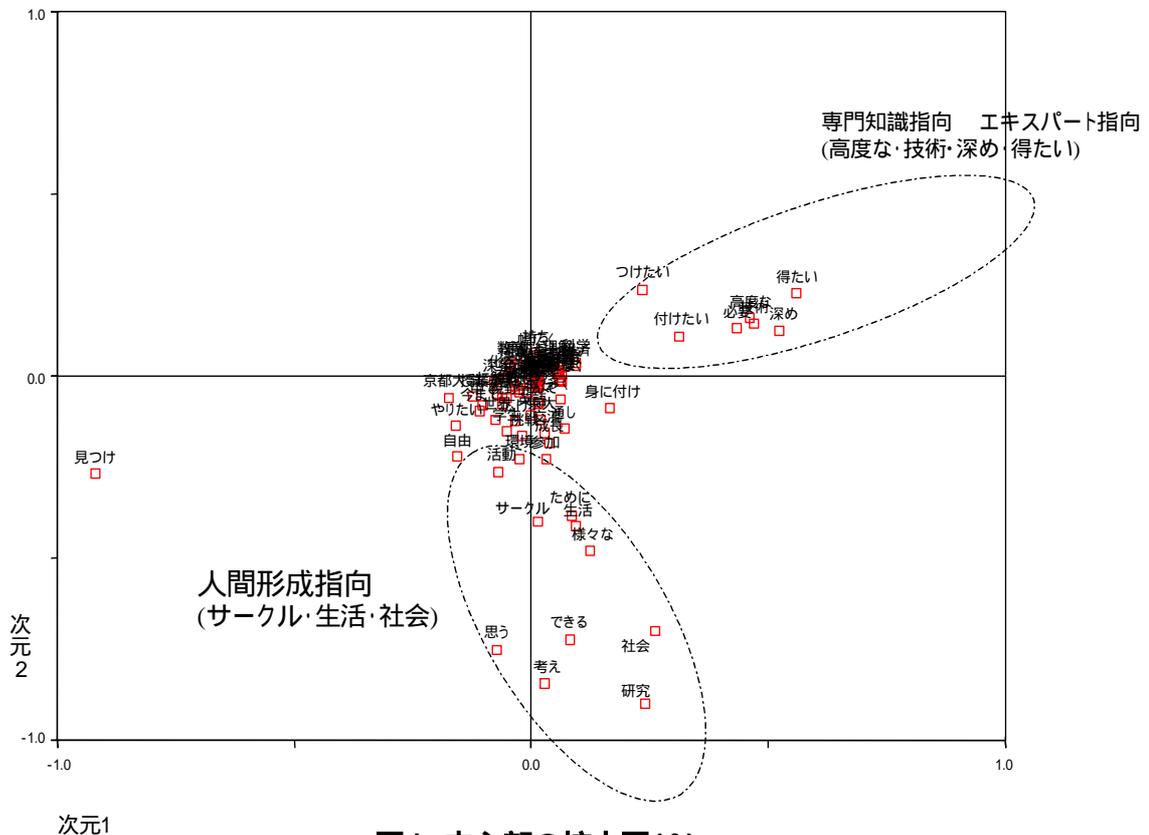


図4 中心部の拡大図(2)

人間形成指向のクラスターに、「サークル」「生活」「活動」「自由」「様々な」というキーワードが見えてくる。すなわち、正課教育だけでなく、サークル活動も含めて自由に様々な活動をおこなうことで、人間を形成し将来にそなえたいと指向していることがわかる。

一方、専門知識指向のクラスターには、「高度な」「技術」「必要」「得たい」「つけたい」などのキーワードが見えてくる。すなわち、専門に必要な高度な技術を身につけるといふエキスパート指向が含まれているといえる。

4)Q1の分析のまとめ

ここまで見てきたように、「京都大学で何を求め、何に取り組みたいか」という設問に対する回答は、大きく「自分指向」と「専門指向」に分かれていた。さらに詳細に見るならば、「自分指向」の群は、大学で多くの学問分野を学びたいとする「興味/教養指向」と、サークルも含め様々な活動を通して人間的に成長したいとする「人間形成指向」の2つの群に分かれることがわかった。また、「専門指向」は、専門的知識を身につける他、高度な技術を身につけるといふエキスパート指向までのスペクトルを含むことが見て取れた。

それぞれの指向に該当する記述を原文より抜粋して、表3に示す。

表3 それぞれの指向の記述(原文より抜粋)

専門知識指向

- 物理、化学の専門的知識を身につけたい。
- 運動科学をやりたくて、京都大学総合人間学部に入ったので、運動科学の専門知識を高めたい。
- ただの趣味を専門分野と呼べるまでに高めたい。

興味/教養指向

- 自由な雰囲気の中で興味を持ったことをとことん学びたい。
- 自分の興味のある分野を好きなだけ勉強していきたい。
- 法律を中心に学習し、また幅広く教養も学びたい。また学業のみにとらわれず、興味のあることにはできるだけ挑戦してみたい。

人間形成指向

- 自分が勉強したことを将来社会に貢献できるように頑張りたい。
- サークル活動を通じ、人間関係を深め、人間的に豊かな人間になりたい。また、当然、司法試験に向けての勉強や、バイトなどにも取り組みたい。

2 .Q2「本日の全学共通教育ガイダンスを受けて、あなたは教養教育として何を学びたいですか」に対する分析

同様に、Q2 に対しても、テキストマイニングによる分析を試みた。有効回答数は、2635 である。

1) キーワードの抽出と頻出上位100語の確認

表4 Q2の回答の上位100頻出ワード

本日の全学共通教育ガイダンスを受けて、あなたは教養教育として何を学びたいですか。

ワード	発言者数	%	34 幅広く	122 4.57%	68 ゼミ	56 2.10%
1 学び	898	33.67%	35 世界	113 4.24%	69 言語	55 2.06%
2 自分	481	18.04%	36 今まで	110 4.12%	70 政治	52 1.95%
3 興味	465	17.44%	36 様々	110 4.12%	71 役立つ	52 1.95%
4 分野	464	17.40%	38 自然	102 3.82%	72 ポケット	51 1.91%
5 科目	393	14.74%	38 教育	102 3.82%	73 芸術	49 1.84%
6 知識	350	13.12%	38 授業	102 3.82%	74 もちろん	48 1.80%
7 専門	299	11.21%	41 視野	101 3.79%	75 やりたい	47 1.76%
8 思う	281	10.54%	42 受け	100 3.75%	75 わからない	47 1.76%
8 社会	281	10.54%	43 つけたい	95 3.56%	75 これから	47 1.76%
10 したい	278	10.42%	44 広げ	94 3.52%	78 法律	46 1.72%
11 理系	268	10.05%	45 取り	93 3.49%	79 A群	45 1.69%
12 文系	256	9.60%	46 思想	88 3.30%	80 深め	44 1.65%
13 哲学	248	9.30%	46 英語	88 3.30%	80 研究	44 1.65%
14 教養	237	8.99%	46 数学	86 3.22%	82 問題	43 1.61%
15 科学	216	8.10%	49 多く	82 3.07%	83 少し	40 1.50%
16 学んで	210	7.87%	50 中心に	81 3.04%	84 主に	39 1.46%
17 外国語	204	7.65%	51 身に付け	72 2.70%	84 文理	39 1.46%
18 学問	200	7.50%	51 講義	72 2.70%	84 知り	39 1.46%
19 考え	197	7.39%	51 学習	72 2.70%	87 していきたい	38 1.42%
20 人間	193	7.24%	51 色々	72 2.70%	87 地理	38 1.42%
21 歴史	183	6.86%	51 しっかり	72 2.70%	89 環境	37 1.39%
22 広く	182	6.82%	56 法学	70 2.62%	90 生き	36 1.35%
23 語学	165	6.19%	56 深く	70 2.62%	91 視点	35 1.31%
24 特に	158	5.92%	58 思い	67 2.51%	91 中で	35 1.31%
25 人文	157	5.89%	59 日本	66 2.47%	93 高め	34 1.27%
26 勉強	148	5.55%	59 生物	66 2.47%	93 持て	34 1.27%
27 心理	143	5.36%	59 物理	66 2.47%	95 とらわれず	33 1.24%
28 身につけ	142	5.32%	62 いろいろ	62 2.32%	95 生活	33 1.24%
29 文化	140	5.25%	63 大学	61 2.29%	95 高校で	33 1.24%
30 経済	136	5.10%	64 化学	59 2.21%	98 一般	32 1.20%
31 学ぶ	133	4.99%	65 理解	58 2.17%	99 物事	32 1.20%
32 将来	124	4.65%	66 入れ	58 2.17%	100 してみたい	31 1.16%
33 基礎	123	4.61%	66 文学	58 2.17%	100 具体的に	31 1.16%

上位100の頻出キーワードは、表4に示すとおりである。「学び」というキーワードの出現頻度が群を抜いて高い。

2) 可視化されたキーワード間の距離にもとづく分析

上位 100 キーワード間の距離を可視化したのが、図 5 である。第 3 象限の右下に「学び」が存在し、他の単語は中心部に集積している。これは、「学び」の出現頻度が圧倒的に高いうえ、「何を学ぶか」は様々であり特定のワードとの強い相関はないことを意味している。

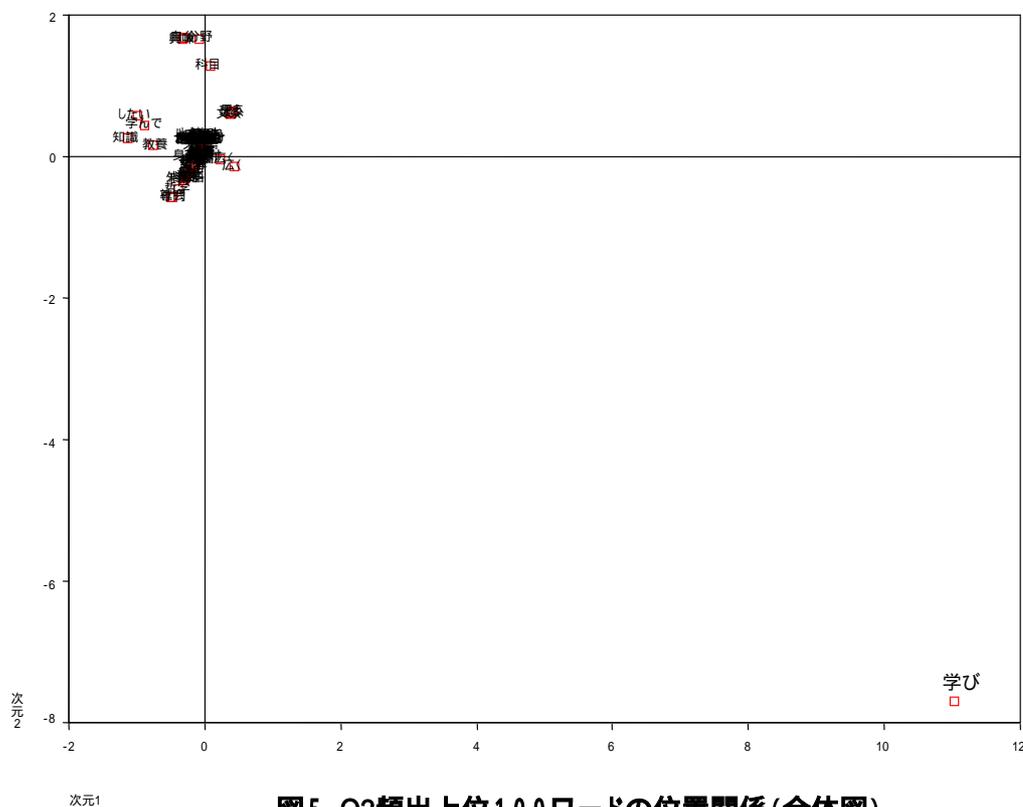


図5 Q2頻出上位100ワードの位置関係(全体図)

中心部を拡大して、埋もれている他のキーワードの連関が見えるようにしたものが、次頁の図 6 である。

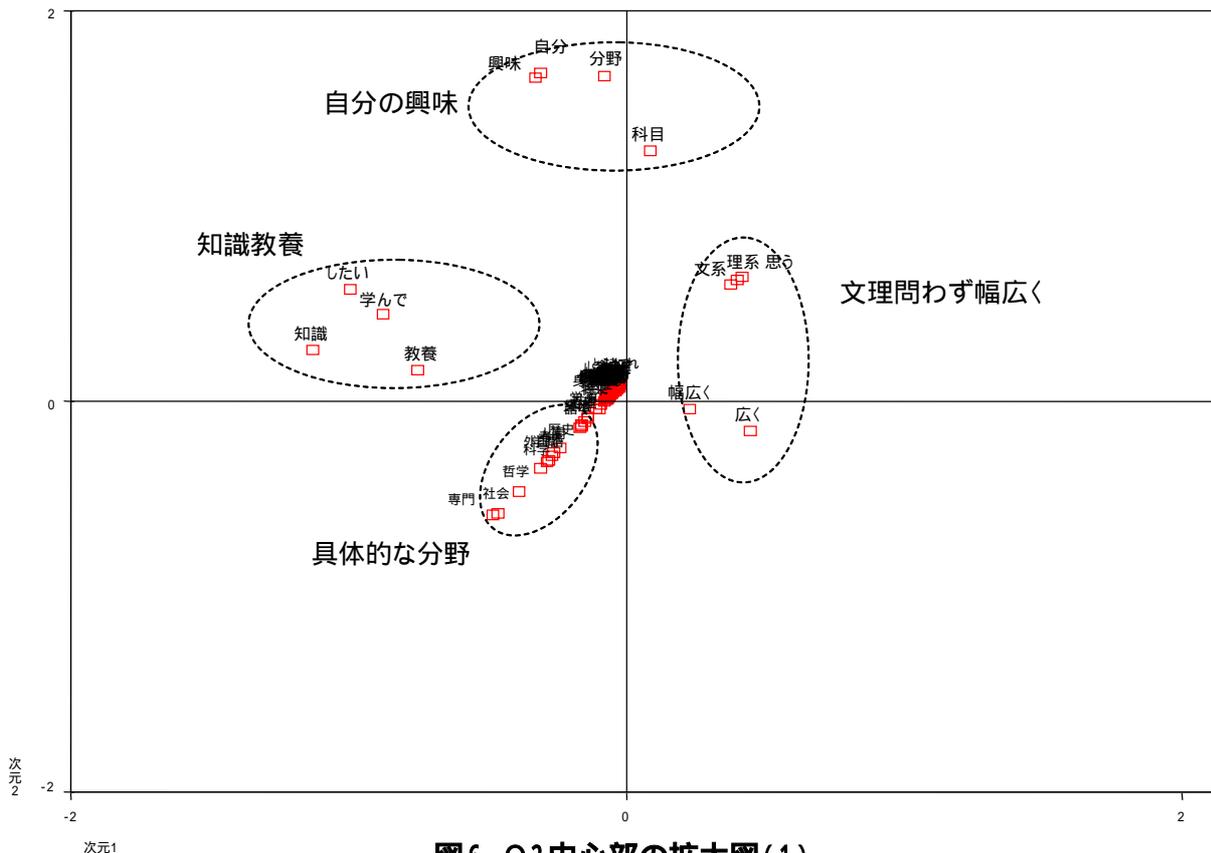


図6 Q2中心部の拡大図(1)

図6を見ると、ほぼ4つのクラスターにきれいに分かれている。「自分の興味」というまとまりは、「自分」「興味」「科目」「分野」という語が「学び」に関連してクラスターを形成しているもので、「自分の興味のある科目や分野を学びたい」という文が浮かび上がる。「文理問わず幅広く」というのは、「文系」「理系」「幅広く」「広く」「思う」というワードのまとまりである。ここで注目すべきは、「文系」「理系」というキーワードがきわめて近くに配置されていることである。つまり両者の共起関係は強く、文系の学生、理系の学生問わず、「文理を幅広く学びたい」と記述していることがわかる。「知識教養」というクラスターは、「知識」「教養」「学んで」「したい」という言葉のまとまりである。これは、漠然と知識や教養を身につけたいという記述、もしくは他の具体的な分野への言及や目的を持ちつつ、教養や知識を身につけたいとする記述である。「具体的な分野」には、「専門」「社会」という2つのキーワードを極に、具体的な学問分野名が集まっている。これはアンケートの原文を参照すると、「専門にとらわれず、社会という大学以外の場を意識しつつ、様々な学問を学ぶ」ということのようなのである。図6では、具体的な科目名が集積し判りづらいため、拡大したのが次ページの図7である。

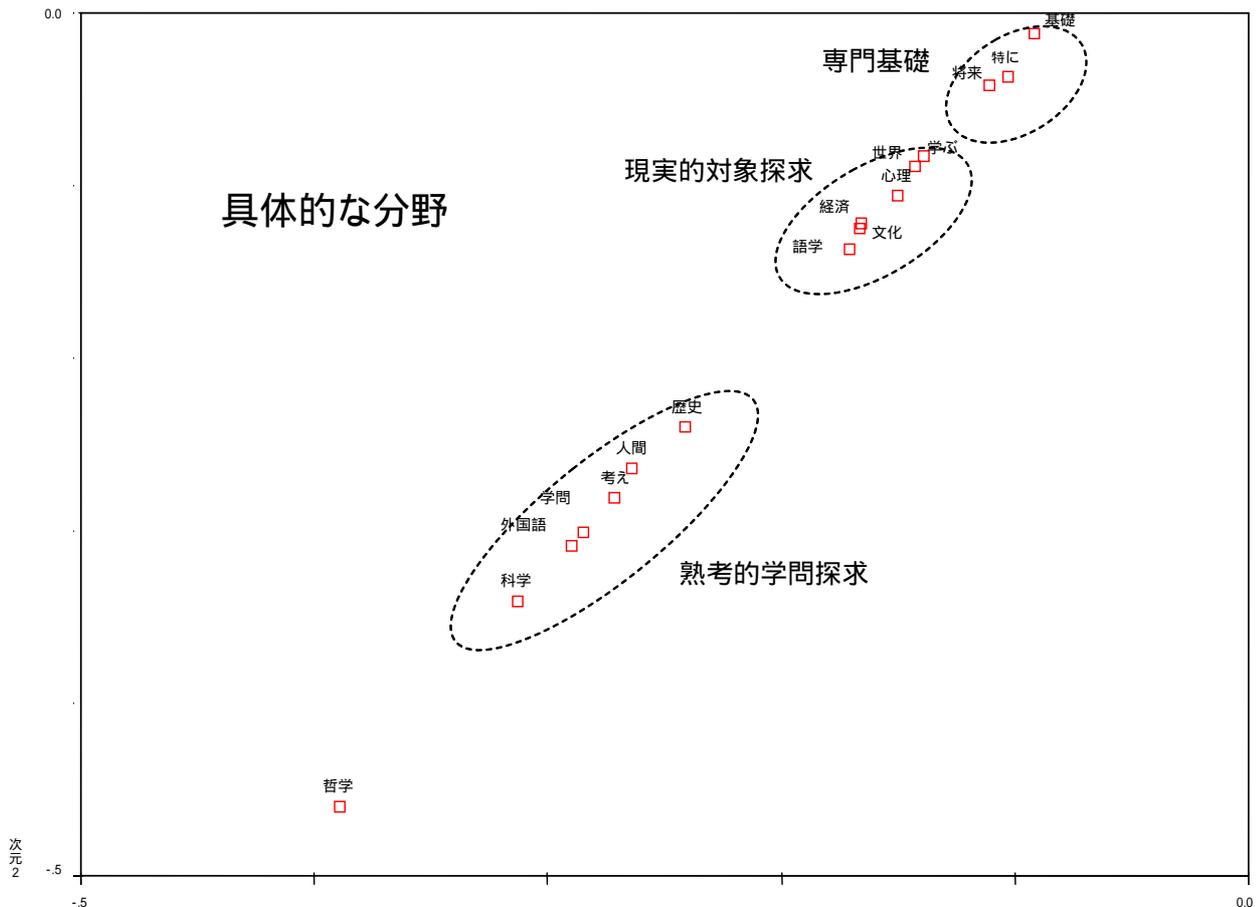


図7 Q2中心部の拡大図(2)

一見して、文系科目が集まっているのがわかる。これは、サンプルに工学部生が多く、幅広い教養の分野として文系科目がイメージされるということもあるが、新入生全体でも、文系科目の学習の期待が高いといえる。

図7に見られる分野名は、ほぼ3つのクラスターを形成している。図をここまで拡大するとクラスターの恣意性が大きくなるが、敢えて解釈するならば、次のようになるであろう。ひとつは、「哲学」というキーワード近くに固まっている「科学」「学問」「歴史」「人間」「考え」「外国語」などの言葉である。アンケートの原文を参照するならば、哲学を中心として、人間の存在を歴史、科学、外国語の学習なども通じて探求したいという姿勢が読み取れる。これは、学問分野に触れることで考える「熟考的学問探求」とでもいえるであろう。次に「世界」「学ぶ」「心理」「経済」「文化」「語学」というキーワードから形成されるクラスターがある。これは、現在の社会や人間の心といった現実の対象事象に興味を持ち探求していく姿勢であり、「現実的対象探求」とでも名付けられるであろう。ここで面白いのは、外国語の学習に関して「熟考的学問探求」のクラスターでは「外国語」というキーワードが含まれていたのに対して、「現実的対象探求」では「語学」となっている点である。すなわち、熟考的学問探求の場合、外国語の習得は人間や世界への理解へ至る道であるのに対して、現実的対象探求の場合それは「語学」として、実世界へ関わっていくための道具として考えられていることが分かる。

もうひとつ現れてきたクラスターは「基礎」「特に」「将来」というキーワードの集まりであり、これ

は、「将来の専門に備えて特に基礎を学びたい」というものであり、専門基礎の指向であるといえる。

3) Q2 のまとめ

以上のように Q2 「教養教育として学びたいこと」として、自分の興味ある分野をやっていききたいという「**自分の興味**」指向、文理問わず幅広く学びたいという「**文系理系を問わない**」指向、漠然ともしくは何らかの目的のため知識や教養を身につけたいという「**知識教養**」指向、学びたい具体的な分野を列挙している「**(文系を中心とする) 具体的分野**」指向とがあるということが分かった。挙げられている具体的な分野としては「哲学」がもっとも頻度が高く、それに近い順から、熟考的な学問を求める群、現実世界との関わりから探求する群、専門基礎を重視する群があることが見て取れた。以下表 4 に、原文の記述から抜粋しておく。

表5 Q2における各指向の記述(原文より抜粋)

自分の興味

- 自分の興味を広げ、かつその興味を満たすこと。
- 文理にとらわれず自分の興味のある分野を最高の水準で深く学びたいと思う。
- 自分には向かないと食わず嫌いをするのではなく、興味のわいたものを少しづつつかじって、本当にやりたくなったら専門的に勉強するための一つのきっかけにしたい。

文系理系を問わず幅広く

- 文系で受験したので、なじみの薄い理系の科目も受講したい。
- 理系はもちろん文系の科目を頑張りたい。特に国際関係のものに重点を置きたいと思う。分野にこだわらない広い知識。もちろん法律に関する専門知識も欲しいですが、理系分野の浅い知識や雑学も学びたいと思っています。文系のみとか理系のみとかそういった偏った人間にはなりたくないです。

知識教養

- 社会に出て就職したときに、様々な問題に対応できる幅広い知識、教養を身に付けたい。特に国際交流に興味があるので、国際系を中心に、国際社会に対応できるような人間になるために必要なことを学んでいきたい。
- 国内、国外を問わず、今まで深く知らなかった社会の様々な問題についての知識を得たい。教養教育としては、地域社会と個人の関係や、国際問題について考えるようなことを学びたい。

具体的な分野 (代表例として「哲学」)

- 高校時代が、民俗学、宗教哲学、歴史、心理学などとともに宇宙開発などにも興味を持っていた。総合人間学部では幅広い分野での知識の探求が可能なので、これらの学問を中心ににより多くの教養を身に付けたい。
- 哲学などに興味を持っているので、自分が蓄えていく教養を、ひいては誰か他の人のため役立てることができたらと考えている。
- 一見、専攻とは全く関わりの無さそうな事を学んでみたい。せっかく京都大学という環境で学ぶことができるので、哲学。

3. まとめと次年度への課題

カテゴリーコーディングによる分析でもっとも印象的であったのは、入学の時点ですでに学部のカラーとでもいったものが存在していることである。入学したばかりの時点では、その学部の持つ文化の薫陶をまったく受けていないのであるから、その学部への入学を指向したということ自体が、すでに学生のその後の学習への態度と深い関係を持っているのである。学生に対する各学部のオリエンテーションは、このような先行的な学生の動向をも考慮したものであるべきであろう。

また、学生は入学時点では、勉学への意欲も高く、文理にとらわれず幅広い分野を学びたいと希望していることが明らかとなった。この高い動機を維持していくために、どのような支援をおこなうのか、どのようなカリキュラムが準備されるべきなのか、どのような教育システムの改善が行われるべきなのかを、検討していく必要があると思われる。当面、今回の新入生アンケートは、1回生の後期の成績返却時に、学生に返却されることとなる。学生自身が、自分の入学時の気持ちを思い出して、決意を新たにしてほしいとの願いからである。

学生の教養教育に関する意味づけは、ガイダンスを受けたにもかかわらず、まだ「幅広い知識を得る」ということにとどまっているくらいがある。幅広い知識は確かに教養の根幹ではある。しかし教養教育とは、単に該博な知識を持つということだけではなく、人類のこれまでの知の集積や、今生まれつつある最先端の知に接することによって、ものの見方や考え方を身につけることを含むということ、そして究極的には、人間とは何か、世界とは何か、自分はどのような存在なのか、自分は何をなすべきなのか、といった問いかけに答えようとするものである。このような教養教育の理念を、折りを見て伝えていく必要があるであろう。

テキストマイニングを用いた分析では、大学での学びに関して、自分指向と学問領域指向の大きく2つがあることがわかった。また、自分指向の場合、その指向する内容は多様であるということがわかった。このような多様な指向は、全学共通教育のシステムを構築していく際に、少なくとも無視することはできない。それに対応するにしろ対応しないにしろ、学生のこのような指向の多様性を意識しつつ、カリキュラムや履修指導の方法を考えていかねばならないであろう。

来年度も継続的に、この新入生アンケートは行われる。来年度からは、Q1はガイダンス前に書いてもらい、Q2はガイダンス後に書いてもらう予定である。こうすることで、学生の入学時の動機がよりはっきり浮かびあがるとともに、ガイダンスの効果等も検証できることとなる。そしてさらには、Q1とQ2をクロスさせた詳細な分析も可能になる。このように、少しずつ改善を加えながらアンケートを継続的に実施し、数年後にはまた、今回のような統計的分析をおこないたい。

4 . アンケート回答

- ・ アンケート用紙
- ・ 以下各学部の提出者全員分をそのまま記載した。
 - 1) 総合人間学部
 - 2) 文学部
 - 3) 教育学部
 - 4) 法学部
 - 5) 経済学部
 - 6) 理学部
 - 7) 医学部
 - 8) 薬学部
 - 9) 工学部
 - 10) 農学部

1. 総合人間学部 (アンケート提出率 96.3%)

Q.1. あなたは京都大学で何を求め、どんなことに取り組みたいですか。

A. 以下のとおり (: 男子、 : 女子)

自己の思想を形成する。

人間の神経や脳を学ぶことを通して様々な機能・はたらきを理解・解明して人間の存在というものを把握してみたい。そして他の分野とのつながりを重視してそこから分野の広がりを感じ、社会に役立つ方法を自分なりに模索したい。

自分の興味のある分野を深く学ぶ。

総合人間学部に入ったのは、文系・理系にとらわれない勉強がしたかったから。京大では他より高いレベルの広い幅の勉強ができる。何のために京大を受験したのかを忘れずに自主的に勉強したい。そして、自分が勉強したことを将来社会に貢献できるように頑張りたい。「利己的な勉強」ではダメだと思う。

京大は“自由”と聞いているので、私は自由にいろいろなことを学び、その中で本当に自分が打ち込めるものを見つけ、それを更に深く学んでいきたい。今まで選択範囲の狭い生活を送ってきたので、大学生となったからには、未知、未体験のことに挑戦していく予定である。

宇宙に行きたい。

学習面では興味のある人間心理・哲学・芸術を中心に深く学び、知識を身につけたい。総合人間学部は理系・文系がともに学べる場なので、文系の私に欠けている理系の知識も身に付けたい。その他には様々な国の留学生とも交流して、国際感覚を身につけ、また日本のことも彼らに紹介したい。

なぜ戦争が起こるのかということを多角的に深く追求し、恒久平和への道を探ることは最低でもやり遂げたい。また余裕があれば、よりよき社会の実現のため他の問題にも取り組みたい。

落ち着いた環境での勉強。視野の広い友人。自分の勉強を広げたい。自分の勉強したいことの方向性を決めたい。

まずは外国語基礎教育等の技術を身につけたうえで、世界規模の問題について自分自身の意見を持ち、自力で行動できるような思考力、行動力を養いたいと思う。

教養を高め、又専門的な分野に進み、頑張って活躍したい。サークル活動なども積極的にやっていきたい。

語学(第2外国語)を修得しながら、政治学、法学、経済学をとって包括的な学問をできるのを求めてきた。

4年間の学部生の時期に、主に学術的教養と語学能力を身につけようと考えています。特に総合人間学部は一般教養科目と専門科目が一体となっており、勉強面での範囲が広いので、いろいろなことを学び、同時に豊かな人格を形成し、留学生との積極的なつきあいをしたい。

幅広い分野の知識と国際社会に通用する語学力を求め、様々な学問の研究、活動に取り組みたい。

サークルで仲間をいっぱい作り、打ち込んだり楽しんだりしたい。サークル以外でも友達をたくさん作って、京大になじみまくりたい。勉強ではポケット・ゼミが楽しみ。今まで学んだことのない学問を幅広く学び、視野を広めたい。知識も広げたい。自分の本気でやりたいことを見つけるためにもいろいろなことに参加したい。挑戦してみたい。4年間慣れっこにならず、常に今の気持ち(新しいことを求める気持ち)を忘れずにいたい。

将来国連で働きたいと思っているので、外国語特に英語とフランス語を話せるようになること。それと国際関係の調整とかをやりたいので、国際関係学とイスラム文化圏の深い知識がほしい。あと工学系の知識も、、、機械いじりが好きなので、、、

求めること：幅広い知識の獲得、視野の拡大、思考力の向上

取り組みたいこと：積極的な行動をすること。学習においてもサークル活動等についても今までの受け身の態度を改善していきたい。

自由な雰囲気の中で興味を持ったことをとことん学びたい。自分が専門とする分野以外のことも十分に知っておきたい。

全国から来たいろいろな人達と、恵まれた教官の方と生活する中で、自分が本当に興味のあることをしっかりと身につけたい。更にそれを深めることで将来に自分のつきたい職業も明確なものにしたい。そのために幅広い教養を身につけて自分の中で選択肢を増やすことから始めたい。

私の中学校の恩師が「人生最大の幸福は素晴らしい人と出会うことにある。」とおっしゃっていました。素晴らしい教官や先輩、友人に出会うことができたらいいなと考えています。

世界にとって有意義であり、役に立つことをしたい。世の中をよくして行くことのできることをしたい。

京都大学に集積された「知」を思う存分に享受したい。

総合人間学部の国際文化学科に入って、現在の世界で起こっている紛争について、単に政治的な解決だけな

くそれぞれの民族の文化的背景を考慮した解決(そう簡単なものではないのはわかっているけれど)に向けた取り組みができるような勉強がしたい。

高校までとは違って、自分の興味のあることについて、思う存分学びたい。時間的、精神的ゆとりの中で人間的にも成長したい。バイト、サークルもかなり心惹かれるが、まず1回生のうちは学問に触れたい。

文系・理系にとらわれることなく幅広く学び教養を身につけたい。留学にも興味があり、外国の文化も体験してみたい。

大学には総合人間学を学びたい。それを通じて自分を成長させたい。同時に教育問題について考えたいし、実際に調査も行ってみたい。

幅広い内容の学問を深く身につけ、実社会で活躍するために必要な知識、能力を身につけたい。

文系で入学したが、目指す将来の姿を考えるとどうしても理系科目の知識が必要になってくるので、文系・理系の固定枠にとられすぎない勉強がしたい。

自分が本当に興味あると思うものが見つかっていないので、これからの人生で自分が自信を持って論じられるものを大学で探したいと思っている。そのためにいろいろな分野の学問に触れたいと考えている。

自分の将来についての展望や目標が現段階では明確に定まっておらず、自分が何に向いているかもわからない状態なので、大学で様々なことを学んで行く中で、自分が生き甲斐を感じられるものを発見し、自分なりの人生観を得たい。

様々な知識を身につけ自分なりの世界観を強化したい。

自分がどのような知識を土台としてものを考えていくかというその基礎を、自分の頭で考えて試行錯誤しながら探し求め、強化していきたいと思う。今後自分で学問していく上での基盤となる力を養いたい。

楽しそうなこと。平和そうになること。

自由に学問をできる環境。

いろんな人との出会い、話がしたい。社会に出る前に、何かについて深く考え、自分の考え方や意見を整理したい。同時に常に変化し続けたいと思う。流されない自分を見つけたい。

講師の方々から提供される高度な知識を、最大限に活かせるように自発的な勉学に励みたい。特に国際社会における諸問題を解決に導く能力を持ち、世界に通用する“国際人”になることを希望しているので、外国語学習に重点を置きたい。また一つの思想、学問的分野に偏らない多角的な見方のできる人間になれるよう得意、不得意にかかわらず、各分野の講義・実習に意欲的に参加したい。

自分の興味あることを追求したい。友達をたくさん作る。教授に質問する。

幅広い知識を身につけるとともに、自分の関心や興味に合わせて専門的で深い知識を身につけること。またいろいろな考え方に触れることで、柔軟で広い視野をもつこと。

将来教員になりたいので、勉強のおもしろさを生徒に伝えられるよう教官に学問の奥深さを教授してほしい。また友人と議論をして自ら学問の楽しさを知りたい。

今はまだはっきりと決めていないが、いろいろなことを知りたい。自由に学び少しでも自分の視野を広げて行きたい。自分から取り組む姿勢を身につけたい。

人間性としては存在としての存在の意義と目的を独善的でない哲学的、社会的、言語的等総合的に捉えること。あるいは、その基礎となるものの会得。特に哲学的。

自分ができないことを全力で。

自分の将来の夢の実現に役立つよう、知識だけではなく積極的に取り組む意欲と態度を身につけたい。更に勉学と趣味と友人関係のつきあいのバランスをうまく保って過ごしたい。

今まで学んだことのないことを学び、又、学んだことをさらに強化したい。いろいろなことに挑戦したい。

京大の自由な学風を生かし、学部や文系・理系にとられず様々なことを積極的に学習していきたい。

いろいろな学問に分野に触れて、そこでどんなことが論議されているのか知りたい。

自分が今後進むべき道を探し見つけたい。そのために様々な分野について学び、狭かった視野を広げ、世界、日本をよく知るように努力したい。また、日本を知るためにも、世界の現状を理解するためにも様々な国の言語、文化、歴史について知識を深めることが不可欠であると思うので、それらについては特に努力して学びたい。京大での勉学を通じて、自分という人間に自信が持てるような人物になりたい。

高校のときのように、文理をきっぱり分断した学習ではなく、文理双方を含む総合的な学習をしたい。学業以外では部活動を通じて広い人間関係を築きたいと思う。

幅広い教育を基盤とした知的で心豊かな人間を目指す。卒業後も自分で学問に触れていけるだけの最低限の方法を獲得する。

クラブ活動

幅の広い教養を得たい。理系・文系の科目にとらわれずに広い教養を得たいと思う。その中でも特に国際交流というものに重点を置きたい。単に語学だけでなく、留学生との交流や、更には自らの留学など世界に通用する国際人になるため教養を得たい。

皆が幸せに暮らせる社会を築くために、何ができるかを見つけない。またそれを追求したい。

取り組むことを一つに絞らず、あらゆることに積極的に取り組みたい。ただ、やるからには中途半端には終わらせたくない。特に心理学に取り組みたい。大学生活を通して自分の生き甲斐を求めたい。(存在価値)

自然環境に関する問題にどのように取り組み、解決していけば良いのかを講義を通して考えて行きたい。

社会で認められているようなものではなく、自分がいいと思えるものに取り組みたい。

理系・文系にとらわれずに、異なる分野を融合したような学問を学びたい。そこから様々なアイデアを得て将来の専門を決めたい。

今興味のあることがいろいろあるので(歴史、生物、美術など)幅広いことをもっと深く学びたいと思い総合人間学部に入りました。文・理両方の分野から人間や環境のことを学んで、願わくは人間存在論等を受講し、人間が世界で共存していくためにどうすればいいかを考えたい。

自分が在学中にやりたいことを早めに見つけて取り組みたい。

物理・化学の専門的知識を身につけたい。またそれに対して実験を行いたい。京都で起こった歴史的な事件などを研究し、歴史的建築物を巡りたい。友人を作り、楽しく充実した大学生活を送る。

幅広い教養と深い専門性を身につけられるようにしたい。まだ漠然としているが、物事をあらゆる角度で見つめ、解決、指導できる人間を目指したい。

様々な学問や人との交流を通して自分の将来進む方向を決めたい。そのために、基礎知識などの教養が必要であり、国際的な交流のために言語や言語文化、地域文化を学ぶ必要がある。

文系で総合人間学部に入ったが、理系の科目の授業も受けて、いろいろな分野の仕事をしたい。

自分がこれから何をやっていきたいのかまだ見えないので、分野によらず幅広いことに取り組んでそれを見つけない。それ故、個々の分野に興味深く、おもしろく、授業に積極的にのぞめるようなものであってほしい。これからの自分を形造る全てです。これまでの価値観や物の見方をひっくり返してくれるような刺激的なきっかけを求めます。今までに触れたことのない分野、興味を持つ科目のより深い所まで様々なことに取り組みたいと思います。

最高の環境で、いろいろなことを学び、最終的には自分が進むべき方向を定め、高度な能力を身に付けたい。自分に自信を持った考えをもてるようになりたい。理系だけでなく文系の科目もしっかり勉強して幅広い教養を身に付けると共に、人間や動物に関わる勉強がしたい。

人間と環境の関係について洞察を深めたい。環境問題に興味があり、それを人文社会科学の方面から研究したいと思っている。哲学、文化人類学、地理学など少しでも環境問題を考える上で関係してくる学問はできるだけ広く学びたい。

まず学問に関して歴史に興味があるので、歴史に関する本を多く読みたい。その際にただ知識を増やすだけでなく、その歴史について、自分なりに考え、多くの人や教授の方々と討論するような積極的な姿勢で取り組みたいと思う。また京都大学の「自由な学風」の中で、歴史以外にも自分にとって打ち込める学問分野を見つけ、多面的なものの見方を身に付け、柔軟な思考ができるよう努力したい。又、京大での学生生活においては、サークル活動やイベントを通じて、多くの友人を得たい。

自主的に様々な分野を学習することを通じて、自分が本当にやってみたいことを学びたい。文理という区別にとらわれず、また将来に活用しないとしてもやりたいことに取り組みたい。

総合人間学部というユニークな学部で様々な今日の問題を広く学びたい。

自分の進路を見つけること。広範囲の知識とそれをつなげて思考できる力を身に付けること。

京大で国際文化、国際政治等について学んでみたい。国際社会がますます複雑化していき、地域紛争や宗教対立などが各地で起こっている原因を探り、解決の方法を考えていきたい。またそのために、語学にも積極的に取り組んでいきたい。

文理の関係なく、手広く多くの情報を手に入れて、自分が将来追求したい分野を開拓していきたい。

大学を終えた後も、研究したり学んだりしたいと思うテーマを見つけ、それに対して自分なりの答えを出せるようになりたい。

高校までのただ国が決めたような教育方針に沿った授業を受け、その範囲内のことを覚えて、テストで点数を取れば良いものではなく、あらゆる分野のプロの講義を受けて知識を吸収し、かつそれを応用できるような力を身に付け、大きな人間になる。

特になし。自分の興味のあることに取り組みたい。

ただ、職業につくための知識を身に付けるのではなく、様々な学問に触れることにより、新たに自分が関心をもてる学問と出会い、その学問と向き合っていくことで豊かな人間になっていきたい。

学問を通じて人間の本質とは何かを追究し、自分で一つの答えを出したい。

まずは英語を使いこなせるようになりたい。その他のことについては、少しずつ自分が何をしたいのかを考えて行きたい。

サークル活動などに積極的に参加して、楽しい大学生活を送りたい。

世界を広げる。

科学全般、総合科学の基礎知識の修得、さらに専門分野の追求、それらを将来の研究に役立てたい。

物事を一方向からだけでなく、多方向から見て、冷静かつ論理的に判断できるようになることに取り組みたい。

学問の最先端に触れ、人間の幅を広げる。

高度な知識を求め、環境問題に取り組みたい。

良い人間とは何か。幸福に生きるにはどうすべきかを知りたい。

自らの教養を高め、さらに人間的に大きな存在になりたい。そのために様々な講義を聞いて、しっかりと自分のものにしていきたい。そして、京都大学は自らを高めるような良質の講義を提供している。

将来、国際的に活躍できる研究者になりたいので、京都大学でそれに見合うだけの幅広い教養の取得の目指し、興味もてるいろいろな学問に取り組みたい。

様々な学問的な刺激を求めており、自ら意欲をもって取り組めることを探していきたい。

課外活動などに積極的に参加し、今までできなかったことに挑戦しているいろいろな経験を身に付けたい。

自己の能力を、様々な面で高めていくことを求めて、学問だけではなく様々な方面の幅広いものごとに取り組みたい。

自分自身の方向性とその延長、一生をかけて追求するに値する知的分野及び吸収・処理・表現する能力の向上に取り組みたい。

運動科学をやりたいくて、京都大学総合人間学部に入ったので、運動科学の専門知識を高めたい。また将来運動科学の最先端をいくアメリカ、ドイツに行くこともあると思うので、英語、希望が通ればドイツ語をしっかりと勉強したい。

幅広い勉強をしたい。

文理を問わず、様々な分野において幅広い知識を得たい。またサークル活動等を通して多くの交友関係を結び勉学とともに充実した日々を送りたい。

幅広い知識を身に付けたい。世界の文化について知りたい。

深い知識

今まで国外へ出たことが全くというほど無かったので、これからはその枠を越えた所まで視野に入れて考えて行きたいと思う。今まで受験勉強で英語を少し学習しただけで、ほとんど外国語とふれあう機会が無かったので、大学に入ったことを機会に、英語だけに限らず、ラテン語なども積極的に学んで、できればその文化や生活の背景なども知って行きたい。そうすることで、今まで一定の価値観にしばられた自分の幅を広げられると思う。

いろいろな分野の知識を取り込んで、一つの分野だけにこだわらないような頭の柔らかい人間になるようにしたい。

語学の向上

今は生物科学分野を学びたいと考えているが、他の学問分野にも知的好奇心のおもむくままに幅広く触れていきたい。大学には学生の知的好奇心をおおるような講義を提供してほしい。

最終的に生物学を勉強したいのだが、そのための基礎にとどまらず、これまでの人類の歴史の中で、どのような知的生産が行われてきたのか、それらが現代の学問体系の中でどのような位置づけをなされてきたのかを学びたい。そしてこうした知見をふまえた上で、生命の本質とは何なのかを探っていきたい。

地理の学習を深めること。フィールドワークに取り組みたい。

様々な経験をして、広い範囲の教養を身に付けて、多角的に考えられる思考力を育てたい。また専門的知識をつけ、様々な活動を通じて、経済的、精神的な「生きる力」をつけたい。いろいろなことを話し合える親友をサークルなどでつくりたい。

自分がやりたいこと、進みたいと思う道を見つける。人間関係の輪を広げる。

バランスのとれた教養を身に付けた人間になること。

日々の生活にこそ本質がひそんでいると思うし、それは事実だと思う。現在具体的な自分の進むべき道という

ものははっきりしないが、京都の地に身を置き、日々人間的な経験、人間的な精神を磨いていきたい。

環境問題について興味があるので、自然環境に関する知識を得て、その対策を考え、実際に行動していきたい。

・国際社会に関する幅広い知識を身に付け自分なりの考えをもてるようになりたい。 ・実生活、実社会で役に立つ英語力を身に付けたい。 ・留学したい。

大学に来て、学問の先端に触れる機会が爆発的に増えるわけであり、それは自分を伸ばせる大きなチャンスとも言える。抜かりなくきちっと伸ばしていきたい。まだまだ今の自分では世界を動かして行く力が圧倒的に足りないから、どの科目とて自分の成長には欠かせないだろう。

具体的に未定ですが、自分の知的欲求を満たし、なおかつ将来につながるような学問を発見し、幅広い素養を身に付けることは勿論、自分の専門をより深く研究したいと考えています。

自分の興味あることを中心に、様々な学問に触れて、自分の認識の幅を広げ、また自分の将来の職業につなげていける専門の学問も学びたい。

自分が本当にやりたいこと、本当に学びたいことを見つけ、自分独自の学問体系を構築すること。

多種多様なすばらしい人々と出会い、交友関係を広げ、人間として大きくなること、そして将来どんな人間になり、どんな職業に就くのが良いのか見極めたい。

やはり総合人間学部に来たのだから、人間の生きる意味というのを、現在の世界的状況や現代心理学などの観点から多角的に探っていきたい。

まだ将来就きたい職業がはっきりと決まっていないので、自分の将来を考える上でももっと幅広い分野で深い知識を持てるようになりたい。文・理どちらにもいろいろなことに興味があるので、京都大学の自由の学風という恵まれた環境で学べることを生かして、これからは興味を持つだけではなく、知識、教養を身につけられるよう精一杯取り組みたい。

・高度な各々の専門分野への挑戦、 ・豊かな人間性の養成、 ・高度な外国語の習得、 ・一つの我を持ち、アイデンティティを確立しつつある。また、他人と接する能力を磨いていきたい。

理想と現実のはざま、全ての幸福

大学においては、将来専攻を希望する分野の学習には勿論、様々な学問に触れ、その一つ一つから専攻に活用できる手法や考え方を学んで行きたいと考えている。そのため京都大学には幅広くこの要求に答えられる高度で質のすぐれた教育の場の提供を求める。

将来環境保全活動に関わりたいと考えています。そのために理学はもちろん日本人の自然観など環境保全の重要性を、他者に伝えるのに有用な学問を学びたいと思っています。

・ボクシングとラグビー、 ・高校で果たせなかった夢

幅広い知識を獲得し、広い視野で物事を極められるようになりたい。

一生学び続けるための準備

京都大学の自由の学風の下で、総合人間学部生として様々な分野の学問に取り組みたいと思う。また理系科目の中で興味のあるものについてはより専門的なものを学びたい。

自分の興味のある分野を好きなだけ勉強していきたい。京大は設備も充実しているので、知識・経験のある教官の方々から様々なものを吸収していきたい。

国際感覚を身に付け人脈をつくりたい。

学問分野に関わらず積極的にアプローチする方法・力を身に付けたい。学校の授業にとどまらず自分で書籍・インターネットなど活用していきたい。

Q.2. 本日の全学共通教育のガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか。

A. 以下のとおり（ :男子、 :女子）

多様な考え方を知り、柔軟な思考力を養いたい。

文系の科目をより多く学んでみたいと思った。

英語、国際的な感覚

自分の好奇心、学問に対する意欲を高めるもの。

語学力とともに豊かな国際感覚を身に付けるように学びたい。また高校までの学問になかったような分野の科目も学びたい。

様々な物事に臨機応変に対応するうえで必要なこと。

ガイダンスを受けたことにより直接的に思ったことはない。受ける前と同様に語学、他国の文化等

物理学的な研究をしたいので、物理を特に頑張る。また高校時代に興味を持った数学を学びたい。A群科目は

これまであまり勉強していないものがほとんどであるが、行動科学はおもしろそうに思った。そのようなものも勉強してみたい。

たくさんの専門的なことを学んでみたい。

高校時代が、民俗学、宗教哲学、歴史、心理学などとともに宇宙開発などにも興味を持っていた。総合人間学部では幅広い分野での知識の探求が可能なので、これらの学問を中心により多くの教養を身に付けたい。

自分の人生の糧となることを学びたい。

社会で役に立つこと。

現在のところ言語を含めた外国の文化などを学習しながら、それを中心に学問を深めて行きたいと思う。後はこの大学で高い成果を挙げている理科系の学問にも興味をもった。様々な学問にふれあっていきたい。

理科系の科目だけあるいは文科系の科目だけに偏らない時間割を作って、文理両方ともバランスよく学習して全ての分野に対応できるような教育を受けたい。

語学

広範な学問分野から、全く未知の学問に取り組み、その科目の知識を身に付けるだけでなく、その課程を通じて自分で理解しようとする基礎問題を、解決しようとする姿勢を身に付けたい。

一つには、各学問分野の手法や雰囲気を取捨する。二つには、自分の知識欲を満たす。三つには、専門につながる分野を学習する。四つには、一見専門と関係なく意外なところで繋がっているといった分野を発掘し、多元的な学問の土台を構築する。

人文地理、統計学、微積分、地球科学、実践英語

系にとらわれず、できるだけ幅広く、様々な分野にわたって学びたい。

心理学、哲学など

自分の興味を広げ、かつその興味を満たすこと。

哲学などに興味を持っているので、自分が蓄えていく教養を、ひいては誰か他の人のため役に立てることができたらと考えている。

主に宇宙、自然などに関する理系科目。以外に哲学、心理学を学びたい。

世界の各地域に根づいた生活、歴史とそれが現在の思想に及ぼしている影響。

教養教育の理念に賛同するところがあって、総合人間学部に入學した。全ての学問が、諸問題に立ち向かうべくあるところにおいて平等であることを念頭に置きつつ、ただの学問の食わず嫌いを避けるようにして、各学問を自分の中で総合していくための学習をしていきたい。

文理の枠にとらわれず、幅広く学びたい。具体的には、経済や国際関係などの社会科学や化学や数学などの自然科学を中心に学ぼうと思う。

まだはっきりと決まっていないが、今まで自分が触れたことのない分野の学問でも、興味のあるものは積極的に履修していこうと思っている。

人間自体について深く学びたい。

未定。本日記られた資料をよく読んで検討したいと思う。

受験勉強とは全く違う、人間を大きくするような教育であると思うので、自分の能力の可能性を伸ばしてみたい。

「人間」について学ぶ目的で、「人間」という素材をよく知るために、文理の違いなく現代社会における様々な学問を学びたい。具体的には文系とされる哲学と理系の数学にまたがる理論学系統、その他諸々。

人間の多様性を受容する能力としての基盤を学びたい。そして幅広い視野を持つ人材になりたい。

人や社会と学問と乖離させないため、より広く生きる基盤となること。おもしろいこと。

初修外国語の重要性を改めて感じた。総合人間学部は4年間で教養教育を受けると言われたこともあるので、「教養」という言葉にはなじみがある気がしていたが、人間として成長するためには、本当に必要不可欠なものだったと思った。私は高校では文系の科目を履修したけれど、理系の科目にもとても興味があるので、文理を問わず幅広い分野、特に大学生のうち高校で全く履修できなかった物理なども、基礎的なことだけでも勉強したい。

“1”にもあるとおり、将来に専攻を希望する分野(生物学)も含め、関連分野(化学、物理学)や興味のある分野(社会学、哲学)そしていくつかは今まで全く関わりのない分野(文学、...)などにもチャレンジしていきたいと思う。

互いに独立しているように見えて、深いところで結びついているもの。

深く広く勉強以外のことも学びたい。

様々な分野に触れて、興味関心を広げたい。

自然科学、歴史、心理学、建築等の今までに興味を持ったことを専門的に学びたい。
言語関係のものとして外国語を学びたい。
経済分野の講義を中心に取っていきたい。又外国語の教育はとても充実しているようなので、気合いが入りました。
外国語と視野の広がるようなこと。
様々な分野で専門家の方々の学問に対する態度、アプローチの仕方を吸収したい。
大学卒業後、社会に出た際に遭遇する様々な事柄に対して、常に正確な判断が下せるような幅広く豊かな知識や人間性を身につけたい。
文系で受験したので、なじみの薄い理系の科目も受講したい。
多分野について、基礎知識を身に付けることによって、複雑化する社会を少しでも広範囲に理解できるよう様々なことを学びたい。そして、また人間的にも成長したい。
国際関係など。
外国語、外国文化などを学び、国際性を身に付け、理系科目の履修で専門的な知識を学びたい。
文・理にまたがって幅広い教養を身に付ける。
様々なこと。
スポーツに関すること。
理系はもちろん文系の科目を頑張りたい。特に国際関係のものに重点を置きたいと思う。
色々な人と分かり合える力を身に付けたいと思う。
自分には教養がないと思っているので、文理を問わず幅広いことを学びたい。モラトリアムの期間を無駄にせず、常に自分を磨いていきたい。
専門的なものに走らず、幅広く学んで行きたい。
好き嫌いのわからない分野を積極的に勉強していこうと思う。
語学を学びたい。実際に会話ができるようになりたい。
過去を学ばずに未来を築くことはできないので、歴史の特に近代史を学びたい。また理科も高校で勉強していた生物、化学を引き続き学び、自然環境に関する知識を得たい。
今のところまだよくわからないが、高校まででは学べないような深く面白い学問がたくさんありそうなので授業内容案内を読み興味のあるものに積極的に参加したい。
物理、化学を学びたい。
教養は幅広く学べるようにしたい。今まであまり追求してこなかった文系科目も挑戦したい。理系科目にはさらに知識を深めるよう努力していきたい。
環境問題や情報メディアに関すること。スポーツ文化などのスポーツに関連する学問。
英語は今まで苦手だったけれど、京大は語学に力を入れているそうだし、自分の教養としても、英語や第2外国語をきちんと勉強したい。
自分は文系であるが、自然科学の分野も興味があるので、文理にこだわらない高度な教養を身に付けたい。
文理を問わず、様々な見解を身に付けたい。
文理の枠をとらわれず、両方をしっかり学びたい。特に語学と自然科学を学びたい。
それぞれ異なった学問分野のそれぞれ異なったものの見方を理解したい。
人文・社会系のみならず、自然科学系の教養を身に付け、様々なものの考え方ができるようになりたい。
外国語と共にその国の歴史や文化に関することを学び、以前から興味があった化学や地学も学びたい。
特に外国語に関し、様々な言語や文化を学びたい。
心理学、哲学、民俗学
自分が興味を抱いていることに、ジャンルを問わずに履修し、それを自分が、主に学んで行きたいことにつなげながら学んで行きたい。特に語学は自分の学びたい分野にも関わってくる。更にその先の将来にも必要と考えるので、しっかり学習していきたいと考えている。
哲学、文明など文系教科と物理、コンピュータなどの理系教科、また経済なども学んでみたい。
どんな種類の話でもある程度聞けるようになる教養。
幅広い教養を通じて、自分の専門をいろんな角度でも考えられるようになりたい。また通じる外国語を学びたい。
人間心理学、文明論（歴史的な）、宇宙物理学などをやってみたい。
人間の奥深さを知る。学ぶことは何かを知る。
理系だったけれど、文系（特に歴史）に興味があるので、学びたい。

理系に進んでも、文系の教養科目を身に付けて、幅広い人間になりたい。

語学を頑張る。

人間が今まで考えてきたことのすばらしさ。思考という奇跡。人間の思考の深み、多様さ。

自分の専門に繋がるようなこと。

文理にとらわれず自分の興味のある分野を最高の水準で深く学びたいと思う。

文理を問わずいろいろ学びたい。

様々な分野の基本的な知識を学びたい。

生命科学、脳科学を中心に幅広く履修していきたい。

国際政治系、環境系、文化・文明論系、登録したからには単位を取ろう。

今日のガイダンスを聞いて、教養といっても「社会に出てから役立つ勉強」という単純なものではなく、専門の教官の話が聞け、「その学問が人間にどういう意味を持つか」を考えるものだということがわかった。将来の実利だけにこだわるのではなく、自分の人間性を深め、世界を広げるためにもそういう学問に興味を持って学び、いろんなことを考えて吸収したいと思う。

普段学ぶ機会のない分野の授業を取り（経済学、理系分野など）将来の知識としたい。

人類に夢と希望をあたえられるようなこと。

主に自分で興味を持っている心理学、哲学、芸術について積極的に取り組みたいし、第2外国語も将来使えるように熱心に学びたい。またポケット・ゼミも是非参加してディスカッションにも取り組んでみたい。

人文・社会科学に興味があり、自然科学系の科目を学べるとしたらこの機会をおいて他にないと思うので、意識して頑張りたい。

語学、文化、社会。自分の視野を広げたい。

教養としてはできる限り幅広い分野を学び、今後に専門分野を学ぶにあたり、その選択の根拠、探求の安定した足場となるものを学びたい。

専門的な研究などの土台となる知識や視野を広げるために、その他様々なことを学びたい。

都市や公共政策論が面白そうだから学びたい。第3外国語もできれば（中国語とか）やりたい。

これまで理系の受験生としてやってきたので、人文・社会科学系の学問（授業ではA群）に興味があり、積極的に勉強していこうと思います。また4年間、あるいは、その後も読書の時間を大切に、授業以外でもしっかりと教養をつけていこうと思います。

語学、文学、理系双方の学問。将来自分に関係のなさそうなものでも、興味のわくものは積極的に学びたい。

・世界史を高校で学びきれなかったことを勉強したい。　・地理、日本史のおもしろそうなもの。

・高校ではなかった　システム論とか、夢分析、経済など、　・少し専門的なことをしたい。　・社会のしくみや、豆知識になるもの、法律や経営など。　・日常で使えるものを多く学びたい。

激動の社会の中において、自分を見失わず、正しい判断ができる深い教養

語学 - 語学を通して、他言語圏の人々のものの見方、考え方を体感してみたい。更に今まであまり触れてこなかった理系科目や、自分にとって新しい視点から身近な問題を考える科目も学びたい。

人間としての幅を広げるために、様々な分野の基礎を学びたい。また、第2外国語を十分に運用できる能力を身に付けたい。

まず英語をしっかりと身に付けたい。初修外国語も自分のものにできたらいいと思う。

自分は、なぜかわかりませんが、歴史が小さい頃から好きでした。まずは、正統的に歴史学を学びたいと思います。

自分で深く考えられる力をつけられるように、また分野の枠を越えたこと。

現在の世界で起こっている紛争について、宗教が不可欠な要素なので、宗教論を無宗教者としての立場から学びたい。その他にも勿論外国語や歴史について学びたい。外国語は第3外国語まである程度使いこなせるよう頑張りたい。

今まで縁のなかった哲学・思想系の科目及び第2外国語にも力を入れたい。更に高校ではさらっとしかやらなかった“歴史”をもっと深く学びたい。

現代に、現実に応用がきくこと。あまり現実から遊離しないこと。以上のことから、文・理問わず幅広く学びたい。

世界の先端をいく、世の中に役に立つことを学びたい。

広範囲にわたる知識と問題に対するアプローチの仕方。

自分が専門としたいこと以外のことについて積極的に学んで視野を広げたい。

積極的でいい意味での貪欲さをもって、自らの希望を為し遂げる姿勢と国際人として自立する実力

外国語、特に初修外国語に興味がある。

今までに学んだことがないような事柄（芸術など）について積極的に学びたい。

考えるヒントとなるようなもの。自分とは異なる人間の考えたこと。

幅広い分野にわたる学問において、内容を体系的に正確につかんで、自分の考え方や世界観を支える力になればいいと思う。又、幅広い学問に触れることによって、自分が特に興味を持つものを見つけたいと思う。

いろいろ考えられそうなこと。

将来役に立つこと。

文系科目に限らず、自分の興味のあることにはどんどん取り組みたい。また特に外国語科目は実際に使うことを重視して学びたい。

全学共通教育の授業は、各学部、大学院の専門家によって提供されるということで、それぞれの専門教養を自分のものにできるように学びたい。

芸術に関わるあらゆる分野について総合的に学びたい。

今まで全く触れることが無かった分野や大学でしか学べないような知識をえることができるもの。

文系的な哲学、思想、歴史、政治、経済等を学び、現在起こっていることの背景を理解し、適切な対処ができるようになりたい。

科目が多くあって迷いますが、いろんなことを広く学びたい。語学も難しいと聞きますが、頑張っただけで会話や、外国の書物が読めるようになりたい。ポケット・ゼミもすごく楽しそうなのでとれたらいいなと思います。一生誇りとして背負っていけるような人間としての内、外面的知識あるいは、経験。具体的に言えば外国語の実用性を伴った学問的修得や豊かな人間関係など。

授業に出てみないとわからない。

将来専門的な職に就くとしても、その専門的知識だけではなく、幅広い知識を持った人間になりたいので、幅広く深い知識を身に付けたい。

今までやってきた英語は読み書きが中心だったので、話す、聞く力をつけたい。語学だけではなく、興味のあることをどんどんやりたいです。

2. 文学部 (アンケート提出率 96.8%)

Q.1. あなたは京都大学で何を求め、どんなことに取り組みたいですか。

A. 以下のとおり (: 男子、 : 女子)

国文学

将来自分がどのような道に進むとしても、確かな糧となるものを得たい。もう少し具体的に述べると、一つは克己心、一つは友人同士のネットワーク。

充実した環境・設備や国際交流の機会の提供を求めます。第2、3の外国語を習得したい。高校までの読み書きに偏った英語学習から英語を話すことにも重きを置いた学習をしたい。

視野を広げ、物事をさまざまな方向から捉えたい。

私は将来研究者を目指しているので、今の漠然とした自分の興味、関心を明確にし、今後一生を通じて学んでゆきたい学問の分野を定めることを第一の目標としています。第二の目標とは勿論、その学問の追求、理解です。第三の目標は、そうした生涯の学問分野以外に自身の人間としての豊かさを深め、周りの人々を理解し得る高い教養を身に付けることです。京都大学は、私の大好きな平安の地にある大学です。何百年もの歴史の香りが漂うこの環境で、授業に能動的に取り組み、あらゆる知識を、そして教授陣の知性を吸収していきたい。自主的に勉強に取り組み、将来研究者として活躍できる知識や教養、思考力を身に付けること。

自分がどのように社会と関わっていくのかその指針となるものを発見していく。あるいは考えていく。

僕にとって、京都大学とはあくまで生活の基盤であり、日常という安定と安心を求めます。それ故特殊なことを取り組むつもりもなく、一般教養や人とのコミュニケーション能力、社会常識、日々の肉体鍛錬といった社会で生き抜くための最低限の力をつけたい。

自分自身の人間性を深めるためにも、まず、学びたい、身に付けたいと考えたことを積極的に取り組んで行く姿勢を確立したい。自分の可能性というものを限定せず、かといって過信することのないよう自らを律し、多くの人と接し、生涯にわたって関わって行きたいと思えるような自分のテーマを発見したい。

人文科学に興味があるので、人文科学系の講義を中心にとりたい。あれこれ手を出すのではなく関心の対象を十分にしばった学生生活を送りたい。

東洋史、特に日本を中心とした史学を学びたいと考えている。歴史を学ぶことで、これからの社会にも通用するような一定の法則を見つけたいと思うからだ。また、民俗学のような民間伝承にも興味があり、ぜひ信頼で

きる教官のもと、フィールドワークなどもしてみたい。

一流といわれている研究に触れ、自分から能動的に知識を得て、考える力をつけたい。

海外を含め、さまざまな地域の出身者とコミュニケーションを取ること。

授業、サークル活動共に自分の興味のあることにどんどん取り組みたい。具体的には、日本史に関するもの。自分の知識を極力深めたいので、高度な授業にも積極的に参加したい。

高校までとは違い授業をただ受け身で受けるのではなく、自分で考え積極的に勉強したいと思う。自分がどのような分野を専攻するのか、何に興味を持っているのかを改めて実感できるようになりたい。

自分が自分のために学問をしているのだということを自覚しつつ、自学自習に取り組み、新たな人間関係の中で包容力ある豊かな人間性なりを身に付けたい。

細分化された分野の知識を身に付けて、ただの趣味を専門分野と呼べるまでに高めたい。(宗教、神話、民話など)資料を読む上で必要な知識も積極的に取り入れたい。

知識を深め、また幅を広げることで自己形成を図ること。またそのために高校時代にできなかったことにも積極的に取り組みたい。

自己の鍛錬、今まで消極的であったと思うのでもっと積極的に行動して、いろいろ新しいことに取り組みたい。現代史を勉強して、現在世界中で行っているさまざまな紛争の原因、解決方法を考えたい。また外国語を勉強して、海外からの留学生と交流したい。また留学もしてみたい。

興味のある分野に関する知識を深めたい。いろんなことに興味を持って、活動範囲を広めたい。

幅広い分野の学問に触れたい。古今東西の名著に触れてみたい。受験のためではなく自分のために学びたい。その他さまざまな面で人間的成長を遂げたい。

文学や歴史など自分の興味のある分野を深く学びたい。さまざまな本を読みたい。外国語を習得し、外国の本を原語で読めるようになりたい。

大学生というある程度時間の余裕がある時に、さまざまな活動(ボランティアなど)を行ってみたい。

自分とは違うさまざまな面白いものとの出会いで、刺激を受けたい。そして自分の新たな一面や、一生懸命取り組める何かを見つけたい。国際関係を学び留学したい。スポーツも頑張りたい。

新しい知識の吸収。部活やサークル等を通じて人間関係の育成。

知的に興奮しまくりの生活を送りたい。そして天下を取る。

幅広い知識を得て、多くの人と交流したい。京都らしい伝統のあることに挑戦したい。

幅広くさまざまな知識を得たい。

学問その他さまざまなことを自力でやれるようになりたい。今は近世文学、特に近松門左衛門に興味をもっている。

一人の人間として自立したい。国語国文学についてよく学び、いろんなことを知ってそれを人に伝えられるような職に就きたい。また勉強ばかりでなく、スポーツ(テニス)にも精を出して良い結果が得られるように頑張りたい。将来を視野に入れた上でさまざまな活動がしたい。

語学力の充実と共に社会、自然科学への理解を深め、現代世界の様相を多元的かつマクロ的な視点で解決し今後の望ましい在り方について考えたい。

多岐にわたる分野の知識の獲得。以前から著作を読み、興味を持っていた教授の授業を受けたい。学問以外で京都大学だからこそできることをしたい。

人生において何をすべきかを見つけること。

勉強に適した環境と知的刺激を求めており、それらを通じて人間的に成長したい。

日本史をより深く学ぶためにこの京都という場所を選んだ。従って伝統ある文化に直に触れ、自らの目でしっかりと捉え、歴史に関する考察を少しでも深めたい。

私は、京都大学に「本当の勉強」を求めて来ました。受験勉強のような詰め込みの勉強ではなく、興味のある分野について広く深い知識を身に付け、また専修分野について自分の夢を叶えるために研究したいと考えています。また、サークル活動などにも意欲的に参加して、人間的に深くなりたい。多くの人と交流を持ちたい。文学系統だけの授業を受けるのではなくさまざまな分野のものを受けたい。そのために京大文学部にきたので、単なる生き甲斐にとどまらない人生を通じて生きる目的を見いだしたい。そのために興味をもてるあらゆる分野に取り組みその中で特に国文学に関してライフワークとなるような研究に携われたら良いと考えている。

自分が興味を持っている事柄を自分で突き詰めて学び、考えられる場と機会それと書籍

これまで望んでいた日本史について専門的な研究にじっくり取り組みたい。それと同時にサークル活動等で人間関係を築きたい。

民俗学を学びたい。しかし、文系に偏らない多角的なものを見方ができるようさまざまな分野において見聞を

広げたい。そのために大学では専門知識を身に付けることは勿論、幅広い分野の学問を学びたいです。個々人によるものの見方、考え方の違いは多々あると思うが、多くの人と意見を交わしあい、自己の考え等をより深めたい。

私は、京都大学で、自立や自由を身に付けていきたいし、学問においてもっと積極性も身に付けていきたいと
思います。勉学にしっかり取り組むのは勿論ですが、サークル活動やアルバイトなどさまざまな経験をしたい。
自分の打ち込める研究対象を見つけ、それに対して幅広く、深く、また多くの視点から学び、能動的に学問に
取り組みたい。また学問以外の面で、人間的に成長し、より強固な精神力、体力、社会性を身に付けたい。

四年間大学に縛られるのではなくて、自分の時間をいかに使うかを自分で決めていきたい。

高校までの学習では、興味のあるなしに関わらず浅く広くしか事物を学ぶことができなかったので、大学では
これまでの学習でぼんやり見え始めた知的探求心の対象となるべき学問を深く学びたい。

求めるもの：人生に彩りを添えるもの

取り組むこと：面白そうなこと。

特になし。

正直まだこれといって集中してやりたいことがわからないので、さまざまな学問に触れてみたい。学問という
ものが、大学の中でだけ行われるという狭い範囲のものとはならず、積極的に人間の思想、生活様式に関わっ
ていくものになれるようにしたい。そのために常に実情との関わりを考えていくべきだと思う。

社会における諸問題に対する自分の意見をしっかり持つために、幅広い視野の修得に取り組みたい。

現在だけでなく過去も含めた世界のことを知りたい。文学、史学に興味があるので、文学や史学の視点から世界
を眺めて知りたい。サークル活動にも積極的に参加して今までにない広い交友関係を持ちたい

史学、文化史、美術、建築、地理学などの基礎を学んだ上で、民俗学の分野の研究をしたい。また一方的なもの
ではなく、学生自身も参加できるような講義・授業を受けたい。

自分の興味ある学問分野についての知識を深め、また人間関係を幅広くしてさまざまな社会的経験を積みたい。

専門的教育およびそれを行う設備・環境 独学では学びにくいことについて勉強するうえでのサポート
「学問する」ということを身に付けたい。

自分の知識を深め、さまざまな人の考え方を知って、自分なりの生き方を模索していきたい。

たくさんの本を読み、議論を行うことによって私が生きるこの世界に関しての多様な観念についての知識を身
に付けるとともに学問の方法論を理解し、多面的な方向からの思考が行える知識人になりたいです。

僕はこれまで「京大」に対するあこがれしかなく、この大学に入ることが目標だったため、この質問にはまだ
答えられません。一つだけ言えるのは、「良い意味での時間の流れが速く感じられるような充実した大学生活
を送れる」ようにしたいということです。

興味があることをしたい。

さまざまな人間の思想世界に触れ、それを自分の中のものとして比較し、それについて考えたり、議論したりして
いきたい。

アイスランドサガ、エッダなど中世北欧文学や北欧ゲルマンの神話について深く学びたい。またできれば奨学
金をもらってアイスランドへ留学したい。

今までのような強制的な授業ではなく、本当に自分が興味を持てることを学びたい。(自発的に) また自由な
時間を多く持てるので今しかできないような経験、アルバイトだったり、クラブ活動だったりしてみたい。

学問は勿論部活動などにも参加し、充実して自立した生活を送れるようにしたい。

自分の可能性、把握、自分の進む方向の把握、心理学、歴史を学びたいと現時点では考えているが、変わる可
能性も大いにあると思う。

多種多様な学問を学ぶことで、自分のものの考え方を豊かにし、さまざまな観点から物事を見る目を養い、そ
の目をもって自分が進むことになる専門分野(まだ決まっていない)に取り組みたい。

自分が研究したいことを自力で進めていくための方法論を獲得していきたい。そして、積極的に新たな知識を
得ようとするだけでなく、その知識から自分が新たなものを作り出せる。そんな勉強がしたい。

深く考え、自分の意見や理念を固められるような学問に取り組みたい。自分の人生を見つめ、自己批判ができ
るような人になることを目標とし、強い精神力を持った人間になりたい。

将来の職業につながる学問。

自分のやりたいことを見つける。本当に頭の良い人を目指す。

自分が自由に使える時間を創出し、多角的に本を読み漁りたい。

幅広い知識を身に付け、考え方の異なる人との交流することを通して自分の生き甲斐や目標を見つけたい。

歴史を学びたい。いろんな人に出会って自分とは違う考え方を知りたい。今世界ではいろんなことが起こって

います。何が起きているのか、どうしてそんなことになるのか、わからないのは気持ちが悪いです。だから色々なことが知りたいです。その知るきっかけをくれるのが京都大学だと思し、そうであるようにしたいと思う。高校まで趣味で、、、と少しかじったような歴史や宗教学を本格的にやって、神(仏でも何でもいいですが、、、)が生まれた理由を探りたい。

総合大学なのでさまざまなことをしたい。いろんな人と出会ってスポーツして一人旅とかして勉強もする。大学院へ行きたいから上回生になるにつれて勉強重視になるかも。

時代に即応した研究を行い、その成果を大衆に還元し、人の役に立てるような人間になりたい。見本のない研究をしてこそ最先端であり得るのだから、京都大学だからこそ与えられる学問の自由を生かしているいろいろ模索していきたい。

指導者側からの強制力なくても自分を律し、目標に向かって躍進する自信はある。都合のいい注文だが、指導者陣には僕が困った時にのみ、適切なアドバイスを頂きたい。それを除けば、この自由な学風に対しての文句は特にない。取り組みたいこととしては、6年間学習していまだにモノになっていない英語、そして新言語としての中国語に重点を置きたい。

社会人への準備段階としてではなく「学生」という生物として後の利益よりも自分の興味のあるものを重視して学びたい。

とことん読書したい。 外国語(できれば2ヶ国)を完全に使いこなせるようになる。 スポーツ 下宿生活を通して、暮らしの術を身に付ける。

自分の興味を持っている分野をできるだけ深く勉強することに取り組みたいと思います。また大学で得た知識を社会で活用することができるように、学んで行きたい。

歴史を中心に専門的な知識を学び、アカデミアを目指したい。またゼミなどを通じてプレゼンテーションの能力、外国語の会話能力など実用性の高い能力を身に付けたい。

知識、教養の獲得 科学的思考の育成 知的好奇心の充足。

自分の人格的基礎となる幅広い教養を身に付けたいが、大学に求めるのは自分の興味の中心を求める哲学思想系の授業のみ。後については本を読み、議論を重ねることによって自分で身に付けて行く。

幅広い分野における一般的教養を修得し、その中から自分が興味を持った分野に関して自分が納得するまで研究したい。学業に加え、サークルなどの活動にも積極的に参加し、先輩、友人と深い人間関係を形成したい。自分の知識を増やし、また興味、視野の広がる講義などを希望しています。学びたいことはまだ明確でないので、自分が専門的に何を学ぶのかを決定し、それについて、主体的に学びたい。多くの人と出会いたいし、その経験を生かしたい。

とにかく自分の知識の引き出しを増やしたい。 難しいことをやさしく言える人になりたい。 生き字引と呼ばれたい。 誰よりもノートとりの達人になりたい。

文化財など美術、芸術にまつわる思想、中国語をきちんと身に付けたい。積極的な姿勢で勉強したい。

自由の学風のもとで、学問をその根底から追求し、常に疑問と批判、鋭い観察力をもって学んで行きたい。専門的な研究にとどまらず、さまざまな知識と教養を複合的に統合した学問を目指したい。

さまざまな問題、意見に対して自分の考えなどをはっきりさせるために、ここでさまざまなことを学び、考えていきたい。

学問の自由がさまざまな点で認められていて、自分の知的好奇心を十分に満たしてくれると思う。受験勉強で忘れていた学ぶ楽しさを取り戻したい。ただ授業を受けるだけでなく、それをきっかけとして自分で学び、知識を深めたい。

中古の文学などをもっと深く知りたい。また古典文学に触れてみたい。

子供の頃、図鑑を開いたときに感じた知的興奮と自分の可能性をもう一度求め、更に京都大学の学生として教養をもとにして、今まで誰も知らなかった新しい知的興奮の対象を発見、あるいは作り出すことができるよう、取り組んで行きたい。

主に歴史・文明系列、地域文化学系列、更には社会科学系列といった分野の学問に触れ、その上で東洋史学を専攻しようと思うが、そのほかにも上記に挙げたいいくつかの分野に関連する学際的な研究に取り組みたい。

哲学、特にハイデガーやサルトルなどの存在論や実存主義について研究するとともに、文学特に小説という手法を通じて哲学を表現する。また自同律の不快を解決するために、未出現世界(虚体)を追求することもしたい。これらを通じて最終的には自分自身が持っている哲学を完全なものにしたい。

幅広い国際的視野、深い教養を持つために外国語、さまざまな学問を学びたい。

専門分野を深める授業をしてほしい。勉強だけでなく、趣味(ピアノを弾くこと等)をも深めたい。サークルにも取り組みたい。

将来の希望の仕事(マスコミ関係)に役立つような広い立場から物事を見ることができるようなことを学びたい。また友達を作って自分の好きな活動をしたい。

独文

哲学について勉強したい。さまざまな知的興奮を味わいたい。

単に人文科学系の分野に限らず、多くの分野の知識を得て、さまざまなものの見方を身に付けたい。厳しい思考訓練を自らに課したい。文面だけの勉強のみならずフィールドワークを重視する学び方で、常に新鮮な知的好奇心を持ちたい。

私は多様なものの見方ができる確固たる主観の養生を目指している。また学問分野としては歴史学や考古学を学びたい。部活にも力を入れる。

僕は人文系の学問は、京都学派と呼ばれる独自の学風があることを知り、本学へ入学することを希望しました。今、流行の心理学を初めとして哲学、倫理学など人間存在の根本について学んでいきたいと考えています。また、日本語学にも興味があるので、それらの方面の知識も合わせて強化していきたいと思っています。

整った環境の中で授業に積極的に取り組み、知識を増やし、社会に通用する人間に成長したい。特に歴史学に力を入れたい。またクラブ活動に力を入れたい。

人間の存在理由、人間の本質とは何かについての研究・探求

他人との関係の中における自己を見つめ、自分と言う人間をより理解したい。

知らないことを知り、知識を深め、価値観を広げたい。興味のある分野(近世美術)について研究したい。多くの人と触れ合いたい。

日本の歴史に関する研究がしたい。特に古代に興味があるので、考古学を学びたい。神代と古代の関わりについて、古事記、日本書記などの古文書講読によって詳しく学びたい。基礎的な能力、知識が身に付いたら、邪馬台国論争、著墓古墳など課題を掲げて研究したい。他に八幡神信仰なども興味があります。大学卒業後は大学院に進みたい。

できる限り多くの本を読み、考え、そして書く。英語の読み、聞き取り、そして話せるようになる。また英語以外でもう二つの言語をある程度読めるようになる。

具体的にはまだ思い浮かばないが、これからいろいろな講義を受けて興味を持てるものを探し、学んでいきたい。自由が与えられるということなので、社会経験を積むこともしていきたい。卒業するときに京都大学を十分に学んだと思うといいと思う。

自分が何をやりたいのかを見つけない。楽しいという考えがあまり持てないので、打ち込むことのできることを見つけたい。また自由に使える時間が沢山ありそうなので、積極的になって多くの人と交流したり、いろいろな経験を積んだりしたいと思う。他の大学にはないような何でも自分で決めるという学風を良い方向に利用したい。

自分に合ったものを見つけ、自分にも人にも役に立つことを獲得したい。そのためにできるだけ多くのものに積極的に触れたい。

何かのめり込める学問を見つけない。一生をかけられるもの、生き方を変えるものに出会いたい。

自分の頭で考えられるようになるだけの知識と経験。自分で自分を狭めることは避ける。

私は頭の回転が非常にとろい。教養も何も無い。せめて教養だけはつけておきたいよね。じゃ教養って何だろう。人間共通の知識だろうね。私にはそれがないのです。教養、教養。大学は大学。学ぶところです。

サークルや部活動を通じて友達をたくさん作る。勉強も好きなことをじっくり学んで、充実した大学生活にしたい。

専門的な知識を得て、今までに学習したことのない分野の勉強をしたい。

学問を求め、学問に取り組みたい。

外国語を中心に勉強して、国際社会で対等にやっていけるようになりたい。サークルなどで対人関係を上手に処理できるようになりたい。

今までの教科の枠にはまった学習形式ではなく、幅広い分野を積極的に視点や価値観を広める豊かな学習を目指したい。特に、国際理解や外国文化に興味があるので、異文化を知るにはまずその国の言語習得が大切なので、外国語の勉強にはことさら力を入れたい。

かねてから歴史に興味があり、学びたいと思っているので、京都大学では高度な教育と長年培われてきた学問の洗練性を求めたいと思う。そして歴史についての教養と理解を深め、とりわけフランス近代史のナポレオン時代について徹底して研究したい。(具体的には原典講読や現地訪問)

京都大学は自由で自分から学ぶことを目標にしているというので、自主性を持っているんなことに挑戦したい。私は「人間とは何か」「世界とは何か」など人間なら誰でも持っている疑問について考えたり悩んだりする哲

学という学問に興味があるので、主に哲学や思想史などを勉強したい。またそれらの疑問の答えとして昔の人達が作り出した神話の研究もしてみたい。それに加え、語学の勉強もしっかりやっていきたい。特に今まではReading, Writing が中心だったので、Listening, Speaking に力を入れたいと思います。また積極的に行事やサークルに参加して充実した大学生活を送りたいです。

勉強だけでなく、バイトやサークルを頑張りたいです。

学問の意義、私自身の存在意義、日本人の存在意義、日本の存在意義、日本独自の思想、精神文化の根底に流れる脈を掘り当て、本質を引き出す、生み出す、真のリアリテックを持ったもの 現代社会、日本社会、国際社会（の中の日本）に還元し、命ある力に変えて、貢献していけるように私自身の心身を使って。

日本の固有の歴史、文化、思想をふまえて現代日本を考え、国際的な視野からこれからの日本の在り方を考えていきたい。自分の限界が見えるところまで勉強したい。

具体的なことは自分の中ではまだはっきりしていないので、とにかく前向きに積極的に行動して目標を早くつかみたい。英語の洋書をたくさん読みたい。

偏った一面的な見方にとらわれず、できるだけ多様な経験を積み、多くの人と触れ合い、またその意見に耳を傾けることを通して、幅広い分野における知識を養い、物事を多面的に深く洞察できる思考力を鍛えたい。

私は京都大学がその根本テーマとしている「人間とは何か」という問いに対し、先人の考えを学ぶ中で、自分なりに思索を重ねて行きたいと思っています。「人間が人間らしく生きる」ためには何が必要なのか。獲得した知識を駆使して人類の生活を見直し改善してゆくのが生涯の目標です。大学院への進学を考えていますが、大学4年間と大学院修了だけで、「人間とは何か」という大きなテーマを理解できるなどということは思っていません。大学では「学ぶ方法」を学びたいと考えています。

専門的知識を吸収し、うまく活用したい。

自分の将来やりたいことを見つけたい。

以前から人文科学系統の学問には興味を持っていたが、興味の対象が歴史、地理、文学、哲学等広すぎて今になっても一つにはしぼれていない。京都大学へ入学しようとしたのは、ここで自分が生涯打ち込めるような専門分野を探ることが第一です。また小、中、高等学校の教育は不満や疑問点が多く、なかなか真剣に勉強できなかった。自分は今までで他人より基礎的なこと、例えば英文法などをおろそかにしてきた感があるので、改めて直したい。

幅広い分野の知識を身に付けたい。個性的な学生や教授が多いと聞くので、さまざまな人と関わって広い視野を持ちたいと思う。将来のためとしては、語学をしっかり身に付けたい。

教養を深め、さまざまな経験をして人間として成長できるような講義・活動、特に面白くてためになる講義を期待しています。

専攻する学問を決めて、積極的に取り組み、将来的には研究者になれるように励みたい。

学問の分野に限らず、すばらしい人生経験も沢山したいと思う。何に取り組みたいかは未定なので、自分が何に取り組みたいかをまずはそれを知りたいと思う。

・自分の知識を広げたい。文学、歴史など好きな分野と、他にも社会的にも。

➤ 世の中の流れに適應できる力をつけたい。

➤ フランス語を話せるようになりたい。

まだ将来の職業について考えている途中の段階ですが、選択肢の一つとして国際公務員を考えています。だから、国際社会で力を発揮できるよう十分な語学に関する力をつけたい。京都大学は語学に力を入れやすい環境が整っていると思うので頑張りたいです。

自分の能力を高め、人間性を磨くとともに世界に対する視野を広げて社会にできるための準備をしたい。

国際社会で通用するような語学能力、教養、また授業や議論などによって自らの考えを確立し、かつ積極的に述べる能力を身に付けたい。国際社会に興味があるので、それに関した活動や学習を積極的にやっていきたい。

強制されることなく、自由に学べる雰囲気を生かして、視野の幅を広げ、できる限り多くのことに興味をもっていきたい。勉強と並行してサークル、バイトなどで交流を広げ、精神面も養っていきたい。

求めるものは自由、受験勉強とは違う勉強。取り組みたいことは、読書、サークル。

フランス語習得、自主的な学習

さまざまな分野の学問を広く学ぶことができるという京都大学の特色を活かし、広範にわたる教養を身に付けて自分の感覚を磨く。

専門分野の豊富な知識及び国際交流を身に付けたい。サークル（運動）活動や社会常識を得たい。

美学、美術史学について学び、芸術に対する知識を深めたい。自主的に美術や哲学、言語について勉強してい

きたい。歴史についても学びたい。

国際社会で活躍できる人物になるため、広い視野を身に付け、語学力も高めたい。京都大学は規模の大きい大学なので、色々な人と出会い、刺激を受けたい。

文学部を志望した理由は、文化を研究するにあたり、地域として、また大学として古くから伝統を育んできたところで、その伝統に直接触れながら学んで行きたいと考えたからである。従ってこれからの大学生活の中では、積極的に文献や史料を用いて文化を学んで行こうと思う。ただ、自分の学びたいことが、漠然としているので、教官の方との対話の中でしっかり決めたいと思う。

教職を目指しているので、現在の教育の在り方、特に自分の世代が受けさせられてきた「ゆとり教育」が批判を受けている現状からして21世紀の教育はどのように変えていけばいいのか、その方向性について、教授のかたの講義から自分なりに見つけることができたらいいと思っている。

幅広い教養が身に付けられるようにしたい。そのために興味深い講義を数多く提示していただけたらと思う。自分自身としては、積極的に授業を受けることから初めて行きたいと思う。

社会生活でも私生活でも役に立つ教養や、自分の専門分野において、他の人にはないような独創的な思考ができるようになることを求め、それらの教養や思考を用いて、自分の生活を豊かにし、社会に貢献していきたい。これまでの、ただ教師の言うことをボーッと聞いているだけで理解できた内容とは違う本気で頭を使って考えなければ理解できないような高度な講義を受けて見たいと思った。しかし、それと同時に、どれだけ頭を振り絞っても理解できないものに出会うこともあるだろう。今までとはそんな経験はなかったから半分不安、半分楽しみである。

社会学を学んで世界を広く見通せるようになりたい。

自由に好きなことを学べる環境。その中で勉強にもサークルなどの活動にも積極的に取り組み、充実した大学生活を送りたい。

前から興味があり、つきつめて研究してみたかった「英語学」や「英文学」に積極的に取り組みたい。同じことに興味を持つ人達と討論し、専門の先生の話も聞いて、自分の好きな分野のエキスパートになりたいと思う。また、それに限らずさまざまな分野についても知識を増やしていきたい。

より高度な知識を得て、考え、自分の思うような自分独自の学びをしたい。ただ、勉強だけではなくその他のいろいろな活動もやって自分を高めたい。

質の高い講義を受けてしっかり勉強します。でも勉強だけではなくいろんな活動をしたいです。

卒業するときに、自分はこれを学んだと自信を持って言えるような事柄を一つでも多く学べるようにしたい。また、今まで触れる経験のなかった学問分野で興味のあるものには積極的に取り組みたい。今のところやりたいと思っているのは心理学です。

学部、学科にとらわれず幅広い知識を身に付け、その知識を有効に扱えるような能力を身に付けたい。同時にある分野についての専門的な知識を身に付け、研究に携わりたい。

「人間」として、全般的に成長したいと思う。まずは文化系の幅広い知識を身に付けるために、自分から積極的に授業に取り組みたい。また授業以外にも生活全般で、興味を持ったことにはどんどん取り組みたい。京都大学には私の好奇心を刺激し、満たしてくれることを期待します。高校時代とは違い主体的に学ぶことができるようになりたいと思います。

・一生研究でき、生き甲斐となるような学問

➤ 社会や人の役に立つ学問、仕事

➤ 大学時代にしかできない経験

まず文学部の中で一番興味を持てる系統やテーマを見つけて、深くその思想や世界に入り研究したいので、自分が深く入り込むべき思想や学問探しに組み込みたい。だけど、一つのことに入り込むだけではなく、部活に入り、偏狭な人間にならないようにしたい。

知の生命力ともいべき創造性を絶やさず、知の体得が生きる喜びへとつながるよう精進したい。 - けれどできるかなあ。

特に宗教の本質、また宗教の現代社会（世界・日本）における必要性について知りたい。

「ことば」に興味があって入学してきた。文学部に入学したが、「ことば」といってもさまざまなアプローチが考えられ、それは必ずしも文学部（人文学）の領域ではないだろう。脳内での言語発達の過程、意志を発露（あるいは意識を形成）する手段としてのことばなど、学問境界を飛び越えた幅広い教育環境を期待している。私は京都大学で学ぶことによって、自律的な人間になりたいと思います。自ら積極的に大学の授業で学んだことを吸収して、自分を磨きたいと思います。そのためにまずは幅広い視野を身に付けたいです。

現在の自分が生きている「時代」について日本を含めた世界の歴史、外国語、地理的条件を学ぶことによって

探ってみたい。

面白い学問をしたい。・科学哲学系？、言語学系？、史学系？

国際的な諸問題に対し、直接現場で取り組むことができるための語学力と教養、判断力を養いたい。

今まで義務教育とその延長上で学んできたが、大学では自主的に責任をもって、かつ自由な心で勉強していき

たい。そして、知識を得、知恵を育み、容量の大きな人間になりたいと思う。

哲学を学び、また自分の考え方を広げるために、さまざまに異なる考えを持つ人々と交流したい。

1回生の間は、さまざまな分野に手を出してみ、1年間かけて自分が一番興味を持てることを見つけようと思

う。文系、理系という枠にとらわれることなく、いろいろな分野に手を出せることが、京大の大きな特徴だと思

うので、それを最大限利用したい。

いろいろな視点、考え方を知り、先入観や偏見を持たずに今起こっている事象、歴史上の事象について、見て、

考えられるようになりたい。そのために、さまざまな人の話を聞き、一冊でも多くの本を読みたい。

・一人ではなかなか勉強しにくいことを学ぶ。

➤ いろんな学問に直に触れること。

➤ その上で一番やりたいことを決める。

言語、文学系の研究（美術史含む）より詳しく、深い内容であることを期待する。科目の多さに驚いて、何を

するのかということは今でははっきり述べることはできないが、どの分野を勉強するの

についてもしっかりと方向性を持ち、なぜその分野を勉強するのかということ

を考え続けて行きたい。何よりも勉強を中心にしていきたいと言えばキザに聞こえるが、性格、環境などを考慮すると、勉強が一番適していると思

う。サークルには入らない。二年後、三年後にはさまざまな問題に対して、自己の見解を述べる

ことができるようになっていければいいと思っている。また大学院進学も考えている。

卒業できる程度の単位を求め、不断の努力を念頭に置きつつ、パラドクサな世界に命を賭けても理解すること。決して勉強だけができる人間になるのではなく、協調性、他者への思いやり、社会にでも通用する教養やリーダーシップを身に付けたい。そのために授業に出席するだけではなく、課外活動やバイトを積極的に

行い視野を広げたい。

まだよくわからない。だけに、もしわかったときに諦めなくてもすむように、時間、労力、見識の充実をはかりたい。やる「べき」ことがあればそれもしようと思

う。

他の場所では修得できない高度な学問・思想

自分は考古学、それも日本国内ではなく、中南米あるいはヨーロッパの考古学をやりたいので、まずは基本的な考古学に関する知識を得て、どういった機関や大学がどのような研究を行っているのかという詳細な情報を集めて、将来的な研究を目指して勉強していき

たい。

人生を豊かにするために、知的探求、友人との交遊、自分の中にある哲学的な問いに対する答えを見つけることや心理に関する研究など、とにかく興味のあること全部をやってみたい。いろいろな人の話を聞いて、さまざまな考えを知りたい。そして人間的に成長して、自分のことを最高に好きだと思えるようになりたい。

日本語の表現、会話、伝達等の能力の向上を求め、現代の日本語だけでなく、平安時代等の古語の読解等の修得に取り組みたい。

自分の興味のある分野を積極的に取り組みたい。特に創造、表現、行為や歴史的なこと。他大学ではできない京大だからこそその講義を受けたい。自ら学ぶ態度で、人間的に成長できるよう己の決めた学問を修めたい。

まず自分が気力、体力、時間を費やすだけの価値があると思われるものを見つけたい。そして自分が学んだことを社会に還元できるまでに高めたい。

高校時代、勉強と部活という狭い中で生活してきたので、さまざまなことに挑戦し、見聞を広めて行きたいと同時に、一つのことに打ち込みたい。矛盾するようだがその時間と機会を京都大学は与えてくれると思う。

いろいろな角度からものを見ることができるようになるために、いろいろな学問や人に接していき

たい。

自分のやりたいことをやりたいだけしたい。今までは規制が強くて挑戦できなかったことに挑戦したい。やれることは何でもする。

自分の知的好奇心を満たすこと。自分への限界の挑戦

今自分の持つ知識を深め、その上に新しい知識を積み重ねていき

たい。

卒業後、総合文化誌制作に関わりたいと思っているので、そのために必要な語学を身に付け、また幅広い分野について見識を深めたい。大学院進学については検討中だが、したいと思っている。

京大自慢の自由な校風にとことんお世話になり（なかば“放縦ぎみ”）フィールドワークを武器にさまざまな問題に多角的にアプローチできればと思います。今は芸術史とか美学とかに興味があります。手の届く身近な

問題として捉えて、自分自身を振りかえるきっかけにしたいと思います。まだどうなるか全然わからないけど、好きなことの研究、後の人生に良い意味で大きな影響を与えるような人との出会いなどです。

文学や言語を勉強したくて文学部を志望したので、やはり専門的なことを積極的に学びたい。京都大学で教養ある人になり、また自らの人間性を高めることができたら良いと思うのでそのために努力していきたい。

当初は哲学をするつもりでしたが、さまざまな魅力的な学問が行われている京都大学で、それだけを学ぶのは勿体ないと思います。食わず嫌いで、一生学ばない学問が出てくるのは良くないと思うのでいろいろなことに首をつっこんでみようと思います。その結果、最後まで興味の持てないものもあると思うが、それはそれとして、僕が何を感じ、考えるか楽しみです。

高校までの「強制される勉強」から抜け出して、自分の好きなことを自由に勉強したいと思って受験した。専攻を決めるまでに時間があるから、じっくりと考え、一生つきあえるような学問分野を見つけたい。またそれが見つかればその分野に専念したい。

自分にとって「これなら誰にも負けない」と思える分野を持てるようさまざまな観点から物事を眺め、また多くの人と知り合い、その人々の価値観を知りたい。

良き友人、良き先生方との出会いを求める。そして多くの書物を読み、見聞を広めたい。

語学を初めさまざまな分野の学問に取り組みたい。

教官や学生と可能な限り、さまざまな話や議論ができる環境を求める。テーマは特に問わない。他人の話に耳に傾け、そこから自らになかった考え方を吸収することで、自分にとって大きなプラスになることを一つでも多く得られるようにしたい。

芸術学、哲学の専門知識を身に付けたい。

外国語（英語、ドイツ語等）の修得や地理学についての深い教養及びパソコン技能等の修得

歴史関係のを中心に学びたい。京都は寺院、古戦場跡の多いところなので、自分の足で歩いて、自分の目で見ることで、自分の歴史的知識を深めたい。

語学を深く学び、特に英語を習熟して異文化理解を深め、深い教養を身に付け国際化社会に相応しい人間性を身に付けたい。

高校で学べなかったような専門的な知識や、豊かな教養を身に付けたい。また、自主的な生活を目指し、サークル活動やバイトなど新しいことにも挑戦していきたい。

さまざまな分野の学問に身近に接することができる環境の中で、将来社会人として恥ずかしくないだけの教養を身に付けたい。

さまざまな人（教官、生徒ともに）の多様な考えに触れる。自分に制限をつくらず、なんでも自由にやる。自分の意見を聞いてもらえるように理論武装したい。

言語を研究し、その言語の上に成立する文化の理解を深める。

人生の意味とかについて、自分でよく考えてしまったりしていたが、どうしてもいろんな方向に考えが広がって最後には漠然と何もわからなくなってしまふ。大学では授業や自分の勉強、サークルなどでの意見交換を通じて私なりにでも何とか考えをまとめていきたい。

広く深い心と鋭くきれいな思考力を得ることができるよう多くのことに取り組む。

将来の展望がまだはっきりしていないので、文科系の科目だけではなく、理科系の科目もできるだけとって、その中で自分のやりたいことを見つけていきたい。大学ではとにかく沢山の人間に会って、いろいろな考え方に触れ、さまざまな経験をし、自らの意見に縛られないと同時に、しっかりとした自分らしい価値観を身に付けた人間に近づけるよう努力したい。

学問の深淵に触れたい。多くの本を読んでいく中で、その作者の考えと、自分の考えの間にもすごいレベルの違いを感じる事が多くある。自分がその偉大な作者と対等の位置まで昇れるように、多くの知識を吸収し、多くの人との議論を通じ、自分という人間を確立していきたい。

意識的な行動、自己の確立の手助けとなること。例えば哲学や論理学、文学等に取り組みたい。

総合的、体系的な知識、広くて充実した人間関係、自分のやりたい学問、世界、自分を徹底的に突き詰めてみたい。

中学生の時から文学、特に日本文学に関心があったので、それについてのより深い知識研究を求めます。しかしそのことだけにこだわらず広い範囲での学習を通じ、自分を見つめていきたい。

さまざまな文化の下で変動してきた文学の学習を中心にして、多様な環境、状況における人間の意識の多様性、一義的には語れない部分について勉強できればと思っています。それに関連して特に哲学もある程度素養を深めたい。サークル活動を通して音楽の意義や理論、歴史についても学ぶつもりです。

高校までの教師から一方的に情報を伝えられるだけでなく、大学では自分から自分の主張を周りに堂々と、

そして論理的に伝えることのできる人間になりたいと思っています。そして、先生や学友と議論を交わし、自分の考えを深めていきたい。

いろんな考えを持った人と出会い、自分を高めたい。興味のある分野を見つけ、専門分野を探究したい。

Q. 2. 本日の全学共通教育のガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか。

A. 以下のとおり（ :男子、 :女子）

特に偏らず

1回生のうちは文理を問わずさまざまな科目を学び、ジェネラリストを目指したい。今は興味のある分野が多く、専門を一つに絞ることもできないので、自分にあった学問をゆっくりと探そうと思う。

経済や生物など生活に役立つこと

語学や文化

国際感覚を身に付けるため語学に対する取り組みはおろそかにしないでおきたいと思う。

社会や文化に興味があるので、社会や文化関係の科目を中心に深く学びたい。余裕があれば興味、関心が持てる理系の科目も学んでみたい。

1で書いたことを実現していくためにさまざまな領域の学問を学ぶ。また専門的分野の基礎を作ることを中心に学ぶ。

諸外国の生活習慣

とにかく外国語はしっかり勉強して身に付けたい。興味のある学問について深めていくだけでなく広い範囲の教養も学びたい。

古今東西の古典について、ただ書物の名を聞いたことがあるだけで済ませるのではなく、自主的に読み、できるならば自分なりの解釈をしてみたいと考えている。

教養教育は人から教授されるものではない。自分が学び取るものである。この言葉を肝に銘じて、もしも自分が目的を失い彷徨ったときは心の中で繰り返したいと思う。

最初から分野を絞らずさまざまな科目の授業を受け、より広い観点から自分の興味を探り、幅広い視野を身に付けたい。

美術学、倫理学、文化関係など

現在専門にしたいと考えているものの他にも文理を問わずさまざまな授業があるので、興味の持ったものは何でも幅広い分野のものを学びたい。

自分が興味のある科目だけを学ぶのではなく、あまりなじみのない分野のことも勉強し、幅広い知識を身に付けたい。

さまざまな学問を学ぶことで多様な知識や思考力を身に付け、社会に自らの力で貢献する力を学び取りたい。歴史や哲学について、興味もあるし、必要な知識であると思う。それに東洋偏重になりそうなので、バランスを取りたい。生物関係にも一種の哲学があると思う。

専門的に学びたいと思っていることとは別にさまざまなことを学んで知識の枠を広げたい。どうしてもA群に興味がわくなあ。

中心は歴史、更には理系科目についても興味のある分野については学びたい。幅広く学びたい。

今まで勉強したことのない分野についても幅広く勉強し、自分の知的教養を深め、新しい視点で物事を考えられるようになりたい。

今自分が興味を持っていることだけでなく、あまり関心がなさそうなことも学んでみたい。それで新たに興味がいいたらいいと思う。

文系だが理系に近いことも学びたい。

生物や地学の基礎的な授業や文系科目のポケット・ゼミ

現代の国際問題の原因を歴史を学ぶことによって理解し、解決策を考えたいと思います。趣味としてローマも学びたいです。

心理学、地理、日本国憲法、西洋史学

自分が将来専攻したいと思うものに関連しているものだけでなく、多分野から面白そうなものを学びたい。

とりあえず語学を頑張る。ポケット・ゼミを沢山受講して、議論したり、読書によって幅広く自学自習したりする。

文化人類学や芸術論、民俗学を学びたい。

語学とその文化背景を特に力を入れて学びたい。

これから社会で暮らしていけるだけの常識を先ず身に付け（例えば法学）、世界に通用する語学力を獲得し文学をやりたい。自分の興味のある内容に加え、何をやるにしても必要な教養をたとえそれが自分の苦手なものであっても、自分のものにしていこうという抱負を抱いている。実現できるだけの精神力というものが必
要だ
と思う。

自分が興味を持っていることについて学びたいのは言うまでもないことだが、それ以外にも今まで自分が知らなかったことについていろいろ学べれば良いと思う。文学部に入りはしたが、物理も数学も好きだし、幅広い知識を得るためにも、理系科目に取り組もうとする気持ちは持続しようと思う。

科学史、科学哲学史等の自然科学に関する近代世界の様相と共に、文明史、比較文化等の包括的な人間社会の様相について学びたい。

文学部以外の分野の学問を学びたい。

現代社会の状態など。

今後自分が追求していくであろう国際的な社会問題の解決を目指すために必要なこと。

現在関心がある学問として、史学の他に哲学、心理学がある。あまり知識はないが、「人間」とは一体どのようなものかを考えたい。

文学部からは縁のないように思えるB群科目にも興味を持つようになりました。幅広い分野の勉強として教養を身に付けたいと思っています。語学の学習に特に力を入れ、世界の人々と交流が持てるくらいの語学力をつけたいと考えています。

留学生と交流したい。字をきれいに書くことを学びたい。

国文学の基礎、数学、中国語を特に学びたい。

心理学、哲学、東洋の文化

先ず、語学をしっかりマスターし、歴史などの専門分野や社会に出て役立つ経済学などを学びたい。

民俗学あるいは文化人類学系の学問を主として、その他の学問はそれに深く関係すると思われるものを学んで行きたいと思います。広く学びながらも、主を常に民俗学系統におくことを心がけたいと考えています。

自分の興味があるもの、また疎遠になりがちなものも基礎的な部分だけでも学びたい。

特に歴史、文明系を中心に学びたい。

数学などの理系系の学問も含めて幅広く学び、自分の興味、関心のある分野や将来に役立つ分野に関して学びたい。

人間そのものの実態と、人間と社会との関連性について詳しく学びたい。

アジアの歴史に興味があり、シルクロードと聞くとわくわくしますので、歴史や文化を中心に学びたいと思います。また、英語と中国語は日常的に使える「道具」になるまで勉強しようと思っています。

文化、文明論、その他面白そうなものならなんでも。

これから考えていきたい。

英語によって授業を展開するという“KUINEP”にとっても惹かれた。ぜひこれを受けて、自分たちは文化を異なる人々の文化に少しでも近づきたいと思います。更にポケット・ゼミも十分に検討して早く参加してみたいです。

哲学、倫理学を中心に、さまざまな分野に挑戦したい。

文学や史学の科目以外の講義をいろいろ受けて、自分の視野を広げ、本当に賢い人になりたい。

主に歴史・文明系、美術系、地域の文化系の教育を受けるつもりであるが、それ以外にも心理学、ポケット・ゼミなど興味のある授業も受けてみたい。

現代社会の問題点などについて考え、これからの時代に必要になる考え方を学びたい。

特に自然科学の素養を身に付けたい。

主にアジアの宗教や思想、文学など

言語能力を磨いて、原典の批判による新たな学問の創造の方法を学びたい。

主に、歴史を学びたい。今の世界を作り上げているのは、これまでの歴史の表舞台や裏舞台に立ってきた人々の営みであり、それを学ぶことは現代の世界の問題を解決するのに必要不可欠なことだと思
う。

複合的な教科

哲学

宗教や哲学（バタイユやニーチェなど）、また幼少の頃から好きだった生物系の科目や化学実験などできるだけ幅広い分野を垣間見たい。

2回生から学部での専門的な授業が多くなると思うので、今は幅広く学び、将来やりたいことを見つけたい。

史学を中心に、文系科目以外も幅広い分野の基礎的な学問を学びたい。

文系、理系にとらわれずいろいろと学びたい。ただ、基盤として「人間に対する興味」がある。文理を問わず、さまざまなことを学ぶことで、興味を持ち、自己の開発に努めようと思う。教養と単なる知識を同一視しないように注意し、教養教育で学ぶことを、自分が研究するようになったときの確かな土台となるようにしたい。いろいろな時代、国家における文化の普遍性みたいなものを最終的に見つけられるようになりたい。

人文科学では、歴史学や文化学を中心に学習したい。理系科目も多少手を出したい。(情報処理等)

学問の進め方

勉強しながらも面白くて、後々広い意味で役にたつこと。

歴史。しかし哲学や理系科目にも最近興味を感じる。

自分の生き甲斐や将来の目標が決まっていないので、幅広い分野の知識を得ることによって、自分にとって本当に必要で、心から打ち込めるものを学びたい。

自分には向かないと食わず嫌いをするのではなく、興味のわいたものを少しづつかじって、本当にやりたくなったら専門的に勉強するための一つのきっかけにしたい。

地理学を勉強したいので、それに関連する科目を多く取るかもしれない。ただ、せっかくいろいろな講座があるので、それとは離れたものも結構取った方がいいのかなという思いもある。

専門的な研究を行うための土台づくりとして主に芸術などを学びたい。また、人間性を豊かにするために語学なども幅広く学びたい。

僕は今のところ大学院まで進むつもりはないが、大学での学問を就職へのステップとは捉えていないので、実際教養教育としては何を学ぶのも自由だと思う。自分としてはこれまでの教育過程であまり学習していないが、芸術関係について学びたい。

さまざまな分野のつながり

受験勉強を進めていくうちに、さまざまな興味深いものを見つけたから、それらをさらに深く学習したい。

自分が関心を持っている分野に関連したものを中心に、知識が偏ったものにならないように社会に結びついたものを学びたい。

専門の学問を学ぶ際の土台として役に立つように、幅広い分野を少しずつかじって学びたい。そしてさまざまな選択の中から専門をじっくり決めたい。

さまざまなこと(多分野にわたる知識を得るため)

教養教育と教養を習得することには大きな隔たりがあると思うが、やはり京都大学に入学した理由である哲学・思想を学んでいきたい。

今現在自分が興味を持った分野を学習するだけでなく、視野の広い人間になるために、幅広い分野を履修したい。特に語学に関しては英語のみならず、第二外国語も話せるようになるために、内容の濃い講義にしたい。これから生きていくために、教養は必要だと思うので、主体的に幅広く学びたい。社会学、心理学などを中心に人間の行動や社会の構造について学びたい。

ものの見方をワイドにする知識、できれば3Dぐらいに。生きていく上では大して役に立たなくても心の中でいい位置を占めるようなもの。

自分の学びたい分野のみ偏らず、多くの視点から物ごとを見れるようにいろいろな分野のことを学びたい。

教養教育は自分たちの生活の基礎であるので、学ぶことでそれを実生活に生かせるように身近な周囲の疑問から生活を見直しながら学んでいきたい。

心理、社会学関係

まだよくわからないが、自分の興味のある分野について、深く学びたい。またこれまでよく知らなかった分野についても自学自習して少しでも知識を増やしていきたい。

1, 2年の間は特に一つの事柄について深く学ぶよりも、浅くても広くいろいろな勉強をしたい。B群科目は苦手なのが多そうだが、積極的に受講してみようと思う。

自分とは何かを知るヒントになるもの、自分が今まで知らなかった、又は忘れていた新しい世界を知るヒントなるものを学びたい。

主に自分の専攻したい分野に関連する分野、あるいは自分が興味を持つ分野について見聞を広められるような内容を学びたい。

哲学を古代から現代まで通して学び、わかったつもりになっている多くの思想を理解し、捉え直すとともに新しい思想にも触れたい。また、心理学などの別の方向からも物事を見れるようになりたい。

理系・文系問わず自分が興味をもった分野

高校では習えなかった教養教育を学びたい。特にいろんな言語を学んでみたい。

主に歴史系の勉強と文化系

文化

東洋の思想、歴史、芸術などについて、また理系の学問にも触れてみたい。

まずは基本的な知識の吸収に努め、興味ある学問分野の幅を広げたい。

歴史系は学びたい。語学の授業に積極的に参加し、英語を磨くだけでなく、第二外国語の習得も力を注ぎたい。大学に来て、ただひたすらに専門の科目だけを偏って学ぶ姿勢には懐疑的です。教養の幅を広げるためにも人文・社会科学のみならず、自然科学や学際科目にも幅広く目を向けていきたい。

専門としようとしている分野だけを学ぶのではなく、多くの分野を学び、幅広い教養を見につけたい。

哲学、心理学、社会学を中心とした科目と英語以外の外国語

いかなることにも惑わされず感情を乱すことがないような落ち着きのある精神の根拠となるものを学びたい。

基本的な歴史と美術論、今やらないと今後決して学ばないかもしれない新しい分野を勉強したい。

高校の先生から元木泰雄先生、西山良平先生、金田章裕先生とすばらしい先生方がおられ、歴史を学ぶには最高の環境だと教えられました。この先生方について学びたいです。

ひたすら考えること。

人の思想や考え方に興味を持っているので、著名な思想家のことは少なくとも教養の段階で、基礎として知っておきたいと思う。

外国の古典に興味があるので、歴史や文学を中心にできればギリシャ語など珍しい言語にも挑戦したい。一応大学院進学も視野に入れて語学は頑張りたいと思う。また、京都大学の文学部にしかない学科をめざしたいので、具体的にはまだ決められないが、そういう学科に関連の深そうなのを狙って学ぶつもりである。

文系教科だけに拘らず、幅広くさまざまな分野を学びたい。外国語は本が読めるくらいのレベルに達したい。生きることへの考えの基礎となり自らを高めることも可能にすること

自然科学を浅く広く。人文科学も浅く広くとって本当にやってみたいと思えるものを見つける。一つの分野に限定せず広くいろいろなことを知りたい。

文学部だからといって理系科目を避けるのはもったいない。可能な限り浅く広く、深く広く

自分の興味のある人文系の科目以外にもいろんな授業を受けてみたい。

理系の授業も受けられるので、文系だけに偏らずやってみたい。高校で勉強していない地学を受けてみたい。文系、理系にこだわらず面白そうなものを学びたい。

一般常識がないので、常識をつけたい。あと外国語では、読み書きにと止まらず、コミュニケーションがとれるようになりたい。

本当に講義の豊富さに驚き、自分の興味のある講義もたくさんありましたが、特に異文化理解や外国文学を中心に学んでいきたいです。

広く人文科学系の諸学に触れて見識を広め、哲学・思想分野から歴史・文明分野にわたって、真に深い部分まで集中的に学びたいと思います。

心理学を主にして、専門の授業を受けることによって、いろんな角度の分野で自分の教養を広めていきたい。主に自分のもっとも興味のある哲学に関する授業をとろうと考えています。文学や神話や宗教なども哲学に大きく関わるものだと思うので、それらの授業も取りたいと思います。

文系科目だけではなく、理系科目も頑張りたい。

ラディカルに物事、事象のあるべき姿、存在意識を問う姿勢、一流の姿勢、教養を持ちたくても持てない人達にも、生きる意味を与えよう、物事の本質と得ようと邁進する姿勢

言語に力を入れたい。第2外国語も会話できる程度には最低なりたい。あわよくば3カ国語ぐらい話せるようになりたい。文化系の学問が面白そうだった。

自分の視野はかなり狭いことを自覚しているので、知らなかった世界をたくさん学んで、視野を広げたい。

いろいろな内容の講義を通して、自分の興味の幅を広げていきたい。

私は、人間を人間たらしめている要因の一つとして、「人間は自分が死ぬことを知っている」ということがとても大きな意味を持っていると思います。この死の恐怖の克服のために、人間は信仰 - 宗教を生み出しました。私自身は信仰心を持っていませんが、だからこそ人間独特の「信仰」とは何か、人間にとってどんな意味を持っているのか知りたいと思っています。

人文社会系（特に心理の地理学）

受験で結局捨てた科目（生物や数学など）をやり直したい。

まずは語学の習得を最優先したい。外国語は英語に限らず全ての学問の基礎となるから、意欲的に取り組みたい。理系分野にも興味があるので、できればそちらも取り組みたい。

B群科目は抵抗があったが、ポケット・ゼミなら楽しんで学べそうなので、ポケット・ゼミをとりたい。A群では史学、社会学、文学、国際関係学のそれぞれに興味があるので、内容をよく吟味して学びたいと思う。語学をしっかりと学びたい。あとはひとまず浅く広くさまざまなことを学んで考えて興味のあるところは徐々に深く、...

人文系はもちろんだが、生物や環境などの分野を学び、幅広い視野を持てるようにしたい。

今日まではさまざまな分野を広く浅く学ぶのであろうと漠然と考えていた。しかしガイダンスを受け、あまりにも多くの可能性のなか、自分が選択の権利を手に行っていることと知り、少し怖くなり、どうせこれだけの選択の幅があるのなら、いっそ自分のやりたいこと、生活に関わる学問をやりたいことを集中的に学んでみたいと思うようになった。これが何であるかはまだわからないけれど、

主に、日本史、古典について、知識を広げることに加え、自分の積極性など他の能力も伸ばせるといい。

私は文系なので、正直言うと理科系の勉強や数学は好きではありませんが、好き嫌いを言って、勉強する科目に偏りが出てくると、自分の視野も狭くなり偏ったものの見方しかできなくなるような気がするので、幅広い分野について勉強したいと思っています。

社会に対する新しい視点を得たり、世界の自分が知らないいろいろなことを学びたい。

ただ聴くだけの授業から脱却して、教授に積極的に質問などして、国際社会を中心に国際関係、開発学、統計学、現代史などを学びたいと思う。

社会に出て就職したときに、様々な問題に対応できる幅広い知識、教養を身に付けたい。特に国際交流に興味があるので、国際系のことを中心に、国際社会に対応できるような人間になるために必要なことを学んでいきたい。

受験勉強とは全く違う形、内容の歴史の勉強、社会的にみた芸術論（これは単なる趣味）

自分以外人間がどのような考え方をもっているか。社会の中の自分がどうあるべきか。

己の興味の向くこと。

文化人類学の基礎と三つの外国語の習得、理系科目（数学）、体育

美学、美術史学系を将来履修したいと思っているので、A群の芸術・言語文化系の科目を多く取って、その後の学習に役立てたい。また生物にも興味があるので、B群の生物系の科目もいくつかとって、生物の知識を深めたい。また哲学系の科目もとりたい。

専門科目の予備知識となるようなこと。また経済学など専門では扱わないが、将来役立つような科目も学びたい。ポケット・ゼミで、教官と接し、課題へのアプローチの仕方を学びたい。

文系、理系に関わりなく幅広く学びたいと思うが、単にあれもこれもかじるだけという学び方でなく、ある程度の絞りを絞って、自分が最も学びたいテーマから派生していくような形で科目の選択を行い学んでいきたい。

西洋の文化人はよく自分たちの古典やラテン語の句などをうそぶいたりすると思う。それは自分たちのルーツについて、思うところがあるためであろうから、私も外国文化を学ぶ中で日本人としての自分を見直したり、また一方で、日本の古典に触れ、自分のまだ知らない日本について学びたい。

私は心理学、社会学に興味があるので、それに繋がるような教養教育を学ぼうと思うが、それだけではなくせっかく大学に来たのだから、今まで興味のなかった科学系、理科系の科目にも取り組んでいきたい。

選択肢が沢山あるので、いろいろな分野の講義を受けて興味がわいたものを学びたい。

京都大学の日本、いやアジア有数の大学の、質の高い講義を受け、今の国際社会においても世界に通用するだけの教養を身に付けたいと思った。

日本史の基礎的な一通りの流れを学んで、社会学を学ぶことに役立てたい。

英語やフランス語などの言語を学び、使える言葉にできるようになりたい。またさまざまな授業を受けて視野を広げたい。

1年次から「ポケット・ゼミ」があるのがとても楽しみになった。3年、4年になると、専門の勉強に追われて、理系などの遠く離れた分野に手を出せなくなってしまうと思うので、単位のことにも気にしつつ、自分の好きな分野を初め、幅広い科目を勉強したい。

あらゆる分野から広く学んで、さまざまな知識を得てから、専門にも結びついていけるようにしたい。

具体的にはわからないので、何でも広く学びたい。

文系、理系に関わらず興味を引かれたものは何でも学びたい。そこで学んだことが何らかの形で生かせるならもっといいと思う。

表面的な知識ではなく、人格形成も伴う深みのある学問として社会科学、心理学を中心に学んでいきたい。

幅広い知識をつけ、その中から自分が成長するための糧になるもの（おそらく全てであるが）を獲得したいと思う。

文系、理系にとらわれずさまざまな分野の講義を受けて自分が本当に興味あることが何かをはっきりさせたい。

1,と同じ。言語学、心理学、外国文学

文学部を志望しただけあって、ついA群ばかりに興味を持ってしまいますが、B群からも論理的数学的思考が身に付きそうなものを選んで、いつか研究するようになった時に役立てたいと思いました。それに語学に力を入れて行きたいと思っています。しかし、自分の勉強がおろそかにならないよう、ほどよく選ばないといけな

いと思いました。
教養人づらした金持ちのやるような暇つぶし、閑事業ではなく、専門分化の必然性、必要性を意識しつつも、総合を目指し、その事業の困難さ、危うさにめまいを覚えながらも、その目標から身体を反らさず「死んだ知識人」ではなく、「生き抜く教養人」となるための学問をしたい。 - けど無理かなあ。

全学共通科目の内容は、文系、理系問わず、非常に多岐にわたっているので、文学部内では学べない理系科目や他の文系学部科目の中からも幅広く学びたい。具体的には、授業内容を読んでから決めていきたい。

専門分野に関する基礎知識を身に付けることが当然であるが、専門領域以外に就いても、先端的教育が受けられる機会があることをうれしく思う。現代に必須とされているコンピューターなどを駆使できるスキルを身に付けたい。更に多くの人々とコミュニケーションができるように語学を究めたい。などから教養課程(全学共通科目)に期待している。

人間の歴史や思想、行動に興味があるので、特に人文学系の哲学や心理学を学んでみたいと思っています。しかし、学ぶことを最初から限定するのではなく、さまざまな学問に触れて、人間性を深めたい。

将来自分が取り組もうと思っている分野とは方向性を異にする知識

語学をしっかりやりたい。(独、希、羅語のあたり)、B群科目を多めにやりたい。(生物系、数学系等)あとは、大学ならではの(あるいは大学でしかできない)学問や教養を身に付けたい。

哲学、歴史、地理学、法学

私は文学部であるけれども植物や環境について興味があり、深い知識を得たいと考えていた。今回のガイダンスを聞き、それは教養のみにとどまらず、私自身の学び、生きていく生活の基本になることだと感じ、これらを深く学びたいという思いが強まった。

自らの専攻する学問以外にも国際関係の問題や環境問題を学びたい。

語学は特に力を入れようと思う。英語は勿論、フランス語も単位を取るだけの勉強で終わることだけはしたくない。先ず第一段階として、英語やフランス語で書かれた文学作品や論文を読めるようになり、やはり最終的には自分の学んだ言語である程度の会話ができるようになりたい。外国の文筆や外国の人々との交流を通してさまざまな思想に触れる喜びというものもぜひ感じてみたいと思う。

外国語やその背景にあるその国の思想や歴史、現代史(20世紀史)

語学、自然科学系の科目

文系科目のみではなく、数学、化学等も教養として行いたい。もし、ついていけるのであれば、高校では学ばなかった生物も大学で学んでみたいと思う。

はっきりといえるものとしては、語学をきちんと学ぶということしかありませんが、元々心理学をやりたいと思って京大を目指したので、認知系の心理学や、また心理学以外の脳へのアプローチとして、脳科学の授業等もポケット・ゼミ等含めて勉強していきたい。

A群の中から幅広い分野の学問を選んでいくつもりである。1回生の段階では例えば哲学といったように、特定の分野に決めてしまうのではなく、これから先どの専門分野に対しても抵抗なく進んでいけるような広い視野が大事だと思うからだ。教養教育をそのように位置づけたい。

役に立たぬ知識、実生活で役立つというよりも、学問におけるロマンの如きものを追いかけてたい。

子供のころから興味がある自然科学や今まで勉強したことのない哲学入門などを学んでみたい。特に文系なので、理科系の学問は少し学んでみたい。

見識の充実

日本近代政治思想史を中心にして、それに関連する文明学、社会学、文化人類学を学び、さらに可能ならば国文学を学びたい。

哲学や心理学、国際的なことや道德の問題について学びたい。

日本や世界の古典を訳書だけではなく、原本で読解できるような語学力を身に付けるために、ギリシャや古典講読等を学びたいと思います。

一度やると決めたことを書く意志の強さと、現代社会、この地球に生きる人間としての責任感。「問題」に無関心でない責任感を身に付けたい。自ら学ぶということも。

自分の知的好奇心をくすぐるものを積極的に受講し、「学ぶ楽しみ」できれば「学ぶ意味」を学びたい。

人間の器をでっかくすること。

幅広い分野を学びたい。

法学と心理学に興味があるので、社会科学系の科目を学びたい。

1 年生時は、文・理科系を問わず、広く浅くさまざまな分野を学びたい。

単なる学問としてではなく、自分の人生を豊かにする知識、素養を身に付けられるように学びたい。

今まで自然科学系分野を毛嫌いしてきたが、せっかくの幅広い学問に触れる機会が与えられたので、いろいろなことに手を広げたいと思う。

今はとにかくいろいろとしか言えません。こんがらがって手のつけられないようにみえる多面的なことがらに
対する自分の立ち位置を見定めたいという所存です。

具体的にはよくわからないが、視野がひろがるような広い知識を身に付けたい。

自分の興味のあることを積極的に学ぶのは勿論ですが、さまざまな講義に参加して幅広い教養を身に付ける
ことができれば良いと考えています。自分に可能な範囲でたくさんのことを学び、吸収していきたいです。

僕は文系ですが、文理両方から広く学びたい。本当に基礎的な部分はどんな人でも学ぶべきだと思うし、面白
そうです。

自分が興味を持っている人文科学系、社会科学系の科目を好きなだけ受けたい。

社会を大きく動かす可能性を持つメディアや世論等情報の流れをつかみ、世の中で何が正しいか、そうでない
かを判断し、人に伝えることができるようにしたい。その基盤となるため全学共通教育で知識を広げたい。

哲学、思想、心理学、言語学などを中心に幅広い教養を身に付けたい。

心理や精神、文化について人間を対象とした学問を学びたいと思う。

哲学、思想、心理学、言語学などを中心に幅広い教養を身に付けたい。

心理や精神・文化についてなど人間を対象とした学問を学びたい。

将来何をするかわからないが、何をすることにしても通用できるだけの基礎を築けるよう科目を履修したい。

芸術学、哲学の専門知識を身に付けたい。

人文科学系の科目を広く学びたいが、理系科目もある程度は学んでおきたいと思う。

自分がこれからする教科、今まで学んできた教科を通じて、学問の意味を以前とは違った角度で見つめ、学び
たいと思う。

史学や語学の他にも哲学等も幅広く学びたい。

自分が興味のある分野を探して能動的に授業に参加し、単なる知識の蓄積だけにとどまることのないように、
自分で考える力を培っていききたい。

国際交流を可能にする語学力とともに、主として西洋の思想など先哲の知恵を吸収したい。

実用的かどうかにかかわらず、学問として純粋で美しい科目や自分の興味をそそる科目を取っていき、人間的
な豊かさを確信したい。今現在何を専門にしたいかが見当つけられない状態なので、広く浅く学び、興味のある
学問を探していきたい。

語学を通して異なる文化を学ぶ。自然科学についても幅広い知識を獲得する。

さまざまな知識、興味を持ったものは何でも。語学、数学、物理も大切だと思う。知識が多ければ多いほど自
分の考えの基盤は広がり、多くの考え方を知れば知るほど自分の考えの広げ方も多様になると思うので。音楽
や美術、旅行、家事などを体験することでしょっちゅう知ることがあるのは、勉強も同じだと思うからどの専
門科目も教養科目も同じような気持ちで受け入れたい。そしてできるだけ今持っている疑問への答えにつなげ
ていきたい。

文理系問わず多くの学問に接して、広い視野を得、より深く学びたい学問を見つける。

まずは語学をしっかりと学び、その上で哲学、歴史等文系科目から、数学や生命といった理科系の科目も学び
たい。

日本を外から見る。また自分の知らない世界を知るためにも語学を学びたい。と同時に日本の理解のために、
日本の歴史、日本文学を学びたい。

常識的な行動と自己の確立と基礎になることを学びたい。

今までの自分をもっと多面的に再考察できる学問や実践的な学問を学びたい。

日本文学への関心があるので、それと関連すると思われることを学びたいと思いますが、自分が興味を持った
ことであれば、日本文学との関連はあまりないように思われることでも学びたいと思います。

さまざまな“団体”としての知識を身に付けることも必要であるし、それは特に自分にとって欠けている部分
だと思うので、いろいろな情報を教養教育を通して頭に染みつかせる所存です。ですが、大切なのは“流動的”
な知識だと思います。無限に変動する今日の情報を扱う手段を学び、そして、自分で見つけていきたいです。

哲学。自分が感じている問題を、他者にも伝えられる言葉にできるようになりたいと思います。
社会に出ても通用するような考え方の習得

3. 教育学部 (アンケート提出率 98.9%)

Q.1. あなたは京都大学で何を求め、どんなことに取り組みたいですか。

A. 以下のとおり (:男子、 :女子)

学校生活でも私生活でも自立した人間になりたい。将来仕事を持って自活できるように今から心身鍛えたい。
心理学を学びたい。将来やりたい仕事を見つけたい。

多様な領域にわたる学問を学びたい。また多くの友人をつくりたい。

先ず文武両道を目指したい。サークル(もしくは部活)と自分の専門を学んでいきたい。語学をしっかり学んでそれから発展させていきたい。将来のことはまだ未定な部分が多いけれど、教育学を根底におきながら、他のことも学び、それらを教育学に結びつけ、多面的な視野から実生活に役立つ学問を学びたい。

充実した設備教育環境の下で、知識欲、探求欲を満足させること。また、自主的学習を通じて、今まで先送りにしてきた自身の可能性を探ること。

私には臨床心理士になるという目標があるので、1番に学びたいのは心理学です。けれども心理学だけではなく、一般教養をしっかり身に付けたいです。

自分の希望する職業に就くために必要な知識を身に付け、豊富な経験を得たい。それだけではなく、いつか自分の子供や友人達に大学生時代の話をするときに、自分がいかに充実した日々を送ったか誇りを持って話せるように、一生かけて勉強しても悔いはないというような学問に出会いたい。

京都大学の自由な学風を生かしてやりたいことをたくさんする。授業だけではなく、サークルとか学祭とかも積極的に取り組んでいきたい。その中でいろんなタイプの人達と交流して(もちろん外国の人とも)視野を広げていけたらいいと思う。学問に関しては心理学を主として学びたい。人の心のメカニズムを知ることによって自分の心も豊かになると思うし、それを生かせる職業につなげていきたい。できれば大学院に進み、専門的に勉強したい。

以前から、学校教育に対して興味を抱いていたので、日本の教育システムや教育に関する法律、また学校教育の意義といったことを中心に勉強していき、日本の教育の発展に少しでも役立っていけるような人間になっていきたいと思う。

自由な学風の中で、高度な教育を受け、吸収する中で、自分の意志のはっきりした自立した人間になりたい。またサークルなどを通してさまざまな人と触れ合って、さまざまなことを学び、物事を多面的に見つめられる人間になりたい。

京都大学は心理学が良いと聞いていたので、この大学だからこそ学べることを沢山吸収していきたい。
幅広い人脈を作る。

今まで蓄積してきた知識を実際に活用したり、新しい知識、自分を全く違う考え方を知りたい。同年代の人だけではなく幅広い年代の人と交流したい。夢を叶えるための技術を身に付けたい。

多くの友人を作り、勉強、サークルなどを頑張り充実した学生生活を送ることで自立した人間になりたい。

これまで受験環境に身を置いてきたが、大学に入学した今、客観的視点で受験勉強も含めた学力に関する問題を深く掘り下げ研究していきたい。

本当に頭の良さという部分での成長だけでなく、人間として成長できる場であることを期待し、さまざまな人と接していきたい。

教育学、心理学について学びたい。また、それだけに限らず、いろいろな授業を受け、自分の可能性を広げたい。すごく自由だと聞くのでしっかりと自分を持って過ごしたい。交友関係を広げ、人生観などについて考えたい。楽しみたい。

自立心、広い視点、人間としての強い肉体的、精神力を身に付けたい。将来の仕事に結びつくような考え方や技力も身に付けたい。他者との交流もさかんにし、自己を知る機会としたい。

自分の人生において、身になるような休養の摂取を吸収

昔から心理学に興味を持っていたが、つい最近から学力問題などへの関心も高まってきた。そのため、自分が一番学びたいことが曖昧になってきている。京都大学には、自分の知的好奇心を刺激し、進むべき道を自覚させてくれるような、高度で充実した内容の授業を求めている。そのような授業を受ける中で、自分も人間的に成長したいと思っている。

受験とか、試験といった目的のための手段としての勉強ではなく、自分が本当に興味のある学問を追究し

ていきたい。その中でさまざまな考えを持つ人と対話を重ねて、人間的に成長していきたい。“京都大学”という肩書きや変なプライドなど捨てて、いろいろな見方で物事を柔軟に捉え、さまざまな人々の立場に立って状況を捉えられるようになりたい。

自由な校風の学びたいことを思う存分学べること。未知の世界を体験し、視野を広げたい。

今まで知らなかったことを知りたいし、知っていた事も更に深く理解したい。将来自分の役に立つことを学び、社会人としての責任を身に付けることに取り組みたい。

教育の理論と心理学を併せ学びたい。幅広い知識を得て、世間で役に立つ人間になれるよう頑張りたい。

今までよりもっと深いところで学習して感動したい。そして今まで知らなかった人間の本質に関することを学びたい。現在教育問題と呼ばれている各現象の本質はどうなっているのか。そして、その対処法はどうかというところを考えていきたい。

自分の主体的な世界観の体系をつくる基盤となる知識を身に付け、雑学に終わらない人間的向上としての教養を養いたい。また同じ事を目指す友人を見つけて、理系、文系を問わず、知識を交換し、一緒に勉強できたらいいと思う。また専門的知識を身に付けて、何か一つ身を立てる手段として、そこから知識を統一できたらいいと思う。

特に何も要求しません。面白い講義であれば良いなあと思います。興味のある、また興味深そうな分野を勉強したいです。

将来、社会人になったときに通用する専門科目を中心に学び、学業と学業以外のことを上手に両立させたいと思う。また大学院に進学したいと考えているので、それに向けた勉強も進めたい。

帝塚山に6年間いて、私は人間的にも成長しました。周りの皆の勉強に関する態度に刺激を受けました。帝塚山を卒業して、京大というちょっと想像できないところに今いるから、ちょっと不安だけれど、帝塚山が私に与えてくれたもの以上の何かをもらえたらと思います。2年後にこれを返してもらえるのが楽しみです。頑張ろう。

知識が豊富であることに満足して、人生を終わってしまうのではなく、自分は未熟だと思いつつ一生、さらには上の自分になろうとしながら、生きていける人になるための土台を作りたい。学問も人付き合いも生活全般をすごく意味のあるものにしたいので、その生活の中心となる京都大学では、分野に関係なくあらゆることに挑戦し、参加していきたい。

社会と人間心理の関係を学びたい。主に人間の精神の仕組みを考えたい。そして社会が人間の精神の発達にどのように影響を与えるのかを研究することに取り組みたい。人間の人格の形成にも謎があるので、研究したいと思う。

夢の実現に向けて必要な教養を身に付けたい。

自由な学風にあこがれ京都大学を志望しました。臨床心理学を学びたいと思っているので、教育心理系に進学したい。勉強は勿論その他の課外活動にも取り組みたいです。将来は大学院に進学し、臨床心理士を目指したいと思っています。私は京都大学で質の高い授業を受けられることを期待していますが、私自身に係っているため、何事も主体的に取り組みたい。

深い知識を求め、自分から学習していきたい。快適な学生生活を過ごすため自分の学びたいことを無理なく学べるように考える。

おいしい仕事

私は心理学を学ぼうと教育学部を志望したので、行動科学系のさまざまな心理学の分野を積極的に学ぼうと思っています。

小、中、高といった勉強とは異なる社会、人間等に関する学問を求めたい。そのような学問に触れて、自分自身について深く考えたり、社会において一体自分が何ができるか考察したい。

学部の専門教育だけではなく、京都大学は総合大学なので、幅広くいろいろな分野の学問に触れてみたい。京都大学が提供してくれる学ぶ機会を最大限利用したい。

今まで学んだ事なかった学問や興味のある学問を学び、学生生活や人とのつきあいを通して視野を広げたい。幅広い知識と人間関係を得たい。また学問を学ぶだけではなく多くのことを経験したい。

総合大学で学ぶことができるという利点をいかし、1, 2回生の間は特にさまざまな学問に触れることで、自らの可能性を自ら開拓していきたい。非常に多様な授業の中から自分の学びたいと思うものに対して積極的に学んでいけるようにしたい。

教育に多大な影響をもたらすだけの知識及び思考能力を身に付けさせてくれること。教育の実地に立った先生方と交流しながら帰納的及び演繹的な教育研究を行っていきたい。教授との対話。

心理学に興味があるので、しっかり学びたい。

自分という存在を学問的、人間的に高めたいので、自分にとってプラスになるような事、意味のありそうな事には積極的に取り組みたい。具体的には人間の内面的なもの、心理、性格に関わりそうな分野に興味があるので、その方面を重点的に学び、自己や他者に対する理解を深めたい。

将来の進路をまだ具体的に決定できていないので、京都大学での優れた教授の講義を通して、自らの興味関心を深め、進路を決定したい。臨床心理士に興味があり、心理学を深く学びたい。英語を上達させて、外国人(留学生)と話し、異文化に触れ、異文化理解を深めたい。さまざまな講義を楽しみにしています。

快適な環境、大学でしかできないこと。

今までやってきた勉強は浅いものだったので、大学では(狭く)深く物事を学びたい。日常生活で気になっていたことや、当たり前すぎて疑問視すらしていなかったことも問うていくようにしたい。それを解いていけるだけの基盤がこの大学にあると思っているから、知的興奮を味わうために自分からいろいろな分野を学んでいくようにしたい。

将来臨床心理士になりたいという目標があるので、まずはその目標に繋がるような科目を勉強したい。しかし、人文、社会科学系の科目ばかりを詰め込もうとしても偏った知識しか得られないし、教養のある人間にはなれないので、脳科学などの理系科目も積極的に受講したい。そのほか学部内外関わらずいろいろな人と交流、意見交換をして、多様な価値観を知り、自分の人間形成においても役立てていきたい。とりあえず今はやりたいことがありすぎるほどあります。

より高度かつ多岐にわたる専門知識を身に付けあらゆることに対応することのできる心理学者になるための基礎を身に付けたい。

余裕のある生活環境においての余裕のない講義を求める。京都大学でしか学べないものについて取り組みたい。京都大学の自由の学風のもとで、教育に関してのあらゆる分野に積極的、主体的に取り組み、幅広い知識とさまざまな考え方を学び、大学卒業後の進路に対する基盤をつくりたい。

学問的研究を行うにあたってそれに必要な事を学ぶと同時にさまざまな知識を広げたいと思っています。また、さまざまな面で刺激しあえる友人を多く作り、人間関係の幅を広げたい。

いろいろなこと。

頭の切れる人に出会って、自分もそのように切れを身に付けたい。勉強とポートをきちんと両立したい。

私なりの世界観や人間観、教育観を作り上げ、これから始まる情報化社会を存続させ、生き残るための人材育成の一助として、教師や教育の在り方を問いたい。そのために先ず教育の概要を理解し、教養を身に付けたい。

今まで自分が学んできたこと、今自分が持っている知識とを鑑みて、より知りたいこと、知らなかったこと、考えたいことを学んで、選択した教育という分野で生かせるようにしたい。

社会人にふさわしい思考力、判断力を身に付ける。

人間的に成長することを求め、教育について学習したい。世界的な視野の獲得を求め外国語を学習したい。

求めるもの - 世界の意識、責任感を持つ友人、教官

世界規模で通用する人間性、教養、信頼

取り組み - 自己修養としての部活動(と学業の両立)

周囲とは別個の個人的な学問や趣味

これまでに考えてきたさまざまな事柄や、周りの人達の考え、行動について、吟味し、統合し、新しく形成していきたい。個人の中にあり、外に意識的に表明したことがない思いや、はっきりしない思いを、明確にするのではなく、それに気づき、それをテーマに他の人達とともに考えたりして接し、いろいろな考え、思いに触れていく場に参加したい。そのためにも、さまざまな分野への興味を大切に、そこでの考えを築き、取り組みたい。

学問等に重点を置きます。

Q.2. 本日の全学共通教育のガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか。

A. 以下のとおり(:男子、 :女子)

1 回生のうちは特定の分野だけではなく今までにやったことのない分野にも手を伸ばしてみたい。心理学をやりたいので、行きたい科に進めるように今から頑張っておこうと思う。

語学の授業が大変そうとの印象を受けたが、頑張ってお第2外国語を身に付けたい。

教育学部という決まった学部に入ったものの、教育学の他に哲学、言語学、社会学に興味があるので学びたい。

それらを学びつつ、自分の専門は教育学なので、教育学に結びつけていきたい。

自身を囲む関係を知ろうとするのに助けとなる広い知識

臨床心理士としてさまざまな状況にいる人々を理解できるように、いろんな分野に興味を持って、理系の分野など広く教養を身に付けたい。

中国語を学ぶので、併せて中国史を学びたい。また臨床心理学を学びたいので、その入門となるような教科を学びたい。

語学に力を入れたい。今までに全く触れたことのない言語を学んでその国に行ってみたい。またその国と人と何らかの交流をしたい。他には日本古来の文学、文化、慣習を学び、自分の国についてより理解を深めたい。それを外国の人に紹介できるようになりたい。

教育に対して興味があるので、教育学と呼ばれる科目は勿論のこと、幅広い知識を得るため分野にこだわらずさまざまな科目を受けてみようと思う。また海外での教育現場はどのようになっているかということについて、留学生との交流ができる科目もとってみたい。

社会学や心理学などの人間の行動や心理などに関わることと言語を詳しく学びたい。

専門にしようと思っている心理学だけではなく、今まで知らなかったさまざまな他の分野も積極的に学んでいきたい。

心理学関係

子供から質問を受けた時に、説明できるようになりたい。語学の習得は身を入れたいが、読み、書きだけでなく、話すこともできるようになればなお良い。どんな職業に就くとしても基盤となるようにまた人生観を固めるうえでも哲学に触れたい。

主に心理学を学びたいが、かなり自由に授業を選択できるようなので、いろいろな分野に挑戦したい。

文系だからといって人文系ばかりを学ぶことをせず、積極的に自然科学系の分野を学ぶことを通して人間性を深めていきたい。

専門的な事だけではなく、自分が今まで興味を持たなかった分野などに幅広い分野のことを学びたい。

さまざまなことの基礎を学び、自分の興味を広げたい。

あくまで教育という視点のもとに幅広い科目を学びたい。文理の区別にあまり考えずに、自己形成のためになる科目は積極的に学びたい。

僕は文系ですが、理系科目にも興味があるので、幅広くいろんな分野を学び視野を広げたい。

新入生向け少人数セミナー、心理学系、文学系、歴史系

国際的な人間になれるようにまずは語学力を高めたい。

まだ具体的にこの系統に絞ろうとは決めていないのでとりあえず“教育”を考える上で、基盤になりそうなものがあればと思う。教育の行政についても興味があるので、法学系統に目を向けようと思います。とりあえずは語学を！

学部にとらわれずさまざまな学問分野の基礎知識を学びたい。

将来やりたいことと関係することは学びたいが、生きて行く上で知っていた方が良いことも学んでみたい。理系の授業も理解できるものであれば受講したい。

幅広く、自分の未知の分野の学問を学びたいと思う。自分の視野を広げたい。

文系学部といえども、理系の知識は必ず役に立つから、偏った学習ではなくバランスのとれた知識を得たい。先ず英語の実力をきちんとつけて、インプットするだけではなく、アウトプットしていけるようになりたい。

そしてもう一つの外国語を基礎からきちんと学びたい。

考えるための基礎となる知識、具体的には、哲学、芸術学、宗教学それに理科系科目など数学の理論も学んで見たい。

面白いと感じたもの。

将来役立つ科目や、学ぶのに多くの時間が必要な外国語、学生の間にはか触れることがないであろう理系の科目を学びたい。

高校ではなかなか学べそうにないことを学ぼうと思いました。将来心理に進みたいから、心理系のものを取りたいのはやまやまだが、今しかとれない面白いものを取りたい。

心理学に興味があるので、できる限りたくさんの専門講義を受けたい。

やはり人間の心理について学ぼうと思うが、数学や生物、脳の簡単な仕組みも知って精神医学に近いものを学びたい。結局は心理関係に結びつくものとして、多様な見方で勉強していく基盤を作っていきたい。

興味のあるものは貪欲に学んで行くと共に、無理をせず、健康にも気を遣いながら教養教育を学んでいきたい。第二外国語をある程度習得したいです。また、さまざまな科目が用意されているので、少しでも興味の持てそうなものがあれば、授業をとろうと思いました。またポケット・ゼミは是非参加してみたいです。「議論して学ぶ」という新しい体験をしてみたいからです。また受け身ではなく、自らを学ぶことに重点を置く姿勢を学

びたい。

今まであまり興味を持てなかったことを、そして自分が興味があったことをより深く、広く。

B群

高校時代から興味を持っていた歴史、文明系を詳しく学びたいと思うと共に、知識のあまりない哲学・思想系の教養も身に付けようと思いました。

ガイダンスの中で京都大学での教養とは、教え込むものではなく、自分で獲得するものだとなった。これからの入学4年間のうちに幅広い教養を身に付けることによってどんな社会の流れにもとらわれないような大きな視野を身に付ける。そういう視点、物事の考え方を学びたい。

文系、理系さまざまな分野の学問を偏りなく学びたい。

文系学部だけれどそれにとらわれずに興味があれば、理科系の科目も積極的に学びたい。

幅広い学問を学びたい。

基本的には最終的に自分が専門的に学びたい学問の基礎を身に付けたい。その一方でより広い学問体系についてもその基礎を学び、知的世界を広げたい。

心理学、社会学及び歴史学

興味の持てた科目を無理ではない程度にとってしっかり学びたい。

いろんな分野を幅広く学びたい。数学が個人的に好きなので、数学を教養として学び、将来は臨床心理の方に進みたいと考えているので重点的に取り組みたい。他にも歴史等に興味があるので頑張りたい。

第2外国語をきちんと学びたい。文系の人間なので、B群科目に興味を持って学習しようと思いました。ポケット・ゼミが面白そうです。教授の方があまり詰め込みすぎるとおっしゃっていましたが、詰め込みに時間割を組みそうな気がします。

B群科目以外、専門に近いこと、興味のあることを学びたい。

特に内容に触れておられませんでした。脳や神経などの働きに興味があるので、学びたい。また宇宙のことも学びたい。心理学を専門にしたいので、心理学系もかじろうと思います。

ガイダンスを受けて、1回生のときから分野別の科目を履修するのは、将来教養のある幅広い知識を身につけた人間を育成するためだ」ということを再認識したので、「自由に」溺れることなく、きちんと責任感と向学心を維持しながら、できるだけ自分に合った、かつ自分を高めてくれるような偏りのない勉強をしたい。

さまざまな分野の基礎的知識

教育という幅広い学問を学ぶにあたり、さまざまな分野の知識・考え方を身に付け、教育を学ぶための基礎としたい。

心理学の基礎的なことに加えて、教育学部とはあまり関係のない日本史関連の知識を学びたい。

生きていく上で役に立ち、また自分が興味のある分野を専門的な知識を持った目で見られるように教養教育の科目選択をして、その場限りでない学問を身に付けたい。

主に心理学

化学反応の過程の研究について理解できるようになるための基礎知識と他にとにかくいろいろ学びたい。

自分が何のために学びたいのか、今自分は何をしているのかといった、自己認識ができるようになりたい。(多くの人達との議論等を通じて)また近代の文化や言語を学ぶことで近代とは何だったか、これからの情報化社会を存続させるためにこれからどんな社会を築いていったらいいのかを同時に学びたい。

小～高校でこれまで学んできたことの中で興味をもった分野、逆に学ぶ機会のあまりなかったことで社会学、教育学、心理学

一つの分野だけではなく、さまざまな分野の教養を学んだ上で、専門分野を深めたい。

外国語の文法体系と発達心理学

教養の根幹をなす幅広い言語体系、文系では触れることが難しいような理系の学問、人文、社会、自然科学一辺倒にならないためのD群科目(部活動にも繋がるよう)

それぞれの分野での学習を個々のものとして捉えるのではなく、他の分野へ活かしたい。

遅刻してガイダンスをほとんどきけませんでした。

4. 法学部 (アンケート提出率 87.7%)

Q.1. あなたは京都大学で何を求め、どんなことに取り組みたいですか。

A. 以下のとおり（ :男子、 :女子）

今、就きたい職業が弁護士なので、それに必要な知識、役立つ情報を得たい、また、哲学、思想と自然科学等の幅広い興味を持っているので、当分は広く浅くそのあたりの知識を吸収したい。さらに、留学を考えているので、実戦で使える外国語の能力を身につけたい。できれば、一生つきあえる友人！！

法律に関する知識を深め将来の基盤にしたい。優秀な教授陣と触れ合うことで人間性を深め精神的に大成したい。

学問的権威の高い京都大学に入学することができたので、質の高い教育を受け、自分の知識として吸収していきたいです。また、同学部だけでなく他の学部の人とも交流をもち、教官の方々や友人から刺激を受けて人間的に成長していきたいです。

様々な個性をもった人が大勢いると思うので、そういった人と交流しつつ自分のやりたい勉強をして将来のことを考えたいです。

様々な分野に興味があって、将来的に考えて何を選択すればよくわからないが、興味があることはそれぞれ方向が違って、ひとつひとつ徹底的にやってみたい。やってみたうえで、もっとやりたいことを選んで、自分の将来に向けて形にしていくことができるとよいと思う。そのために資格の取得にも前向きに取り組みたい。右派の結集軸となりうる理論の完成。

求めるもの：完全に自由な学生生活 取り組みたいこと：実用的な法律知識の習得。

語学

法律家になるための高等教育をうけ、学んでいきたい。それと同時に、物理、数学、宇宙にも興味があるので学んでいきたい。将来エキスパートとして活躍できるような力をつけたい。

自分が勉強する姿勢を求め、法律や政治に対する深い理解をすることに取り組みたい。

多様な分野に渡る知識と教養を身につけたい。

知識やそれに基づいて考える力をたかめ、他者との議論によって、自分の考えを表現する能力や他人の意見を理解し、それについて考える能力を磨く場という役割を、京都大学が果たしてくれることを期待する。

あのような入試をくぐり抜けた京大生は、すばらしい教養・感性の持ち主であり、教授陣も優れたそれらを有しておられるだろう。そのような人々と交わり対話する中で、現在の未熟な自分の価値観や教養を研ぎ澄ませてゆきたいと思う。決して“頭でっかち”や自己固執に陥ることのないよう、様々な人々と対話していきたいのである。

社会における様々な現象や問題について考察を深めていきたい。そのために理解すべき考え方や持つべき知識に触れることができ、多くの刺激が受けられる授業を求めたい。

高校までで学べなかったことで興味のあるもの。資格取得。クラブ・サークル

将来のためにも法律知識を学びたい。

私は、将来自分がなにになるかを決めかねています。弁護士などの、人の一生にかかわる仕事を選んで、その責任をはたせるのかわからないからです。だから、私は大学生活のなかで、いろいろな職業の実際の様子を知り、いろいろな考え、深い考えにふれる機会をもちたい、そのために、できる限り多くの人と知り合う機会に参加していきたいと思っています。良い出会いができれば、将来を決める上で、すごく大きな目標にできると思うからです。人と話す機会を多く持つようにしたいです

最先端の研究や知識をわかりやすく授業してほしい。また、法科大学院が充実したものであってほしい。関心のある学問への知識を深めたい。

講義を通して、法律に関する具体的な知識と視野の広い考え方を吸収したい。サークルや社会活動への参加を積極的に行いたい。短期留学を絶対したい。

教養分野や専門分野において新たな知識を得て、自分で思考する力を養いたい。また、とりあえず、古今東西の著名な書をたくさん読みたい。

高校までで触れることのなかった数多くの科目から自分の興味と能力に合ったものを正しく見つけ出し、今後に生かせるように努力しながら新しいことに取り組みたいと思います。広く世界に通用するような知識を吸収し、それを使えるようになりたいです。

京都大学の教授や学生との会話の中で知的な刺激を求め、社会学・法学・国際関係について取り組んでいきたい。

豊かな人間性を持つ友人に触れ、法律の柔軟性を学びたい。

伝統的な自由の学風の中で、専門分野について深く研究できる場を求める。また、専門分野だけでなく、幅広い教養を身につけ(獲得し)ていけるように、様々な系統の学習に取り組みたい。ゼミなど教官や他学生との交流・対話の場を通じて社会と調和した人間になれるような取り組みをしたい。

高校では身につけることのできない、専門的な知識や基礎教養を得たい。自分で考える力を伸ばしたい。勉強や、友人、新しい生活を通して人格的にも成長したい。

自分の知的欲求を満たす。法学を極めたい。

サークル活動を通じ、人間関係を深め、人間的に豊かな人間になりたい。また、当然、司法試験に向けての勉強や、バイトなどにも取り組みたい。

社会性を身につける。積極的に社会活動を行う。文武両道を実践。

人間的成長と、人生の進路を決めること。

友人をつくりたい。仕事につながるいろんな知識をえて、教養を身につけたい。

興味にある分野を深く追究するとともに、未知の分野にも積極的に取り組みたい。多勢の人の中で講義を受けるだけでなく、ポケットゼミなどに参加して意見を述べたり、聞いたりしたい。確固たる根拠のある意見を持つためにも、様々な知識をつけ、深く考えようと思う。また、様々な個性をもった友人とも接して、寛容な人間性を身につけたい。

根源的には「学びたい」に集約される。

法学を勉強して、在学中に司法試験に受かりたい。

社会に堂々と出て行けるように、幅広い意識を得て、学問以外の分野でも積極的に活動したいと思う。

これだけ自由に科目選択ができるので、とにかく幅広く勉強できる。最先端の学問に触れる機会が十分あるので、自分からどんどん学問に励みたい。大学で勉強するのは当たり前だが、加えてサークルでの活動にも積極的に取り組みたい。掛け持ちになっても時間をうまく使って充実した生活を送りたい。

幅広い教養を身につけ、深い思考力と柔軟な判断力、多角的な視点を持った器の大きい人間になりたい。多くの人や先生と出会い、その人々を通して自分を見つめ直し、自己発展をしていきたい。学部専門の領域だけにとどまらず、広範な学問領域に身をおいて、勉強していきたい。

法学に関する専門的な知識を身につけながらも、自分の興味がある外国語にも力をいれて取り組みたい。第2外国語も実用できるようになりたいので、第2外国語も少人数クラスを設け、会話中心の授業があるといいなと思う。

自分がどんな分野に対して興味を持っているかまだわからないので、それぞれの分野の入り口をのぞき、新たな自分を見つける糸口にしたい。

司法試験合格を目標として、法学全般に取り組む。現代社会や人間性を鋭く考察することを求めて、関連の科目に取り組む。

世界に通用する能力を身につけ国際舞台で活躍するための確固たる基盤をつくる。外国語に重点をおく。

学術的教養、文化的言語力、基盤的知力を求め、京大の多様な授業を生かしたい。

教養を自分からつかみとって、視野の広い理性的な人間になれるように、取捨選択しながらいろんなものに取り組みたいと思う。

広く公平な目で社会を見るための教養を求めて、興味のある歴史や政治、法の分野を中心に取り組みたいと思います。

人間として、一回りも二回りも大きくなれるように幅広い知識と経験を増やしていきたい。

将来法律の専門家になりたいので、そのための知識をたくわえたいです。でもそれ以外にも、面白い講義にはどんどんでて教養の深いカッコいい人間になりたい。そういう学習面の目標と並行してもう一つのある目標が、友達をたくさんつくることです。親友と呼べる友達がもてたら最高です。部活動にも参加したいです。

高校までとは違う自由で自主的な学習を通して、また、その他の課外活動を通して、人間的に成長していきたい。法学部ではあるが、自然科学分野にも触れてみたい。そして、専門分野の知識に厚みをもたせられたらと思う。

たくさんの友達をつくって、勉強だけでなくサークルなど楽しくすごすこと。やりたいことを見つける。

自己形成

京都大学では、知的好奇心を刺激するような、高度な講義を受けたいと思います。そして、それらを深く理解できるように真剣に取り組んでいきたいです。

今までの自分に見えなかったことが見えるようにもっと視野を広くしていきたい。

専門的な知識と広い知識。

素晴らしい友達をたくさん作り、健全な体と沈着冷静な思考能力、強固な精神力を育みたい。大学は勉学の場だと思うので、興味ある授業に積極的に参加し、かつ、相方向的な議論の場にも足を運びたい。様々な交流を通して、自らを鍛え、その先に将来が見据えられるよう頑張りたいと思う。

法律に限らず幅広い知識・教養を身につけると共に、学内外の行事に参加して豊かな人間性を獲得したい。

求めること、取り組みたいこと：幅広い教養・実社会で役立つ専門知識。友人作り。
自分自身、これがしたいということがないので、色々なことを学び、その中で本当に自分が学びたいことを見つけたいと思う。
社会人として恥ずかしくないように、幅広い教養を持ち、社会に貢献できるようになりたい。また、法学や政治学の専門知識を得ていきたい。
将来の目標を実現できるために、努力したい。それ以外にも、自分の興味のあることを勉強したい。
友達づくり。司法試験の勉強。頑張りたい。
中高校生時代を海外で過ごし、日本には小学校の友人しかいないのでこれからずっと付き合っていける友達作りをしたい。法科大学院が設置されるため、それに向けて勉強していく人も少なくないと思うが、この1年で興味を持った法社会学や基礎法学も視野に入れ、柔軟な頭でじっくり自分が向いているものを見つけていきたい。(人に左右されず、自分らしさを強調していきたい。)
自由な勉学を求め、自由な勉学に取り組むこと。
今までとは違った視点を持てるようにする。
専門的な内容を深く取り組みたい。
将来に役立つことを学びたい。いろんな人と知りあって友達になりたい。
将来、自分にとって少しでも糧になることを学び取るとともに、少しでも多くの専門知識を積極的に摂取していきたい。また、第二外国語なども修得していきたい。
知識だけではなく、物事の本質を追求したい。
本当は外国の大学に行きたかったのですが、せっかく京都大学に来たからには、日本の法律について学び、卒業後にアメリカかアイルランドの大学に行けるよう語学をつきつめて勉強したいです。
高校の時、自主自律が学校のモットーだった。この大学には自分の力で物事を構成したり解決したりする補助をお願いしたい。せっかく法学部に入ったので、関心のある環境法学について学びたい。
私は自分の興味のある分野について、深く学ぶつもりです。特に国際的問題について学びたいと思っています。自分が目標とする法律家になるために必要な知識・教養を能動的に学ぶ上で、様々な学問を指導して頂くなどの高度な教育機会の提供を望んでいる。そして、法律に関する知識以外にも様々な学問を学び、多様な知的交流をしたいと思う。
法律に関する知識。外国語を身につけること。広い人間関係。
専門分野を1つだけではなく2つ持ちたい。例え、専門分野と言えるまでにならずとも複数の分野に対して、深い知識と明確な自分の考えを持てるようにしたい。
法律についての専門的内容と、幅広い分野の一般内容に取り組んでみたい。
新しい人間関係を築くこと。第二外国語の修得。軍法について(漠然ですが)
幅広い教養を身につけて、さらに、法律を将来社会に貢献できるように深く学習したい。
これまで学ぶことの出来なかった専門的知識を、学部にとらわれず幅広く学ぶこと。あらゆる分野を勉強する多くの人と出会い、自分の見識を深めること。
自由を求め様々なことに取り組みたいです。具体的にはまだ決めていません。
専門知識の修得と共に法学以外の経済学等幅広い知識を修得したい。
いかに自立して生きるかということ。知識を得るだけでなく精神的に発展するようにもしたい。
これまで書物等で断片的に得てきた知識について、きちんと学び直したい。
自分の目標とする弁護士に必要な知識や教養について深く取り組みたい。
すばらしい教授や仲間と出会い、自分を高めていく。
視野を広げ、社会に必要とされていることと自分が必要とすることの合致点を見つけたい。そして、自分が一生を通じて意欲を燃やせるものを発見したい。
だまって話を聞いているだけでなく、自分の考えも言えるように勉強する。
高校の時は勉強と部活の両立にすごく苦労したので、自律的な勉強・生活を送ることのできる環境の中で今度こそ両立したい。また、全国からいろいろな人が来ていると思うので、交流も大切にしたい。
専門的な知識を求め、大好物の語学に取り組みたい。
ただ単に知識を暗記するだけでなく、深い理解に基づいた専門知識を習得し、又広範囲にわたって学び、広い教養を身につけたい。
目標は司法試験に合格し、法曹になることなので、それに向けての勉強に励むのは当然だが、法学だけにとどまらず、他分野についての学問にも積極的に関心を持ち、幅広い知識・教養を身につけたい。また勉学だけでなく他の活動もやっていけたらと思う。

私にとって、ブラック・ボックスになっている日本の法律について知りたい。また、他国の法律についても余力があれば知りたい。

自分が社会の中でどのような役割を果たせるのかを見出す。

法学部内で自分の興味のある事を見つけそれに取りくみたいです。

語学を勉強して国際人になりたいです。

専門にかたよらない幅広い知識を得たいので様々な分野を学べるよう、たくさんの講義にでたい。

知を求める。さまざまな分野と専門的な分野に取り組みたい。

非常に自由な学校だと思うので、好きな教科を多く学びたい。

法律の勉強・運動・その他興味のある一般教養。

専門分野だけでなく、幅広い学力をつける。

文転する前に取り組むつもりであった自然科学分野に積極的に取り組みつつ、本学の人文科学分野を幅広く学びたい。

大学には高校までと違って、それぞれの専門科目を研究されている先生方がいらっしゃるの、まず自分の興味のある分野を見きわめて、その中で自分に何ができるのかを知り、何をするのかを決めていきたい。

高度で専門的な学問を修養することを求め、自律的に教養・知識を養うことに取り組みたい。

司法試験に挑戦すること。サークル活動など。

いろいろな知識を身につけたい。

小6の頃から夢だった弁護士になるため、法律の勉強に真剣に取り組み、ロースクールに進学したいです。人々の前で自分の意見を論理的に述べられるようになりたいです。友人や教官との対話を重視し、視野を広げ、人間性を高めたいです。

特定の分野に偏らない幅広い知識を求め、あらゆる話題に対して一定の理解を示せるような自分作りに取り組みたい。

法学を基礎から学んで、いずれは知的所有権について専門的に学びたい。学問やサークル活動を通じて様々な人と交流したい。

専門分野の知識のみならず、幅広い知識を身につけ、あらゆる角度から物事について考えることができるようになりたいと思います。留学生との交流を積極的にしたいと思います。

法曹をめざして、深い専門知識と素養を得るべく勉学にはげむ。

自分の世界観を広げてくれるような知的体験をしたい。

今までよりレベルの高い人達と一緒に学び、自分の能力も高めていきたい。今まで学んだことのない分野を勉強して知識を増やせるよう積極的に講義を受けたい。

学問は当然ながら、クラブ・サークル活動を通じて交流を広め、幅広い人間関係を築いて行きたい。

レベルの高い学習環境の中で、教養・人間性ととも深めてゆきたい。

総合的な勉強をして守備範囲の広い人間になりたい。とくに法学関係を中心にプロフェッショナルをめざしたい。部活もがんばる。よくばりすぎない。京大はこの4つを可能にできる場だと思うので積極的に動いていきたい。

勉強だけでなく、スポーツも友達も遊びもバイトも。

法学を中心に経済・宗教・芸術を幅広く学び、世界の全体像をつかむ。

自然に学問できる空間を求め、様々な分野の物事に取り組みたい。

学内で多くの人と触れ合い、自分の表現力、思索力を養っていきたい。留学生と交流し、文化の違いを直に体験し視野を広げたい。また、勉学面においては、法学・外国語に力を入れ、外国語を習得し留学の機会をつくりたい。

社会に出ても使える実践知識を手に入れるために、法学勉強だけでなく、実例なども研究したい。

「法律は何のためにあるのか」との問いの答えを見つけたい。様々な人の優れた考えに触れて常に自分を高めたい。自分が社会・日本・世界の中で何ができるか、何をするのかを探して、その道を究めたい。

自分のしたい事を見つけ、将来につながるよう学びたい。そのことができる自由な環境を得、特に興味のある政治都市京都について、実践的な学習をしたい。

法律関係にこだわらず幅広い分野に対して見聞を広げていきたい。音楽等の趣味を、サークル・クラブ活動を通じて行っていきたい。それを通しての良い人間関係の構築。

ドイツ語を習得し、2006年ワールドカップを見に行きたいです。

法律学とともに歴史学にも関心があるので、法制が様々な時代にどのように変化していったのか、また、それを踏まえて現代の法制度を研究してみたい。

学業とサークル活動、バイトなどを両立させ、充実した大学生生活を送ること。
高尚な人間としての質を求め、自分の質を高められることに可能な限り取り組みたい。
教養の滋養、専門知識・技能の獲得。何をなすべきかを知ること。
自分なりの価値観を確立すると同時に幅広い視点を持つ。そのために様々な学問分野、また様々な人に触れ、自分の世界を広げたい。
高校までの実際に社会で必要としないような教育ではなく、実社会で必要な学問を高いレベルで学びたい。具体的には法律関係の方面を考えているので、そこを中心に取り組みたい。
新たな視点を獲得し、物事を客観的に評価できるようになりたい。そして色々な考え方を受け入れるようにしたい。
広い人間関係を築くこと。国際的、学際的な視点で物事を考えることができるようになること。自分なりの核となりうる信念を構築すること。何事に対しても能動的な姿勢で取り組めるようになること。
自分の好きなことが自由にできる環境。
物事に対し、理性的で責任のある言動がとれるように、社会の多方面に関しての十分な知識を獲得する。社会問題に対し、複数の見解を常にもてるよう、他者の意見を知る。
法学に興味があるので、まず法学に学びたい。経済学も学んで社会の仕組みをよく知りた。サークルで良い友達をつくりたい。
「自由の学風」の中で如何にして自己を律するか、常に目標に向かい続けるかを課題にしたい。現状に満足することなく高い次元を目指したい。
大学での4年間(ないし5,6年間)は「学ぶ」ことに集中できる時間と考えています。京都大学では、自分の将来に役立つことを学び、そして、それを何らかの形で行動に移してみたいと思います。
今のところ弁護士に将来なるつもりなので、法律をしっかり学びたい。多くの専門的科目提供を希望。ロースクール進学を希望。弁護士と社会とのつながりについて学びたい。勉強だけでは4年間もったいないので、サークルにも取り組みたい。
主に政治学について学び、理論にとどまらず実際の国内・国際政治の動きを理解できる能力を身につけたい。また将来報道関係の職を考えているので、マスメディアの作用や、経済についてなども学んでいきたい。
私はまだ将来の自分が具体的に見えてきません。今の私は、色んな事に触れて知りたいという気持ちでいっぱいです。法学部だからと言って法の勉強だけでなく、広い分野の学問をしたいです。また、自主的生活を通して、人間的に大きく成長したいです。
幅広い知識を得、友人や教授との対話を通し、様々な視点を獲得しつつ、開拓していきたい。
僕は今まで京都大学法学部をめざして勉強してきました。入学したからには授業に真剣に取り組み、受講した学科で単位を落とさないよう頑張っていきたいと思います。また、一方では、これまで満足にできなかったこと、すなわち、サークル活動やバイトなどにも、学業と並行して一生懸命取り組みたいと思っています。
資格を得るために必要な教養や知識を学ぶことを前提に大学生活を送りたい。
高校とは違い、学部に分かれたので、やはり専門的な法の知識を身につけたい。でも、広い視野をもって物事を見つめていきたいので、脱線話など、その先生の考え方なども色々知りたいと思う。
いい人間関係を築き尊敬できる人に出会い、成長したい。何事にも積極的にとり組み、楽しく過ごしたい。
学問の自由と学生の自主性を重んじる態度を求める。議論に耐えうる語学力。様々な基礎教養(法律以外も)、法律の知識取得・司法体制について学ぶこと。
専門的な内容を深く勉強したい。
自分の人生の方向性を見出すため、学問はもちろん様々な活動に取り組む。無計画な時間を極力なくす。
何でも知っている人間になる為、社会について様々なことを学び自分のものとしたい。
ユーモアと教養を求めます。まず、自分の本質を見出し、ユーモアと教養を兼ね備えた理想の自分(=master of life)になるための足がかりにする。あと、いろいろな人の話を聞きたい。(先生や友人や先輩とか)
自分の視野と可能性を広げるために、常に、自主自律を意識して勉学やサークル活動に励んでいきたい。
自分が打ち込めるものを見つけ、それを追究する。自分の力で、自主的に動いてそれを見つける。社会的協調性が若干欠けている自分からの脱却。
自分の人間としての幅を広げたい。
京都大学では他大学と異なり、自分の学部と関連のない学問を学べるので、社会科学を中心にして自然科学など、より幅広い学問を学び、広く豊かな教養を持てるようになりたい。
幅広い教養を身につけ、人間性を高めたい。それと同時に、法律の専門的な知識を習得し、常に探求してゆきたい。

法学に関する専門知識及び教養を身につけたい。いろいろな人と出会って話しあいたい。
法律に関する知識と自立して生活していく力を持てるようにしたい。自主的な勉強をすすめる。
高校までの「教えられる」学問とは異なる、自分の興味のある分野を「自由に探究できる」学問に取り組みたいと思う。授業のスケジュールをほぼすべて自分の選択で決定するのは初めての体験であるが、この機会を十二分に活かして、自分の成長のために努力したい。
様々なことに取り組み、人間的成長を図りたい。
文理を問わず広く興味ある学問の学習と自分と異なる友人、教授たちの考えの吸収、バイトやサークルなどでの経験、さらに、それを通して自分が向上したという自信を、大学卒業時に持てるようにしたい。
京大を志望した理由の一つに「京大なら真性の学問ができる」と相談した方々から一様にアドバイスしてもらったことが挙げられます。そこで興味の沸いたことをとことん学習しようと決意した訳ですが、その当初の目的に沿った形で、これまでとは異なる形態の学問を心ゆくまで学び取り、教養を深めていきたいと思うのです。机上の学問だけでなくサークルを通して幅広い人間関係を築いていきたいと思えます。そして、知識のつめこみではなく社会問題について考え、自分なりの解決案を提示できるようになりたいです。
生涯にわたって自分が研究しつづけられるような学問分野を見つけたい。
自分の将来設計を行うための教養。
今まで学んできたことを様々な視点で見つめ直すとともに、学んだことのないことにも積極的に取り組みたい。そして自分の考えというものをしっかりともち、それを論理的に説明する能力を身につけたい。
表面的な知識ではなく深い学問に触れてみたい。私は法学部生ではあるが、国際関係について学びたいと思うので、経済や自然科学分野についても講義を受けたいと考えている。
特に変なものやことを京都大学に求めているつもりはないけれども、教授の方々と豊かな知のやりとりができて、なおかつ自己の成長に適した環境がそろっていれば満足である。
何でも自分がやりたいと感じたことをやらせてくれるそんな環境を求めます。
法律について究めたいのは当然として、今まで全く学んだことのないようなおもしろいことを学ぶ。
人生をかけて追求できるものを発見できるように、積極的に様々なことに挑戦していきたい。
法学部の枠にとらわれずに様々な分野についての広い知識を得たい。多くの人との交流や議論から新しい考え方や物の見方ができるようになりたい。
自分が成長できるようなこと。
自分の世界を広げるために、多様な人間と交流をもち、多様な学問を学びたい。あくまで楽しく。そして、それを以後の人生の道標としたい。
将来、法曹の仕事につくための専門的な知識の提供をして頂きたいです。私はそれを身につけ、同時に幅広い教養を備えたいと思っています。
学生である以上、勉強が中心になるのは当然のことだが、サークル活動やアルバイトなど社会性を育むために必要なことも積極的に参加していきたい。将来の志望も不明確なので、それも考えていきたい。
言語の修得と、はっきりと自分の意見を持ち、それを表明する力を手にいれたい。教授とディスカッションに励みたい。
法についての理解を深め、その知識を、物事を判断する上での1つの道具として活用できるようにしたい。幅広い教養を身につけたい。
役に立つ、立たないに関わらず、様々な種類の知識を得ること。
英文講義に参加してみたいです。
深い教養及び知的興奮。「学び」と「遊び」の両立。
英語の習得。強さ。
高校の受験勉強とは違う、専門的・学問的な講義をうけて教養を深めたい。
社会が動く仕組みに興味がある。現代の日本で、全ての人間活動と結びついている法を学ぶことを通じ、社会がどのように成立し、どう動いているのかを知りたい。またそれに法がどう関わっているのか学びたい。あと演劇と。
様々なことを経験して多くの人と触れ合い見聞を広めたい。
様々な人との交流。第二外国語の取得。
一人の人間として成長するため、様々なことを身に付けていきたい。
人間的成長や向上、幅広い知識と教養。グローバルな人となる。法学を学ぶと同時にそれを生かせる自分の活躍の場を模索していきたい。
法と経のより専門的知識を求めます。取り組みたいものは企業の経営。

高校までの消極的勉強から積極的学問へと態度を改められる環境を期待し、その中で、日本の大学生として汚点のない能力を身につけられるように、積極的に議論、講義に参加したい。

希望職種を弁護士にするにあたって、他人から相談を受ける際、信用に足るような人格や広い知識を持った人間になれるよう取り組みたい。

専門分野だけでなく、4年という長い時間の中で教養を身につけたいです。他の学生や教授とも議論を交わしていきたいと思いました。

法律についての基礎的なことを学びながら、本当に自分のやりたい事や興味のわくものを見つけるため、何事にも積極的に取り組んでいきたい。

さまざまな分野を知り、取り組みたい。個性的な人々と仲良くなり、将来の自分の理想像をつくりたい。

自分が将来何をしたいかを決められるようにしたい。

興味がある分野の知識を広げ、理解を深めるとともに、学業・運動・友人関係などの中で幅広く行動すること。自分の好きな勉強を自由にできる環境の中で、幅広い教養と専門知識を持った人間になれるよう努力したいと思います。

京都大学の自由に学べる校風を生かして、おもに法律学・政治学に取り組みたいです。

法律の専門的知識を身につけたい。

幅広い教養の獲得。

外国語をしっかりと習得する。課外活動(サークルなど)。自立と自律。専門的な知識を身に付ける。

視野の広い人間になれるよう、いろいろなことを学びたい。

専門的な知識、特に法関係の知識を身につけるだけでなく、人間関係の形成やいい意味での力の抜き方などを学びたい。

自分が心から求め、夢中になれること。

京都大学で、国際人として通用するための深い教養を身につけたい。そのため、語学や世界情勢、国際常識の習得に特に力を入れて取り組み、それ以外にも多くの学問に触れてみたい。同時に、社会人たり得るだけの一般常識をできるだけ吸収し、スムーズに社会に出られるようになりたい。

様々な意味での自己の独立、確立を図りたい。さらに、自分にとって人生を費やしても納得できるような目的を見つけたい。

多くの人からの情報。本当に自分がしたいことを見つける。

自分の興味ある分野に関して、専門知識を身につけるとともに、卒業後の進路(仕事とか)を探したい。幅広い教養を身につけ、交友関係を広げ、自分の人間性を磨きたい。

国際政治や国際関係論を主としたいが、法学全体や経済学についても幅広く取り組みたい。

私は京都大学の自由な校風にあこがれて入学したので、その校風を大切に、自分の選んだ専門分野を深く学んで、社会の役に立つ人間になれるようにしっかりと勉強したい。

可能な限り講義に出る。

多くの優秀な人に出会うことで自分の能力を向上させたい。

幅広い教養を求め、授業だけでなく、読書や人との交流を通じて、様々な知識を吸収できるように努めたい。スペイン語を学び、スペインの文化を知り、スペインを旅してみたい。

今世界で起きている戦争や紛争などの国際問題に対して、自分の意見をしっかりと持てるようになりたい。他文化について、歴史や生活様式を学んだりして接することで、メディアなどに惑わされない、自分のスタンスをつかめるようになると思う。

学部で指定されている科目以外で、自由に受講ができるものをたくさん学んで、幅広い知識を身につけたいと思う。

幅広い教養。人間的な成長。自立した生活。

法律。

幅広い知識を吸収し、法律家としての公正で適切な判断力を身につけたい。興味のある分野に関しては可能な限り知識を深めたい。

とにかく色々なことに挑戦してみたい。今までは受験(入学)のための勉強だけだったけれど、これからは全てが自分の選択で決定していけるので、貪欲に様々な人と出会って、たくさんのことを吸収したいと思う。

1つのことにまだしぼらずに、いろいろなことを学んで、その中で自分にあったこと、学んで楽しいものを見つけて、もっと深いところまで学んでいきたい。それに、ただ勉強だけでなく、サークルなどもして人間関係も広げていきたいと思う。

まずは勉強。今まで受身的にやってきた勉強が積極的に自ら取り組めることに喜びを感じている。でも、今ま

でしたことのないことにも挑戦したいし、バイトもしたい。総合的に有意義な4年間を過ごしたい。京都大学の「自由な学風」のもとで様々な人達と出会い、様々な経験を積み、それから自己を向上させるために役立つものを獲得したい。

高度な学問理念を求め、それを応用できる場に積極的に参加することで人間性を育み、社会に貢献していきたい。

将来の進路にとらわれずに広い知識を身につけたい。

多くの分野にわたる授業を受けることで教養を深めるとともに興味をもつ分野を広げ、深めること。大学における授業以外にも様々な活動を行って、社会に出る前に多くの経験をする。

社会問題や人生について議論できるような仲間や心を開いてつき合える友達を多くつくりたい。社会や法律、その他色々な学問に触れて、視野を広げ、思索を深めていきたい。また、社会に貢献し、人を助けられるような専門知識を身につけたい。

語学能力の向上と幅広い見識を備えた国際人となることを目標としたい。友人との交流から多元的な視野を獲得したい。

司法試験を受けたいので、そのための専門的な知識を増やしたい。また、将来、弁護士として働く上での社会的な知識を身につけ、自分の意見をはっきり表明できるように努力したい。

法律(民法、刑法など)を中心に、重点に学んでみたい。それと同時に外国語(特に英語)をきっちりと学んでおきたい。語学の学習を進めていくうえで、留学(短期)もしてみたい。

様々な社会問題などに触れて奥深い勉強をしたい。いろいろな人と議論の場を持ちたい。自分なりの確固たる意見や姿勢を持ちたい。

法学を学びたくて大学に入りましたが、教養課程の間は広い視野を持って、語学や、特に理系科目の内容も学びたいと思います。今はまだ先のことでよく分かりませんが、専門課程では将来のことを見据えて確実に高い知識をつけていこうと思っています。また、学問だけでなく、クラブや課外活動を通して、多くの仲間をつくっていきたくて考えています。

自発的に勉強するものを見つけようとする姿勢を身につけたいです。

一人前の大人に成長したい。

これから先の人生を生きていく糧となるような知識を身につけたい。

自分の興味をもった教科・科目について、深いところまで、掘り下げた形で身につけられるように、法学を中心に学んでいきたいです。

法学部だからといって、法律関係のみに関わらず「自由な学風」という教育理念に基づき、幅広い知識を身につけたいと思う。また、そうした体験を通して新たに興味をもって取り組みたいと思えるものを探したい。勉強も頑張る一方、クラブ活動の方にも力をいれたいと思う。

大学生活においては学生の自由が大幅に認められており、更に本学の学風は自由ということである。よって、体育会の部活に入部して、有意義な生活を送りつつも、単位の確保に留まらない、読書等による幅広い勉学に励むつもりである。

興味のある分野を深く学ぶ！！

精神的に異常に強くなる。

ある程度の法学・経済学の知識を得、実際に応用してみたい。

法律の勉強。社会勉強。

良き友を100人と良き師を10人。

自分の至らない部分も含め、自分の「価値」を高めていくことが第一。自分を深く見つめ、邪悪な自分からの脱却。自分の中の「悪」の部分を完全に払拭してはじめて自らを高めることが可能と考える。ひたすら内なる「悪」を追い払うべく自分の内側から鍛えあげたい。

自分ひとりの勉強ではなく、多くの人と意見を交わして多角的なものを見方ができるような人物になりたい。自分が興味を持ちかつ今後役立つ知識を、科目を厳選することによって1つ1つ深く学べるように努めたい。法の精神、理論、歴史を学び、それにもとづいた価値観を養い、少しでも社会に出て、実戦に役に立てるような経験をつんでいきたい。

将来をみすえて、友達をたくさん作り、地盤を固めていきたい。国家試験を受ける。日本を変える男になる。自分の興味のあることを学ぶことと共に、いろいろな人の話を聞いて、今まで知らなかった考え方等にも触れてみたいと思う。

政治学等「社会のしくみ」について学びたい。英語・スペイン語を「読み書きできる」でなく「話せる」ようになりたい。

法律に関する専門的な幅広く深い知識を身につけていきたい、その一方で、高校時代に取り込んできた陸上競技を続けて身体を鍛えたい。

幅広い学問を学び知識を身につけて教養を身につけることで、社会に出た際に、多くの人役に立ち、自分がそれまで学んで身につけてきたことを社会に還元できるようにになりたい、そのために自由な学風だからといって流されてしまうのではなく、しっかりと腰をすえて勉学に励みたいと思う。

人間性の育成、礼儀作法を身につける。外国の留学生との交流。弁護士や警察の実際の仕事を体験したい。自ら学ぶ姿勢を身につけて、自分の興味のある分野には積極的取り組みでいきたい。

高校での学習は興味のない分野も勉強しなければならなかったけれど、大学に入った後は今までに学んだことのない新しい分野や学問を履修して、色々なことを知り、真面目に勉強して地道に教養をつけていきたいです。とにかく真面目に勉強することが第一目標です。

新しいことに積極的に挑戦して自分の可能性を試してみたいです。いろんな友達をつくって視野を広げて、自分が一生を費やせる何かを見つけたいです。

法律や国際関係に関する知識を学ぶ。

様々なことに興味をもつことで、自分自身の視野を広めたい。それから自分が本当にやりたいことを見つけ、そのために必要な勉強に取り組みたい。

自由な学風をプラスに活かし、興味を持って学習に取り組む。司法試験へ向けての土台を作る。

中学や高校では学ぶことのできなかった、細かい学問分野についての講義が聞きたい。

時間的・精神的にゆとりのある状態で幅広い分野について学び、豊富な知識を得る。また、机に向かう学習だけでなく、サークルなどで様々な経験をして人間的に成長することに取り組みたい。

知識を求め、政治学に取り組みたい。

京都大学では自己を教養的、人格的など全般的に高めてくれるもののヒントを求め、そのヒントから自己を高めることに取り組みたい。

法律、政治を通して社会問題について考え、自分が将来それらに対し何ができるかを見つけたい。学問、交遊関係や様々な経験を積んで広い視野を身につけたい。

自由な勉強ができると聞いているので、自分のやりたい勉強をどんどんやりたい。専門的な知識や資格も。あと、友だちや先輩たちとの人脈も広げたい。スポーツもしたい。

将来、法に関係する仕事につきたいので、特に法律関係の授業をまじめに取り組みたい。社会科学にも興味あるので、教養のA群もしっかりと聞きたい。

まだ、考えていない。大学生活の中で考える。

優れた教官と優れた友人に囲まれた環境の中で、今まで興味があった分野に加えて新たなものを学んでいきたいです。

私は、社会の中で個人として生活してゆくために必要な教養や技能・自覚を身に付ける為に、教授や友人と幅広く接したり、様々な知に触れたいと思います。

興味のある分野の講義をたくさん聞きたい。友達を増やしたい。将来に役立つようなことを、勉強に限らず多く学びたい。

様々な学問にふれ、様々な人と関わりをもって、視野を広げて自分の行き方を定めたい。そのためにも積極的にいろいろなことにチャレンジしたい。また、海外で学問をする経験はぜひやってみたいことである。自由さに流されずに計画的に、積極的に学生生活を楽しみたいと思っている。

幅広い知識を得ることを求めたい。多様な人と出会い、今までチャレンジしたことのない新しい事に取り組む。

将来に直接関係する勉強ができるので、予習・復習を欠かさず、有意義な時間を過ごしたい。又、勉強のみではなく幅広い人脈を形成したいと思う。

学問、対人関係、部活などすべての面で充実した学生生活を求める。また、アルバイトや留学、旅行などを通して、自分の知らない社会の一面に出会い、それを理解していきたい。学問では予習・復習ができる範囲内の単位をとり、教授や学生達との交流も大切にしたい。京都大学で得られるであろう数々の可能性を利用して、自分を大きな人間に成長させたい。

今現在自分が何のために生きてゆきたいのか、人生を費やすにふさわしいことを見つける。

新しいことに挑戦して、自分の視野を広げたい。知らなかったことを知る喜びを獲得したい。未知を求め、既知をもって貢献する。誰にも知られない所で、理系の研究をしたい。他人が見えて、自分も少々見える人間になりたい。

法律はもちろん、政治学に関しても勉強したい。

自分の将来の進路の役に立つことや、自分の興味のあることなど幅広く学びたい。この大学の自由な校風で自由に学びたい。

深い教養と専門知識を求め、積極的に授業に取り組みたい。

国の為、国民全体の為に役に立てる人間として、知識を高め、国際化社会の中で他国との協調を図りながら、日本の更なる発展のために尽くせる技能の修得を目指したい。

自由な校風を生かし、文系にとらわれることなく、将来的にやりたい研究(生命倫理)につながることを積極的に学んでいけたらいいと思う。

専門的な知識の獲得と技能の向上を目的として、早い段階から法学の講義を重点的に受けたい。

色々な経験をしたい。クラスやサークル等に多くの友達を持って色々な人にふれ合いたい。

幅広い分野にわたる知識を着実に獲得できるようにしたい。又、教授陣も学生が十分に理解できるように授業してもらいたい。

世間一般について学び、実社会に即した法律論について知りたい。

教授の先生方や先輩、図書館の資料などから豊富な知識と多面的な考え方を吸収し、国際法と環境問題を軸にして、国際的な組織のあり方、国家間の経済格差、それを生み出している文化的、社会的、経済的背景、そして、地球規模の環境問題についての自然科学的知識も得て、多面的な視点から地球規模の環境問題を考え、それに対して、どんな法律が、どんな組織が必要なのか考えたい。

自由な学風の中で、そのメリットを最大限に生かしながらも、その言葉に流されて墮落してしまわないように大学生活を送りたい。その中で、京都という18年間住み慣れた地から、日本、世界を政治や法律という立場から客観的に見つけ、高度な判断力や批判力を養いたい。

自由な環境の中で自立性を獲得し、多様な事に取り組む。情報網、人脈を作る能力を求める。

自分で興味を持ったことをとことんつきつめられる手段、知遇を得たいと思う。取り組みたいことは、主に国際法を勉強したいと考えています。

はじめのうちは、できるだけ多くの分野の授業をとり、興味の範囲を広げたい。その上で、自分に合った分野を決めて、専門的に学んでゆきたい。現代の社会問題に関連することを広く学びたい。特に福祉の分野は興味があるのでくわしく知りたい。

大学卒業後へのステップとなる英語以外の語学の習得と留学生との交流を通して、日本人的な社会の枠組みに縛られない考え方。これから先ずっと自分の根幹となるような思想的刺激。人から刺激を受けて、向上していきたい。

様々な知識を身につけたい。司法試験の合格を目指す。弁護士になる。

法律を中心に学習し、また幅広く教養も学びたい。また学業のみにとらわれず、興味のあることにはできるだけ挑戦してみたい。

全世界の人達が幸せに暮らせるような世界を作るのに貢献できるような人になりたいので、今、そのために必要とされていることが何かを知り、必要となる事柄(知識、能力、人間性 etc)を習得していきたい。

実社会で役に立つ、立たないに関係なく自分が興味を持っていることをとことん突きつめていきたい。また、知識はもちろんのことだが、それ以上に物事を論理的に考える力と、広い視野を養っていきたい。

外国語学習に力を入れたいと思う。英語は必ず話せるようになると決意している。法学部では政治学や環境法について深く考えたい。サークルはオーケストラやボランティアなどで、同じ興味を持つ人と関わりたい。専門分野の勉強をきっちりと行いたい。まずは、法・政治学の分野だけでなく、様々な分野の勉強もし、広範囲に渡る基礎的教養を身に付けようと思う。

今までの受験のための勉強に不満を感じていた。興味のある分野を深く学びたい。また、ただ講義を聴くだけでなく、自分で調べたり、討論や発表などもしてみたい。勉強以外の面では、交友関係を広げたり、今までしなかった、できなかったことにもチャレンジしたい。

私はこれからの人生何のヴィジョンも持っていない。目標、優先事項など何一つ定まっていません。4年間の大学生活で生きがいを見つけ、どういう人生にするのかはっきりとしたヴィジョンや目標を持てるようになります。またたいへん浅はかで未熟なので、人間性などを磨き、奥行きのある人間になりたいです。勉学、サークル、遊び、友達など、何一つおろそかにすることなく、やりたいことをすべてやり切って充実した生活を送れたらと思います。

国家公務員 種試験を受験したいので、それに向けて法学の基礎や語学力を身につけたい。将来は外交官を志望しているので、留学のプログラムにも積極的に参加していきたい。世界を舞台に活躍するためにも豊かな教養を身につけたいので、サークル活動においては音楽に特に力を入れていきたい。4年間の日々を無駄にすることなく過ごしたい。

自分が大学卒業後、何をしたいのかを見つけない。そして、したいことができるように外国語や法律の基礎を身につけたい。

多様な事象を分析し、解釈して様々な可能性を探って判断していく能力を鍛えたい。そのために様々な経験を積んでいきたいと思う。

自らの知識を広げつつ、いろいろな人と交流し、将来のヴィジョンを確立してゆきたい。

司法試験合格に必要なことと、広い視野を獲得するためにその他のこともやっていきたい。

勉強ばかりでなく、人生経験をつむ。また、将来に生かせるように、専門的な技能を身につける。

自由に自分の学びたい方向を学び、またしっかりと司法試験対策を受けたい。また、そのために、専門科目をしっかりとって、語学の勉強にも力を入れたい。

専門知識を深めることによって社会に出て使える人間になると同時に、それ以外の学問についての知識も深め、教養を獲得したい。

やったことがないことをやってみたい。

将来社会の中で役割を果たしていくときに必要となったり、役立ったりするような知識をたくさん身につけ、また自分自身で考え、判断し行動することによって、幅広い意味での教養を身につけたい。

検事になる、もしくは警察庁に勤めるための豊かな教養を施して欲しい。

これまでの暗記中心の機械的作業ではなく、自分の興味がある問題に納得のいくまで挑戦してみたい。大学に何かを求めるといよりは、自発的に大学の環境を利用したい。弁護士を目指して法を学ぶのはもちろんだが、幅広い教養を身につけたい。

サークル等の活動で人と交流したい。講義をまじめにききたい。講義は先生の声がよく聞こえるようにしてほしい。知識の応用をしたい。

国際関係論や政治論に興味があるので、法学よりもそっちを勉強したい。あと、将来やりたい仕事が必要なので、まじめに勉強しようと思う。あと、大学院進学や留学も考えている。

将来やりたいことを具体的に計画し、そのために専門的な勉強をしっかりとやりたい。また、人間性も高めていきたい。

幅広い教養を身につけて、人間的に成長したい。自分の考えを説得力をもって適確に述べられる表現力を身につけたい。

クラブ活動を通じて不屈の精神力を養成し、将来国際ボランティアで働けるように、国際関係を追求していきたい。

社会科学の知識を身につけて、将来への方向性をよく考えたい。オーケストラのステージで(パーリーになって)弾きたい。英語とフラ語(かな?)をテレビや新聞できちんと理解できるようになりたい。

留学生など様々な人との交流の場を求める。学問と平行して部活にも積極的に取り組んでいきたいと思う。

自分の興味ある分野の教養を深め、友人を増やし、知性と感性を磨く。資格を在学中になにか取得したい。世界を知る。

自分のやりたいことに好きなだけ没頭できるような環境の中で、将来進むべき道を探し当てるために、常に自分に厳しく、かつ新しい京都での生活を楽しまつつ、色々なことに全力で取り組みたい。授業を無駄にせず、まずは学業優先の生活を心がけようと思っている。

豊かな教養を身につけ、人間性の高い常識的な人材になりたいと思います。国際的視野や法律に関する専門的な知識を学ぶ。明確で筋の通った意見を論理的に述べられるようになりたいと思います。

外国語(最低英語)の修得したい。専門的な知識以外にも幅広いことを学びたい。

教授や先輩と議論しながら、現代の政治についての理解を深めたい。

豊かな人材形成を目指して、色々なことに好奇心をもって当たりたいです。

今までやった事のない勉強をしてみたい。具体的には哲学とか。他にはサークル活動もやってみたいです。

勉強、サークル活動等を通して、人格的に成長し、自分自身を確立したいです。そのため、何事にも積極的且つ主体的に考え、取り組みたいです。特に専門科目に関する勉学に励みたいと思います。専門科目の研究を通して、問題意識を持ち、それを主体的に解決していく姿勢を身につけたいと思います。

法学部に在籍しているが、京大ならではの「自由な学風」を十分に生かして、文学、経済学といった文系科目だけでなく、理学、工学、医学といった分野も学んでみたい。

Q.2. 本日の全学共通教育のガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか。

A. 以下のとおり(:男子、 :女子)

もともと興味があった哲学・思想系列と自然科学、KUINEP で異文化交流をしたいとも思った。

情報系の学習に力を入れ、専門分野以外でも不自由ない知識を身に付けたい。第二外国語の能力を現在の英語力程度には身に付けたい。

ガイダンスを受けて、京都大学の教育理念を知り、教養教育として、本学で外国語をはじめ、自分が専門的に勉強したい科目の知識だけでなく、幅広い教養を身につけたいと思いました。それを専門分野を学ぶ時の基盤とすることができればいいと思います。

自分の興味のある分野（特に人文科学系）を学んでみたいです。

語学はしっかりやりたいと思う。外国に住めるくらいの語学力を身につけたい。文系だが情報処理についても学んでおきたいと思う。

先人達が行ってきた試行錯誤の方法と結果。

英語、法律。

国際関係論。

自然科学系のことを学びたい。ポケットゼミにもでたかった。

自分が得意でないものも含め様々な分野の勉強をしたい。

今までの知識では、判断出来なかった事柄に関する知識を身につけ、判断したい。

日常起っている現象について考察する基礎となる知識や、先人達が残した思想や文化についての理解などを深めたい。

現在、メディアの発達等により、私たちは膨大かつ様々な情報の中にいる。世界情勢や社会においても、ニュースなどの報道で私たちは色々なことを知ることができる。しかし、はたしてそれらは本当に真であり、かつ私たちはその情報を掌握しているといえるのだろうか。様々な教授のもとで、色々な主義や概念を学び、現在の世界情勢（特にキリスト教的価値観とその他の価値観との対比、対立）をとりまく根本や真実を学んでいきたい。

哲学や社会学などは、今の私には法律と関係のなさそうに見える学問ではあるが、視野を広げられ応用もできると思うので学びたい。

自分は文系であるが、科目に偏りを作らず、数理系をはじめあらゆる分野に関して素養を深めたい。また、特に政治学もかじりたいと思っている。

ドイツ語を身につけたい。スポーツ実習をしたい。

先ず何より英語をマスターしたいと思います。読み書きはできても、聞き、話すということができないので、できるだけリスニング、交流に参加したいです。

法学だけにとらわれず、様々な科目を学びたい。私は文系だが理系科目にも関心があるので生物学なども学びたい。また、高校の時から好きだった歴史についても知識を深めたい。

法学部以外に関する講義も受けてみたい。歴史や文化に興味があるので、1つはそれに関する講義をとりたい。

外国語の授業は特に真剣に受けたい。法律を勉強するための基礎となる教養を得たい。

国内、国外を問わず、今まで深く知らなかった社会の様々な問題についての知識を得たい。教養教育としては、地域社会と個人の関係や、国際問題について考えるようなことを学びたい。

まずは語学！！何と少しでもこれを身につけたいです。その他にも、大学ならではの様々なシステムを活用しながら国際関係の分野も学んでいきたいと思います。

欧米の中学生と話をしても恥ずかしくない程度に社会的・国際的なことを学びたい。

法知識以外にも、興味を持つ宇宙のことにについて学びたい。

法学だけでなく理系分野などの学習もしたい。特に、一人の社会人、または人間として身につけておくべき知識や教養に関して、積極的に学びたい。

理系科目についてあまり教養がないので、数学や化学、生物について、専門科目の土台になるような法律についての教養。その他、様々なことを幅広く学びたい。

法学を中心とし、文理関係なく、自分の興味のある分野を学ぶ。

理系科目は苦手だが、内容を読むと興味深い内容のものも多いので、理系科目も真面目に取り組みたい。

法学の基礎について学ぶ。教育、総人系統の学問も学びたい。（教育学・心理学・地理学等）

論理的思考力。

法律、国際政治を中心として、別の分野も幅広く学びたい。

まずは語学、とくに未知の言語をしっかりと学びたい。また、法曹関係に関心があるので、その土台となるような社会科学系の科目を幅広く学びたい。

人文・社会科学系（法律、経済、哲学等）の教科を広く学ぶことによって、各分野における広汎な知識を身につけ、それを応用できるようにして行きたい。加えて、種々の外国語を学ぶことによって、確固たるコミュニ

ケーション能力、自己表現能力を身につけたい。

心理学・法学・数学・科学系に興味がある。

受験でとらなかった科目（生物学、日本史など）を少しで良いのでかじってみたいと思う。

今、地球がどのような状態にあるのか、文系理系と俗に呼ばれる科目を問わず視野を広くしてとらえられるようにしたい。自分は高校時代3年間理系クラスにいたのでどんな科目にも興味があるし、抵抗はない。

社会科学系の授業だけでなく、自然科学系の授業もとり、文・理のかたよりがないように学びたい。また、哲学・思想系で「生き方」や「哲学の歴史」などを学んで、人間の奥深さや生の意味などを探究したい。

社会的、国際的問題について、他方面から偏見を持つことなく見つめ、現代にあふれる問題に適切に対応できるようにするためのことを学びたい。

広い分野に浅い知識をもち、その中で興味を持てる分野を見つけ、それを掘り下げていきたい。

現代社会・人間の内面に関わること。法学の基礎。

哲学などの人間存在を問うもの、文化人類学などの人文科学系から自然科学系まで、文理両方に対応できるようなものを学びたい。多視点の獲得。

数学、経済学。

英語は会話ができるように、第二外国語は文章が読めるようになること。

歴史的背景を追いながら、近現代社会についてを学びたいと思います。

様々な外国文化。

英語での学習というのがとても面白そうです。ぜひ受けてみたいと思います。外国人と普通に話せるようになりたい。

専門科目にとらわれず、幅広い分野の学習をしたい。また、専門科目に関連することも学び、これからの学習、上級になってからの基礎にしたい。

外国語、心理学系。

近現代史、興味あるもの。

法学部生としてしっかりとした専門知識を修得すると同時に、他の学問分野の教養も身につけられるように、学んでいきたいと思います。

自分の将来に対して色々な選択肢が持てるように学んでいきたい。

わからないことに対する調べ方。

法学部なので法律関係に当然興味があるし、他の理系学問にも楽しそうに思う。外国語の聞く、話すを身につけた上で、多用（国際的）で幅広い学問に取り組みたい。

司法試験合格を目標としているので、法律関係を中心に勉強することにはなるが、文化・芸術なども幅広く学びたい。

話せる語学。

特にナシ。

文系なので、自分の持つ知識が人文・社会系の方面にかたよりがちになってしまうかもしれないため、全学共通科目の教育で自然科学系の科目を学ぶことによって、バランスのとれた教養をもつ人間になりたいと思う。

歴史など、学部にあまり関わりのないことでも、幅広く学びたい。

いろんなこと。

興味を持っている法社会学のためにも、社会学のクラスはとりたいと思った。だが、せっかく様々なクラスが取れるので、高校でもやっていたC++のプログラミングもやれば良いと思う。また、教養の基本としてこれまで学ぶ機会がなかった日本史や世界史もやってみてもいいなあと考えた。KUINEPを利用してこれまでに身につけた多少の英語力を保持していきたい。

法学に加え、哲学、心理学など。

さまざまな国の文化。

ガイダンスを受けて思ったことはない。

学部にとらわれることなく、いろんな考え方を知りたい。

日本史、世界的な分野には、以前から興味を持っていたので、自主的に取り組んでいきたい。

未知の分野にも手を出して視野を広げたい。

遅刻してきたので先生の話聞いての思いというのはありません。申し訳ありません。しかし、やはり語学、特に英語はつきつめてやりたいと考えています。英語を学ぶこと自体だけではなく、それを通して何を学ぶかということも忘れずにやっていきたいです。

思想系を学んで、倫理的素養を身につけたい。専門ではない自然科学分野を多く学びたい。

専門科目の基礎となるものや、私は数学が好きなので、数学を学びたいです。
教養教育におけるある学問で、自らがその学問を学びながら、その学問が“人間にとってどのような意味があるのか”を考えたいと思う。
将来社会に出て成人として十分に通用する教養や知識、経験を身につけたい。
専門分野となるべき、政治、経済だけでなく、理系的な情報、生命。
法律や私学、理系の学習内容。
政治学入門（中西教授）、心理学系統のもの。
文系科目、理系科目を問わず、幅広い分野を学習したい。特に現代社会において文系・理系の区別のつく問題はほとんどなく、相互に関係し合っていると思うので、文系だからといって理系科目をおろそかにはしないようにしたい。
自分の興味のある分野を深く学び、学問としてだけでなく人間の一般的知識として身につけて自分を高めたい。まだ内容を読んでいないのでわかりません。何でもできそうなので、幅広く学びたいです。
法学の基礎。歴史・文明系。社会科学系を特に履修したい。
自分自身を形作るものを学びたい。
社会科学系の学問。厳密な考証を経た世の中の分析について。
文系・理系にとらわれず、理系的な知識について学んでみたい。
受験では勉強しなかった理系の分野をやってみよう。
様々な分野にわたったできるだけたくさんを知りたい。色々なことを学んで、最終的に法学の勉強に結びつけられたいと思う。
歴史や哲学と、高校でほとんどやらなかったから理科を学びたい。
幅広い分野に多くの講義が準備されており、今までの勉強とは異質の学問に触れることができるから、様々な事を身に付けたい。
将来何らかの形で役に立ちそうなこと。
文系、理系に関係なく様々な知識を取り入れたり、少しでも多くの人と意見交換をして視野を広げたい。
興味があるものには積極的に取り組み、与えられるのではなく、自分から学ぶという姿勢を貫いてゆきたい。
法学が自分に合っているかどうか、専門科目に関連のあるもの。世界史にも興味があるのでその方面の科目。
滋賀県（住んでいる）にはブラジル人が多いので、ポルトガル語と似ているスペイン語。
自分がどのような人間であるのかを発見したい。
自分の興味のあること。
文学や芸術など幅広く学びたいです。
法学部には学べないこと。
自然科学についても学びたいと思う。教養とは何なのかは分からないが、教養を獲得したい。
英語は会話でコミュニケーションができるようになりたい。
法律その他興味のある色々なこと。
理系（数学、脳科学など）、哲学、法学。
法学だけにとどまらず、経済・心理・自然科学等、興味のある分野を広く学びたい。
1回生を対象としたポケットゼミがあることを今日知り、興味のある分野があったので、受けてみようかと考え中。学部のちがうものも受けられるようなのでうれしい。
自ら選択し、自ら行動する精神を学び、積極的な人格形成に役立てたいと思う。そして、その基盤を専門的学習につなげたい。
語学が習得できるようにがんばりたい。他にも、歴史学、社会学系の講義も興味を持てるようなものはどんどん学んでいきたいと思います。
これから考える。
国際化社会の中で、人々の意見を理解し、自分の意見をはっきり主張できるように外国語を重視したいです。（私はリスニングが苦手な、今はまったく会話できませんが）、視野が狭いので、幅広い分野に興味を持つようにして、基礎的な教養を身につけていきたいです。
それぞれの科目の実用面におけるその存在の意味。
受験学部を決定するまで、総合人間学部を受験するか、法学部を受験するか悩んでいた。結局法学部を選択したが、教養教育で文学論や心理学の方面のことも学んでみたい。
普段接することの少ない理系科目の中にも興味深いものがあったので、自分の学部の枠にとらわれず、できるだけ幅広い分野の考え方を学びたいと思いました。そして語学は必ず習得したいと思いました。

公正、客観的な判断をする姿勢を身につけるため、専門知識の土台としてのみではなく、幅広い知識を学びとる。

分野に関わらず、幅広い新たなものの見方を養う上で役立つこと。

歴史や法律等について詳しく勉強したい。

将来、役立つかどうかというだけでなく、興味のもてそうなことを積極的に学んでいきたい。

語学がやはり大切だと感じた。これからの国際社会に適応できるよう語学力をつけていきたい。

教養といわれても漠然としていて、はっきり言うてよくわからない。けどA~D群の単位をしっかりとれば知らん間に勝手に身につけているという、教養とはそういうものではないだろうか。

主に法学関係の勉強をやっていこうと考えているが、自分の希望する法曹系の職業には広い視野からの判断力が要求されるので、心理学や社会学など他分野の教養を身につけたい。

芸術、宗教、経済、社会問題。

人文、社会、自然科学全般を広く学びたい。

論理力、表現力をより豊かにしていきたい。

哲学を学ぶことで、思考力をつけていきたい。

様々な分野にわたって興味のある学問に広く触れて、「学問とは何か」「人はなぜ学ぶのか」ということ自体を学びたい。

現在の日本の構造上の欠陥について学びたい。

高い自律性や優れた価値基準を身につけられるようなことを学びたい。

日本の政治や法律の仕組みを知りたい。

外国に行って現地の人と自由に会話ができる程度の語学能力を身につけたい。また、日本についても色々な面（文化など）を勉強したい。

将来の役にたつ知識、学識を身につけたい。

自分の興味あること、できる限りのこと。

専門外の自然科学関連科目。

自分が今まで知らなかったことや興味を持たなかったこと。

A・D群科目を中心にして、外国語は実際に使えるレベルまで高めたい。また社会科学だけではなく哲学や歴史そして自然科学も力を入れて学びたい。

まず議論が普通にできるだけの知識は身につけたい。

国際的・学際的に広範囲にわたって色々な学問に触れる。

特になし。

最終的に専門とする分野以外の知識をなるべく獲得する。特に理系学問の基礎学習や統計学。

歴史・思想・行動科学など法学以外のことも広範囲に学びたい。ポケットゼミにもぜひ参加したい。

社会一般で通用する知識・教養をはじめとして、自己を鍛えることのできるものを学びたい。

特にこれといった考えは浮かびませんが、自分のためになるであろうと思われるものを学んでいきたいと思えます。

自分が興味を持っていることを学ぼうと思えます（バイオ、数学等）。法学的な基礎知識をつける機会だと教養科目の授業をとらえ、社会科学系の科目（特に社会学）を積極的にやっていきたい。

地球科学（天文など）についての興味もあるので、文系ではあるが、そういった講義も受けられればと思う。天体観測や生物観察がしてみたい、と思う。

分野を越えた学問のつながりを学びたいです。色々調べていくうちに、すべてが一つにつながるように思える気がするので、それを追究したいです。

実利性があるかにとらわれず、自己の知的好奇心を満たしながら、人間の幅を広げるものとして教養教育を学んでいきたいと考える。

法学部の専門分野である法律に加えて、経済学にも興味があります。機会があれば受講してみたいと思えます。幅広い分野を学んで、興味ももてると考えた科目を追求したい。

色々な種類の講義が開かれているので、法だけにとらわれず、色々学んでいきたい。

将来の夢の実現につながる法学関係の勉強を含め、幅広く、いろいろなことを学びたい。

心理学・哲学・地理学・基礎情報・バイオ。

広く様々な分野のものの基礎的なことが理解できるようになりたい。

語学に重点を置きたい。

歴史・情報等多くのことを学びたい。

分野にこだわらない広い知識。もちろん法律に関する専門知識も欲しいですが、理系分野の浅い知識や雑学も学びたいと思っています。文系のみとか理系のみとかそういった偏った人間にはなりたくないです。法学部という枠にとらわれることなく、人文科学や自然科学といった様々な分野を幅広く学びたい。ドイツの思想、哲学。国際間における文化の相違。中国史。普段一人では学ぶことができない教育を受け、一般的な教養だけでなく、専門的な教養についても多岐にわたって学び、自分の知識の幅を広げたい。

法学部とはまったく関連のないような学問。
自分の考えをより深く掘り下げられるいい機会だと思うので、幅広い分野を学びたい。そして法律分野も学びたい。

法学や心理学を学んで人で構成される社会のあり方について理解を深めたい。
外国語を積極的に勉強しようと思った。専門科目を中心に科目を登録しようと思った。
自分の興味、関心のある分野を集中的に探究するのに加え、関連のうすい分野も含めた幅広い分野にも目を向け、総合的に学んでいきたいと思う。

京大の自由な学風にそったことを学びたい。
現実的に使用できる語学。国内、国際政治における動向の原因、目的、結果を解釈できる経済、政治、法律、歴史の基礎知識。自分の論理を明確に表現する思考法、弁論、作文の型。
高校までの勉強の中で特に興味をそそられた内容についての講義はもちろんのこと、シラバスを読んで半年ないし1年間受講するに耐え得ると判断したものは、無理のない時間割が立てられる範囲で選びたいと思います。自分の専門とする科目に関するものだけでなく、多様な視点で物事を考察する能力を身につけるために、さまざまな方面から学んでいきたいと考えています。
自分の専門以外の人文科学系や理系の講座も多く学びたい。
まだよく分からない。

幅広い分野の授業があったので、興味を感じる授業を選択して知識を深めたい。
正直言ってまだよく分からない。高校までと違い、自分で講義を選択できるため、興味深そうな講義は全てとってみたいが、初めての一人暮らしでもあり、生活のリズムさえわからないので、よくよく考えたい。ただ、卒業認定単位とはならないが、ポケットゼミを多く選ぼうと思う。
興味が湧いた科目を計画的に摂取していきたい。ただしスポーツ実習はあまりうけたくない。
法律の専門的学問を中心に人文系にも興味があるのでそのあたりを学びたい。理系的分野についても触れていきたい。

ヨーロッパが好きだから、ヨーロッパ史とか心理学とかをやりたい。物理系のことはやったことがないが、学んでみたい。
1つの分野にしばられることなく幅広く様々な学問を学んでいきたい。
法学を中心に、特に社会学や心理学等を学びたいと思う。
自分が興味を持ったこと。
将来の目標を見定め、それにつながることを学びたい。
心理学関係を学びたいと思います。
法学部に所属しているが、法学系統の学問だけでなく、興味の持てる学問を積極的に学んでいきたい。
人文科学分野、特に文化論系統の学習に努力したい。
具体的には考えていないが、授業科目一覧をながめてみると興味がわいてきた。人間の幅が広がるような講義を選択できたらいいと思う。
(役立つ、立たないに関わらず様々な種類の知識を得ること)を目標とするため、特定でこれ、といったものはない。
専門と関係があること(経済、政治など)を学びたいです。コンピュータや歴史などいろいろな学問について勉強してみたいと思います。
広範囲にわたる教養を身につけ、その中で自分に合った学問を学びたい。
これまで触れたことのなかった分野や興味のある分野を学びたい。
人文、社会系以外にも自然科学系、とくに高校時代に好きだった数学・物理を積極的にとりたい。
文系学部に入るからといって理系のことを軽視するのではなく、理系の知識や考え方を身につけたい。極端に無知な分野がないように。
講義と並行して、ポケット・ゼミなどに積極的に参加して専門的な分野に関する理解も深めたい。
人文系から科学系までの種々のタイプの講義を受けたい。

自分が興味のあることを深く楽しみながら学んでいきたい。

法学と英語、中国語を学びたい。心理学とかも広く学び、自分の器を大きくするようなことを学びたい。

経済分野。

第2外国語を話せなくとも意思疎通の可能な程度まで身につけ、理系・文系の科目にとらわれず、バランスよく履修したいと思う。

受験勉強で疎かになっていた受験科目以外（主として理系）の、専門家とも会話ぐらいはでき、自分で意見が出せるくらいの基礎知識。

理系の分野等も取り入れて、幅広い教養を身につけたいと思いました。

世界の歴史を学びたい。

将来の生活に役立つことを学びたい。例えば経済的な分野、社会的な分野を学びたいと思う。

幅広く物事を見れるようになりたい。

多角的な考え方ができるような、知識を身につけること。

私は文系ですが、理科にも興味があるので、自然科学系の科目も受講したいと思います。

自分にとって興味のある日本史を中心に学びたいと思います。

外国語の修得。

政治学。外交史。外国語学習を通して他国の人々の文化や考え方を学ぶ。

一定のものにかたよらず幅広く学びたい。

法関係以外で興味のある心理系や環境系の知識をある程度深く身につけたい。

良識。

知識が法学関係に偏らないよう、自然科学系を始め様々な授業に積極的に出席し、単位のことは気にせず、知的好奇心を以って自分の興味のある分野の学問を学んでいきたい。

まだよく分かっていないのでなんともいえないのですが、なるべく偏らないように学びたい。

多様で新たなこと。

英語、第2外国語という語学を自分で使えるくらいまでしっかり勉強したい。法学の基礎を理解したい。

文系科目だけにとらわれず、理系科目の知識も教養としてしっかり学び幅広い知識をもちたい。

歴史。

バランス感覚。多角的な視点。

英語と第2外国語をしっかりとマスターするとともに、哲学や政治・社会学、あるいは自然科学分野についての基本的な内容についても学びたい。

日本の法律や政治史を学んで現在の日本がどのように成り立ち、統合されているのか知りたい。あと国際関係学についても知りたい。

数多くの幅広い分野から自由に履修できるらしいので、理系の分野にも挑戦してみたい。一つの物事に対して色んな視野から目を向けられるような人になりたいです。

法学以外の科目も自由に選べるそうなので、文学系のことも学んでみたいと思う。特に、フランスについて興味があるのでその関連の科目を学びたい。

今まで学んだことのないこと、いろんな分野にまたがった教養。

数学とか。

歴史、心理学、行動科学、運動科学。

理系の勉強も興味のある範囲で取り組みたい。

法学部のものでなく、他の学部っぽいものでもおもしろそうなことをいろいろやってみたいと思った。

高校では自分の興味に関わらず、決められた勉強をやらされていたので、大学では自分がずっとやりたかった法律の勉強や、語学系の勉強を目一杯やりたいと思う。

主に哲学、思想系の学習をしたいが、理系の学習など出来るかぎり様々なことを学びたい。

学問分野の枠を越えた相互関係（もちろん一学問分野の理解を前提としたうえで）

これから考えます。

もともと興味のある法律・政治関係以外の授業も受けてみたい。

外国語、特に会話力。

国際政治系、国際関係法系。

専門的知識もたくさん身につけたいが、スポーツ実習（浪人で体力が減退しているので）や東洋史の学習もしたい。やはり受験で養った世界史などの知識をそうそう簡単に消し去らせたくはない。

専門的な学問だけを学べばいいと思っていたが、それだけでは駄目だということが今日のガイダンスでよくわ

かった。基盤となる基礎教育をしっかりと学び、土台としていくことが必要だと思った。具体的には語学を重点してやりたい。文系だが、理系的な物の見方もできるよう積極的に授業をとっていききたい。

受験で文系科目を主にやってきたので、理系の学問に多く触れたい。環境問題などは文理の垣根を越えて考えないといけないと思うので…。

内容的には他学部の内容を学びたいと思っています。特に医学、心理学、史学に興味があるので、それらを中心に考えていきたいと思います。

文系科目だけでなく、多分野に渡る教養を学び身につけたいと思います。

専門分野は深く学び、その他はより広く、役に立つようなことを学びたい。

常識外れな人間と思われたいよう、幅広い知識を手に入れたい。

自己の学部の領域も多く学べるということで、物事のいろいろなとらえ方を学び、広い教養を身につけたいと思います。

共通科目の方でも、あれほど多くの選択肢があるとは思わなかったので、理系の分野にも手を出してみたいと思う。国際関係、また遺伝といったものにも興味があるので、そちらの方もポケットゼミなどで学びたい。

自分は法学部であり、また将来は法曹関係を目指すつもりであるので、やはりそれに関連したことを学びたい。法学の歴史や変化、基本的概念等があるかと思う。

思考力をきたえる。

哲学、文学、芸術。

理系の基礎知識（数学、化学中心）

語学。

法曹界で勝ち抜く知識と知恵。人間関係。

なにかひとつを集中して学ぶよりも、私自身としては幅広く学び、今後の自分が「京都大学」の名を汚すような存在とならないようにしたい。すくなくとも「自ら問題を見つめ、解決する能力」は高いレベルで身につけておきたい。

外国語の勉強に力を入れて、自分の選択した外国語で他者とのコミュニケーションができるようになりたい。

将来立派な社会人として生きるために必要な教養をできるだけ多く身につけたい。

世界史、特に現代社会での民族間・国際間の紛争の原因となっている部分を詳しく学び、自分なりにどうすればよいか考えたい。

充実した教授陣から、知識を得て多識者となる。

歴史・文明系、生命科学等。

外国語とコンピュータの操作。

人文系の科目にはかなり興味をそそられる科目があるので、一回生、二回生のうちは真剣に取り組みたいと思う。

単位取得のためだけに科目を取るのではなく、自分の本当に興味のある科目を学びたいと思う。社会科学や芸術・言語文化などに今、特に興味があるが、異文化交流にも興味がある。幅広い分野を学びたいと思う。

歴史の流れと共に、文系法学部という枠にとらわれずに自然科学の知識を身につける。

人間に関して様々な角度から考えてみたい。

哲学、倫理学、情報関係の科目、日本史について学べる科目。

日本の歴史（法制史や政治史）、国際関係、心理学、哲学、宇宙のこと。

分野を限定しない広い知識を得、それを専門分野に生かせるようなこと。

心理学。

できるだけ多くの系列を学ぶ。特定の分野に集中させることはしない。

中学や高校では学ぶことのできなかった、細かい学問分野についての講義が聞きたい。

将来実用的に使えること。

イタリア語。

生き抜くために必要な知識。

自分の目指す政治系の分野以外にも、建築関係等のこれまであまり興味があっても知ることのできなかったことを学びたい。

社会・文化学系統！！

外国語。法律的な知識や、それがどのように実用化されるのか等を知りたい。

語学の上達を目指したい。あまり英語が得意でないので、リスニングに重点をおきつつ、総合的な上達を目指したい。

「人間」に密着した学問。

以前から好きだった文学や哲学、そして最近興味をもちはじめた政治や国際関係について学びたいです。正直なところ、数学や理科が苦手だったので、自然科学はあまりやりたくないです。

語学や社会科学・自然科学等を通じて、自分がこれから何を考え、どのように生きるかについて考えたいと思います。

A群の科目には興味があるものが多い。特に歴史・政治・経済の分野を学びたい。

ポケットゼミを取りたい。法律以外の幅広い科目をうけてみたい。

心理学や地理学などについて学びたいと思う。

自分の将来に直結する科目だけでなく、幅広い知識を得るためにも多様な科目を学びたいと思う。また、「広く浅い」状態にならぬよう、予習・復習を欠かさぬようにしたい。選択の幅がとても広いので、大いに迷い、悩んで、いろいろな科目を受けてみてから選択してゆきたいと思う。

国際関係。単に現在の状況のみを学ぶのではなく、なぜそうなったのか、という背景や歴史の流れ、またその状況から起こりうる事態を想定できる力を養う勉強をしたい。

広い視野、各分野の方と議論ができるだけの知識、さらには「賢さ」。

世間の常識。これから見つける。

スポーツについての講義がおもしろそう。

自分の興味のある文学や、法学に関係のあることを学びたい。

人文、社会だけではなく自然科学も学びたい。

自然科学に関する素養を深めつつ、語学の修得に全力を尽くしたい。

仏語を本格的に学ぶ。京大でしか学べないこと（霊長類など）を学ぶ（希望として）。

ガイダンスの内容から語学の重要さを強く印象づけられたので、語学を真剣に学ぼうと思う。

国際関係法や外国文化など、幅広く。

法学に関連する分野はもちろんのこととして、経済分野の知識もつけていたい。

法学部の勉強とは直接関係ないようなことも学んで視野を広げたい。

教養教育としてかどうかわからないが、いまのところ上のようなことを考えている。

やはり高校時代に興味をもった地理歴史系の科目をメインに取り組みたい。他の科目についても、これまで学んできたことを生かしながら、新しいことにも取り組んでいきたい。

広範囲な分野のもの。文理の区別を問わずに学ぶ。

哲学、医学関係に興味があります。また、語学を一定以上に上達したいと考えています。

まだどんな授業があるのかよく分からないけれど、政治・経済関連のことを特に学びたい。

（法学部の専門分野以外に）以前から興味があった比較文化論と生物学、特に生物行動学に関連すること。できれば薬学について少し。

まだよくわからない。

哲学、史学、論理学は受けたい。また理系科目にも力を入れたい。

上に書いたような（全世界の人達が、幸せに暮らせるような世界を作るのに貢献できるような人になりたい）

基本姿勢の下に、可能な限り、幅広い事柄を学びたい。具体的なことは、実際の講義を受ける中で、決めていきたい。

自分の考えをきちんと表せる言語力。

哲学や社会経済学や現代の様々な問題についての講義に参加し、環境問題について学びたい。地球科学の知識も深めたいと思う。

法・政治学を中心として様々な分野の教養教育を受けたい。

英語が好きなので、洋書を読めるようになりたい。新しい外国語も全力を尽くして、できるだけ話せるようになりたい。元から興味を持っていたことはもちろん、新しいことにも挑戦してみたい。

語学を徹底的にやり、興味のある心理学や文学をいっぱい学びたいです。法学部でありながら法律が一番苦手なので、法学関係も少しずつ触れていって慣れたいと思います。

基礎的な語学力をしっかりと身につけたい。法律の基礎知識に限らず、文系であるからこそ理系分野の素養も身につけておきたい。（ガイダンスの中で、教育理念として掲げられていたので、嬉しく思います。）

哲学関係。いろいろな人の考え方に触れてみたいので。

自分で思索するきっかけとなるような、刺激のあるものを学びたいと思う。

今まで興味はあったけど、取り組んだことのなかったもの。

いろいろな系列の学問を学びたいと思う。

将来の仕事に直接役立つような専門技能を身につけたい。
もともと歴史系の学問が好きなのでそちらをやりたい。また、語学だけはしっかりとやって単位を落とさないように気をつけたい。
社会科学系だけでなく、人文系や、自然科学系についても幅広く学びたい。
広範囲の知識。
語学や一般常識、また社会全体の仕組みについて学びたい。
将来の役に立つ実利面、精神面ともに高い価値のあるもの。
法学部の専門科目以外に、哲学・思想系列の科目を主に学習したい。時間をかけて自分で考える学習にじっくり取り組みたい。文学や芸術も学びたい。(可能なら)
法律の知識。精神学。化学。
すぐくポケットゼミがおもしろそうだと思います。文系だけど幅広い人間になりたいので、遺伝子のことや量子力学などもやってみたいと思う。心理学にも触れてみたい。
心理学、法学、数学、外国語などの勉強を傾りのないよう勉強していきたい。
国際的な場でもしっかりと自分の考えを表現できるよう語学力をつけたい。
文系だけの片寄った人間にはなりたくないの、生物学などの理系科目を学びたい。
人文(哲学系)のゼミを受けてみたい。コンピュータやバイオの基礎を学びたい。
自分の専門以外の理系の科目まで幅広く学問をしたいと思う。
文系のくせに数学。美術・芸術系統。心理学。法学入門系。自分らしくて本当に興味のあるもの。
自分の大学生活に誇りを持てるよう、学部の専門科目だけでなく理系分野にも恐れずに目を向け、できるだけ幅広く知識を身につけたい。具体的にはよく考えてみないと分からない。
偏った考え方もたないように色々な分野をまんべんなく学びたいと思います。
外国語や哲学思想系、社会科学系のことを特に学びたい。
第1外国語だけでなく、第2外国語も話せるようになりたい。ゼミ形式の授業に多く出たい。
哲学・思想系の学問を学びたいと思います。
旅行した時に現地人の言う事を全て判らなくても最低限の事は理解できるぐらいの語学力とか、哲学とか。
専門のみならず、多くの分野にまたがって学び、世界観、視野を広げていきます。特に、語学、情報処理を懸命に学ぼうと思います。
K U I N E Pやポケゼミなどのような少人数の授業で様々な人との交流を深めたい。

5. 経済学部 (アンケート提出率 98%)

Q.1. あなたは京都大学で何を求め、どんなことに取り組みたいですか。

A. 以下のとおり (: 男子、 : 女子)

自由な学風の下で、サークル活動、学問などさまざまな事に取り組み有意義な大学生活を送りたい。
大学生活を楽しみたい。人から言われたことを鵜呑みすることのないように、自分でいろいろ考えられるように幅広く深い知識を得たい。自分から何か表現するようなことをたくさんしたい。
経済学や法学等社会科学系の学問の理解を深め、資格の習得を目指したい。
専門科目にかかわらず、社会科学系の深い知識を得たい。
高い志を持った友人と互いに刺激し合いできる環境を求めること。またさまざまな知識に対する深い理解とそれに対する自分なりの意見を持つ。
夢中になれるものを見つける。
深い知識を求めて、たくさんの教養を身に付けたい。
幅広い教養と深い専門知識と議論を重ねて視野を広げる。
環境学とそれに関して国際政治学、食料経済学等
人生の生き甲斐と意義の発見を目標にして、経済学を中心として幅広い分野の知識を深めたい。
主として法学系のことを多く学び、法律に詳しくなりたい。また西洋の文明、歴史のことも学び英語に精通したい。
自主自立
人脈、彼女を求め、資格(公認会計士)取得
社会に出ても困ることのない程度の一般教養を身に付けたい。

今までと学んできたことと異なる高度な学問に触れたい。

自分を磨く。

今まで受動的な勉強しかしてこなかったので積極的な勉強も初めて行きたい。議論・発表などができるようなマウスブット型の人間になりたい。公認会計士を目指すための講座があればいいなあと思います。

あまり具体的に考えたことがないので、学生生活を送って行く中で考えていこうと思う。

京都大学の自由の学風の下で、学部にとらわれない幅広い分野の学問を学びたい。

・常に周囲の状況に規定され、不安定で不確実に行為する自己

・完全に知り尽くすことのできない対象（他者一般）や未知、不可知のものに対する敬意

以上の2点を根幹として、自分がある程度状況超越的に従いうる道徳律を導く（ただし、前提の一つ目により、自己のみで完全なものは導き得ない。）その道徳律が実際に機能するように、自身の大学生活における経緯と強固に結びつける。周囲の状況に左右される自身の在り方を踏まえながら、それでもなお社会の中に有意義に存在できるようにするために。

経済学に関する深い知識、思考力を身に付けたい。日本だけではなく海外の教育も学んで比較研究をしてみたい。高い知識が集まる環境の中で、知に関する刺激を受け続けたい。

教授するという強い目的意識を持った授業を展開してほしい。さまざまな学問に積極的に取り組んで行きたい。

自分の興味のある分野の知識を深め、またそれ以外の面白そうな学問分野を見つけること。アジア・アフリカ地域に興味があるので、その方面の学問を中心に組みたい。経済以外の学問や自然科学の方向も興味があるので、適度に取り組んでみたい。

経済についての知識を深めたい。

いろいろな人との出会い、外国語（ドイツ語）を早く習得して、異文化交流をしたい。バイト等を通じて社会をもっと知りたい。

経済学をより深く学び、自分で経済学的な分析ができるようになりたい。部活動などで多くの友人を作り、さまざまな人との交流、議論することで自分の視野を広げていきたい。

僕は経済にかなり興味があって、特に経営に取り組みたいです。

専門分野でやりたいことを見つけて徹底する。英語の上達

授業をただ聞くだけではなく、それについて自分なりのしっかりした意見が持てるようになりたい。今までは自分の周りだけで精一杯だったけれど、もう少し世界を広げたい。

「質の高い環境」を求め、「主体性」が備わるような活動に取り組みたいです。

一般教養として幅広い知識を身に付け、海外でも通用する語力と学力を獲得したい。

私は南北格差、民族紛争、環境問題など様々な国際問題の根底には「経済」お金が深く関わっているのだと考え、経済を学ぶことにしました。経済を通して政治について考えられるようになるのと同時に、哲学、宗教、文化、環境などに幅広く知識を身に付け、国際人としての確かな判断ができるように成長したいです。同じく真剣に学ぼうとする仲間の良い刺激を受けながら、充実した4年間を過ごしたいです。スペイン語、ドイツ語もマスターしたいです。そしてコスタリカやドイツに行き勉強したいです。

実学に偏らない勉学

さまざまな出身地、考え方の人達と交わって人間性を高めたい。専門的な知識も吸収したい。

専門的に学ぶ分野に対しては、深い理解をし、他にも幅広く学んでいきたい。

経済に関する社会に対して通用する専門的な知識と教養を求め、十分な経済学に取り組みたいです。

経済を通して国際政治経済を学びたい。大学院に進学したい。留学やなかでMBAも卒業後にとりたい。高校で挫折したドイツ語をしっかりとりたい。

自由な校風の中で自律性を身に付け、興味ある分野だけではなく、幅広い分野の知識を獲得して柔軟性のある人間になりたい。

僕は高校時代、京都大学の「自由の学風」というものにとっても興味を持ちました。自由といっても、完全に自分の好きなことばかりしていたのでは、僕のような人間は修学にならないし、京都大学にとっての「自由」とはどんなものなのかということが気になっていました。今年何とか入学することができましたので、京都大学の「自由の学風」というもののなすがままになって勉強に取り組んでみようと思います。

残念ながら専門分野を深く探求するつもりは今のところない。

自分の将来望む職業に必要なと思われるような知識や経験を講義やクラブの活動を通して身に付けていきたい。本を読みたい。

スペシャリストではなく、ゼネラリストとして、文理両方の教養を身に付けたい。特に語学については、日常

生活程度以上は習得したい。

広い視野と豊かな人間性を築くことを求める。経済、経営学を中心に自分の興味が引かれるものに取り組みたい。

今後の就職を見据えて、社会に通用するだけの高い知識力を得ると共に広くかつ深い見識を求める。また、勉学の面だけではなく、サークル活動等を通して新たなことに果敢に挑戦することにより充実した学生生活を送れるように努める。

京都大学で社会での活躍できる力を求めたり、豊かな人間関係を築きたい。また勉強だけではなくサークル活動やスポーツにも積極的に取り組みたい。

幅広い分野の勉強をし、深い教養を身に付けたい。いろんな学部の先生や学生と触れ合いながら、広い視野を持ち自立した一回り大きな人間になりたい。

公認会計士の資格取得に必要な学力を身に付け在学中に資格をとりたい。

自分の人間性をもっと高めていきたい。そして多くの友人、国際社会における条件の知識、また言語力もつけたいと思う。

自分の意志で自由に行動することを促進し、かつそれをバックアップしてくれることを求めます。豊富な自由時間を利用、活用して大学でしかできないようなことをどんどんやっていきたい。

将来、経営修士課程MBAを取得して、それをを使う仕事をしたいので、京都大学では留学できる英語力と、経営に関する知識を身に付けたい。実生活に根ざした実践的な学問を求めます。友達も沢山できるとうれしいです。

世界を経済という角度から把握し、これまで知らなかった又は知るべき世界像を知りたい。初心を忘れず勉強に励みたい。

経済学の基礎知識を学ぶ。

今まで触れることのなかった学問（例えば経営学、法学など）に取り組み、自らの将来の役立つ知識を学びたいと思う。そして勉強はもちろんのことさまざまな経験を積むことにより人間的に（更なる）成長を遂げたいと思う。その際、新たな教養における自己の探求を求めようと思う。

専門科目に偏らず理系科目も学びたい。本もたくさん読みたい。

言語学をきちんとやっていきたい。資格がたくさんほしい。

自学自習のもとに、自分が興味がある学問を選択しつつも、将来に役立つ資格を積極的に取得していきたい。更に卒業時には社会の即戦力となれるよう教養や、知識、技術を身に付けたい。

さまざまな知識や教養を身に付けたい。勉強だけではなくサークルや行事には積極的に取り組んでいきたい。たくさんの人々と交流し、知識を深めていく他に勉学だけではなく、サークルの活動や社会学習にも励んでいきたい。

世界に通用する経済学の知識を身に付け、日本と外国間での活躍するための授業に参加したい。

知的好奇心を刺激されるような講義を求め、経済に関連した専門学習に取り組みたい。

一人学際研究。（現代は学問が多様化、専門化しています。この現代では学際研究をすることは難しいですが、せめて僕一人でもやって行くつもりです。）

京都大学で求めることは、大学での講義から知識を得ることはもちろんであるが、それ以外に講義と人間関係を通じて幅広い視野を持つ人間になることを求めている。それによって地球全体や地域社会の状況を見つめ、現状にいかに対処すべきかを判断し、社会に貢献していくことに取り組みたい。

幅広い常識を身に付け、自己が興味を持てる分野を見つけ、それに対し深い知識を身に付けたい。また外国語についても2、3か国語をその言語を母国語とする国で通用する程度まで身に付けたい。またスポーツや恋愛も楽しみたい。

文系を基盤としつつも理系を取り入れた知を求め、主体的な学習、議論に取り組みたい。

多角的視野で現実問題の解決に取り組めるように、さまざまなことを自由に学び、経済学を通して「世界の中の日本」について考えていきたい。

さまざまな分野のことを学んで、幅の広い知識を得、自分が将来何をするか、どのような職業に就くかということの可能性を広げたい。

自分のしたいことを発見して、それに必要な努力をする。高校までとは違い全国から来ているので、多くの人と友達になる。

幅広い知識を学びながら、できるだけ専門の知識を学び、今後の大学院への進学のために準備することに取り組みたい。

ただ経済学部を卒業しただけでは、社会に出てからやっていけそうにない。医学を修めた法律家や、理工系の

特許を扱う法律家といったものが最近では注目を浴びているので、そのような複数の学問領域を修めていきたい。それが総合大学ならば可能だと思う。

専門的な知識を身に付けたい。豊かな人間性を持つ人になりたい。自由に勉強できる大学生活を送りたい。

自由が欲しい。自分の興味ある学問を自発的に取り組んで学びたい。

経済学と併用させて、数理物理を学びたいです。

分野に制限されず、自分の専門以外の専門的な研究に接する機会が多くあることを求める。また自分はその機会を生かせるようにありたい。

楽しい学生生活、今しかできないことに挑戦したい。勉強だけではない何かを学びたい。

自分が今学びたいと思っている学問（環境経済政策、食料環境経済など）を専門的に研究し、同時に役に立つだけの語学力を身に付ける。かつ京都という街にあるこの大学での学生生活を最大限楽しみたい。

自分のしたいことをもう一度考え直し、それがわかった後はそのゴールに向かって頑張りたい。

自由の学風の名に恥じぬ学生の自主性を育み、興味を引きつけてくれるような教授陣の講義、外国語学習に取り組み、「聞く」「話す」に重点を置いて学習する。交流を広めるためにもサークル活動にも取り組む。

「自由な学風」という方針を求めて京都大学を選んだので、それを活かして、広い視野を持てるように取り組みたい。そのために特に外国語を怠らず勉強したい。ポケット・ゼミも参加したい。

理論経済をよく勉強したい。同様にスポーツサークルに入り、肉体的なまた精神的な能力を深めたい。

英語を勉強し、異文化に触れてみたい。

机上の勉強だけではなく、自分の内面を養うものを沢山得られる勉強。人間関係、社会について沢山学びたい。

自分らしさ、新しい生活を発見したい。

授業を受けていくなかで決まっていくと思う。今はまだはっきりと考えられない。

自分はどんな学問を勉強したいのかを多面的に探していきたい。「どんなことに取り組みたいですか」という質問は、漠然としすぎていてよく意味がわからない。まあ意欲的にいろんな授業を受けてみたいと考えている。

初めての日本の大学生活なので、できればいろいろな経験をしたいと思っています。やはり専攻の経済学は勿論外国語としての英語と日本語、それからサークルでの活動等留学生として多様な経験をしたい。

混迷する日本経済社会を目の当たりにして、経済の仕組みを学びたい。

公認会計士になるため、またなった後活躍できる経済、会計の知識を得たい。交遊関係を広め、さまざまな学問に触れ、知識を増やしたい。

これからの人生を豊かに送るための幅広い教養を学習していきたい。自らの人間性を更に深めるために京都大学を志望したので、この目的を達成できるよう努力していきたい。

自分が興味を持っているのは政治、経済に関することで、それらを広く学んでみたいということがあったので、経済学部を選び、自由な時間の多い京都大学で勉強しようと思いました。具体的にはこれから見つけて行きたいと思っています。

資格取得の勉強と人権問題などの自分の興味のある分野の勉強をしたい。

経営学などのビジネスに関係する学問を一つのスキルと呼べるほどまでに身に付けたい。またなりたい自分になるという気持ちを持続したい。

他人との協調性、自由な校風による自律性と積極性

将来目指す職種に関した基礎教養を習得すると共に、それ以前の間人として不可欠な根底的な部分としての教養を身に付けたい。

伝統があり、また学生の街である京都の雰囲気自由の校風のもとで、十分に経済を見据える力を身に付けたい。

自分に合う分野を見つけ出して、その分野についての知識を深めたい。

やりたいことがあったのだが、最近またわからなくなってきたので幅広い勉強をして、何をなすべきかを掴みたい。

国際化する社会で、国内だけでなく、海外でも活躍できる知力と行動力を身に付けるために、専門科目だけではなく、さまざまな分野の学問に取り組みたい。

住環境向上のために国際社会で活躍できるビジネスパーソンになりたいので、語学力をつけ、国際経済また会社経営を学びたい。住宅福祉にも関心ある。

いい人間になり、自分なりの武器を持ちたい。

授業自体にはそれほど期待していない。学ぶべきものは全て自分で学ぶ。むしろ部・サークルでの活動に取り組んだりして人格的成長を促したい。

自分自身のやりたいこと、学びたいことをよく考えて授業を選択し、学んだことが将来的にも自分の大きな財

産となるよう努めたい。今まで全く関心を持たなかったような未知の分野にも積極的に取り組みたい。

人格的成長と専門知識の取得

“自由”を求める。学内以外のことも積極的に取り組みたい。

広い分野を学ぶ。

将来の目標として公認会計士があるので、それに向けてさまざまな知識を得たい。また人生経験の一つとして教養を深めていきたい。

専門知識をつけて、国際社会で活躍できるようになりたい。社会経験を積みたい。

何も求めません。積極的に学びたい。

やりたいことが確かでないので、打ち込めるものが欲しい。そのためいろいろなことに手をだしてみたい。

世の中に出て生きていけるような技術と知識を身に付ける。

よく学び、よく遊び、よく寝る。

4年で卒業する。英語とイタリア語を話せるようになる。スポーツを頑張る。本を読みたい。

深い教養を身に付けるために、さまざまな分野のことを幅広く学習していきたい。

学びたいことを学びたいときに学べる場、与えられた自由を存分に活かしたい。

今、考えているところです。

京都大学で他の学部とも人材を作り、南北問題等の経済格差の問題解決を、さまざまな立場から見て捉え、問題の本質を見渡せるようになりたい。ボランティアやNGO、NPOに取り組む。

経済を中心に学び、そこから政治学(国際関係学など)へとすすめていきたい。

高校までと違って与えられたことをこなすのではなく、自ら選択しそれを学ぶことによって自主性を伸ばしたい。学生生活を有意義なものにするため、良友をたくさん作りたい。

特記事項なし。

語学を勉強したい。英語は完璧に話せるようにして、中国語、フランス語は日常会話に困らない程度になりたいと思う。広い教養を身に付けて、プラス経営学を学びたい。

自分のやりたいことを見つけ、真剣に取り組む。何か一つのこと熱く取り組みたい。

広くやりたいのもあるが、今までとは違って深く取り組みたい。

物事に対するさまざまな認識を経験し、それに必要な知識、理解の獲得に取り組む。

経済の知識を求めます。特に経済政策と国際経済については詳しく知りたい。

公認会計士を目指す。

元々京大を目指した理由として、第一志望だった総合人間学部のような文理の境界を設置しないといった校風があるので、文系だけに束縛されることなく理系の講義も積極的にとっていきたい。国際間の交流を深めるためにも留学したい。

仲間を作ってよく遊び、よく学び専門知識を身に付ける。

幅広い教養、専門的な深い知識、多種多様な広い人脈、経営、会計など、

広い分野の教養を身に付け、特に語学に力を入れたい。

大学に知的好奇心を引くような講義を求め、またそれを自分で高めてゆく学習をしたい。

グローバルな視野で経済学を学びたい。留学したい。

新聞などで執筆しているような教授の講義を受けたい。京大に入った甲斐があったと思えるようにしたい。

もっと柔らかく多様な考え方ができるように新しいものを求めていきたい。

世界に貢献できる能力を身に付けること。自分がやりたいと思ったことに対して積極的に取り組みたい。

経済だけでなく、学部にとらわれない知識を広く得たい。

できうる限りの論理武装、そのために論理学に取り組む。

私は京都大学の扱う幅広い分野から、多数の分野の教養を吸収したい。専門分野の他に、特に外国語の知識については、英語、第2外国語共に重視したい。学びたい学問に積極的に取り組みたい。また学習面以外にも友人や教授とのつながりを求める上で、可能な限り交流を深める活動に関わりたい。

適度に勉学に励み、適度に遊び、ゆとりのある生活がしたい。

さまざまな人と出会い、いい刺激を受けたい。学生時代にしかできないことをしてみたい。

京都大学の自由な学風による自律的な学習で、自分のあるべき姿を見直すことを求め、積極的に自我を取得できる活動をしていきたい。

経済学部の教科だけではなく、法学部、理系などの幅広い知識の獲得と融合を求める。幅広い人脈を築き上げる。

今までに自分になかったものを得て、立派な社会人となり得るためにさまざまなことに取り組んでいきたい。

卒業したい。

高校教育や、個人の範囲では学び得ることのできない学問等を経験できる場を提供して欲しい。個人的には学びたい分野を中心にさまざまな分野のものに取り組もうと思う。

- ・まずは経済についての基礎知識を身に付け、現在の経済の流れを把握し、独自の対策を立てられるようにしたい。法律も学んでみたい。
- ・京大は学風が自由で、学生も才気溢れた人が多いと思うので、その中で自分自身の人間性を大きく発展させたい。自分よりも優れた人と接し、限界を知り、それを打ち破りたい。
- ・積極的に議論し、自分の意志を的確に述べられるようになる。

求めること：自由、取り組みたいこと：興味のあることを可能な限りやりたい。

資格、将来の職業に繋がる知識を身に付けたい。

具体的にやりたいことがないので、自由な学風によって、いろいろなことに挑戦したい。

自分の興味、関心を広げる。幅広い人間関係。

経営学、会計学を体系的に学びたいので、それにプラスになるような履修をしていきたい。

学問に触れ、部活などのつきあいの中で、常に自分に変化を求め、自己改革を遂げつつも「完全」になるのではなく、よりよいものを目指したい。その過程の中で多くの失敗をし、たとえ後にある成功がかすかなものだとしても、それこそすばらしい人生だと捉えたいし、成長しているはずだ。何事にも挑戦し、そして多くの経験をしたい。京都大学ではそれができそう。

さまざまな人と知り合い、会話したり、生活していく上で、自分自身の人間性を高めていき、将来の仕事などのために専門知識等を身に付けていきたい。

自由な学風の中で、教養や知識を身に付け、同時に経済学をより深く理解したい。また自分の視野を広げるために、勉強だけにとどまらず、京都の伝統などにも触れていきたい。

健康で楽しい大学生活を送る。学部の枠を越え、幅広く学びたい。

公認会計士に向けての経済学に加え、できるならば将来有利になる程度には法学知識を身に付けたい。そして、何とか公認会計士の資格をとりたい。

将来自分の人生で役に立つこと。

基本的に現代経済学は「数学」重視（理系的な）という印象があるが、現実に数学的分析だけで現代社会を捉えることができないと考えます。従って哲学的なアプローチを含めた文系的な経済学を研究することを目標として、経済学を研究したいと考えます。

将来就きたい職業の専門知識を身に付けたい。国際社会で活躍するために語学力、表現力を身に付けたい。幅広い学問を知り、視野を広げていきたい。

知的好奇心、探求心を満たすため、勉学、サークル、他との交流などさまざまなことに取り組んでいきたい。

外国語での（日本語でも）コミュニケーション能力を身に付ける。友達を作る。

高校生の時は与えられたものをこなしていたが、大学では興味のあることを自分からどんどん追求していきたいと思います。

京大に入ってくる人はとても凄い人達ばかりだと思うので、それらの人々から少しでも多くのことを吸収していききたい。

快適さ、関西弁の習得

自由を求め、学問だけでなく、あらゆることに取り組みたい。

何事にも積極的に取り組む姿勢を身に付ける。

教養を高める。

私は留学生であり、日本でいろいろなことを学び、より多様で、深い知識を身に付けたい。

興味を持てる分野を探す。

金融、経済戦略を学びたい。

今までアフリカに興味があって、アフリカ関係の勉強がしたかったのですが、具体的な知識はまだ何もないので、まずは基本的なことからいろいろ知ることからスタートしようと思っています。その中で細かいことで、気になるものが見つければそのことを学びたい。

将来自分は社会で生きられる基本的な技術、健全な人間性を求めたい。

現代の経済の仕組みを理解したい。ニュースを見ても知識がないため、自分で判断できないのが悔しい。いろいろな問題には、さまざまな解決法があるが、論理的に素早く自分の意見を出せるようになりたい。

社会学系の一般教養を身に付けたい。ゼミナールなどの場を生かして自分の意見を発表していきたい。

いろいろな国の言語を習得したい。また文系なので理系科目の知識が少ないので、幅広く学習したい。

将来に繋がること。

のんびり気ままに学生生活をエンジョイすると同時に自己向上への道を自分で設定し、社会への適応力を身に付ける。最低一つでも得意分野を作る。

さまざまな角度から、いろいろな知識を得たい。また外国語履修にあたり、外国語を習得し、異文化理解を図りたい。

求めるもの、取り組みたいもの自体を探しにきた。

卒業後アメリカに渡って本格的に経営学を学ぶための経済、経営の知識を身に付けたい。

多くの人の意見を聞き、自分自身を高めていきたい。いろいろなことがしたい。

友達と勉強

現時点での将来の目標として「公認会計士」を目指しています。京都大学では「自由の学風」の下に幅広い分野の勉強をし、将来に役立てたいと思う。会計学や経営学等直接的なものだけでなく、国際的視野を養うための授業も積極的に受講していきたい。

経済・経営学の専門的知識と農業経営学。自由に自分の思ったことを学びたい。

サークル活動

まず、第一、第二外国語を一生懸命に勉強し、将来に役立てたいと思う。後中国語を忘れないように、何か中国に関係する授業等に参加したいと思う。また経済学部なので、経済学の基礎（政経、ミクロ、マクロ経済など）を勉強してから国際経済を学びたい。

義務教育時代から高校まで、勉強からほど遠い生活をしてきたので、大学こそはと思っている。今は特に何も目標や目的といったものはないので、具体的にと言われると困るが、大学生活を送っていく上で、興味があるものが多すぎるので何かと言われると困るというくらいなれば幸いである。

大学に求めることは特にないが自分自身に自立を求めたい。将来は海外留学を考えているので、在学中にそのための準備を充分にすることが目標である。

京都大学経済学部生として、社会に通用する経済に関する知識と素養を身に付けたい。

学部、学科にとらわれず、自由な学問をしたいです。私は経済学部だが心理学とか。他にもいろいろ。また学問それ自体だけではなく一緒に議論できる友人が欲しいと。人間に興味があって好きなので。

深い教養のある人間になりたい。いろいろな分野のことを見聞きし、いろいろな人と交流したい。

社会生活を営む際に役立つ専門的知識の習得と、それを踏まえた上での世界の潮流の迅速かつ正確な認識。

これまで十数年は与えられた問題に対してどうアプローチし、解決できるかという能力が学力と思っていた。しかし京大の入試問題を前にして、どうということが問題なのかという問題意識もまた学力ではないかと感じた。そしてこうした問題意識を身に付けた人とはすなわち、よく見えている、視野が広い人だと思う。大学では視野を広げるために何でも見てやろうと思う。

対東アジア経済戦略、日本企業の将来像、国際交流

今までに勉強してこなかった、できなかったことに取り組みたい。

自分の性格に合った科目、分野を探し、積極的に学び、自分の将来像を早く見つけられるようにしたい。

学問分野にかかわらず、さまざまなことに取り組みたい。

自分の意見を話せるようにし、経営学を学びたい。

私は会計士業を営むことが目標なので、経営学、会計学はもちろんのことですが、それだけではなく理系の基礎知識も蓄えていきたい。また目標を達成するためにポケット・ゼミ等のゼミナールを履修し、専門知識を蓄えたい。

自分の本当にやりたいこと、興味を持ったことを学問すること。

私はさまざまな学問に触れてみたいので、経済学以外にも特に理系的分野に挑戦したい。そして元々英語に興味を持っているためKUI NE Pにも積極的に参加したい。

知的探求を実現する場を求める。何に取り組むかは具体的に未定。将来を見据えてこれからはすべき事を見つける。

経済学部だからといって、経済の分野に限らず、法学の分野で知識を深めていきたい。経済学部では法学部の相当数の科目を受講できるので、それを利用したい。また国際教育プログラムも積極的に参加する。

私は年上の兄弟もいないし、高校時代に仲の良い先輩も特になかったので、大学の授業や生活がどんなものかよくわかりません。ただ、歴史とか哲学とかに興味があるので、その方面を学ぶのと、話の合う友達を作って、京都のお寺とかをまわったりして、大学生活を楽しみたい。

現代の経済の中で、有効な方法（戦略・経営等）を学びたい。

将来仕事に役立つ実務的な学習

自分に好きなようにさまざまなことに取り組みたい。

経済を学ぶことに加えて、それだけにとどまらず幅広い教養を獲得して応用力を身に付けたい。

自分にさまざまな影響を与えてくれる人に出会いたい。文系・理系を問わず、幅広い分野の中から自分が最もしたいことを見つけたい。

正義を見つける。取り組むことは学校が始まってから決める。

自分が生涯にわたって興味を持てるような学問を見つけ、真剣に取り組みたい。

教養を深めることに取り組みたい。

考える肥やしと自ら考えることを促す刺激。それらを求めることをもとに、フランス語や美術、哲学等に取り組みたい。

幅広い分野の物事を積極的に学び、将来自分が専門的にやっていきたいことを見つける。

求めることは私の求めているものを与えてくれること。最低限私のしたいことに邪魔をしないでほしい。求めるものはそのときによって変化すると思うが、人間性豊かな人との出会いや新たな知識や興味を与えて満足させてくれる環境

専門知識を身に付け、国際感覚を磨く。友人を沢山作り、社会経験をたくさん身に付ける。

自分の興味ある学問を身に付け、専門を究める。

勉強だけではなく、部活やサークルなどの活動をしていきたい。

早めに海外に出て、遅れを取り戻し、国際社会の落ちこぼれにならないようにしたい。

豊かな人間性を築く。

最低2カ国語の習得

自分が興味を持てるものを見つけ、積極的に取り組みたい。

将来に繋がる知識、教養を得たい。

物質的豊かさ、または社会的地位ではなく、自分の心の内に幸福を見つけられるような生き方を探し、それとともに社会問題を解決しつつ全ての人々が精神的な豊かさを持つことができるような社会のシステムはできないかを考えていきたい。また考えるだけではなく自分が興味を持った活動にも積極的に参加していきたい。

やらされるのではなく、自分の興味のあることにどんどん挑戦していきたい。

自分の価値基準を定めることを求めさまざまな社会や文化を知ることに取り組みたい。

京都大学が自学自習を教育理念としていることを聞いて、世界を動かしている経済学を積極的に学びたい。その上英語に磨きをかけることで、世界的な規模で経済学を学んでいきたい。日本だけにとどまらずグローバルな学問に取り組みたい。

幅広い見聞と体験と人間としての能力の向上を目指し、さまざまなことに挑戦する。

科学の思考プロセスを中心に学び、その成立や歴史を学ぶ。

自由を求めさまざまな活動をしたい。

自学自習

京都大学特有の「自学自習」精神を持って、高い自律性の発揮、優れた価値基準の構築、豊かな人間性の発展を目標にして自由の学風を生かした勉学に励み、かつクラブ、サークル活動と学業を両立させて、責任を重んじた人間へと成長したい。特にグローバル社会において、指導的活躍が期待できるような人間。

今まで経験したことのないこと。大学でしかできないことを積極的に参加して、大勢の仲間がいる中でしかできない活動をしていきたい。

勉強面では、文理の両立を求めます。興味のあることに積極的な知識の習得、情報の収集を行う。サークルやバイトの両立で楽しい生活を送りたい。一番求めるのは知り合いを増やすこと。さまざまな人脈を広げたい。

専門知識を求めさまざまな学生が集まる場に参加し、自分を高めたい。

いろんな方面に興味があるので、自分が興味を持った授業や勉強以外のことでもどんどん挑戦していきたい。

その中から将来の自分の方向を定めたい。

外国語に取り組むことと留学したい。

幅広い教養を身に付け、資格取得などを通じて、高い専門技能を身に付けたい。

社会人を経験し、再度勉学したいと考えた。そこで、自由な学風である京大の授業に積極的に参加し、日本経済を中心に国際経済を学びたい。また公認会計士の資格にチャレンジするつもりである。また多くの学生と交流を持ち意見交換を行いたい。

自己の精神と知力の鍛錬、そして多数の学友を作ることを求めます。多くの書物に触れ、わからないことも常に思索を巡らせて解決に取り組む姿勢を養っていきたく思います。取り組みたいのは、自分が知らない分野からある程度は知っている分野の学問まで、とにかく興味のあることに力を注ぎ勉学したい。

公認会計士の資格取得の勉強をする。いわゆる「自由」を満喫する。
いろいろなことを学んで経験を積んでいきたい。
国際公務に必要な識見を身に付ける。とりわけ国際関係論、フランス語、統計、国際司法を重点的に学習したい。
経済学に専念するか、転学して環境学について学びたい。
フランス語を聞いたり話したりできるようになりたい。経営学、経済学を学んでフランス圏のアジアなどで活用できるようになりたい。
社会の運営の仕組みを学び、将来の仕事に生かしたい。
肉体を鍛錬する。

Q. 2. 本日の全学共通教育のガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか。

A. 以下のとおり（　：男子、　：女子）

たくさんのこと。
経済関係だけでなくおもしろそうなこと全部
多くの学問を学び、幅広い教養を身に付けたい。
京都大学の自主を重んじる自由な校風の中で、自分の関心のある分野に対する深い知識を得るだけでなく他の分野に対しての知識を得たい。
グローバル社会に対応するための根幹精神と技能
さまざまな分野
経済全般を学びたい。
学問の本質
バランスよくあらゆる分野
外国語2種はもちろんのこと理系分野にも手を広げたい。
歴史・文明系の中の西洋史の部分や法学のこと。
経済について
全学的知識、主に自然科学分野
特定の知識にだけ偏るのではなく、さまざまなことを学びたい。
幅広い分野にわたっているいろいろなことを学びたい。
将来役立つもの
とりあえず英語を聞き取り話せるようになりたい。あとはできるだけ視野が広がれば良い。
人文科学系、特に哲学思想系
経済学、経営学、数学などの学部の専門的な分野はもちろん文化人類学や人文地理学など人々の暮らしや地理などについて学習したい。またポケット・ゼミで内容の濃い学習をしたい。
授業から得られるものの中から、自分なりに整理して、その授業が語る学問の人間に対する意味、社会に対する意味、自身の道徳律に対する意味を問う。また細分化された学問を学ぶだけでなく、そのことを通して、人間や社会について考えていく際に必要な技術を学ぶ。
普段の生活の上でも常に問題意識を感じるような教育を学びたい。
さまざまな視点を得られるように、文理にこだわらず幅広く物事を知りたい。
経済方向はもちろんのこと、1. に書いたようにアジア・アフリカ地域のことを学びたい。冊子を読んで考えたいと思う。
自分が興味のあること。
社会に必要とされる能力を修得したい。特に言語能力
語学力を高め、英語で書かれた経済書、論文などを多く読んでいきたい。中国語では会話力を身に付け、将来の仕事でも役立てていきたい。経済学だけでなく、幅広い分野の学問を学んでいきたい。特に法、政治学や生物学を学びたい。ポケット・ゼミでは、議論を通して、多くの人の意見を聞いてみたい。
外国語として英語とドイツ語と中国語を学び、レベルの高い外国語を身に付けたい。社会科学系をよく研究し、幅広い知識を身に付けたい。
経営学と社会科学系全般、国際交流関係
自分は文系の学部に入学したが、理系も興味があるので、理系ではどんな研究が進んでいるのかを知りたい。
できれば実験の授業にも出てみたい。

社会学系統の科目

経済学を中心とし、興味のある授業を多く受け、これから考えていきたい。

宗教、歴史、文化、哲学、天文学、生物学（DNAや遺伝子について）

脱「教科主義、個別学問」という時代要請を認識しつつ、それに迎合もしたくないです。

学部専門的知識は勿論、専門外でも興味のあることを積極的に学びたい。

さまざまなことを学んでいきたい。

どちらかというと専門的な学問を深く学びたい。

自分の学部とは関係しないような医学や薬学の講義を取りたい。せっかく選択の幅が広いのだから大いに利用したい。

ややもすれば、文系科目ばかりに偏ってしまいそうなので、意識的に理系科目を選びたいと思う。

先生のお話では、教養とは学問の意味を考えたりすることから身に付くものだということです。それならば僕はできるだけ多くの分野の学問について興味をもって、それらの学問について自分なりの意味を考えて視野の広い人間になれるような教養を身に付けたい。

将来あらゆる分野の問題に少しでも対応できる基盤を形成する知識としてできる限り幅広い分野を学びたい。

自分の興味、関心のあること。

未知の分野に対しては基礎的なことを中心として学び、一定レベルに達せば他の分野との結びつきを考えたい。

じっくりパンフレットをみないと、まだはっきりわかりません。

得意分野の知識を更に深めていくと共に、それとは全く異なるさまざまな分野でも興味を抱いた科目を選択したい。

経済・経営系の授業を中心にとりたいが、かなり自由に授業がとれそうなので、興味のある心理や法学などの授業も学びたい。

まずは自分の学部の専門分野だけでなく、多くの他の分野の学問に触れ、自分に向いているものを見つけたい。会計学を中心に学びたい。

将来社会で必要となる基礎知識、各国の文化、政治における知識も学びたい。

高校までは学ぶことのできなかつたより専門的、より幅広い分野の勉強をやりたい。

政治、経済、経営、商学などの興味を持ってそうなものを学びたい。

これまで自分が知らなかつた事、接点のなかつたようなことをたくさん学びたい。

外国語、外国の文化を学ぶ。

大学卒業後社会人として立派にやっていくために、人間として必要な十分な常識、知識を身に付けたい。

自然科学全体を把握できるようなこと。

数学をまんべんなくやりたい。加えて文化人類学などもやりたい。

外国語、経済学部と関係のある経営、また自分の興味のある宗教学などを学びたい。

まだ漠然としていてわからないので、じっくり考えてから決めます。

経済学部生なので、各国の経済史を学んでいきたい。

外国語はできる限りまじめに受けてマスターしようと思いました。

多分野にわたるさまざまな知識を学びたい。

哲学系、社会学系など総合的にやっていきたい。

一番学びたいのは外国語の履修。外国語の履修によって、外国語の習得、異文化理解をしたい。

外国語を中心に学びたい。

法学系統と経済学系統を重点的にすると同時に理系分野も学びたい。

経済学を通して「世界の中の日本」について考えたいので、語学を中心として専門的分野と同時に学際的分野も学んで行こうと思う。

文系、理系にとらわれることなく興味のあるものからどんどん吸収していきたい。今は人間の哲学、在り方について興味があるので、思想史等を特に学びたい。

まだあまりイメージがない。

社会学科を中心にして人文知識を学びたい。

さまざまな分野に関しての教養を身に付けるのは当然として、ただ、社会人としてふさわしいだけの“教養”が京大の授業だけで身に付けられるかどうか？結局個々人の心がけ次第だと思う。

優れた外国語力を身に付けたい。また興味のある自然科学の基礎知識を学びたい。

全分野の学問を学びたい。特にB群を学んでみたい。

文系と理系を隔てなく学びたい。

自分が詳しく知らないこと。特に自然科学で専門的なこと。
基本的には興味のある分野を系統的に勉強したい。が少しずつ関連のない分野もやってみたい。アラビア語をマスターする。脳みそを有効活用したい。
国際情勢を中心に自分の周りのことも学びたい。
幅広い視野をもった人間になるために、理系科目を学習し、特に今必須だと考えられる情報系分野を学び、そのもたらすものがどんなものかわかるような学習をしたい。
シエクスピアのポケット・ゼミに興味がある。
まず、基本的に数学や外国語の知識をふやしたい。
いろんなものを学び、視野を広げたい。
自分らしさを見つけ、より広い人間性に繋がってくれる勉強をしたい。
一つの分野を極めるのではなく、広い分野のことを学んでいけたらいいと思う。
現在既に関心があること（哲学、地理学）以外のことにも関心を広げられるよう関心の薄いものにも取り組みたい。
ポケット・ゼミやK U I N E Pという授業に興味があります。こうした授業は本国ではあまり聞く機会がなかったため、是非とも参加したい。
外国語の修練
主に経済学、経営学、会計学、心理学、政治学、英語、ドイツ語を学びたい。
以前所属していた大学では語学系の授業が中心であったので、理系の教養も含めさまざまな学問を学びたい。
特に社会科学系の学問に力を入れてゆきたい。
自分が専門的にこれから何を勉強していくかは見つけることができるきっかけとなれば良いと思います。
狭い範囲だけではなく、幅広くいろいろな分野のことについて学びたい。
興味ある数学を掘り下げてみたい。
体系的な外国語を精力的に学びたい。経済に関することを中心としつつ、その周辺の知識も取り入れたい。
経済に関することを中心にするのはもちろんだが、その他では文化、政治等を重点的に選択したいと思う。
幅広い分野にわたる教養を身に付けたい。
都市地理や地域経済学などを学びたい。
歴史関係等、ポケット・ゼミなども参加したい。
現在の国際社会での各国の関係をj知るために、各国の歴史をもとにして、なぜそのような関係にあるのかを学びたい。
世界の言語、経済だけでなく、各国の国民性の根本となっている文化や思想を学び、視野を広げたい。また司法の知識も身に付けたい。留学も体験してみたい。
講義と私たちの生活がどのように関与するか。
専門科目に入る前の土台として、学問の全体像を描けるように学びたい。全体像を描くためなので、特に偏ることなく、全てを学ぶ。同時に弁証法、認識論を学ぶ。
人間としての視野を広め、いろいろな人の立場に立っているいろいろな観点から物事を見られるように可能な限り多様な分野について学びたい。
経済にかかわらず幅広い知識
語学を頑張る。
人文、社会科学では主に歴史学を学んでみたい。自然科学では統計学を学んでみたいが、積極的に授業をうけることを念頭において学んで行こうと思う。
国際社会プログラム、心理系
理科系に関することも学びたい。偏りを避けて一通りとりたい。
語学がおもしろそうで興味がある。
数学や言語力を中心に幅広い知識を身に付けたい。
経営学や法学など将来のためになりそうなことを学びたい。
人間について
外国語習得とともに国際的な視野を身に付けたい。
経済学との関係にこだわらず、頭の固い人間にならぬように多様な分野の知識、アプローチ法を学びたい。
歴史
人間とはどうあるべきか。どう生きるべきか。
主に外国語に力を注ぎたい。法経分野を問わず、理系分野も教養程度にしつつ学びたい。

社会一般に通用する基礎知識を身に付け、現代社会の問題に数多く取り組みたい。

実地に使えるもの。

フランス語、心理学その他にも自分が興味のあることがあれば分野に関係なく学びたい。

あまりまだよくわからないが、自分の視野を広げていけるようなさまざまな事を学びたい。

あまりに種類が多く現段階ではよくわからないが興味に任せて授業をとりたい。

社会で活躍できるだけの教養、自分が学びたいと思う教養

人生の生き方について学びたい。

経営学、会計学、財務監査

いろいろな分野

数学、コンピューターを使う科目

どんなことといわれても答えにくい、いろいろ文理両方の科目もやってみたいが、経済がやりたいからその方面中心にやりたいと思っている。

経済学だけでなく法学などにも触れてみたい。

自身の学力はもとより、それに付随して得られるであろう能力等を学びたい。

外国語に重点を置いて頑張りたい。

幅広くさまざまな授業、理系の授業をとりたい。ポケット・ゼミは是非とりたい。

理系の知識があまりないので、学びたい。

外国の人達は日本をどう思っているか。

京大特有のマルクス経済学も参照にした経済学を学びたい。

現代社会システムの矛盾

全学共通教育ではさまざまな分野について学ぶことができることを知ったので、経済という専門分野、外国語の他に、専門分野に隣接する分野について主に学びたいと思う。他分野では基礎的な内容の科目を中心に学習を検討したい。

さまざまな学問に触れることで、自分の教養を高めたい。得意な数学、英語をもっと伸ばしたい。

固定観念にとらわれず、いろいろな群の授業を取って学びたい。

経済学に関する自分が興味を持ったこと。

法律（民法）や地球工学とか電子工学とか文理を問わない勉強をしたい。

幅広く経済学と関わりの薄いものもさまざまな話を聞き学びたいと思う。

ただひたすらに卒業したい。

単に自分の利益になることだけではなく、自分という人間をより意義あるものにし、他の人の役に立てるように自己を高めたい。

自由に受けたいものを受けられそうなので、興味を持ったものを学びたい。

理系科目を中心に幅広く学びたい。

実際に通用する外国語を身に付け、そこから他国の文化を学びたい。

他国の言語やさまざまな思想

思想

専門科目の周辺となるものを中心に学びたい。

文系、理系あるいは専門分野の枠を越えて、自分が興味のある科目を中心にとり、知的興奮を得たい。とりあえず授業に出てみないとわからないので、4月の初めに多くの授業に出てみてその都度判断したい。

自分が将来する仕事や生活に役立つように、幅広い知識を身に付けたいので、所属する学部にとらわれず、多方面にわたってさまざまなことを学びたい。

語学力を高め、自分の英語力を更に伸ばしていきたい。また自分の専門科目以外の科目を履修し、知識の面でも視野を広げていきたい。

まだ、わからない。教養教育で何なのかわかりません。

化学、歴史学

ゼミを通じ、将来的に社会で通用するような知識を得たい。

理系教科もいくつか学びたい。

一つの学問を追求するに当たっては、その裏で広大な教養のバックグラウンドが必要とされます。従っていわゆる「学問」ばった教養教育ではなく、芸術、社会学などの分野に視野を当ててみたいと考えます。

自分の専門分野以外の科目を学び、視野を広げて、社会で活躍するための基本的な知識を身に付けたいです。

幅広い教養を得るため、さまざまな分野の講義を聞いていきたい。

社会科学系、自然科学をいろいろ、K U I N E P

韓国に興味があるので、言語習得はもちろんのことその国の歴史や日本との関わり、抱えている問題についても考察していきたいと思います。

文系なので理系のことをもっと勉強したい。

芸術（特に音楽）が人々に与える影響について特に思い浮かばない。

中国語

広い視野を持てるような幅広い多面的な知識

人文は経済を中心に、自然科学は生物中心のつもり

よくわからなかった。とりあえず外国語が使えるようにしたい。

教養教育によって、自分の向上心を強くしたい。

歴史にも興味があるが、やはり現代の問題を扱いたい。自分は世の中の仕組みを知らなさすぎるので、グローバルな教育を受けたい。

社会学系の科目。経済に限らず、政治学、歴史等にも興味があるので、それらを履修したい。また数学も学びたい。

自分の興味のあること。

実生活で役にたつこと。

文系なので理系の科目、具体的には脳科学、エネルギー、量子力学、進化論、分子生物学、自己組織化、カオス、アトラクター、複雑系など

より深く、さまざまな知識を得たい。自由な校風の中で、自分の力を十分に発揮できるよう、その基盤として一般教養を受けたい。

心理学、経済学、法学系

自分の幅を広げるため、さまざまな分野にわたって学びたい。

日本だけでなく世界のことも学びたい。

地球社会の調和ある共存

「教養教育とは大学側が押しつけるものではなく、自分の得るものだ」この言葉をかみしめ、以前から興味があった社会思想等の分野を勉強したいと思っています。今のところ、専門としては考えていませんが、だからこそ教養の分野で勉強することが適切だと考えています。

文系、理系幅広く学びたい。

文系、経済学という枠にとらわれず、幅広い分野の科目をとりたい。

ポケット・ゼミ、K U I N E P等の特別授業に是非参加し、専門知識を学びたい。いろいろな科目を勉強することができるので、とにかく自分に合う授業を探し、自分に役立つことを学びたい。

大まかだが、哲学及び数学を学びたい。今のところ語学に興味はあまりない。

自発的に学習する気持ちを持たせる方法（指導者の指導法）一定方向に偏らない視野の広さ。

英語講義を学習したい。

専門以外のことも広く浅く学びたい。

数学、哲学、社会学、歴史について高い教養を身に付けたい。

昨年から異常に自分の身体に興味がわいてきたため、健康科学、スポーツ実習をできるだけ多く受講したい。

また、今の自分ではどうも考えがちぐはぐなので、京都大学の教養教育を通じて自身の全体認識を養いたい。受け身の学習ではなく、自発的に問題と向き合い、解決法を探る力をつけること。

いわゆる一般常識を身に付けたい。

幅広い分野の知識を学び、自分の将来に生かせるように、目的を持って積極的に取り組みたい。

地理

いろんなことを学びたい。

会計学、経営学を中心に法学、哲学、歴史学、化学等広い分野の内容を学びたい。

幅広くいろんなことを（浅くてもいいから）学ぶ。

K U I N E Pに参加し、最終的には交換留学をして、世界に通用する教養を身に付けたい。私の意味する教養とは英語を武器とした専門科目の成熟です。

あまり具体的に学ぶつもりはない。応用性が高いものを選択するつもりなので、どんなことと一言では言えないのではないか。

英語、第二外国語だけではなく、その他の言語を教養科目として学びたい。

哲学とか歴史関係。あとはゼミとかでは、外国語選択でフランス語を選択したので、フランス語系のをとろうと思っています。

ネガティブな考え方を理解した上でのポジティブな態度。

生活に役立つこと。

いろいろあるようなので、いろいろやってみたい。

2ヶ国語をある程度修得して、国際社会に通用する人間になりたい。

英語で日常会話をしたい。特に発音をよくしたい。フランス語は読み書きできるようになりたい。

細かいことはわからないが、自分に合ったものは何でも学びたい。

特に外国語や社会科学を学びたい。

物事の背景にあるものなど。

林教授は、「個々の教授の研究する学問に接して、それらが人間に対してどういう意味を持つかを自ら問うことで教養を獲得しろ」と言われていたが、自分としては具体的にフランス語を通して培いたい。

上回生になって、自分のやりたい勉強がスムーズにできるように基礎的なことをしっかり学びつつ、自分の興味を持ったものを積極的に学ぶ。

外国語はもちろんのこと今まで知らなかった事柄にも積極的に参加して学びたい。

経済的な専門知識に限らず、元々興味のある理系科目も学びたい。また国際人間になるための外国語に力を入れたい。

幅広い知識を得られるようにしたい。

情報処理を中心に学びたい。

経済学には政治学や社会学も深く関わっていると思うので、経済学だけにとらわれるのではなく、幅広く勉強することによって、世界に対する豊かな視点を身に付けたいと思う。

経済学、法学等

理系科目も文系科目と同じくらいとらうと思う。

新しいスタートになるので、自分のペースで進めていきたい。

自分の興味のある分野について、更に深い理解を得られるようまたそれ以外の分野にも積極的に取り組みたい。

いろいろな学問を学ぶことにより、総合的に問題解決する力を身に付けるとともに興味のあるものにどんどん参加して、学ぶ喜びを満喫したい。

外国語を習得し、国際交流に役立てたい。

専門分野に入るまでにできる限り自分のわかる領域を広げるために基盤となる語学を中心に学びたい。

経済学を学びながら、教養を身に付けるという京都大学の学習方針に従い、あくまでも経済学又は違う専門的学問に繋がっていける教養教育を学びたい。そしてそれが人間的な成長に繋がれば良いと思います。

少しでも興味のある分野に幅広く。法律や地理学。

理系の教養を身に付けて、文理を問わずさまざまな議論に参加したい。

今まであまり勉強したことのない理系科目を学びたい。

学部科目では扱わない領域、具体的には伝統のある人文科学系

まだ明確には集中して勉強しようという分野は決まっていないが、多面的な分野において、多面的な課題を自らの中に作り出し、それを極めていきたい。

いろんな知識を豊かにして、これから日常生活で体験するいろいろな事をいろいろな角度から考えて楽しめるようにいろんな興味ある科目を好奇心にしたがってとっていききたい。

建築、哲学に関すること。世界史に関すること。

経済系を集中的に学びたい。

自分の進む道と異なったことを多く学び、さまざまな価値観を持った人と対等に議論し、そこから何かを学んでいくというようにしていきたい。

まず、言語学をきちんと身に付けたい。それから全般的にいろいろな分野の事柄を学びたい。日本人として誇りを持って海外に行けるようになりたい。

文理の垣根を越えて、自然科学系の分野にも触れてみたい。また数多く与えられた機会を有効に生かし、積極的に講義に参加し豊かな教養を身に付けたい。

講義型の授業だけでなく、参加型の授業を取り、教養の修得にとどまらず、自由に意見交換し、論理の表現力を向上させたい。また語学に力を入れ、留学生の人との授業に参加できるようにしようと思っている。以前英文科があったので、全く違う分野の教養教育も受講したい。

物理全般、高等数学、外国語、社会学、哲学、心理学、英文学、フランス文学など。

人間性を発達させるようなことを学びたい。専門科目以外の幅広い知識を身に付ける。
哲学思想などを勉強してみたい。
法学、経済学など社会科学を初めとして、幅広く理科系を含めて学びたい。
人文学、自然科学、外国語について幅広く教養をつけたい。
自分が楽しめることを学びたい。
いろいろ語学とか。

6. 理学部 (アンケート提出率 92.4%)

Q. 1. あなたは京都大学で何を求め、どんなことに取り組みたいですか。

A. 以下のとおり (: 男子、 : 女子)

自分が興味のある学問についての最高レベルの授業の提供を求め、将来、研究者になるための礎を築きたい。
自分の志す学問を中心として、幅広い分野の授業を受けて、研究者として必要な多くの知識と学力を身につけ、研究者としての方向性を決定していきたい。

自分の興味のある学問に専念して教養を深めたい。

趣味に走りたい。

学問。

自分の望む専門を究めるために、その道に通じた教官、授業を求めており、勉学にも取り組む分、体育会にも入って筋を通したい。

京大の教授の知識を吸収し、文理を問わず、様々なことに取り組みたい。最終的には数学科に進み、数学を研究したい。

自分の適性を見極めて、将来の方向性を見つけること。特に、数学、物理等の研究の方向のみではなく、自分が本当に研究者に向いているかを考え、自分を確立すること。自分と知的背景の近い同年代の人の考え方の違いや共通点を発見すること。国際的に通用できるように在学中に留学する。

生物学 (特に人類を中心として、進化学全般) の勉強をして、その道の研究者を目指したい。そのためにも科学全般から関わりのありそうな様々な分野をおさめていきたい。色々な方面の人との交流もしたい。

科学に詳しくなる。(自分のやりたい生物系だけでなく、化学や数学なども。) 理系科目だけに偏らない人になる。

どんな分野をやりたいかが、はっきり決まっていないので、いろんな授業を受けて、自分のやりたいことを見つけたい。

たくさんの知識、思想、哲学と強い体、精神を身につける。

研究のための基盤となるもの (専門分野外、文系も含めて。) 研究に繋がる勉強、役に立つことを一切期待しない考え方、見方。

現在行なわれている生物学研究にどのようなものがあり、それらの研究に必要な技能を学ぶ。

深い深い知識を求める。将来に対する地盤を固める。手広く色々なことに取り組む。本を読む。資格を取る。

高度な授業を求め、自分の志望する分野の専門的な知識を得ることに取り組みたい。

求めたいものを探しにきた。

自分の生きている世界がどんな仕組みになっているか探求する。自分の限界に挑戦する。最終的には楽しむ。

自然科学全般において、幅広い知識を学びたい。

自分の興味を持てるものを見つけるために、様々なことに取り組みたい。

今は将来の展望が薄いので、とりあえず、目標を持つことが目標。

最新の情報を知りながら、新しい理論を作りたい。

将来生活するための専門技術を得る。

物理系に進みたいと思っているので、物理や数学について学び、知識を深めたい。

意欲の分だけの教育の場を求め、物理と数学に取り組みたい。

専門分野を決定し、大学院に進むため、勉学に勉める。

やるべきことを見つけること。課外活動。学問。

自分で好きなように勉強し、将来、役に立つような知識を得て、一人前の化学者になろうと思う。土日にはサークルなどもして、生活を充実させていきたい。

世界を変える男になりたい。

最先端の研究を求め、そのような研究が出来るようになるくらいの学習に取り組みたい。

自然科学において、高度な知識を求め、世界に貢献できることに取り組みたい。
物理、化学などの現象の発見を求め、しっかり実験に取り組んでいきたい。
常識を付けつつ、専門的なことを自分のものにする。とにかく、頭を働かせて考える。
先端の場で活躍できるような知識を身につけると同時に、人間的な倫理感を深める。
興味のあることには積極的に取り組み、生きていくうえで、よって立つべきものを見つけたい。とりあえず、自分のことをもっと知りたい。
幅広い知識を身につけ、国際的にも通用する人物になりたい。また、自分が専門とする分野については、とことん深く掘り下げ、その分野では誰にも負けないようにしたい。
自然科学だけでなく、人文科学などの学問を学べる環境や、将来もつき合えるような友人関係や教官との関係を求め、勉強やそれ以外のサークル活動等にも取り組んでいきたい。
自分の本当にやりたい学問を見つけて、それをきわめたい。
化学をしたい。ゆっくり暮らしたい。
物理関係の専門知識の修得とその発展。
自由に学問をする時間と環境を求め。物理学者を目指しているので、そのための勉強、および、自分の幅を広げるための活動や人との交流をしたい。
専門知識。環境の提供。論証力の強化。
自由な校風のもと、理系科目のみにとどまらず、様々な文系科目にも触れ、教養を増やしていきたい。授業やサークルを通して、多くの人と接し、様々な価値観、考え方を知っていきたい。
専門知識を深めたい。
物理生物学を専攻したい。
理学を幅広く学ぶ。将来的に研究したいことの探求。体の鍛錬。
世界平和と自分の関係・人間の生きる意味・人間の生き方を考える。
研究者としての広範囲にわたる基礎知識、専門知識を得る。宇宙物理を志し、ブラックホール等に取り組みたい。
勉強、スポーツ、クラブサークル等、大学生活で経験できる全てのこと。
幅広い教養を身につけ、その中から生涯をかけられる分野を見つけ出して、専門性を高める。特に言語習得に力を入れる。
目に見えないところでの物質の作りや仕組みについて学び、実際に自分で興味を持った分野で研究をすすめてい
自分が興味を持っている分野について深く学べるような環境を求め、学生生活を充実したものにするために、スポーツも勉強も一生懸命取り組みたい。
数学の研究者を目指しているので、数学を中心として、理系の学問の知識を出来るだけ深めたい。そのために授業に積極的に関わって、有意義な時間を作っていきたい。
学問や他の生活も楽しんでいきたい。
様々な友人、上回生と話、授業に出ることで、自分というものを見つめ直し、知的な向上を求める。
あらゆる分野に役立つまとまった知識を得たい。学問の仕方、研究の仕方を学びたい。
自然科学の基礎分野を深くやりたい。
宇宙物理を勉強したいので、まず、最初は基礎をちゃんと勉強して詳しく学んでいきたい。
自分のやりたい研究分野（物理）についての知識やセンスを求め、それに関する議論を研究者や学生としてみたい。
京大の充実しているであろう知識を適切に利用し、人材と交わって数理能力を高めたい。またここを拠点として、京都の建築に詳しくなるか、社会にどういった貢献をしたいかは今のところはっきりしない。
最先端の研究を学んで、新しい発見が出来るような知識を（後半判読不可）
人工脳のような複雑系の分野。
知的快樂。
大学院で研究したいことを早く決めて、それに関する基礎知識を出来るだけ、深く学びたい。フランス語のレベルを英語のレベル以上にする。
自分の専門とする分野を決め、その分野について深く学びたい。
自分が本当に興味をもって、取り組める専門を決められるように、いろいろなことに触れたい。
科学に関する深い知識。
自分の好きな学問を自由に勉強出来るような環境の下で、理学の基礎の充実とともに、特に自然の中に潜む神

秘的な法則性との数学的な関連を探求したい。
基礎的なことから発展的なことまで、文理を問わず、総合的に学び、その他、課外活動などに積極的に取り組み、ふところの広い人間になる。
基礎から専門までの幅広い分野の知識を得、視野を広げる。
数学に関する詳しい知識を学び、将来、研究していくことを探していきたい。それと同時に現時点で苦手な外国語と上手く使えるようにしていきたい。
至高を求め、知の探求に取り組む。
日本の知がどんなものなのか知りたい。生物物理学が面白そうである。
学問的に自立して、早く研究したい。
極めて質の高い講義を求め、途中でくじけることなく、学問をしたい。
独創性を求めたい。目標は漠然としているが、手ごたえを感じられるようなことに取り組みたい。
数学と化学に興味があるので、この分野について高度なことを学べるようにしたい。
理系の専門分野はより深く理解できるようにし、また、人文系の科目でも自分の興味のあることは可能な限り、知識を深めていきたい。
高度な学問、知識に触れて、自分を専門的にも人間的にも成長させてくれる環境を通して、化学を中心に学んでいきたい。
教養知識、専門知識を身につけて、科学の最前線を学ぶ。
私が求めた援助をして下さること。生協の学食。
専門科目を極めた教授。自分の興味のある分野を見つける。
自由を求め、化学関係の勉強に取り組みたい。
世界に通用する研究の一端に触れてみたい。様々な人々との幅広い交友の機会を持ちたい。色々なことに触れ、その課程の中で、自分に適切な方向を見いだせるようにする。
これまでの教育で知識として覚えたことを理解したい。高校より進んだ数学を学びたい。
現代の高度な数学、物理について学び、出来れば、海外留学などをして、国際性のある人間になりたい。
自分の目指す研究に対して、必要な知識を吸収し、自らの研究につなげる。
最先端の研究に触れ、自分の知識を深めたい。
今後、長い時間をかけて学びたいと思えることを発見し、それについて必要なことをする。
使える語学を身につける。数学と物理の専門を出来るだけ多く学ぶ。勉強以外の活動も参加したい。
充実とそれに伴う行動。
色々あり、自分の中でもまだ固まっていないので、書くことが出来ない。
「自由な学風」の中で自らの目指す目的を見失うことなく、学業に取り組んでいきたい。クラブ・サークル活動にも積極的に取り組み、学業との両立をはかって、メリハリのある大学生活を送っていきたい。
自分が何を求めているのかというような、抽象的な質問をひとたび考え出すと止まらないので、とりあえず、抽象的な答えとして“真理”としておく。そのために様々なプロセス(数学、物理、哲学、芸術など)を取ろうと思う。
京都大学には、高度な教育環境と後々には自分の研究に専心没頭出来る環境を求めている。そして化学の発展に身を捧げることを望む。
興味を増やすこと。徐々に専門化。
充実した日々を送ること。
物理、数学などの専門的な勉強やサークル活動。一人暮らしに慣れること。
己の専門を決め、一人前の研究者となるために必要な知識と教養を得ること。生涯つき合える友人を得たい。
知的刺激を求める。学問の世界で知的に遊びたい。
今までしたことのないようなこと。生体に関する知識や理解を深め、幅広い分野の中から、自分が研究していきたいことを見つけていくこと。多かれ少なかれ社会勉強もしていきたい。
宇宙について深い知識を求め、積極的に様々な勉強をしたい。
無機構造化学、鉱物学を学び、既存の鉱物の組成の応用や新しい構造の可能性を探求すること。
求めるもの：時間。取り組みたいこと：興味のあること。
大学生活で理学について全般的なことを幅広く学ぶことで、自分が勉強したいことを4年間で見つけられたらと思う。
興味ある分野を深く学ぶこと。頭のキレル人たちと触れあうことが刺激を与えてくれそうである。
将来、研究者としてグローバルに活躍したいので、日本語に限らず、ドイツ語や英語に磨きをかけたい。人付

き合いが悪いのでカウンセリングでも受けて何とかしたい。失敗を恐れ、成功ばかりを求めようとするきらいがあるので、改善しようと思う。自分が人にどう思われているかということ過度に気にすることのないように。レポートで落とされるというのも面白いかも。

日常の人間関係において、一意的に解答の出せないトラブルが生じる事がある。こういった際に正しい判断を下せるように、幅広く知識を蓄え、かつ、その知識を論理的に扱えるようになりたいと思う。また、感銘を受けるほどに論理的に記述される数学は、それ自体、非常に興味深いので学びたい。京都大学の学内には優れた人材(学生も含めて)がいるので、おおいに討論したい。

文理を問わず、様々な知識を身につけつつも、専門分野のスペシャリストを目指して勉強していきたい。

教授に対し、より専門的な求め、宇宙における生命の存在について科学的に解明していきたい。

自分のやりたいこと、今のところは数学を奥深くまで知りたい。取り組みたいことは、勉強をしていく中で見つけていこうと思う。

様々なことを体験学習して、自らが好奇心を持ち、取り組んでいきたいものを探したい。

数学、物理、化学について、幅広い知識を得たいと思う。また、授業内容だけでなく、自分で課題を見つけ、それを解決する努力をしたい。

京都大学に対話等によって互いに学問的に...全力をつくたく思う。(途中判読不可)

社会の中で生きていくための術、ただし、自分が出来る限り楽しんでいけそうな学問。

数学。

自分が興味を持てるものが何であるか理解して、それに徹底して取り組みたい。

これから生きていくうえで、役に立つ、あるいは必要となる知識。現代科学の基盤となっている学問。

以前から、解決したいと考えていた問題に対するための手段となる様々なことにわたる知識に近づきたい。本当に心の底からわくわくする学問に今までにも本を通じて出会ってきたが、今後は自分からわくわくする学問を探究したい。

京都大学でしか学べないことを探し、修得する。

よい師、よい友との出会い。よい環境。自分の専門(物理・原子)以外の分野まで幅広く学びたい。物理に関しては、一回生のうちから積極的に学んでいきたい。

生きる理由と死ぬ理由を求め、興味を持てることに取り組む。

興味のある宇宙物理、素粒子を深く学び、身につけたい。

物理学や数学等の自然科学を中心に、科学の基礎的知識を吸収したい。知識だけでなく、論理の立て方、情報の整理の仕方など、考える方法論を改善したい。京都大学の教授陣の質の高さは有名なので、自分としては、特に要求するという事は無い。

宇宙論とそれを学ぶために必要な科目を中心に学びたい。やりたい事を全部やりたい。

高度な授業とそれに対する討論、調査。

何か一つの事柄をやり遂げることに挑戦(途中判読不可)

とりあえず、今は物理、化学、数学等、興味の対象となっている分野は幾つかあるが、京大で行なわれている各方面の研究に早目に触れて、自分がどんな研究を専門にしたいのか、考えたい。自分に出来る研究が世の中にどう役立つのか、といったことにはほとんど考えを巡らせたことはないが、今まではとにかく勉強そのものが面白かった。とりあえず、面白いと思える研究をしてみたい。

具体的にはまだよく分からないが、自分が生涯をかけてやりたいと思えるようなことを見つけたい。

理系科目は言うまでもなく、大学受験で満足に学べなかった経済、心理や、逆に受験によって興味のわいた日本の近代文学もやりたい。自分のしたいことをマイペースに学びたい。数学の研究。

専門知識等の修得。

将来、人類に貢献できる研究が出来るための準備。

様々な現象を原理から詳しく知りたい。

将来の進路がまだ不確定なので、幅広い理系教育を受けて、興味のあることを中心に専門知識を得たい。

専門知識を身につけたい。

将来、自分が進むべき道を決定し、人間的に成長したい。

何か自分の興味のあることを見つけて頑張る。地学の先生になって青島先生を越える。

理論分野(特に数学・物理)の専門的なことについて取り組みたい。

自分を知る。

多くの人々と接し、豊かな知識と人間性を持ちたい。

専門分野はもちろん、それ以外の分野の基礎を身につけることで、専門分野を多方面から理解できるようにな

りたい。

数学を基盤として、全ての学問に触れ、より深い教養を身につける。学問の楽しさを探る。勉強やサークルなど全ての活動に対して、気合いを入れて取り組む。

学術的教養、文化的言語力、基盤的知力を目標とした行動を取れるような人間的資質の向上を出来る限り、実現させたい。

講義、実験等を通して、研究者としての教授の考え方や知識を吸収し、自分の将来に役立つ下地を作りつつ、交友関係を広げ、人間としても成長したい。

教養、体力、人間性を高めたい。

勉学だけでなく、サークルといったその他の活動を精力的にやっていきたい。

生きるための信念、糧、力を得たい。また、自分を生かして満足できることに取り組みたい。現時点では、詳しくは考えていない。

教養を深め、専門的な学問に取り組み、また、学生生活を通して、人間として成長していきたい。

興味あることをどこまでも追求出来るような環境があって欲しい。とにかくあらゆる知識を手に入れる。

国際的に通用する語学力と社会性・倫理性、また、深く独創的な専門性を求め、理系のみならず、幅広く学びたい。

出会いを求め、人生を学びたい。どの分野にも選べるような幅広い知識。

勉学に励みたい。

物理学(素粒子論、相対論等)を専門にして、理解を深めたい、将来、研究者になりたい。

基礎的な学力を万全にし、その上で、将来自分が取り組むであろう未知への研究に尽力したい。何に取り組むか具体的なものを探したい。

幅広い知識と人間関係を獲得して教養を高め、生物学を中心に研究者になるための専門的学力を身につけたい。特に決まっていない。

将来、社会に貢献度の大きい働きをするための準備期間としたい。

将来、研究していくための基となるものを身につけ、また、それ以外のことにも興味をもって様々なことを知りたい。

数学や物理をもっと深く学びたい。

最先端の科学に繋がるような講義を受けたい。特に化学系に進もうと考えているので、その分野に関連する科目を積極的に履修したい。

小、中、高とごまかされてきたもの、届かなかったもの、そして、いずれは人類がまだ知りえていないものを追い、それを学びたい。

自己を確立することを目的とし、生物学、特に生命科学分野の研究の一端に触れ、“生きている”とはどういうことかを分子レベルで理解することに取り組み、自殺者の多い昨今、現代の世界に生きる人々に「生きる意味」を提示できるような研究者を目指したい。

大学院進学を希望するので、一般教養及び高度な専門性を高めたい。なるべく多様な活動に積極的に当たりた

い。

物理・宇宙物理についての専門知識。将来役立つような人との交流。

より深く学ぶ。自然科学全般を学ぶ。特に生物を学ぶ。

知識を多く身につけ、そこから新しいものを生み出したい。

求めるものは知識であって、とにかく多くのことを学びたい。

自然科学分野の学問を学び、よい友人を作って活動的にいきたい。

理系全般の内容に触れて、様々な知識を広げたい。

物理に取り組んで新しい発見をしたい。

自分の進むべき方向を見つけ、それに取り組んでいきたい。

幅広い教養と深い専門知識を求め、物理に取り組みたい。

未来に向けて夢にかなう自分になるための4年間にするために、単位をしっかりと取る。

研究の最先端に触れる機会を求め、物理・数学を学ぶことに取り組みたい。

質の高い教師陣と講義、勉学に励みたくなるような環境(周囲の学生など)の中で、現代の理論物理をとことん学びたい。

やさしさ。左手。

まず、第一に何かについて極めたい。今のところ、数学。スポーツもしたい。

将来、研究者として研究したい事柄を見つけ、それに関連した事柄を深く学びたい。

自然を構成する要素の仕組みを調べるために、必要な知識、技術、能力等を身につけ、取り組んでいきたい。興味のある分野を色々勉強したい。特に昔の人が発展させてきた数学がどんなものかを知りたい。理系の分野の科目についての知識をより深めたい。

運動と勉強を両立しながら、学問への理解を深めたい。一人暮らしを通して、社会的に自立をしたい。将来、どの方向に進んでいくかを出来るだけ具体的に決める。教養をたくさん身につける。友人をたくさん作る。サークルを頑張る。

将来、生物・科学系に進みたいので、それに関係のあるものを積極的に取っていきたい。また、学問だけでなく、スポーツにも力を入れていきたい。

生物に関する知識を深めたい。

常に何かを考え続けることが出来る環境。自然をマクロな視点(宇宙)か、ミクロな視点(原子)で見たいが、まだよく分からない。

将来、共に研究出来る仲間や様々な分野の人々との繋がりを求めながら、自分に足りないものや自分の長所を伸ばせるようになることに取り組みたい。

自立して、自主的に学習に取り組みたい。

広く深い知識、特に物理について。

幅広い知識と教養を身につけたい。

生命とは何か、人間とは何かを知るために、勉学・研究をしたい。そのために生物物理を学んで、生物の体の神秘的な構造を探っていきたい。

教授と交流を深め、出来るだけ早く、自分の進む専門分野を決定したい。(漠然と「物理」ではなく、もっと細かく。)チャンスがあれば、留学等で国際交流を行いたい。

興味深い分野を見つけて、それについて理解を深めたい。

今はただただ学問をしたいと思うのみ。この世界についての知識は何でも学んでいきたい。

将来、エネルギー開発にかかわることが夢なので、それには幅広い知識が必要だと思う。大学生の間は特にこれといったものを決めずにたくさんの幅広い勉強がしたい。そこで大学に求めることは数多くの様々な授業を提供して欲しい。(今、現在、提供してくれているが...)

京都大学に対し、特に求めることはない。こちらが学ぼうとする姿勢を受け入れることは希望するが、それは既実現されているように見受けられる。(ポケットゼミは複数受講できるようにして欲しい。)時間の許す限り勉強し(机上の勉強とは限らない)社会が自分に求めていること、自分の進む(進みたい)道とその方法を見極めたい。今は理学部にいるのに、文系の学問にも強い関心があるのは多少問題あり?経済がやりたい。数学をやりたい。数学以外でも人文社会系の科目も幅広く勉強したい。フランス語をマスターしたい。色々な人達とよい友人関係を築きたい。

教養や高度な専門知識を求めていきたい。また、交友関係等によって、人間性も求めていきたい。数学を勉強したいので、数学を中心として取り組みたい。

理系関係を重点的に学習することはもちろん、社会的にも通用する人間になりたい。

今はまだ、やりたいことが決まっていないので、まずはそのやりたいことを探そうと思う。生きていることを実感できるような、本気で取り組めるような、楽しく生き甲斐のあるものを探したい。

高校の授業で生物に興味を持ったので、大学でさらに知識を深め、研究したい。まだ具体的な目標が立っていないので、まずは幅広い知識を取り入れ、様々な可能性を探っていこうと思う。

今まで勉強してきた学問(特に数学)は、百年ほど前の内容がほとんどだったが、京大ではごく最近のものから未解決の問題を取り組みたい。

宇宙物理について研究するために、しっかりとした物理の土台を求め、あらゆる数学と物理に取り組みたい。自由を重んじた学校で学問に励みたい。自分の得意なものを見つけ、それを向上させたい。

今の時点で進みたい道がある程度考えてはいるが、まだ知識は狭く浅いものなので、少しでも興味を持った分野の講義を積極的に受け、より自分に適した道を考えたい。

自分とは異なった意見を持つ友人を作り、将来、進む道をしっかり決めていきたい。

自分がやりたいこと、将来の目標を見つけ、それに向けて必要な知識等を獲得する。

人間性を磨き、世界に通用する専門知識を習得したい。

自由な校風の中で、自分の責任のもとで色々挑戦していきたい。

社会人として必要な常識、教養を身につけ、また、自分の専門分野を決定し、それについてのより高度な知識を得たい。友人をたくさん作り、学生生活を楽しまたい。

やりたい専門分野を見出し、周辺の基礎知識を着実に修得していきたい。そのためには講義の場だけでなく、

周囲の友人と協力して、問題を解決していきたい。

高いレベルの学習。

学問とスポーツ。生涯、物理を研究していく上で、必要十分な力をつけていき、その上でスポーツに取り組んでいきたい。

教授や学生と話をし、色々なことを知りたい。特に数学、他には物理などについて学びたい。

京都大学で理学の専門的知識や教育を求め、特に数学を究めたい。

専門分野の知識はもちろん、様々な分野の人間の対話を通して、自分の人間性の幅を広げる場としての京都大学。自分が必要と思ったことは積極的に取り組みたい。

自分の専門を決め、それに向けての基礎をしっかりと学びたい。それ以外のことも面白そうなことに幅広く挑戦したい。

将来に繋がる専門知識。最先端の研究に触れたい。

面白い話を聞きたい。新しい知識を身につけたい。面白い人に会いたい。

興味を持ち、頑張れる分野を見つけて頑張りたい。

幅広く学問において充実した環境、また、自由さを求め、化学の専門知識を深めていきたい。

将来、研究したい学問（物理学か数学）に直結する基礎的知識と、それに関する知識の修得が出来る環境を求め、自らそれらの知識を応用する力をつけて、未解決問題を解決できるようになりたい。

学問の探究。生き方を決めること。

生物にかかわることをしたいと思っているが、まだはっきりとは決めていない。選択出来るほどの知識が無いから、これから決めたい。

今までは知らなかったが、興味のある内容の学問を専門的に学びたい。

まだはっきりとは決まっていないので、幅広く色々なことを学んで自分の知識を深めていきたい。

様々なことを学び、視野を広げ、その中からやりたいことを探し、専門、将来進む道を考え求めている。

自分の進む方向性の決定。（研究分野・職業）様々な交流を通しての協調性、及び、社会生活において必要となる諸知識の獲得。

人との出会いを求め、より、バカになるために学業、サークル、バイト等、様々なことに取り組みたい。

友人を求め、友人をたくさん作ることに取り組みたい。

専門的なことを中心に、一般教養や語学をしっかりと学び、それらを自分のものとし、一人前の研究者となりたい。学んでいく中で、一生の友人を見つけたい。海外での学習にも積極的に取り組んでいきたいので、短期留学をし、ゆくゆくは長期的な留学も出来ればしてみたい。

専門的な知識と技術の習得。

志望は物理、特に原子力関係なので、原子力、例えば、発電などに利用するに当たっての安全面、危険性など、その方面に対する知識を得ていきたい。

物理、数学から生物まで、自然科学の最先端に触れ、将来、自分から最先端の研究に関われるようになりたい。

研究者自身から地震学を学びたい。クラブや学内で友人を作り、人間関係を広げる。

自由な教育の場を提供して欲しい。楽しい授業をして欲しい。物理や科学に学びたい。

いろんな人と出会い、充実した学生生活を求め、自分が夢中になれることを見つけ、それに学びたい。

最終的に生体・生態系メカニズムを研究する。（複雑系として生体をとらえる。）学部でそのための素養をつける。体力をつけ、教官、友人と仲よくなる。

幅広い知識の提供と適度な余暇を求め、初年度と二年目は広い知識を身につけることに取り組み、それ以後は主に専門分野に学びたい。

未知な分野に取り組む姿勢をつけたい。海外などと交流を通じて広い視野を持ちたい。

同・上回生と親しくなり、人生における相談役とともに、ある種ライバルとして共に勉学に励みたい。

まだ自分に合った分野が分からないので、専門となるべき分野を見つけ、それに打ち込む。

今、自分が興味を持っていることを詳しく理解できるようにしたい。

物理全般。将来、物理をするにあたって、必要、または役立つであろう勉強。

専門科目だけでなく、教養科目にも意欲的に取り組み、道徳的、かつ、グローバルな視野を持てるようになりたい。サークル活動やアルバイト等を通して、社会常識を身につけ、良識ある人間になりたい。

まず自分が現時点で興味を持っていることが、本当に続けていけるものかどうかを見極めたい。その他にも自分の興味の引くものを探していきたい。「徳」のあるオーラを出していきたい。

自分の存在意識に依る目標の達成に向け、様々な角度からアプローチしていきたい。かつ、様々な価値を吸収し、論理的思考力を備えた“強い”状態を目指す。

厳密性。生産的な手法、目標。

まだ何をしたいかは決まっていないが、何かずっと続けたいと思えるようなものを見つけたい。

高校では設備的、または技術的に無理だった実験をやってみたい。(特に物理。)

まず、基礎的なことを自分の頭でしっかり考えて理解したい。次に何事も可能な範囲で、納得するまで探求する姿勢を身につけたい。

知。自己を確立させる為の知であり、人類の今までの発展を結集させたものとしての知。知を自分のものとするべく勉強したい。

自由な校風通りに自由な時間を持ち、様々な研究やサークル、部活動に取り組みたい。

今のところやりたいことは、宇宙物理。物理学の根本をくずしたい。数学では集合論、まず、連続体仮設、不完全性定理を数式で理解し、自分で新しい考え方を見つけ出したい。まわりの数学、物理好きの学生、教授と意見をぶつけ合い、自分の見つけたことの感動を伝え、また、自分では思いつけなかったことがじゃんじゃん学べたらうれしいと思う。理数系の天才がいるなら会ってみたい。

様々な分野についての教養と専門分野に関する深い知識・技術を身につけたい。様々な人との出会いを通して人間的に成長したい。

まだ将来の進路を決めてないので、幅広く学びたい。

この世界にある全ての現象を理解し、説明するために必要な知識や考え方を身につけたい。

真理の追究。真の友情を求めたい。

自分の中で決まっていないが、まず関東の端から関西の都心に来たということで、慣れて、友人を作る。勉強に関しては、今は化学に少し、生物に興味があるので、化学を一生懸命に取り組もうと思う。

応用の利く教養と楽しさを求め、勉強やスポーツに取り組みたい。

ただ勉強したいことを勉強したい。

知識を求め、生物系の学習。

自分が知りたいと思ったことを調べたり、聞いたり、考えたりすることが出来る環境が欲しいし、そういうことを出来る自分になれるよう努力したい。

自分が没頭できる分野を探して、そう出来るだけの力をつける。

幅広い知識を身につける。

生物系の研究がやりたくて、京都大学を志望。研究テーマはある程度、方向を定めているが、大学の専門教育を受ける中で、色々変わると思う。自分が将来、志望する研究の役に立つような素養を出来る限り、自分の中にため込んでおきたい。研究者志望。

様々な分野の知識を身につけたい。学問だけでなく、他の生活面においても、大きく成長できるように、大学生活を送りたい。(決して偏った人間になりたくはないので。)京都大学には、様々な方面の「学ぶ場」があることを期待する。

高い教養。素晴らしい人間関係。社会を生きていくための知恵、力。色々な人との交流。生きていることが楽しいと思える生活。

スポーツと勉強の両立。

今現在、最新とされている科学技術や論文を求める。また、現在に至るまでの技術や知恵を身につけたい。取り組みたいことは、研究開発(超電導や磁力などについて。原子の世界についても。)文武両道をモットーにバランスよく生活していきたい。

高度な学問的知識と技術を吸収し、それを将来に役立てることが出来るような学習をしたい。また、それを通して、自分の人間性や科学者としての適性などを見いだせたらよいと思う。

幼いころから学びたいと思ってきた地球惑星科学、古生物学を学びたい。そのために、物理、生物を満遍なく学習したい。

化学を中心として、生物、物理、地学等、理系科目を実験や実習を通して学びたい。

勉強に関しては物理、特に相対論、量子論あたりに興味があり、かなり深い理解をしたい。また、物理以外でも数学や地学等の他教科もフロンティアレクチャーで興味深く聞けたので、大学の掲げる「緩やかな専門化」に応えられるようにしたい。

講義を受けながら、自分がどの分野に向いていて、かつ、進もうとするかを決めたい。

Q.2.本日の全学共通教育のガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか。

A.以下のとおり(:男子、 :女子)

化学、生化学、生物物理学を中心とした、幅広い理系学問と文化言語系などの一般教養。

哲学、思想について学びたい。

一般常識。

応用、発展に繋がる基礎。

今のところ、自分の興味のある講義（心理系、精神病理学系）を取りたいと思うが、出来るかぎり、哲学、思想系の授業も学んでみたい。

様々なこと、特に苦手とする語学を身につけ、幅広い視野を持つ人間になりたい。

理系の分野の研究と比べて、本質的にどう違うのか考える。

人類社会の発展過程を人文科学等の視点から題材とする講義。

理系科目だけに偏らないように、文系科目を含めて、色々な知識を得るようにする。

西洋史、心理学、文化関係の科目。

様々な考え方を学びたい。

自分の持たない視点。

充分なコミュニケーションを取れる程度に、英語、ドイツ語を学ぶ。人間社会における科学（生物学）の役割、責任を大体的に理解するように社会学を学ぶ。

自分の志す学問を取りまく環境。その他、人生を豊かにする事柄。

今から考える。

理系一辺倒にならず、幅広い教養を身につけ、感性を磨く。

出来るだけ、理学から離れた分野、例えば、人文科学などについて学んでいきたい。

教養を深めることが出来るものを色々と学びたい。

なるべく多くの色々な授業を受け、興味のあるものを見つけようと思う。

理系では、物理、数学。文系では思想など。

物事を自分で判断するための知識。

文明史や科学について学びたい。

物理と数学。

専門以外の視野を広げるために活用したい。

歴史。専門外のこと（文系）一般。

化学の専門知識や実験と、英語でも専門的なことが書いたり出来るようになるための科目を学びたい。

まだ何とも言えない。

文系、理系に関わらず、何をやっているのか大まかに説明できる知識等。

自分を高められるようなことを学びたい。

自然科学だけでなく、人文・社会科学の科目も積極的に参加して、スポーツにもしっかりと取り組みたい。

広範囲の基礎をつける。

基礎的な知識を専門の分野に限らず、広く学びたいと思う。

哲学、建築。

第二外国語の重要性がわかったので、しっかり学ぼうと思う。

将来、自然科学の研究をする上で、基礎となる数学、物理等の自然科学や、世の中についてさらに知るために哲学、社会科学等を学びたい。あまり限定せず、広範囲について学びたい。

今まで気になりつつも中々学べなかったことを学びたい。芸術など。

今から考える。

物理関係の知識の社会への関わり方。

専門分野に関連があってもなくても、自分が興味を持ったことを学びたい。

倫理学。論理学。

心理学に関わること。

理系の知識に加え、哲学関係の知識も学びたい。

一つの方面にこだわらず、広範囲のことを学びたい。

自然科学を全般的に学ぶ。地理学や歴史学。スポーツ実習。

人間の多様性を知りたい。

物理だけでなく、それに必要な数学や文系の授業も受けてみたい。

考え中。

今まで学んだことがない科目が多いので、それらの内容をよく知って、興味がある科目を見つけたい。

興味のあることを積極的に学んで、自分の視野を広げたい。

理系のみならず、文系科目についても自分の関心を深めていき、専門だけで満足することのない広い視野を身

につけられるよう、学習を進めていきたい。
広く、文系科目も積極的に学びたい。
自分が興味を持ち、知的な刺激を得られるもの。
いわゆる文系科目を中心として学びたい。今、特に興味があるのは哲学。
主に語学。また、現代の時代の流れを感じてみたい。
今まであまり勉強したことのないことをやりたい。心理学など。
自分の専門としたい分野以外の興味のある学問（論理学、哲学等）を学びたい。
世の中の物事を見て、そこから問題がいつのまにか提起されているように、自分なりに考えて学ぶ。
世界中で起きていることが、正しく理解でき、正確な情報を見分ける知識。
あらゆる言語。
幅広い興味にしたがった多くの学問。
今までの自分の傾向として想像もつかないような内容。
単位がややこしいと感じた。自分の専門とする分野の授業を出来るだけ多く取って学びたい。
理系にとらわれず、自分の視野を広げられるようなものに取り組みたい。
幅広い知識。
理系分野のみならず、文系分野も基礎から専門的なことまで学びたい。特に哲学。
基礎から専門までの幅広い分野の知識を得、視野を広げる。
社会のことを色々学びたい。
ガイダンスを受けても、特に何を学びたいとも思わなかった。システムの話だけで、どのような教養教育があるかという話もなく、教養科目として何があるか分からなかった。
佐伯教授の講義を聞きたい。
教養以前に生活力をつけたい。
哲学と地球物理学。
主に化学、生物の分野を学びたいが、物理も学んでおきたい。
社会科学系と芸術論。
社会生活を送るうえで、身につけておきたい、様々な分野に及ぶ事柄を学びたい。
しきりに語っておられたように、専門化が自分の専門の内容を教えてくれるので、その姿を通して、専門に対する（後半判読不可）
世界でやっていけるだけの語学力。専門科目の前段階になるような幅広い分野の基礎。
日常生活で役に立ちそうなこと。
世界の文化について学びたい。
世間に出回っている啓蒙書等でも中々触れる機会の得られないような種類の事柄を学びたい。
世界の人々の文化や考え方、哲学思想等を学びたい。
現在の、あるいは歴史的背景のある、世界各地域の状況、物の考え方等を学びたい。
自分が目指す領域外からも物事を考えられる視点。
二つの外国語を習得して、自由に会話が出来ようになりたい。
人間的に成長できること。哲学に興味があるのでやりたい。
外国語。（英語を重点的に）数学と物理の基礎。経済学系か倫理学系。
専門教育。
何を学ぶにしても立派な人間になって、立派に生きていけるようやっていきたい。
理系科目はもちろんのこと、社会、経済、哲学などの文系科目にも取り組んで、幅広い知識をつけていきたい。
王道と異端を半々。
将来の専門研究の一助となるようなこと。または、自己の思考形式を拡張させてくれるような全く異種の分野。
文系のもものも取ろうと思う。（歴史等）
おもしろそうなことを学ぶ。
興味の持てるようなことや役立つこと。
文化・社会人類学系の学問。
専門を将来する上で、裾野を整えておくと同時に、学問分野を概観して学問をする頭を鍛えたい。
知的探求心。
理系科目以外でも、歴史や政治についても学んでみたい。
興味のある芸術関連の知識の習得。言語の習得。

幾分かは将来に役に立ちそうなこと。

哲学や社会などについても勉強したい。

哲学。

英語。とりあえず出来ることは何でもやってみたい。

心理学。哲学。

情報処理、コンピュータ系の教養。外国語の教養。

人種や国を越えて、理解しあえる、芸術や美について学んでいきたい。

どんな分野であっても自分の中の知識を広げてくれるようなもの。

語学。その他多くのこと。

理系と文系の各分野における基礎知識を広く知っておきたい。

理系的な内容を中心として、興味を持った文系的な内容も学んでいこうと思う。

数学。

外国語はいずれ必須になるだろうから、始めのうちは外国語を頑張りたい。

外国語を使いこなす能力。

社会、文学を通して、人が持つ人生観、美学を学びたい。理系科目を通して、学問の知の楽しさを学びたい。

専門以外も勉強したい。

これから学年が進んでいくにつれ、理系の専門分野の学習・研究にうつっていくので、1,2回生のうちは、文理にとらわれず、受講できたらよい。

国際化社会においていかなれないように言語などの他文化を知りたい。環境問題。

特にどんなことを学びたい、という指針は持てない。

外国語を頑張り勉強し、初修外国語も完全修得したい。

アラビア語、サンスクリット語など。

最終的には理学系に進みたいが、他社とは違った考え（後半判読不可）

正直なところ、今の時点では、教養教育のシステムについて、まだ明確なイメージが持てていないが、今度、どの方面の研究を専門にするにしても、その下地となるような、基本的な教養を身につけたい。

勉学だけでなく、まっとうな人間になるため、幅広い知識を身につけたい。

法学関係。

将来の役に立つこと。

現象を知るための物理学とその手段である数学。

留学生との英語教育（KUINEP）に少し興味を持ったので、考えてみたい。

何とも思わなかった。

専門知識だけでなく、文科科目も積極的に勉強したい。特に、哲学、思想に興味がある。

25 コマ全ては入れないで、余裕で一つ一つに全力を注げるようにする。生命倫理も学んで、視野を広げ、研究に没頭するのではなく、色々なことを考えられる人になるように学びたい。

理系の枠にとらわれない歴史などのダイナミズムを新しい視点にたって学びたい。

自分を知る手がかり。

異文化交流。

自国に対する理解を深めることによって、国際社会に対する様々な視点からの理解を深められるようなことを学びたい。

心理学や社会学や哲学などのA群に属する学問。数学に関する広い知識。

自然科学に関係する全ての学問。

専門だけでは学べない、広い知識や多様な考え方を身につけたい。

様々な知識、考え方等をじぶんのものにしたい。

広い分野にわたっていること。

広い視野を持つ。強く大きな人間になれるようなことを学びたい。

豊かな知識をもたらしてくれるような学習をしたい。

一般的知識とはかけ離れたマニアックな知識や禁断の知識を学ぶ。

ポケットゼミを取ってみようかと思う。

実験、化学系。

視野を広げるため、物理系の科目はもちろんだが、人文系の科目も学びたい。

語学を学んで文学や報道を原文で理解したい。

朝鮮語。

よく分からない。

様々な分野でどのようなことが行なわれているのかを学びたいと思う。学問とはどのようなものか学びたい。特にない。

ただ知識を得るのではなく、深い考えが得られるようなことを学びたい。

人としての幅を広げるもの、具体的には哲学や文学を意識的に取りたい。理系科目はだいたい何でも興味があるので、時間的に無理が起こらないように、おさえて取りたい。こちらも主に自分が目指しているのとは異なるもので、将来的に研究するようになったら中々他のことにかまっていられなくなると思うから。

生命科学の基礎的な教養。心理学なども学んでみたい。

外国語の学習。(特に第二外国語) 経済学といった社会科学。

専門科目の前提になる基礎的なこと。専門とは別に知っておくべきこと、知っておきたいこと、様々。

ドイツ語。倫理。

自分の興味があり、人間性を向上できるもの。

学べることをすべてを学びたい。

歴史。政治。経済。

自らを高めること。

新しいこと。

法学。情報処理。

人間を成長させることが出来るようなこと。

自身で考えていけるような、基礎力の要請。

文系、理系にとらわれない、大きな視野を持てるような教育。

自分の目指すものに必要なもの以外にはあまり魅力を感じない。

外国語。

数学の高校教員免許を取りたいので、教員関係のものは取りたい。あとは日本史関係。

KUINEP など。

専攻したいと思う物理学分野に関する内容のみならず、思想や社会科学も時間、能力の許す限り、興味のある範囲で学んでいきたい。

英語を話せるようになる。

教員免許取得に最低限必要なこと。自分の視野を広げるような目新しいこと。

自分がずっと取り組んでいきたいと思っているものだけでなく、色々な分野を知り、興味が持てるものがあれば、より深く学んでいきたい。

数学、理科の基礎。日本史。

基本的には自分が将来学んでいきたい学問に少しでも関係のあるものを学んでいきたいが、それ以外にも興味深そうなものは積極的に学んでいきたい。

世界史について、高校の時よりももっと深く学びたい。

自然科学の発展に見合うような人間性。

幅広く、自分の研究したい分野以外のことにも関心、興味を持ち、特に、自分の研究したい分野に関連があることを学びたい。

学部に限ったものだけでなく、幅広く学びたい。

理系の科目はもちろん、哲学や文学など、人間として、深く考えて生きるのに手助けしてくれるようなものへの教養も深めていきたい。

将来の専門とは異なるものを学んでみたい。

確固とした自己の信念、意志を持った国際人となるために、外国語はもちろん、日本人としての自分のルーツに迫るようなものを学びたい。

偏った考えにならぬよう、教養科目から、幅広く学び、視野を広げたい。

幅広い分野の知識を得、広い視野を持ちたい。

生きる喜び。

幅広く、科学全般だけでなく、文化なども学びたい。

(図で記入してあった為、判読不可)

理系学部にいるので、理系科目以外の人文社会系の科目や歴史が好きなので、色々な国の歴史や文化を学びたい。入試で生物を取らなかったため、生物学系の本を多く読んだりしたい。第二外国語だけでなく、第三外国

語にも取り組んで、三カ国語以上、マスターしたい。
心理学など人間行動学系。
理系科目に凝り固まらないで、文系科目も広く履修していきたい。
理系などには関係なく、人と接していけることを学びたい。特にポケットゼミに気合いを入れて取り組みたい。
生物を始めとする科学系の学問はもちろん、将来は留学もしたいと考えているので、英語を特に頑張りたい。
直接的に役立つなくても、学んだことで自分のこれからの人生に影でよい影響を与えてくれる学問を学びたい。
数学。
自分には様々な選択肢のある教科があり、この中で基礎的なことを学びたい。
自分が今まで目を向けなかったことにも目を向け、知識を確実に自分のものにしたい。
様々な分野の専門的な知識を身につけて、進路選択の幅を広げたい。
生物など。
幅広い視野を持つために哲学や外国文化を学びたい。
大学院まで行って、専門的な勉強をしたい。
教養を身につけるためには、理系科目だけでなく、文系科目も学ぶ必要があると思うので、文学や社会学などについても積極的に取り組みたい。
自分よがりの価値観を見直し、新たな価値観を見いだせるようなことを学びたい。
社会に貢献できる知識。
言語と哲学。
数学、生物、外国語。霊長類研究者の人の話もポケットゼミできいてみたい。
専門的知識ではないものも、様々なことを広く学びたい。
実際に役立つ、役立つという基準にとらわれず、純粋に面白い教養教育。
自分が興味を持ったことを何の役に立つかわからないことでも興味の続く限り、学びたい。
よくわからない。
文系の分野、特に言語学。ポケットゼミのシステムは良いと思った。
文化、言語を学びたい。
まだ未知の分野で良くわからない。新しく学ぶ第二外国語については、興味をもって取り組んでいきたい。
自然科学系を中心に学びたい。
哲学。コンピュータ。
これから関わるであろう専門に関しては、もちろんだが、それだけではなく、将来生きていくうえで、どんなに小さくてでも何かの助けになりうる事柄。(それが今、どういうことなのかはわからないし、分かるうとも思えない。)
興味ある A 群科目。
少人数セミナーで専門の話を生で聞きたい。
理系科目だけでなく、文系科目に色々触れてみたい。
所属する学部の専門以外。(哲学、心理学、社会制度等)
科学全般に加え、人文、社会系からも幅広く。
実用性のある外国語。
理系、特に宇宙物理を志望しているので、それに関連する科目をいくつかと、文系科目(哲学、歴史など)、または、宇宙物理以外の理系科目(生物、地学、化学)の中から、自分が興味がある科目であるものをいくつか学びたい。
法学。
理系にも関わらず、歴史、特に日本史が好きなので、歴史関係の知識を得ていきたい。
専門分野のために、自然科学の基礎を学びたい。
倫理と地理。
外国語、哲学など文系科目。
ポケットゼミや面白そうなものを学びたい。他には、今後役に立つものを学びたい。
東洋的思想。哲学(西洋) 生物(分子生物学)
哲学、思想系をみっちり学びたい。行動科学系もやんわりと学びたい。
KUINEP やセミナーを積極的に参加。(途中判読不可) コミュニケーションを取りたい。
自分の適、不適を見極め、今後の人生に有益であったり、人が普通やらないようなことを学びたい。
理系人間なので、前知識が少なくても理解できる人文科目。

人間とはどういうものか、人間と関わるにはどうしたらよいのかということ。
一個人として、研究の礎となることを学だけでなく、自身として、他人に誇れるような内容を伝えるために必要であろうと思われること。
研究職を志望する理系人間に必要なもの。文系人間的価値観を学びたい。
自分の考えを深める。深く考えられるようになることを学びたい。
A 群科目を数多く取り、幅広い知識を身につけたい。
具体的に決まっていないが、幅広く学びたい。
数学と物理をとことん突き詰めていきたい。
専門にしたい科目に関わらず、興味のあるもの。または、専門にしたい科目と関連があるものについて、幅広く知識を得る。
人間の作り上げた文化に対する、様々なアプローチをするために必要な知識を学びたい。
色々な国や地域の歴史や文化。その他、一般的知識や多くの人の考え方。
嫌いな経済も、最先端の経済学として学べば面白そうなので、勉強してみたい。昔から哲学を学びたかったので、学びたい。
政治学や経済学、また、心理学や哲学など興味の赴くままに、多種多様な事柄を学びたい。
自らを高めるようなこと。
物事を様々な面から捉えられるような、幅広い知識。論理的な思考、および、説明の方法。
日本の文化。コンピュータ。
理学系に入ったが、専門科目とは別の一般教養として、経済学、または、法律学を学びたい。
実用性のある英語。応用のために必要な全ての基礎学問。
学問と向き合うことを通して、高い自律性、優れた価値基準、豊かな人間性。グローバル社会における指導的活躍の基盤となる異文化理解と外国語運用力。学術研究の専門家として、また、社会における指導的活動の強固な基盤となる幅広い基礎知識、技術、技能。
科学系の興味が持てそうな科目。
どんなものがあるのか、今ひとつ分かってないが、世界情勢などを理解する手助けとなるようなことを学んでみたい。
直接的ではなくても、自分がやりたいことに結びついていけるようなもの。
いろいろ。
専門に深く親しみながらも、狭い範囲だけで終わらないための、また、専門をより深く理解し、新しい知識や視点を発見するための材料となるような事柄を学びたい。
理系に偏らないように、文系科目も学びたい。
将来、自分の専門分野に生かすために、出来るだけ多くのことを幅広く学び、専門分野に関係しそうなこともそうでなさそうなことについても、たくさんの知識を増やしたい。
研究する際に、基礎となる知識と面白そうなことを学びたい。
外国語を実生活で使えるようになる質の内容を学びたい。量子力学や相対論等。
大学生の時に学習した内容が、将来、専門の学問に繋がっていくようなものを学びたい。
日本人としてのアイデンティティ確立を目指し、日本の歴史や文学を学びたい。
自分の興味のあるものだけ。
理系ではあるが、人文系、哲学、倫理等をやってみたい。また、中学高校と語学(日本語含む)は苦手なので、克服したい。
特になし。

7. 医学部 (アンケート提出率 96%)

Q.1. あなたは京都大学で何を求め、どんなことに取り組みたいですか。

A. 以下のとおり (: 男子、 : 女子)

自分の周りの世界を広げたい。

単に医師としての知識を身に付けるだけではなく、人文・社会科学や語学など、一見関係のない分野も学習し、多面的な知識人になることを目指す。

高校よりもずっと高度な科学的知識・経験を求めて、専門分野の実習や実験に積極的に取り組む。

幅広い教養を身につけること。

幅広くいろいろなことをやっていきたい。国内にとどまらず、世界を視野に入れた学習。

特定の分野に偏らない幅広い学習。

高い人間的教養を得る。

より詳しい知識と、研究のノウハウを求め、有益な研究に取り組みたい。

友好関係を広め、将来の仕事に必要な知識などを身につけることができるようなことに取り組みたい。

高校では得られない深い知識、特に1、2年の間は文系科目を中心に多くのことを吸収したいと思っています。

また、サークル活動等を通してよい友人関係を築いていきたいです。

自分が将来どうあるべきかを考え、見つけたい。総合的に自分というものを高めたい。豊かな人間関係を築きたい。

教養豊かな人間になるための基礎知識の習得と、社会に貢献する為に必要な専門知識の習得。

専門的な知識を身につける。教養の幅を広げる。

学術的教養を身に付けること、幅広い人間関係を作ること、社会経験をつむこと、を求め、勉強、サークル、その他に取り組みたい。

幅広い分野の知識を得る。外国人とまともな会話ができるような技量をもつ。

下宿生として自律的な生活をし、運動系の部活 or サークルで活動することで、自身の精神・肉体両面を徹底的に鍛え上げ、社会に出て一人で戦っていけるだけの力を身につけたいと思っています。

他と比べ、あらゆる面において自由度が高いと思われる京都大学において、自分が学び経験することを主体的に選択していく機会を多く求めたい。

まず幅広い分野を勉強し、人間性を広げ、自分の行動に自信と責任を持てる人間になりたい。その後、自分の興味のある分野を誰にも負けないうくらい究めたい。

京都大学でしか得られないような人間関係を築き、また幅広い教養、専門的な知識を身につけ、学識だけでなく、人格的にも優れた人物になりたい。そのためにも、様々なゼミや活動に積極的に参加し、自分の興味のあることに対しては意欲的に取り組みたい。

自由な学風を生かし、医学のみならず幅広い分野にわたって勉学に励み教養をふやしたい。

他の大学では経験できないようなこの大学ならではの研究をしてみたい。

学問を求め、将来のためになる勉強をしたい。

深い教養と思考力。

学部ごとに専門分野を学ぶだけでなく、社会のしくみなど全般に興味を持って学びたいです。

医学部で学ぶことに興味がある。人体の仕組みを深く学びたい。

外国語、専門分野の良き授業を求める。

知的好奇心が満たされることを求め、興味のあることを学びたい。

専門分野に限らない幅広い教養を身に付けるためにがんばりたい。生物をガンガンやりたい。外国語修得は大変そうだが、がんばりたい。

自分の興味のあることにとことん取り組みたい。

まだよくわからないので今から探そうと思う。

枠にとらわれない、個性豊かな発想力と、創造力に豊かな柔軟な頭をもつことを目指す。

専門知識を得ること。

暇な時間ができるだけないような授業を望む。

自分を深めたい、勉強及び運動に力を入れる。勉強は特に一般教養を頑張る。

自律した学習。

外国語の勉強をしっかりとやっていきたいと思う。様々な活動に参加したい。

基礎から最先端まで、またいろいろな分野での学習を学んでその後の自分のあり方を決めていきたい。特に語学力を上げて国際的な活動力を持ちたい。

自分が興味をもっていることに関する知識を深めていきたい。生涯携わっていく分野を決めていくためにも、自分の視野を広げていきたいと思う。

楽しく意義のある生活。

「自由の学風」を継承する。

自身の知的探求心、好奇心をより持てるように、医学とは関係のない分野の授業を受け、理解を深めたい。

自分の決めた専門分野について詳しく学びたい。それと同時に幅広く友人関係を築きたい。

上回生や研究を始めても挫折しないように、基礎を固めたい。

医学のみならず、自分が欠けているように思われる社会一般的な事柄。

医学に関する専門知識を学ぶだけでなく、人とのコミュニケーションがうまくとれ、将来患者さんの気持ちが察せるように努力したい。

良き好敵手、理解者を求め、未知の領域に取り組みたいです。

たっぷりある自由な時間を活かし、自分のやりたい事や、やりたかった事をしたい。

一個人として社会に出て、興味ある職業を生涯貫き続けるための基盤となる教養。

医学部に入学することになりました。医学に関する事を早く研究してみたいけど、まずは文理系に限らず、また、たとえ直接医学に関係のないことでもいいから、教養として身につけたい。医学に関しては特に脳、DNAについて興味があります。

自ら知識、教養を求め、その手段を自力で見つけ出せる人間になることが課題。学問の習得は、その結果となるように頑張りたい。

幅広い知識を身につけて、それを基に自分の人生の方向を決定し、それに深く取り組んでいきたい。また、幅広い人間関係も築きたい。

学業の充実と人間性の向上。

自分の興味ある学問をきわめてみたい。化学のもっと深い世界を知りたい。

教養を身につけたい。

医学に関して全く知らないなので、まずは基礎から学びたい。高校の時クラブ活動をまともにやってないので何かサークルにでも入って活動をしたい。

医師になるために必要な知識・教養・技術を身につける。

色んな人達と知り合い、色んな人の価値観を身につけ、幅広い視野を持てるようになりたい。

留学生との交流に取り組みたい。

もっといろんな事を知り、考える事のできる立派な人間になりたい。

一流の研究者からの講義を受けることで、専門的知識を吸収したい。

広い視野をもつことや、自分なりの価値観や世界観をしっかりともてるようになりたい。そのためには、幅広い教養知識を身につけたり、精神的に自立できるようにしたいです。

総合的に、医学、医療について学びたい。

新しい目標を見つける。

自分自身でこれをやりたいって思える講義がいろいろ選べるようなので、自分が興味を持てる分野を思いっきり楽しく学びたい。そしてその道に本当に詳しい方々と知り合いたい。

豊かな知識、技術、人格を兼ね備えた医師としてふさわしい人間に成長すること。

将来の自分の専門に役立つ知識と教養を求める。

専門技術・知識の修得、基礎的教養を身につける（講義を中心に）、体力づくり クラブ or サークルで。

自信をもってこれからの社会に対応していける知力。バランスよい知力をもつため、文系の科目にも力を入れて取り組みたい。

求めること：学問の最先端に触れるような話が聞けること。良い友人をつくり共に向上すること。断片的でなく総合的な教養を身につけること。取り組みたいこと：英語の運用力を高め、実的なものに再構築すること。幅広く、新しい分野の勉強に積極的に取り組むこと。

一般教養を身に付けたうえで、医学についての専門知識を学んでいきたい。また、様々な人と交流を深めていきたい。

専門的な分野に関して本格的に取り組み、専門的なことを深く履修したい。特に経済、物理、生物の分野について。

質の高い教育、一緒に競い合える友人。専門分野に進む前段階として広範囲にわたる学問に取り組みたい。特に人文科学系の学問を学んでおきたい。また、高校時代に諦めなくてはならなかったクラブ活動に積極的に取り組みたい。

束縛を受けず、自分のやりたいことに熱中して取り組める自由な環境の中で専門的な知識を身に付けたい。

幅広い知識とバランスの取れた人格を持つ医師になる。国際交流を通して、どこに出ても恥ずかしくない人間性を持ちたい。

人との表面的でない関係を築きたい。医師になるために必要なもの、自己を得、形成する。

総合大学なので色々な学部の学生と交流を深めていきたい。また、勉強はもちろん、クラブ（サークル）、課外活動にも積極的な姿勢で取り組みたい。

今までの受験勉強とは異なり、様々な分野について学び、視野の広い人間になりたいと思います。また、「自由」という校風に甘えるのではなく、「自由」な校風であるからこそできることに積極的に取り組みたいです。

そして、患者の視点で物事を考えられるような医師になりたいです。
教養を身につけるとともに、医学的な専門知識を身につけ、医師になるのに必要な豊かな人格、倫理観を確立したい。また、サークル活動にも参加したい。
研究活動に参加し、在学中に自主的にテーマを決めて研究をしてみたい。その機会と環境に期待しています。そのためになんげ東京から出てきたので、機会を逃さないようしっかり取り組みたい。また、在学中に特に医（理、薬）学関係の研究の最前線にも触れてみたいと思っています。
医学部といえども教養として外国語や数学は必要であると思うので、しっかり基礎科目に取り組みたいと思う。小学生から続けてきた剣道を体育会のクラブ活動として続け、他学部の人々とも関係を深め、有意義な学生生活を送りたいと思う。
医師になるための専門知識を身につけると同時に、高い教養（特に語学）をしっかり身につけたい。
助け合える仲間とすばらしい（高度な）教育・研究。高度な専門性を持ちつつ、幅広い知識を持つようになりたい。また、患者の立場に立って考えられる臨床医になりたい。
将来役に立つような勉強をしたい。
教養を高めたい。専門になったときに、いろいろな側面からアプローチできる基礎をつくりたい。
日々進歩し続ける医学の最先端にも多くの関心を注ぎ、これを吸収し、また、様々な分野に対しても、広い視点でもって参加していきたい。
専門分野の知識だけでなく幅広い知識。専門の研究者と接したい。
精力善用、自他共栄。
文理にとらわれず、様々な分野を学び、それを生かして、立派な研究者になる第一歩を踏み出す。
他人のことを思いやることのできる医師としての心構えを身に付け、同じ道を歩む友人を見つけたい。そのために様々な分野の学問に取り組み、問題を考え、交流に参加したい。
与えられたものに取り組みだけでなく、自分自身でやりたいことを見つけて取り組む姿勢を身につけたい。
先ず、自分の上司（？）となる人を見つけたい。理学部への転部を前提に、何を将来にわたってしたいのか見つけたいなあ。化学や天文学を特にやりたい（いまのところ）。もちろん物理や数学・生物も好きだけど、自分でもやくにたてる場所をとにかくみつけない。
将来希望する研究職に就いた時に役立つように、専門知識に限らず、幅広い教養を身につけたい。また、知的好奇心を満たしてくれるような講義には積極的に取り組もうと思う。
京都大学は、今まで以上に刺激の多い環境だと思うので、新たな刺激を受けつつ自分の見聞を広げたいです。京大は自由っぽいので、自分の好きな分野について、とくに積極的に学びたいです。
自由に自分の知性を高めたい。ウイルス学系統をやっていきたい。
友情、愛情、ギャングスターズ。
求めているものは特にない。取り組みたいことは、勉学。

Q.2. 本日の全学共通教育のガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか？

A. 以下のとおり（　：男子、　：女子）

世界の様々な文化についてを、主に語学を通して学びたい。人間の心理・生態について学びたい。
理系ではあるが、文系に属する分野にも関心があるので、A群の科目を積極的にとりたいたい。
様々な一般的な教養を身につけ、人と哲学的な討論ができるようになりたい。
変化する社会に適応する能力。
理系科目に偏らないように幅広く学びたい。
文系教科。
人文系の知識を深めたい。
幅広い教養を身につけられる様に、様々な分野に関する科目を学びたい。
語学に関しては、英語以外の言語に積極的に取り組みたい。理系科目は幅広く取り組みたい。
外国語に力を入れて学びたい。また、専門に関連する科目も興味を持ったものについては、積極的に勉強したいと思っています。
哲学や倫理学など、自分について考える助けとなる科目。芸術関係。法律。
理系や文系といった分野にとらわれず、幅広く学んでいきたい。
医学以外の学問（人文、工学など）

理科系諸学問。音楽系学問。

語学力、憲法とか、医学に関係なさそうで関係あること、量子力学とか。

生まれて初めての自分の好きなことを学べる機会なので、かねてから興味のある、脳科学、精神科学、哲学等を学びたいと考えています。

専門教育を中心に受けるようになると、集中的に学ぶ機会が得られ難いと思われる自分の専門分野以外の学問（人文・社会系の学問）に特に力を注いで勉強し、それらの学問を学ぶべき意義を探りたいと思う。

今まで学んできた語学を実用できるものにしたい。文系分野を学ぶことで精神性を高めたい。理系分野を学ぶことで知識を増やし、それを実社会に役立てたい。

理科系、文科系をとともに学んでいきたい。理数系の知識や言語の修得のみにとどまることなく、倫理的・哲学的な分野の勉強もしたいと思っている。

人の心の痛みがわかり、他人を知ろうと努力し、哲学等の先人たちの知恵を学びたいです。

中・高で学んだことのない世界史、社会人として必要である法。数学好きなので数学もしたい。建築、哲学などなど。

将来のためになることを学びたい。

理系科目に止まらない幅広い分野の学問。

ポケットゼミで少人数授業を受けて、色々なことを学びたいです。

自分の興味のある分野を重点的に学びたいと思う。

今からじっくり考えたい。

興味が持てそうなこと。

哲学系、一応物理、法学系も興味あり。

先端の研究に少しはふれながら、学問の基礎をしっかりと修めたい。

ドイツ語を学んでみたい。

未知の世界にふみ込む。

医学の周辺のこと。

語学に力を入れたい。

自分を含めた人間について学びたい。

学問自体の面白さ。

ドイツ語をちゃんとやりたいと思う。

文系も含めた多様な分野で柔軟性を持った考え方を養いたい。

様々な分野のことを学ぶことで、自分の知識や教養の幅を広げ、また深め、人間として自分を成長させられることを学びたいと思う。

役立つものと、後々いい思い出と思えるもの。

社会で活躍するための基礎的知識と教養を広く習得すること。

これから生きていく上で、人間的に豊かになれるように思想や哲学も学びたい。

自分の専門分野以外の分野について重点的に学びたい。

自然科学では、先端研究を視野に入れつつ基礎的な内容を学びたい。加えて哲学などの人文系に力を入れたい。

医学だけでなく、他の幅広い種類の講義を受けてみたい。

哲学、思想系の科目や心理学系の科目を勉強してみたい。

生物を通して人間の本質に迫りたいと思います。

理系の科目だけでなく、文系の科目も履修したいと思う。

これまで学んできた分野についてのより詳しい事柄、これまで必要とされなかった事柄で、自分にとって興味深いもの。

直接医学に関係のないことでも、将来どこで役立つかわからないし、幅広く身につけたいと思う。

自分の学部以外の学部の先生方がなさっている学問の意義を幅広く理解したい。

専門分野だけでなく様々な方面について知識を得て考えられるようになりたいと思う。

一般教養より専門的知識を。

今まで学べなかったような学問の世界。

まだ決めてない。

一般常識を学んだ大人として成長したい。

生物の基礎知識、英語の修得

学問の自由とは何かを考え、教養豊かで、高い人間性を持ち合わせた人間になれるように、色々学びたい。

英語講義に参加し、知識としてだけの英語でなく、実践、活用できる英語を学んでいきたい。また、ポケットゼミを活用し、医学に関することだけでなく様々な分野の最先端を学びたい。

他の分野を解する心。

幅広い知識を得ることで、人間性を豊かにするような将来研究者となるために必要なこと。

幅広い知識を身につけ、人間としての幅を広げていきたいと思う。

英語の能力をさらに高めたい。

幅広く、今まで学んだことのないことを学びたい。

自主制、自由に自分の知的好奇心を満たせる場で、自分の勉学そのものに対する態度を学びたい。

幅広い知識を身につけ、社会人として自立する助けとなるようなこと。

文系でも理系でも自分の視野を広げてくれる学習機会をもちたい。

自分の興味に即した分野の科目を中心に幅広く取り組みたい。語学を重点的に取り組みたい。

哲学など。学ぶことで医の倫理を深められたらと思う。

外国語を「使いこなせる」ようにする。政治・経済について、マクロな視点を身につける。

理系、文系を問わずにさまざまなことを学びたい。

専門にとりくむ前の段階としての基礎的な知識を身につけ、その上で、経済学、物理学、生物学の先端を除いてみたいと思う。

人文科学では歴史と法学について、自然科学では生物学について学びたい。

自由に選択できる科目の中で、自分の興味のあるものについて幅広い内容を学びたい。

外国語の習得を中心に、専門外の科目として、社会学や文学にもチャレンジしたい。

それぞれの分野が私よりもはるかに先に入る所から語りかけてくることをできるかぎり理解したいと思う。

第二外国語を中心に勉強していきたい。そして今まで学習してきた英語を、今度はコミュニケーション手段として使用できるまでの力にしたい。また、幅広い知識を身につけるため、人文系の学問も真剣に取り組みたい。

理系以外の分野についても幅広く学び、それらについて考えていきたいと思います。又、様々な人々とコミュニケーションがとれるように英語力を身につけたいです。

理系として自分に欠けている社会科目の分野（世界史や経済等）に関連した知識を学びたい。また、個人的には哲学にも触れてみたいと考えている。さらに、外国語も身につけたい。

芸術、心理学。およそ医学と関係のないことを学ぶのに最後にして最大のチャンスになると思うので、よく考えて進んで取りたい。

僕は医学の他に環境・自然系統に興味を持っています。また、現代社会において、イラク戦争などの国際紛争も起こっており、その対策として、国際的な教養も高めていきたいと思う。

語学をがんばる。

哲学や思想。

幅広く学んで、視野を広げたい。

高校では学べなかった分野や、実習などをしたい。

自分の専門とする学問のみならず、興味あることなら、いかなる学問にでも幅広く触れ、面白味のある人間となるべく、勉学に励みたい。

文系の教養を身につけたい。

豊かな生を生きるための豊かな教養。

医学だけでなく、法律、歴史についても学びたいと思う。

生涯役立つ教養教育。

語学を学んで他文化を理解できる国際人になる。心理学を学んで人の心の仕組みを知り、高い人間性を身につける。

楽しそうなことを学びたい、実験とか。A群も積極的に受けたいね。

あらゆるジャンルの講義が用意されているので、自分が興味を持てるものに積極的に参加したいと思う。

教えてくださる教員の方々は、皆さん超一流のその道の専門家の方々ばかりなので、そういう人々に教えてもらえるという機会を生かして、京都大学に入ったからこそ学べるようなことを学びたいです。また、今までは受験勉強には関係ないから無視してきた自分の関心のある分野についても深く学べそうなので、それを学びたいです。

哲学の世界を味わってみたい。数学を楽しみたい。

語学、宗教、社会学。

特に、人文系のことを学び世界観を広げる。

8. 薬学部(アンケート提出率 95.2%)

Q.1. あなたは京都大学で何を求め、どんなことに取り組みたいですか。

A. 以下のとおり(:男子、 :女子)

興味のある学問の知識を増やす。また、今まで知らなかった学問分野を体験する。

学部の枠をこえて友人をつくり、高校ではできなかったような幅広い交遊関係を築きたい。将来研究者になるための知識や技術をしっかりと身につけ、充実した学生生活を送りたい。

独創力を高めることを求め、また何かサークルに入って頑張りたい。

人の役に立てるような研究ができる能力を身につける。新しい薬の開発・研究。

今まで出会ったことのないタイプの人間に出会ってみたいです。自分の興味の幅を広げたいです。昔から興味のあった分野についてさらに深めたいです。

知性を高め、広い視野を持ちたい。研究者となるための準備をしたい。

自分が取りくむであろう学問(主に化学、物理、生物)についての基礎知識、先端的知識を求め、それを理解、修得し、その学問について研究していきたい。

高校では学べなかった本質的な部分(特に数学)、学問の追究だけでなく、他活動(クラブ活動)にも積極的に励みたい。

学部とは関係なく、いろんな価値観・人生観を持った人と出会い、新たな視野をもつことを期待しています。

学業だけにとどまらず、学生のうちにしかできないであろう部活動(サークル)に参加したいと思っています。

大学を卒業した後に薬を扱う人間として必要な最小限の知識と、一人の社会人として必要な最小限の教養を求め、そのためにも色々な活動に取りくみたいと思う。

教養

自立した生活を送ることができるようになりたい。

漠然としすぎている将来の方向を見つけたい。今まで見つからなかった新たな興味関心をもてる学問を見つけたい。受動的な自分から能動的な自分に改革したい。

自然科学を深く追求し、薬学の研究に必要な専門的な知識や考えを身につけたい。

自分が全力を傾注できるものを求め、それに取りくんでいきたい。

独自の視点をもって物事を考える精神を養う。

薬を扱う者としてのモラル、技術を学びたい。

一生懸命になれるものを真剣にがんばる。

専門的な知識を習得し、将来どのようなことをしたいかを探す。多くの友人をつくり、色々な人々と関り合っ
て人間的に成長し、中身のある人になりたい。

現在の薬は副作用が強いものが多いので、DDS などについて学んで副作用が少なくよく効く薬の研究を
したいです。特に、抗ガン剤の研究がしたいです。

早く専門の学問を学びたいですが、専門外のことも学び幅広い教養を身につけたいです。様々な方の話を聞
いたり社会を見たりして自分の世界を広げたいです。

幅広い知的探求と少し運動をしたい。

私は京都大学でより深く、より幅広い分野の知識を求め、それを得るために座学を始めとし、様々な形で勉学
に取り組んでいきたいと思っています。

真の学問を求め、人々の生活の向上。

自分が将来専門にするものを求め、それに必要なことを身につけていきたい。それ以外の方面にもできるだけ
目を向けていけたらいいと思います。

自分のしたいことを求め、それに取りくみたいと思う。

様々な分野において、幅広く学び、また学問だけではなく部活やサークルなど色々なことを経験していきたい
です。

スポーツなどもでき、幅広く学問が学べる環境を求め、いろいろなことを学びつつも興味のある学問は深く掘
り下げてみたい。

高校で習えなかったような高度な知識の修得。様々な人との出会い。趣味の力をサークルなどを通して伸ばす
こと。

友達をたくさんつくり、その友達と様々な事で競い合い、互いに成長していけるような人間関係をつくりたい。
専門に関しては誰にも負けなぐらい勉強する。

薬というものに興味があるのですが、まだ漠然としかやっていません。この大学で薬に関する知識をふやした上で、その薬を様々な角度から考え研究していきたいと思っています。

薬学の専門知識、研究者としてやっていけるだけの力を得るように、薬学をやりたい。

主体性のある姿勢、自らの意志を確立する。その上に成り立つ人との協力、調和。

京都大学は、自由な学風が誇りだ、ということなので、その自由さを生かして楽しい学生生活を送りたい。また、以前から興味があったことに積極的に取り組みたいと思う。

様々な分野の学問に興味を持ち、自分から積極的に取り組み、視野を広げていきたい。

将来研究者として役立つことを学びたい。

一般教養を学び、道徳をしっかり身につけたい。

狭い範囲にかたよらず、広い角度からの視野で物事を見ることができるようになること。

薬学をはじめとする学問の、より高度な知識を得たい。講義や実験を通して、学問の面白さを見出したい。

専門科目一筋でなく、いろんな科目を受けてみたい。

教養ある人間的に成熟した人になる。

将来医療現場に活用できる基礎的な知識を身に付けて、その後に薬学の観点から見たアルツハイマー病等の研究をしてみたい。

学問を究めてプロフェッショナルになる。

薬学について出来るだけ広い範囲の知識を得て、薬についての研究に積極的に取り組み、社会に貢献したい。

具体的には、日本に生まれ育ち、学問のみに取り組める自分の今の環境を幸せに思い、世界に沢山存在する恵まれない子供達に、最終的には学問に触れるチャンスを与えたい。

5人のノーベル賞を受賞した方が出る大学の反骨精神を見につけたい。この精神を持って自分自身将来の勉学と研究を続けたい。

専門的な知識をつけたい。現時点では薬学に関する知識がまったくないし。

広い視野をもち、幅広い知識、概念を身につけること。自分の専門分野(薬)について十分な知識を身につけること。

中学・高校時代にはなかったような専門的知識を身につけるとともに、幅広く興味を持ち、様々な学問を学びたいです。また、部活動・サークル活動にも取り組みたいと思います。

教科としての勉学だけでなく、自由な時間を用いて様々な体験を通して、社会に出て通用する人間になるようにしたい。

色々な人との出会いを通して、自分の世界を広げ、また専門的な知識をたくさん吸収していきたい。

文系科目は幅広い教養を身に付け、理系科目は将来の自分を形成するための足がかりとなるようにしっかりと身に付けていきたいと思う。

健康第一に勉強したい。

様々な人に接し、様々な本を読むことで、特定の分野のみに偏りのあることのない、バランスのとれた人格形成を目指す。他の人に対する敬意の念をいつまでも大事にし、周囲の人の心を和ませるような人格形成を目指したい。古き良き「日本人」とは何かを、少しでも理解したい。(それが「日本人」としての自分の強化につながる。)

私は京都大学の自由な学風を憧れて、京大を選んだ。私の夢は遺伝子を利用するゲノム創薬を研究することだ。だから、学識豊富な人に向かってがんばりたいと思う。学内だけじゃなく、人間性と柔軟な態度をそなえるためにもがんばりたい。青谷助教授の話に感動された「京大生は小市民の幸福を求めずべき、天地間の真理を追究する人だ」

人生をかけるに値する何かを見つけない。それを見つけたならばそれに取り組みたい。

薬学についての専門的な知識を身につけるとともに、全学共通教育を通して教養を高め、人間的に成長したい。

また、自由な学風のもとで、安易な方向に流されることなく、自分をしっかりとって、勉学、その他の活動に組み込んでいきたい。

自分のしたいことが自由にできる環境を求める。自分が本当にやりたいことをさがし、それに取り組みたいと思う。

自分が専門にしたいと考えている薬学や、好きな生物学系のこと以外も講義をとって学んでみたい。今、私が描いている大学像は森鷗外が書いていたドイツの大学のような感じである。学ぶ際の都合上科目が分かっているだけで、実際はすべて関わり合っているのだから、1、2回生のうちは講義はもちろん、サークルや学校外の活動も通して視野を広げたい。

国際的に通用する教養を身につけるため、英語講義や言学の授業に意欲的に取り組んでいきたい。

自由な学風に魅かれて入学したが、それに甘んじることなく自主的に学んでいきたい。勉学以外にもいろいろな社会経験をしたいと思う。

高い知識の修得はもちろんのこと、学生生活を送る上で自主性を養いたい。自分にとって新しい世界を切り開くことを目指して様々な学問に意欲的に取り組みたい。

今まで知らなかったこと、分からなかったことに対して、深く追求し幅広い知識を得たい。

専門科目に限らず、様々な分野の学問に積極的に取り組みたい。サークルとかにも積極的に参加して、友達を増やしたい。今までやりたいと思ってはいてもできなかったことがたくさんあるので、何にでも挑戦していきたい。

科学的な見地から生命、及び生命現象に対する理解を深め、今後の生命科学（その中でも特にゲノムサイエンス）における新たな発見、発明を導く基盤となる知識と独創性を身につけたいと考えています。

薬学部を通じて、現在の医学と薬学の関連を学び、現在の医学に役立つ薬学を身につけたい。

自由な環境の中で、周りに流されることなく、特に優れた研究施設の中で、生命の重要性を念頭に置き、専門知識を深める。また、広い友好関係を保ち、楽しい大学生活を送りたい。

薬の専門の知識を得て、将来の職業につなげるようにしつつ、文学や思想などを広く学んで豊富な人生経験を得るための基盤を作りたい。

薬学に関しての専門知識を身につける。交際能力を高める。充実な大学生活を過ごすためにサークル活動にも積極的に参加する。将来は薬の創造、開発、応用に力をつくす。

エイズなどの治せる薬のない病気を、治せる薬を作りたい。

有機化学を勉強する。

文・理に関わらず、様々なことに挑戦していく。

専門知識を身につけたい。

優れた教育環境。その教育環境を利用して、知識を得たい。

まじめに勉強とクラブにとりくんで、研究者としての道をきりひらきたい。

自分の専門に関係ない分野も積極的に勉強し、様々な人や学問と関わり合いを持って、視野を広げられるようにしたい。

誰も知らないような専門知識を求める。文武両道に取り組む。

勉強。

大学に入り、高校までの半強制的な学問から、自由に学問できるという京大の特徴を活かして、授業だけでなく、その具体的なもの、例えば社会を通してや、読書などからも幅広い知識を得たいと思う。又、京大でしか手に入らない、京大の教官の専門分野を出来るだけ多く知り、将来、院での自分の研究分野に活かしたい。

専門的な知識、技術はもちろん、幅広い分野の色々なことを学んでみたいです。学問だけでなく様々な経験をしたいので、サークルなどの活動もして、新しいことに挑戦していきたいです。

Q.2. 本日の全学共通教育のガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか。

A. 以下のとおり（ :男子、 :女子）

今まで興味があった化学系の分野。

医療、人間の生命にかかわるようなこと。

精神病などについて

特に今まで自分が興味をもてなかったことについて、少しでも興味をもてる、あるいは知識を得るようにしたいと思っています。

論文を読むために、外国語を学びたい。ポケット・ゼミをとりたい。

薬に関する知識について学び、後に新薬研究の基礎にしたい。

選択肢が多すぎて現時点では一概に決められないが、やはり数学を中心に学びたい。有機化学なども、もっと本質的に学びたい。

今まで詳しく学ぶことがなかった哲学・思想について学びたい。

私は中学、高校のとき英語が嫌いだったので積極的に学ばなかったのが大変苦手だったから、大学の教養教育としての外国語（特に英語）に特に力を入れて学びたいと思う。

今後役に立ちそうな学問や科学史など。

分野にとらわれず、幅広い知識を身に付けたい。

理系だけでなく文系（特に日本史）のスキルアップをしたい。これまでの入試のためだけの英語から脱して実用向きの英語力をつけたい。第二外国語を習得することで視野を広めたい。

科学の幅広い分野の知識を身につけ、将来の研究の役に立てたい。

まだよく分からないが、日本史等、自分が興味を持っているものについて、より深く学びたい。

文科系の科目。常識を身につける。

歴史、思想史、社会学、経済学。

視野を広げ、いろんな刺激を与えてくれるようなものを学びたい。

今まで表面的にしか知らなかったことなどの理解を深め、知識の豊かな人になるような教育を受けたい。

政治について学びたいと思っています。

化学、生物学、生命科学、経済学など。

人間と地球の関係。

特に、薬学の分野では学べないような人文科学や社会科学系の事柄を熱心に学びたいと思っています。

真の学問への確固たる礎。

狭い視点ではなく、幅広い視点から物事を考えていけるような教養を身に付けたいと思います。特に語学をしっかりやりたいと思います。

自分のしたいことをきちんと深く学びたいと思う。又、語学は他の国との交流に必須であるから、十分話せるよう学びたいと思う。

理系なので自然科学の分野に関することはもちろん、文系科目である思想・歴史・芸術に関することもたくさん学びたいと思います。

自由とは何か、人間性とは何か。

1つ1つの知識を単体としてではなく、広範囲に応用・活用できる力を教養教育を通して身につけたい。

専門と語学さえすればよいと思っていたが、般教を学ぶことによってより視野の広い人間になれることを知った。A群の勉強も少しやる気が出てきた。

まだ何を学ぶことができるのかよくわかりませんが、興味あるものをみつけ深い知識を得たいです。

自分の専門をする時に、役に立つように語学をしっかり身につけたい。教養は幅広くできるだけたくさんを身につけたい。

高校の倫理で名前の見た哲学者の思想を知る。そこから発達してきた現代思想について学びたい。

全学共通科目で、自分の学部の専門的なこととは別のことも深く学びたい。理系科目だけでなく、文系科目もとりたいたいと思う。

特に外国語の勉強に励み、十分に使いこなしていきたい。

化学、健康科学、運動科学など薬学と人体に結びつくようなことを学びたい。

特にない。

社会人として社会に出たときに通用する教養。

行動科学形についての科目を受講したい。

浅くてもいいので広い分野にわたった教養を学びたい。

専門分野の理科からかけ離れた教養教育を学んで理科の範囲の中では学べない事を学べる教養教育を学びたい。

人間としての幅を広げる。

理系科目だけでなく、文系科目についても興味のあるものは積極的に学び、一人の人間として、教養を深めることに努力をしていきたい。

全学共通教育というものは、三回生か四回生の専門知識の勉強のための基礎教育と考えております。これから一回生と二回生の間に共通科目を精一杯勉強するべきだと思います。薬学と関連する様々な科目を履修したい。

文系科目を受けてみたい。特に心理学などの論理系。

生命倫理、道徳等。

学部の専門科目では学べないようなことを学び、自分の視野を広げていきたいです。特に、人文科学系の科目に力を入れたいです。

実際に社会で役立つであろう文系のことも学びたい。

外国語に特に力を入れて学びたいし、薬学に関する専門的なことも学びたい。

自分の人間性を高められるように総合的な学習を心がけたいと思ったので、いろいろな科目を学んでいきたい。

理系なので文系科目を学びたい。

この時点では具体像が見えてきていないので明言はしない。ただし、自分が人間である以上、人間について深

く理解することは必要であると考え。

教養教育だから、各方面の知識と接触したい。薬学部の学生で、二回生以上は専門科目として化学をいっぱい勉強するから、数学と物理、宇宙学など学びたい。

特に何かを学びたいとは思わなかった。

専門的知識だけでなく、多様な科目を学ぶことで、一般的な教養を高めたい。今までに学んだことのない科目を積極的にとっていききたい。

将来自分が専門に学ぶことのないであろう文系科目を中心に学びたい。

心理学。

できるだけ、今まで興味があったことだけに偏るのではなく、苦手意識をもっていた内容のものも履修届を出すまで経験してみたい。その学問を好んで懸命にやっている教授の講義を受ければ、今までとまったく異なる印象を受けるかもしれないし、もしかしたら思いもしない道がひらけるかもしれないから。

専門分野にとらわれない幅広い分野における知識。

理系だが文系科目(A群)を積極的にとりたい。古典系に興味があるので、昔の日本語の美しさを学びたいと思う。また、生命倫理も学んでみたい。

異文化理解のための外国語。

将来社会に出た時に通用する知識、教養を学びたい。

興味のある内容の授業がたくさんあったので、いろいろな分野の授業に出て、いろいろなことを学びたい。

将来どのような職種につこうとも、法律や経済等の知識は必要になってくると思われるので、そのような将来何らかの役に立つ学問を学びたいと思っています。

2ヶ国語くらい使えたらな...

自分の専門分野だけでなく、多岐にわたる分野について勉強し、考え方に偏りのない色々な視点から物事を見られる人となる努力をする。

ものの考え方。

素質の高い人間に有する行為と、正しい価値観と世界観を持つ豊かな人間性を獲得する。異文化を理解し、受け入れ、互いにコミュニケーションできるようになる。基礎知識と能力を修得する。

目標に近づけるよう、基礎になる事柄をきちんとできるようにしたい。

英語以外の外国語。

外国語を学ぶ。

広く文系科目を学びたい。

理系の科目のみならず、文系の科目も幅広く取りたい。

薬学に一番重要と思われる化学を中心に。

高校ではあまり文系科目をやらなかったの、社会などをたくさん勉強したいし、第2外国語も新鮮な気持ちをもって取り組みたいと思う。

人間として一回りも二回りも大きくなれる学問。

文系の授業。

教養として、自分の専門(理系)以外の科目をも、手を抜かず、幅広い視野をもって自分の専門へと向かえる基盤としたいと思う。

➤ 自分の興味のあることや新しいものを学びたいです。

9. 工学部

1) 地球工学科 (アンケート提出率 96.4%)

Q.1. あなたは京都大学で何を求め、どんなことに取り組みたいですか。

A. 以下のとおり (:男子、 :女子)

充実した生活を送って、自分が興味を持った事に取り組む。

広い教養と深く高度な専門教育を受け、多数いる留学生とも交流し、人間として成長することを目標としている。いずれは航空工学の分野に進み、将来は次世代の航空機について研究したい。

地球、惑星などの知識を求め、地球環境の改善に取り組みたい。

将来、仕事で役立つような事を身につける。

自分が今まで興味をそれほど持っていなかった分野でも、教授の話を聞いて、知識や興味を広げていきたい。

スポーツも勉強もやりたい。

かたよることなく、幅広い知識を身につけたい。

英語と第二外国語を普通に会話出来るまでに取り組みたい。社会に通用する教養を身につけたい。

せめてその名に恥じないような学生になれるように努力したい。

質の高い講義、実験（特にエネルギー関係）にしっかり取り組み、内容をものにしたい。

一般的な基本知識と高度な専門教育を学び、環境問題や都市設計を学びたい。

人間の生活だけではなく、地域、地球の環境等にも関わり、それを改善できる様な知識や技術を学びたい。日本だけでなく、他の国や地域でも通用するような知識や人間性。

幅広い範囲の知識に加え、深い専門知識の獲得を目指し、これからの地球社会に少しでも有益になることに取り組んでいきたい。

文武両道において至高を求め、その過程において努力するうちに自分の本質を見極め、人間としての幅を広めたい。多くの事を経験すると共に、様々な意見を持った人々と対話をしたい。

自分の研究したい事は何なのかを求め、いろいろなことに意欲をもって取り組みたい。

興味のある環境、資源系の分野についての専門的知識理解を深め、その分野において国際的、地球的に活躍出来る人材となることを目的として、様々な講義を積極的姿勢で受講したい。また、海外留学もしてみたい。高い教養を得たいと思うが、ガイダンスにもあったように教養は一方的に与えられるものではない。まず初めは、幅広い学習をし、そして自分がしたいこと（研究、仕事）を自分で見つけだし、自分の可能性を探っていきたい。

京都大学に限らず、大学は出会いと発見の宝庫であり、自分にその機会が与えられたことを誇りに思い、人生の糧となるような知識、素養を自発的に吸収したい。

環境問題の原因を研究、解決方法の探究をするために入学した。3回生でのコース選択も環境工学コースを選択しようと思っている。

京大ならではの講義、地球環境に役立つこと（新）物質、素材について学びたい。

自発的な学習を前提とする京都大学で学ぶ事を通して、主体的に取り組む姿勢や自律する心と共に専門能力を身につけたい。

自学自習の精神を身につけたい。良い人間関係を築きたい。

新しいことに挑戦して、様々なことを身につけたい。勉強、部活、バイトと三立させて充実した大学生生活を送りたい。自分が将来やっていきたいと思えるようなことを見つけない。

日本最高の学習環境を求め、環境工学に組み込みたい。バスケ部に入る 1部リーグを目指す。

これから先の人生のための基礎的な教養を身につけ、興味のある事柄には自分から積極的に取り組むような姿勢を身につけたい。

具体的に今の段階で一番やりたいことは、南海地震 etc に備えた防災研究に直接繋がる事を学び、いずれは防災研究所に入りたいとも考えているが、その分野に偏る事なく、人文系科目も興味がわいた物を積極的に学ぶようにしたい。

京大特有の自由な校風に翻弄されることなく、「自由」をうまく活用して、自分の本当に夢中になれることを早く見つけたい。

最低な高校時代を過ごしたので、それを忘れるためにも大学で楽しく過ごしたい。純粋に楽しみたい。

学業においてより深い知識を身につけることをはじめとし、部活動など大学生活において多くの友人を作り、一回り大きな人間になること。

専門的な勉強をしたい。友達をいっぱい作りたい。社会経験を増やしたい。

生涯に渡って続けられる自分に合った仕事を探したい。色々な経験をして、人間的に成長したい。

文系、理系関係なく、幅広い知識を身につけたい。ポケットゼミで研究に触れてみたい。

一生の生業を決めるために必要な知識を身につけていきたい。まだ自分の本気で取り組みたいことは見えていない。迷う事はたくさんある。とにかく先端の科学技術と科学倫理を学んで自分の道を決断できるような努力をしたい。他方、友人たちとの交流、特に運動系の部、サークルに入り、真の友人を再び模索して見つけてゆきたい。

高校の時とは違って、興味のもてることをとことん研究したい。あと、バイトにサークルに色々頑張りたい。とりあえず何をやるかを決める。

教養、論理性、専門知識を求め特に分野の枠にとらわれず、今、現在興味があることにもとらわれず、色々なことに組み込みたい。

レベルの高い学問や、専門的な知識はもちろんのこと、とにかく様々な学問を求めたい。勉強や部活動を中心

として、多くの人と交流していきたい。

多様な講義を受講し、自分の知識を広げ深め積極的に現在の地球環境における問題に取り組む。また、その他、様々な活動に関与し、“自由”を不自由だと感じない様にする。

自学実習。環境に関連する方面の事に取り組みたい。

将来、環境問題の勉強をするために必要な知識をできるだけ吸収したい。

自分の興味のあることにはどんどん取り組む。そして失敗しながら学んでいきたい。

求めるもの：自分の目標を達成するために必要で十分な学習環境。取り組みたい事：将来自分で研究を始めるまでにしておくべきこと。

自分の知らない世界を色々覗いてみたい。

環境について研究したいので、自分の目的にあった勉学に励みたい。

専門的な知識とともに幅広い教養を身につけ、人間性も高めたい。

将来、地球環境を改善できるような研究をしたいと思うので、そのアプローチの仕方（環境を汚染しない、又ははしにくいエネルギーや物質の開発など）を学ぶ。とともに、環境についての幅広く且つ深い知識を得たい。大学では与えられた知識を基盤にして、自分が地球環境に対して何をすればよいか（専門的な意味で）、つまりどんな研究をすればいいかを見つけ、その足場を作ることができるようになりたい。

学問、音楽、アルバイトなど様々な事に取り組み、充実した生活を送りたい。

自分は地球環境についてより深く、広い知識を得るため、高度な講義やポケットゼミ、そして自学自習を積極的に取り組んでいきたい。

自分の好む専門分野について深く学び、将来に役立つ知識を身につけたい。また英語はもちろん第二外国語についてもしっかりと学び、グローバルな問題に対応出来る力を身につけたい。

初めから何らかの環境問題の解決策を考えてみたいと思っていたので、それに役立つ知識、技術の修得を求めている。そのためには現状を把握して、理論的に考えるため糧となるものに取り組んでいきたい。

本来の自分を取り戻し、自分が本当にやりたい事を見定め、自らを極める。

自由な学風のもと専門知識を身につけ、実社会に貢献できるように努力したい。

授業で何をするかといった細かい事は、まだ決めていないが、語学を中心として自分の興味のある分野を学び、高いレベルにもっていけるようにしたい。英語は極めるぐらいまでになりたいと思う。

色々な勉強に取り組み、その結果として自分が将来一体何をしたいのかを見つけ出したい。

実力がものをいう世界の中で、自分を十分に表現し、自由に生きていくための生命力を養いたい。

幅広い教養を身につけたい。

大学では幅広く深い知識を得て、大学を卒業したい後の自分のためになるようにしたい。専門分野で活躍している人々から色々な事を学びたい。

大学で何を学んでいくのかは、実際の授業を受けていないため具体的にこれに取り組みたいというものはまだない。しかし、何をやるにしても責任を持って取り組んでいけば、具体的に取り組んでいくものも見つかると思う。

何か夢中に（真剣に）なれるものを見つけて、それに一生懸命になりたい。

専門の知識をつけるための基礎となる知識と教養を得るばかりでなく、物事の分野とは直接関係のない教養についても、できる限り多くの知識を吸収し、実際に専門分野に入った時、それらの教養もいかしていけるようになりたい。

京都大学の自由な校風の中で、自分で物事を決めていく自主性と価値観を養いたい。部か活やサークル活動にも積極的に参加して交友を深め、大学を楽しみたい。

専門知識と広い世界観を求め、はじめある生活に取り組みたい。

生涯役立つ知識や自分の目標とする職業に必要なとされる専門知識を学びたい。

教養を広め、広い視野を持てるようになり、環境問題などの自分に興味あることに役立てたい。

今日、地球規模で起きている資源、環境についての問題のまだ十分に効果的な対策が出来ていない分野や、これから新しく取り込まれる分野で、個人の研究者として活躍出来るだけの技術を身につけ、その目的だけでなく、一人の社会人としての礼儀、知識を身につけ人として立派になれる様、学習に取り組みたい。幅広い知識。

自由な学風を求め、専門的な学問に取り組みたい。

今までに受けたことのないような、高度で好奇心をかき立てられるような授業を求め、かつ、取り組みたい。幅広い知識と友好関係を求める。専門分野に深くとりくめるように基礎を固めたい。

自分に適し、とことん追求出来るものを見い出したい。ジェネラリストかつスペシャリストを目指し、励みた

い。図書館を利用し、様々な本を読破したい。また、理学部への転部も考えている。

「自由の学風」のもと勉強にスポーツにアルバイトに励みたい。また、朝はきちんと起き、夜はちゃんと寝るという人間的な生活を守っていききたい。なお、健康である以上献血を続けていこうと思っている。

自分が今まで逃げていた文系科目にも目をそらさず、社会に出るのに必要な知識を身につけたい。また、専門分野においては自分が将来社会に貢献できるような知識を身につけたい。

世の中には、どのような学問があるのかという事を身をもって体験し、その中で自分に必要なもの、興味のあるものを見つけていきたい。地球規模で起きている問題を工学の面から解決していきける人になれるために出来る事をしたい。

今、自分を支えてくれている世界中の数多くの人々に感謝し、自分の能力をもって還元したい。そのためにまず自分の専門分野を決定し、その能力を向上させる。

将来、自分の取り組む仕事の能力、知識、教養など。将来の事を見据えた学問、活動などに取り組みたい。化学が好きなので、それを基礎から深く学んでその後で、どう応用すればよいのかを研究したい。エネルギー問題を解決するための糸口を見つけられるような研究者になりたい。

知識、技術を身につけると共に、部活動などによって、心身の鍛錬にも努めたい。

高校まででは味わえなかった知的興奮を味わいたい。

自分が真に打ち込める学問やその他の活動を見つけて、その活動に真剣に取り組みたい。

楽しい大学生活を求め、勉強やサークル活動に取り組みたい。

現在、大きな問題になっている地球環境について学び、少しでも改善につながるような土木建築に取り組んでいきたい。

学者になりたい。そのために必要なことなら何でも取り組む。

「地球環境の保全と改善への貢献」という自分の夢を実現するために、より高度で専門的かつ学際的な知識を身につけることはもちろん、その知識をもとに、様々な問題に自発的に取り組み、自分の力で解決への道を切り拓くことのできる知恵と根気と学習意欲を身につけたい。さらに、幅広い学習、スポーツ、社会活動を通じて、心の豊かな人になりたい。

自由に自分の興味のあることに取り組みたい。

地球環境について学びたい。

社会に貢献出来る能力、独自の価値観を求めたい。

将来、専門的に研究したいと思えるような分野を見つけてそれを中心に他分野も幅広く学びたい。

自分の中でぼんやりと持っていた夢を明らかにし、それにつながるような経験を積みたい。

他大学にはない設備、環境の中で自分の力を伸ばしたい。社会の中で十分通用する能力を身につけたい。

京都大学には高度な技術が修得出来るような授業と信頼できる友人を求めてきた。今は中・高でおろそかにしてきた肉体鍛錬に取り組むと同時に社会の現況を学び、これからの社会が何を必要としているかを見極めていきたい。

環境を守るために重要なことについて、一つ一つしっかりと取り組んでいきたい。

勉強とサークル活動を両立させ充実した学生生活を送る。一人暮らしなので生活面でも充実するようにメリハリのある生活をする。

まだわからない。

専門的技術や知識を身につけたい。

特になし。色々なことに取り組みたい。

現在、汚染・破壊されている環境の規模は具体的には知らないが、将来よりひどくなるだろうということは予測できるので、そういう問題に取り組めるだけの土台となる知識、また技術を修得し、環境保全について考えていきたい。

文武両道。

大学では、質の高い講義と自分のやる気で充実した生活をし、環境に関して工学の面から取り組んでいきたい。友人と信頼関係を築く。勉強をする傍ら、趣味の範囲で何かを完成させる。

自由な学風を求めて、自分で計画し、実行出来るようになりたい。理系だからといって理系科目だけでなく、文系科目も学び、教養ある人物になりたい。

色々な人と知り合いになり人間性を高めたい。自分の人生の目的をよく考え、それを達成するために一日一日を大切に努力していききたい。

英語が話せるようになって、外国人とコミュニケーションをとれるようにしたい。

土木工学を学んで、建物などの建造物だけでなく、公共物などの建設法を学びたい。また、同時に経済関係の

科目を修得して、将来の役に立てたい。将来は優れた建築技術を身につけ、それによって自分の会社を設立したい。

環境問題に興味があるので、将来その研究に取り組んでいけるように専門的な学問などをしっかりとやっていきたい。

人生の通過点として高い知識と教養を身につける場ととらえ、自主的・積極的に自分の専門とする、したい分野はもちろんのこと、それ以外にも取り組む。

高い教養と、自由とって墮落しない精神。とりあえずの目標：4年間で卒業。

初めて知る事が多くなるので、毎日新たな刺激を感じたい。京都大学なら聴ける講義をはじめとした学生生活を自分の人生観の一助とし、他人には出来ない自分なら出来る事をやりたい。

地球の環境に関する工学の知識を得て、将来に役立てるための下積みをしたい。

高度な学問にふれ、豊富な知識を身につける。

様々な人に触れ、様々な刺激を受け、自分を高める事。

地球環境やエネルギーについて研究するのに必要な幅広い知識を学びたい。また、サークル活動では、音楽関係の分野に取り組みたい。

自分の興味あること、ないことにかかわらず、意欲を持って多くのことに取り組みたい。

興味を抱かせてくれる授業。興味のある事を見つけて、それに打ち込む。

地球全体の観点から、現在の地球社会が持っている問題点、主に情報や環境問題について学びたい。また、地球環境改善と経済、政治との関係などにも幅を持たせて学びたい。

自分を成長させたい。

幅広い分野の知識、教養を身につける。自己の向上。

自分の学部の事だけでなく、他の地域、文化系や社会学系の事にも積極的に取り組みたい。

有意義な4年間。

様々な知識を求め、新しいことを行ないたい。興味の持てる事に出来る限り挑戦したい。

環境問題について取り組みたい。地球温暖化に関する研究や勉強がしたい。

今までは、これとって好きな教科がなかったので、のめり込めるような分野を探す。勉強以外にも様々な事に興味を持つ。就職したら出来なくなる事を今のうちにやる。色々考え方などを取り入れて人間的に成長する。文明と自然との調和を基本とした都市デザインに取り組みたい。

大学は、様々な可能性を試すことの出来る場所であると思う。だから、今までには出来なかった多くのことに挑戦していきたいと思う。勉強はもちろんのことクラブやバイト等の交友関係や社会経験も積んでいこうと思う。

専門的で幅広い知識を求め、興味のある研究に取り組みたい。その上で、徐々に進路を決めていきたい。

的確な言葉を選択出来る言語力。数学の論理を追い、それによる論証力の強化。一般教養を身につける中で、人間としての成長。

自分で判断し、考え、解決する力を身につけ、新しいものを創造できるようになる。

自由な学風の中で、勉強だけでなく様々なことに挑戦したい。例えば、部活をしたり、良い友達を持って交友関係を広げていきたい。

自由な学風のもとで、高度かつ幅広い教養を身につけていきたいと思う。多くの事を学びとり、視野の広い人間になりたい。

自分の本当に究めたいと思うことを発見し、全力投球していきたい。一生の友を見つけ、様々な社会勉強をし、立派な一人前の人間として自立出来るようになりたい。最先端の専門的分野も学んでみたい。

環境について色々な事を知りたいと思う。

様々な一般教養、知識を身につけ、それを専門分野の学習に生かすようにしたい。また、その専門知識は人の役にたつようなものでありたい。

自分の選択する専門分野における学問を深めつつ、人の意見に揺らぐ事のない自分の考えをしっかりと持てるようになりたい。

地球上に起こっている問題に対する解決策を研究してみたい。

勉強に関しては適当。自分にとって有益である人間と出会い、自己の改善を目指したい。

自分の可能性を見つめ、自分なりの努力による自分なりの結果。

人を救いたい。

「自分」を確立する。本当にしたいことを見つける。そのためには、様々なことに首を突っ込み、実際に触れ、経験してみる。近道にこした事はないが、遠回りしてもいいと思う。その遠回りによっても、きっと自分の身

になると思うので。

「自由」という言葉の京大的解釈の説明をうけて感動した。噂に聞いていたが、本当に素晴らしいと思った。授業はもちろん、その他にも自分なりに学問を追求したい。

自分が興味をもったことに取り組んでいきたい。

何をやりたいか、自分の将来にどんなことをやることで人間として成長できるかということを見つめられるように専門分野にとらわれない多様な分野の勉強をしていきたい。また、互いに良い刺激を与えあえる良い友人をたくさん作りたい。要するに希望をもって、いろいろに取り組みたい。

質の高い専門的な勉強。

将来の社会全体の利益につながることに取り組みたい。

社会に貢献できるだけの専門的知識を得たい。誰もしたことのない研究。

地球環境に優しいことを求めたい。

生涯考え続けるのに値するテーマ、崩す事に挑戦するに値する壁というものを自分なりに見つける場所としての機能を京都大学に求める。自分が少しでも興味のあるテーマを深く考えてみることで、他には様々な人々とのつき合い方を学ぶことに取り組みの重点を置きたいと思う。

入った学部は工学部だが、京都大学には人文学的にも著名な人が多いので、理系しかできない理系バカにはなりたくない。立派な教授の話をたくさん聞いて、文系もできる女になりたい。京都大学は世界的にも有名だと思うので、色々な地域の人々の意見を聞きたい。地球環境に興味があるので、それらの意見を自由の研究に役立てていきたい。

自由な校風の中、遊びや勉強で今までなかった常識をつける（一人暮らし、バイト等）。実生活に役立つ研究をしたい（地球環境の問題などに役立つもの）。縦横の関係を学ぶ（サークル）。進路を探す。

もっと広い知識が欲しい。討論能力を身につけたい。

京都大学で地球科学についての深い知識を学び、将来、様々な環境問題の解決に役立てたい。

英語とフランス語に力を入れ、ホームステイなどもしたい。

勉強だけでなく人として視野を広げたい。

目標としていた京都大学に入学するため頑張ってきたが、入学して何をしようという具体的な目的は持っていなかった。しかし、今わかったことは、自分で何か決めて実行していかなければ何も始まり、そのまま大学生活が終わるという事だ。授業内容などの確認をして自分の求める勉強を見つけられたら幸いである。今まで経験したことのないものに取り組みたい。

これから人類が解決しなければならない多種の問題に取り組むために、必要な知識を学び、専門的な能力を伸ばしたい。社会に出た時に、自立したい人間でいられるよう自己を磨き強い意志を持ちたい。

科目においてより専門的な内容を求め、英語の力をつけて、英語講義を受けられたらいいと思う。

意義深く、やりがいのあることを見つけ取り組みたい。

視野が狭くならないよう、広い分野について学びたい。人間的に大きくなりたい。

国際的に通用する人間になり、環境問題について学びたい。

机の上の勉強だけでなく、サークル、クラブ、バイトなどをして、社交的な人間になりたい。そして人間的に大きくなりたい。

勉強面は、今、自分が興味を持っている分野について中心に講義を聞いて深めていきたい。また、高校時代はスポーツ等があまりできなかったので、サークル等を利用してやりたい。

自分の知的好奇心の赴くままに様々な分野に触れ、興味を持つものを深く取り組むようにしたい。未知なものを扱ってみたい。色々な人に出会いたい。

京都大学で自分を見つめて自分の一生を捧げたいと思えるような事を見つめたい。具体的には環境問題やエネルギー問題の解決策を見つめたい。

環境についての専門的で高度な知識を見つめたい。

人間性をよりいっそう磨いて、語学に励み、国際的な立場で活躍出来る力をつけるよう励みたい。

一つは講義、サークル活動などを通じて価値観を構築し、人間性を育み、社会性を身につける。もう一つは、大学での学業修練によって、社会で通じる技術、専門性、教養、人格を身につける。

自分の将来を見据えるために、多くの分野を学び、その中から自分の本当にやりたいこと、興味のあることを探したいと思う。

自律と自立。

交友関係を広め、自分の考え方の特に思想そのものの幅が広まるようなことに取り組むたい。

専門知識を得て、自分を高めたい。

都市設計がしたいので、それに関することをしっかり学んでいきたい。そして、どんなことでもわかるようになりたい。

他の大学では出来ない京都大学独自の事をしたい。

自分の将来の生き甲斐を見つけ、教養を深めて実りある生活を送りたい。

幅広い学問の領域に触れ、多角的な視点を養いながらも専門を深め、地球環境問題の解決に役立つ人間になりたい。また、体育会にも積極的に参加していきたい。

自分の将来について、まだ漠然とした考えしかないので、大学で経験することを通して将来の進路をはっきりさせていきたい。また、様々な活動に参加したい。

これからの長い人生と変化してゆく社会について、よりより方向に導いてゆくために、知識を貯え、考える力を身につけ、それを伝え行く表現力を手にしたいと思う。複雑になってゆく大学の授業を受け、読書や諸活動にも挑戦し、精力的に色々な事に取り組んでみたい。

今まで実際に役立つような事を勉強してこなかったと思うので、社会に役立つような人間になるための勉強をしたいと思う。とりあえず人の役に立てるような人間になりたい。

レベルの高い専門的知識を求め、環境に関する知識を得られる講義を受けたい。

野球部に入って、活躍するように努力する。プロ野球選手を目指す。

どんな分野であれ、世界の最前線でも活躍出来る人間になりたいと思うし、それ相当の努力もするつもりである。それ故、その目的が叶うような質の高い授業を求めている。他にも人間性を豊かにすべく、サークルやバイトといった授業外の活動にも出来るだけ参加しようと思う。なにはともあれこの大学を卒業する時に、「悔いの残らない4(6、9)年間だった」と心から思えるような大学生活にしていきたい。

京都大学で人間性高められる教育を求め、世界に通用する知識を学びたいと思う。

Q.2. 本日の全学共通教育のガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか。

A. 以下のとおり(:男子、 :女子)

哲学。

文理の枠を超えて、歴史などの分野も一度じっくりと勉強してみたい。

地球。

社会学など。

哲学を学んで色々な人の考えを知りたい。

時間割の都合がつく限り、他学部指定の授業で自分の興味のある授業も受けてみたい。

経済関係のこと。

人文系分野では、西洋の歴史論や法学を学びたい。

一つの問題を色々な角度から取り組めるように、出来る限り幅広い教養を身につけたい。

言語等の世界の文化について。

人文科学、自然科学。

世界の文化や歴史を含めた知識等、世界に目を向けられる基礎。

一つの専門分野に偏る事なく、人文科学および社会科学系など幅広い分野に挑戦し、学んでいきたいと思う。

自然科学系科目の学習はもちろんであるが、特に人文、社会科学系科目に力を入れたい。

幅広い分野について、より多くの事を学びたい。

人文科学、言語学を中心として、専門分野の学習にスムーズに移行出来るように基盤的知識を獲得するとともに社会において、卓越した能力を発揮出来るような豊かな人間性を獲得したい。

初め(1、2回生)は幅広い分野における学習をしていきたい。その後、より専門的な分野に身を置き、最先端の技術を身につけたり研究したいと思う。

工学部における専門分野に重点を置きながらも、それを偏重することなく人文系の科目も深く学び、知識の多様化を図りたいと思う。

環境問題解決のために必要な社会構造を学びたいと思う。また、様々な思想哲学についても触れてみたい。

はじめての語学をしっかりやりたい。

大学卒業後の人生において、なかなか触れることがないかもしれない人文科学の分野を日本で活躍する教官から学びたい。

地球環境を中心として幅広く深い知識を身につけたい。

環境問題、資源エネルギー問題について現状を十分に学び、改善策や応用できるように技術、知識を学びたい。

英語。地球環境工学。

自分の興味のことにも手をのばし、新しい興味の発見や様々な分野を幅広く学びたいと思う。

主に防災研究につながるもの。ポケットゼミの「地震・雷・火事・親父の傾向と対策」がまさに今一番学びたいことに当てはまる。

理系科目だけでなく、文系科目、特に人間の心理、思想等に関する科目を学び、それを通じて自身の心を豊かにし、様々な視点から物事を考えることが出来るようになりたい。

これからの人生に役立つ事を着実に学びたい。受験勉強とは違う味のある事を学びたい。

広く色々な事を学びたい。まだ、はっきりとこれを学びたいというものがないので、色々見ていく中で見つけていきたい。ポケットゼミも積極的に活用したい。

外国語をしっかりとやりたい。物理などをしたい。

理系科目だけにこだわらず、色々な授業を体験したい。

自分で興味があると思ったもの（嫌々ではなく）

自国の事を知らないのは恥ずかしいので、日本史は学んでおきたい。自分の興味のある理系の学問も仕事に直結せず学びたい。特に相対性理論、量子論、核理論、宇宙物理等は学んでみたい。

高校の時、社会の選択で地理しかなかったので、歴史を学びたい。

芸術関係。

哲学、宗教など文科系の事、全般を薄く広く学びたい。

将来、環境に関する進路に進もうと考えているので、哲学、思想系を主に学びたい。

環境について様々な視点から捉える。英語をもう少し。物理ももう少し。

地域、文科系の学問。

英語とドイツ語を上手に使えるようになりたい。

理系・文系関係なく、幅広い知識を得たい。今はまだまだ模索の段階なので、この1、2年間で自分が本当にしたい事を明確にする。

自分の専門科目を学ぶ時に役立つもの。

将来の自分の考えが豊かになるような内容。

必要科目と興味のわいたその他の科目、ジャンルについて。

理系なので、出来るだけ文系科目を学び、その事を専門分野やこれからの人生に生かせるような事を学びたい。

理系の科目だけでなく、文系の科目を多く受講して、人間として成長できるような幅広い知識を得て、自分の人生の指針となるようなもの、人生観、価値観を得たい。心理、哲学系の人間に関する事を学びたい。

物理学と経済・経営学の基礎を学び、どちらに進むかを決めたい。

自分は理系なので、文系科目の講義をあまり受けられないと思ったが、それは誤解だった。だから自分の専攻科目により近く、効果的なものを学びたい。

広く社会に出て、必要となる常識を身につけ、一つの学問だけしか出来ないのではなく、幅広い分野にわたって教養を学びたい。

地球上の日本から遠く隔てた地域では、どういう状況となっているかに興味がある。他に現象を理論的に認識出来るようになりたいと思う。

自分がやりがいを感じる事が出来、かつ人間社会のためになること。

国際社会に目を向け、民族間、国家間における文化、考え方の違い、歴史などを学びたい。

とても多くの授業科目があるので、必ず自分の興味のもてる授業があるはずなので、それを見つけ、とことん学んでいきたいと思う。特に語学、社会科学系に興味を持ったのでじっくり考えたい。

今の人間性の幅を大きく広げるような事を学び、人間として成長出来る様なことを学びたい。

人文系の科目。

外国語が重要らしいので、気合いを入れて取り組みたい。

広く、様々な視点から物事を見る事が出来るように、学べる事は何でも学びたい。特に歴史関係を頑張りたい。

外国語（英語でないもの）をしっかりと学びたい。やったことのない言葉を学んで、異文化に触れてみたい。

物理学や化学、数学等の専門分野の基礎的な力になるものを始めとして、個人的に興味のある国際関係や歴史のようなものを学びたいと思う。

地理に興味があるので、それを生かして環境についての勉強をしていきたい。

自分の今、興味のあることを順に探していきたいと思う。

幅広い知識を学び、自分の人間性を高めたい。

世界の色々な考え方を学び、色々な面から国際社会を見られるようになること。

A 群の科目は数少ない自分とは違う分野のスペシャリストの講義を聞く機会だと思うので、人間として豊かな知識を得るためにしっかりと講義を受けたい。

幅広い分野。

土木。

この大学、この時期にしか受けられないような、そして自分に今後必要となるものを学びたい。

幅広い教養。

学問とは何かについて、一つのことについての様々な見方。自分の知らなかった世界。

今は特にこれといったものがないので、自分の興味のあるものに進んで触れていき、追々決めていきたいと思う。

自然、社会系学科に少しでも興味を持って、様々な分野から、生きていく上で知っておいて損しないものを学んでいきたい。

世界で活動するために必要な知識を得る事が出来るように語学はもちろん色々な地域、文化についての知識を身につけたい。

自分の専門分野の知識だけでなく、人間としてあるべき姿を常に意識して、多くの人々と円滑な人間関係を築けるようにしたい。

今まで学んだことのない、自分に役立つ、京大でしか学べないような事。

幅広く多くの知識を身につけている人は魅力的である。しかし反面、専門を深く学んでいないために物足りないような人間になりがちであると浪人中に注意された。したがって最低限の教養を身につけようと思う。

他文化に関する知識。

幅広い教養を身につけて、これからの時代を生き抜ける事が出来る自分を形成出来るよう頑張りたい。

以前から行動化学系統の学問に興味があったので、文系理系の壁がない全学共通科目で学びたいと思う。

地球環境工学を学びたい。

環境を考えるにあたって、海外にも目を向けるために外国語をしっかりと学びたいと思う。

興味があるものが多過ぎる。結果、受ける事になったものに力を入れたい。

世界観が広がるもの。

世界に通用する事。

“自分が何をしたいか”を第一に考えて学びたい。

まだよくわからない。とりあえず語学をしっかりとやりたい。

視野を広げるためにも、幅広い知識を身につけたい。

第二外国語をしっかりと身につけて使えるようにしたい。

土木工学関連の様々な授業やコンピュータ技術。人文科としては芸術や歴史を学んでみたい。

日本の歴史について。音楽の成り立ちについて。

高学年になるにつれて理系の専門的な学習が増えるので、それまでに幅広い知識を教養教育を通して得たい。

地球環境を守るために必要な基礎事項。

自然科学。外国語。

よくわからないが、色々な事を学びたい。

文系の講義にも興味がわくので、理系の講義と同様に学んでいきたい。(特に思想的歴史)

文系よりの分野。

地球科学のようなもので、自分達の住む地球について深い知識を得たい。

将来は工学部で学んだ事を手に、法律に関わる仕事をしたいと考えているので、工学部でそれに適した分野とは何かを自分なりに考え、勉強する。

自然科学系以外の文系科目、特に経済、法関係に興味があるので、それらも同時に学びたいと思う。

哲学、政治、経済。

外国語、スポーツ実習など。

経済に関する鋭い洞察力をつけ、また社会の構造に関する文系科目を学びたい。

英語を基本とした外国語を、社会に出て通用するくらいまでには学んでいきたい。

視野を広げるきっかけとなるような事。自らの知識に大きなものを与えてくれる事。

興味のある歴史等。

社会の事。心の事。人間の事を学びたい。

自分が興味のある分野の学問の知識を伸ばしたり、歴史や語学などを楽しんで学びたい。

文、理問わず、自分の興味のあるものを積極的に学んでいきたい。

理系科目では3回生以降の専門分野に役立つ科目を文系科目では自分が少しでも興味をもてる科目を学ぼうと思う。

学ぶことによって視野が広がるような事を学びたい。

社会科学系。微積分。

一般教養。特に語学や人文社会科目を通して、一人の社会人として独立して生きていくための教養を学びたい。

興味を持って、何かを得る事の出来るものを学びたい。

幅広い分野、特に語学と自然科学。

新たな言語に関して、その地域に住む人々やその地域の歴史等を知りたい。

地理学・経済学。

思想や法律など普段学ぶ事のない分野を学びたい。

理系科目以外に、文系科目も勉強したい。自分の価値観がしっかり固まるように色々な分野の学問も学びたい。

幅広い分野を学んで統合的な判断力、思考力を身につける。

心理学。

将来、専門的に必要になる理系の知識だけでなく、人文科学や社会科学等の哲学的なこと、歴史的なことも幅広く学んでいこうと思う。

最先端の事と、基礎的な事とを結び付けて学びたい。特に京大だからこそ学べる事を積極的に自分の中に取り込んでいきたい。

広くまんべんなく、好きな教科に偏る事なく学びたい。

環境もしくは都市計画というような、人の生活と結びつく教養。世界の文化など。

歴史に少し興味があるので、A群科目として歴史関係の科目を学びたいと思う。また、その他にも様々な分野に触れてみたいと思う。

専門科目以外の範囲からも多くの事を学びたいと考えている。

もともと興味があった人文系の心理学、社会学など、1、2回生の間しか学ぶ事の出来ないようなことを学びたい。英語のより高度な学習と共に、新たに学ぶドイツ語についても積極的に学んでいきたい。もちろん自然科学系の科目についてもとりこぼすことなく学習したい。

語学を学んでしっかり身につけたいと思う。

この機会にしか学べそうにない文系分野、主に経済学や法学。

外国語を使いこなしたい。

専門につながる教養科目も良いと思っていたが、ガイダンスを受けてみて本当に様々な講義があることを知ったので、分野に関係なく興味のあるものをもってみたいと思った。

単位を取ればそれで大学に来た価値もあると思うが、気が向けば他方面にも手を出したいと思う。

世界中のあらゆる考え方、信念を少しでも幅広く知りたい。

生き抜く智慧。

理系文系に関係なくしてみる。1つ1つおろそかにしてはならないが、どんどん積極的に自らの手で幾千もの可能性を消すことのないよう学ぶつもりである。

自分が求める学問だけでなく、「教養」も身につけなくてはならない。専門的に優れているだけで、人間としての深さがないのはだめだと思うので、そのために具体的に「何を」学ぶかは資料を読んでみないとわからないが、自分が専門にしていこうと思っている分野とは全く違う分野を専門にしている教官と積極的に対話したいと思う。

自分を高めることができるもの。

高校で学ぶことがあまりなかった京大独自の国際交流などをはじめ、専門分野の習得に役立つ事を学びたい。

心理学。

専門的な分野と文系的な分野について学びたい。

科学の歴史と歴史的発見による様々な分野への影響。

世界の色々な国の文化を学びたい。

語学を完全にマスターすること。情報処理や有機化学をやってみたいと思う。

京都大学に入らなければ受けられないような内容の濃い講義を聞きたい。憲法の授業を取りたい。

地球工学の基礎になる物理、化学、数学はしっかりやっておきたい。スペイン語。読んでみて、自分の興味のあるものに絞り込んでやりたい。

哲学と数学。ポケットゼミ(教養教育?)は、とても参加してみたい。

世界の色々な国の文化や思想。

環境系の科目。

高校の時にならった知識を深めたいので、政治、経済や新しい分野である異文化についても学びたい。
工学部の専門的分野である自然科学系はもちろんだが、その対極にあるような人文系の科目にも興味があるので、積極的に取り組みたい。

外国語、哲学。

今までは無関心であった哲学や倫理学を学び、多様な思想に触れて、物事を色々な角度から見る事が出来るようになりたいと思う。

1、2回生のうちにしか出来ないA群の科目をしっかりとやって、言語も英語だけでなく第二外国語も結構使えるようになりたい。

自分が興味をもてるもの。

理系に限らず文系についても学びたい。

国際的な授業があるようなので、国際的な学問を学びたい。

理系では学べないような心理学を学びたい。

勉強面は、今、自分が興味を持っている分野について中心に講義を聞いて深めていきたい。また、高校時代はスポーツ等があまりできなかったので、サークル等を利用してやりたい。

今まで学んでこなかったことを学びたい。

文系分野の科目にも興味があるので、何か1つに絞らず自分が満足出来るように幅広い勉強をしていきたいし、自分に向いているものを見つけたい。

外国語の応用力を得る事。自分の視野を広げるようなことを学びたい。

出来るだけ興味のもてる事に力を入れて取り組みたい。

興味のある分野を深く味わいたい。

文系科目で自分の興味あるものを積極的に学びたい。日本史や心理学など。

人文、科学。

教育学、心理学、経済学などがかじりたい。

法学、語学。

自分の興味ある工学系統のことを学ぶのはもちろんのこと、それ以外の学問である法学や経済学についても学びたい。

将来と密接に結びつくであろう事を中心に学びたい。

学部としても科目以外にも特に語学について深く学びたいと思う。

文系科目をしっかりと学習して、価値観の基礎を築いていきたいと思う。

まだ、はっきりとはわからないけど、出来るだけ多くの分野を学びたい。

専門的な内容と聞き、興味のある講義を中心に学んでいきたいと思う。

まだ良くわからないが、幅広く学んでいきたいと思う。文系にも興味がないわけではないので、そちらにも目を向ける余裕があれば良いと思う。

自分の中で不足していると思う人文系の教養教育を中心に様々な事を学びたい。

1年目に文系科目を頑張らなければ卒業できないとの事なので、それだけは最低限やりたい。

理系ではあるが、歴史や地理といった文科系の学問にも非常に興味があるので、積極的に学ぼうと思っている。そして、文科系に力を注ぐあまりに理科系がダメになる...ということがないように、当然、理科系の学問もおろそかにせず頑張りたい。

自分の自律性を高め、多くの素晴らしい友人を作りたいと思う。

2) 建築学科 (アンケート提出率 96.4%)

Q.1. あなたは京都大学で何を求め、どんなことに取り組みたいですか。

A. 以下のとおり (:男子、 :女子)

交友関係を広げたい。

まず、単位をしっかりと取ることを最優先。運動(ボート)したり、バイトをしたりする。卒業に必要な単位数を揃えたとしても興味のあるものは進んで勉強したい。

自分の知らないことを知り、それを自分の知識としたい。もちろん、自分のもつ知識をより深めたい。

建築学を学びたい。広く色々な分野の知識を得たい。

京都大学の校風として、自由な校風、自主性を重んじ等のことをきいており、そのような環境の中で、大学時

代にしか出来ないこと、さらには、長い将来での礎と成りうることを少しでも得られればと思う。

建築分野の深い知識。

しっかりと建築学を学び、一級建築士を目指したい。

フランスの建築に興味があり、将来は外国で学びたいので、大学では外国語に力を入れたい。

将来の職業に役立つ知識を得、様々な方面にも視野を広げたい。興味のあることについて、さらに深く学びたい。学問に加え、友人とのつき合いや下宿生活やサークルを通して人間としても大きく成長したいと思う。

建築に関する教養だけでなく、英語などの外国語や数学、物理等の幅広い知識を得つつ、卒業後の人生に役立つようなことを学んでいきたい。

勉強とクラブの両立。

一生懸命学問に取り組み、人間として成長したい。

自分を知的に高めてくれるもの。信頼できる仲間。没頭できるものを求め、語学、哲学、物理学、サークル活動に主として取り組みたい。

自分の興味の幅を広げ、多くの知識を得たい。

個人の間人性の形成の助けとなる教師の方や仲間と共に、専門的な教育やそれを別の視点からみる為の教育、クラブ活動等に取り組みたい。

自分のやりたい事を専門的に取り組み、そこから繋がっていく様々なことにも取り組んでいきたい。

幅広い知識を身につけたい。

自分の本当に好きなこと、やりたいことを見つけて、その事に関しては妥協せずにとことん頑張りたい。

建築を専門分野とし、それを中心に様々なことを学びたい。

一生涯つき合っていける友人を見つけない。人間としての幅を広げたいので、様々な人が集まるこの学校で色々な人、物事に触れたい。

幅広い分野を学び、国際的に通用する知識、技術、そして、広い視野を身につけたい。色々な人と出会い、多方面につながる人脈を作りたい。

高校、特に受験期は、「つめこみ学習」でとにかく暗記。とにかく、点数という感じだったが、大学に入ったら本当に自分の興味のあることを「勉強」したい。まだ、下宿生活にも慣れていないし、授業に対しても不安ばかりだが、もう少し、慣れてきたら、勉強以外にもいろんな活動をしてみたい。

学問だけでなく、人間性を高めるような教育を受けたい。そのためにも先入観にとらわれず、様々な事に挑戦していきたい。

専門分野以外でもいろんな分野のことを取り組みたい。

人間として成長したい。建築について学びたい。単位を落とさないように頑張る。

講義などを通し、様々な学問に触れ、感性を磨きたい。

世の人の役に立つ為に十分な知識、技術を身につけたい。また、幅広い交友関係を作り、人間としての幅を広げたい。

幅広い知識を身につけたい。建築学科に所属しているからといって、建築、理系科目のみを学ぶのではなく、文系科目も学び、豊かな人間に成長したい。京大でしか聞けないような講義が聞きたい。将来、建築の研究者になりたい。「建築とは何か？」という問いに答えを出したい。

一般教養を一番重視して勉強したい。4年間しっかり勉強して資格を取りたい。建築家になれるかどうか考えたい。ノーベル賞を狙ってきたけれど、大学4年間で全般的な知識を学んで一度挑戦してみたい。

自分の知らない知識や思想を学び、取り入れ、社会に出たとき役立つものになりたい。

未知のものに出会い、自分の世界(幅)をためらわず、どんどん広げていきたい。

世界最高水準の教育。

勉強やサークルなどの活動を通して、人との交流を深める。

将来の目標がない場合、『大学には人脈作りに行け』と高校の教師に言われたことがあり、自分はそういうわけではないが、まだ、自分の建てる建物のスタンスが見えていない状態にある。大学に行くだけで、自分のスタイルが確立されるわけではないが、学問という名前と呼ばれている知識だけでもそれは見つからないと思う。従って何でもやろうと思う。多角的な人間となり、結果的に自分の建てる建築物(像)が見つかったら幸いである。

外国語。建築学。

今までやらなかったことをやりたい。

尊敬できる人と知りあいたい。

何をするかはまだ決めていない。でも、何をするかにしてもダラダラと時間を無駄にしないようにしたい。

様々な人生経験。

勉強、サークル、バイトをうまく組み合わせで有意義なものにしたい。

建築家になるために必要な知識を身につけたいが、それだけにとどまらず、様々な知識を身につけて、世界的に活躍出来るようになりたい。

わからない。

世界的に最先端の研究をする京都大学で、世界最高の勉強環境と講義を求め、最高水準まで建築学を追求し、取り組む。

自ら進んで勉強に励み、苦手な語学を中心に頑張りたい。

大学そのものについては過大な期待はしていない。この4年間はあくまで自分の将来やろうと思っている仕事を行うための土台作りとしての期間である。とりあえず、勉強、サークル活動等、色々な事に積極的に取り組みたい。

社会に出てから実際に使えることを学ぶ。

自分の好きな分野について、知識を深め、また、新しく学習する分野についても、興味をもって学習していきたい。

まだ具体的に自分の“夢”と呼べるものがもてていないので、自分が生涯を通じてやっていけるようなことを見つけ、それを糧として勉強に励んでいきたい。人と人とのつながりを大切に、日本に限らず、外国人ともコミュニケーションをとれるように、語学の習得を心がけたい。

知識を深めたい。

立派な建築家に慣れるよう、建築の基礎を徹底して、建築の課題は真剣に取り組むたい。

出来るだけ自分の興味がある勉強をしたい。

様々な分野の専門的なことなどを学び、視野を広く持ちたい。又、様々なことに取り組み、様々な経験を積んでいきたい。

人間の心理を考えた建物、都市を考えること。

勉強はもちろんだが、視野を広げ、さまざまなことに挑戦していきたい。

京都大学の高いレベルの教養をもつ教官や学生に触れ、また、大学付近にある伝統的な建造物を実際に訪れることで、自分の建築学を深めていきたい。

今までに出会ったことがないものや、出会ったことがあるものの、自分が見なかった側面を見ること。

大学は目的地ではない、通過点である。未来の自分に必要な物を学ぶため、出来れば、多様なことをやってみたい。

何事にも自主的に取り組むことで、勉強を中心に様々な経験を積むことで、自分が40代、50代になった時に立派な人間として社会で活躍できるようになりたい。そのためにも京都大学で過ごす4年間、大学院も含めた残りの学生生活は重要であり、やる限りは一生懸命やりたいと思う。

専門分野を中心に頑張りたい。

京都の建物の建築とそれによって生まれている京都独特の雰囲気。

全力で学業的に成果を遂げたい。早く単位を取って知識を身につけたい。

より高くを目指し、知識や物事に対する取り組み方を学びたい。具体的には図書館で朝から晩まで本を読みあさる等。

勉強だけではなく、色々なことに挑戦して、卒業後、社会に出ていった時に立派にやっていけるように、人間的に自分を高める努力をしたい。

人間としての成長を求めて、幅広い教養を得る一方で、研究者となるために、建築の基礎知識を得る。

春休みで少し緩みすぎたようで、ガイダンス中も集中力が感じられず、他のことを考えてばかりいた。高校卒業以前はこんなことはなかったので、緊張感が足りていないのと、運動不足だと思う。このままでは不都合が多いので、もっと張りつめた生活を送りたい。

入学以前から学びたかった建築についてはもとより、苦手な外国語を可能な限り、取り組みたい。

専門分野の知識は大切だが、今まであまり知らなかった分野についても興味をもてるようになりたい。

様々な分野のゼミが多数あるので、体験してこれから何を専門にやっていくのかを決めたい。

自立。

友達を喜ばせられるような建築を出来るようになりたいので、いろいろなことを吸収したい。イタリアに旅行に行き、いろいろなものを見たい。

第二外国語の学習などを通じて、豊かな表現力を身につけ、確かな専門知識を習得し、運用、応用していきたい。京都大学では、そういった環境がバランスよく構築され、その環境を十分に生かし、自分で道を切り開い

ていきたい。

第一には建築をする為の能力を身につけたいが、これから社会に出た後に建築以外の要素もあるので、人間として豊かなものにしていきたい。そのために様々な分野で活躍なさっている先生方から、色々吸収したい。互いに成長していける友人を多く持ちたい。

建築学をずっと学びたいと思っていたので、意欲的に取り組みたい。部活にも力を入れたい。良い意味で適当に。(要領良く)

建築士になるための土台作り。クラブなどを最後まで続けたい。

興味のある授業には出来る限り、出たい。予習復習も積極的にやりたい。留学生とも交流したい。

興味のある授業を受けて教養を深めたい。ポケットゼミを受けてみたい。英語以外の外国語を修得したい。色々なことにおけるセンスをより素敵なものにしていきたい。

京大の進んだ建築知識を身につけて、社会に役に立てる技術者になって中国に戻って自分の力を尽くしたい。建築のことをもっとよく知りたい。

Q.2. 本日の全学共通教育のガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか。

A. 以下のとおり(:男子、 :女子)

自分の知的好奇心をみたくようなこと。おもしろそうなこと。

パソコンと英語を使いこなせるようにしたい。

まだ誰も知らない最先端の最先端の知識を学ぶとともに、昔の人も今の人も知っている、知っているべき知識教養を学びたい。

京大が特別に力を入れているという外国語を中心に、かねてからの希望であった世界史に関することなどを学んでいきたい。

外国語の幅広い能力。

今までの歴史を学び、現代の社会について考えたい。

建築物の構造について学びたい。空間デザイン系にも興味があるので、基礎から建築を勉強したい。

広い方面にわたり、多くのことを学びたい。社会の一員としても個人としてもプラスになることを学びたい。理系だからといって、数学、物理などを勉強するだけでなく、哲学などを文化的な事柄についても学んでいきたいと思う。

社会につながる勉強。

様々な学問に触れたい。

まだ、知的に未熟なので、自分を高めてくれるもの、興味関心をもつものを気付かせてくれるものを学びたい。

民族学。

他の分野や、日本の文化を学ぶための外国語。ポケットゼミで普段、学べないような細部にまで渡る授業。建築史。

もともと建築だけでなく、哲学にも興味があったので、よい機会だからそういったことを学びたい。

ヨーロッパの文化が好きなので、ヨーロッパの言語や建築に関する歴史などを学びたい。

専門分野に進むための土台となる幅広い分野をまたがって学びたい。

専門分野だけに偏らないようにしたい。

日本や世界の文化や社会、芸術について。

英語はずっと得意科目だったので、これからは身につけて学びたい。専門的なことも興味があるのでどんどん学んでいきたい。

折角、京都大学に入れたのだから、最高水準の教育とはどんなものかをこの目で見てみたい。

将来やるかもしれない事の基礎となりそうなものを学びたい。

幅広く色々な事を学びたい。優れた先生方のよい話を聞けるのは非常に得なことだと思う。

今まで興味を持ったこともなかったようなこと。

今案で自分と関係の薄かったもの、大学でしか学べないこと。

人文、社会系の科目に興味を持った。建築をする上で、倫理観等も重要であるから倫理、哲学も学んでみたい。

経営、経済の方面的知识を学びたい。生物学が好きで、生物関係を勉強したい。

外国の文化や、西洋、東洋の哲学など。

理系、文系という枠組みにとらわれず、今までは主に理系中心に学んできたので、今後は積極的に、これまで触れることのなかった分野に力を入れていきたい。

哲学、思想。自然科学全般。
外国の地理、文化など。
建築と一見関係がないだろうと思われるもの。
世界のこと。
A群科目が面白そうである。
哲学、特にウィゲンシュタイン。宇宙物理学。
自分の方向に何かつながりがあること。
教養として将来役に立つもの。
西洋の思想、文化について深く学びたい。
社会に出ても恥ずかしくないような人間になるために必要となると思うことを選択したい。
教養教育というものが、まだよくわからない。
哲学から芸術に至るまで幅広く学びたい。
多くのことに手を出しすぎず、自分で決めたことに真剣に取り組みたい。
自分が専門にしようと思っている分野以外の領域に触れることで、物事を多角的に見れるような視点を養いたい。
経済。専門の科目に関わりがあること。実際に使える英語。
将来役立ちそうな語学。
自分の専門科目だけに縛られず、自分にとって役に立ちそうな授業は進んで受けたい。
いろいろ。
まだよくわからないが、社会に出て、社会人、または、一人の人間として、きちんとした行動がとれるよう、自分の考えがしっかり持てるように哲学を取ろうと思っている。
専門の勉強が多くなる前に文系のことをなるべく学びたい。
精神修養になるような講義。
人間の心理。
経済学等、工学部には関係のない学部。
教養の科目は、1、2回生の時にしか、勉強することが出来ない人文科学、社会科学の科目があるので、この機会を逃さないようにしっかりやりたい。(親のすすめだが)社会人類学に興味があるので、理系としての視野を広げるためにも頑張りたい。
出来るだけ多くの、自分がまだ知らないこと。
詳しくはまだわからないが、外国語について学んでみたい。
広い知識を得ることで、自分の専門分野をするときの役に立てばいいと思う。
語学をしっかり学びたい。
国際関係の理解をしたい。
自由の学風が京大の誇り。建築学科で建築デザインをしたい。早く自分のアイデアのスタイルを見つけたい。
日本的な物事の考え方、論理的な思考能力、適確な表現能力、様々な人の様々な考え方等。
専門科目以外にも興味のある事はたくさんあるので、様々な分野を学びたい。
色々な事を学びたいが、なかなか受ける機会がないという人文系にも興味をもって学びたい。
興味のあることを多く、興味のないことを少なく。
社会科学や環境などを専門である建築とからめて学んでいきたい。
外国語を学びたい。
人文、社会系の分野はこれが最後となるので、その分野を重点的に取りたい。
今日まで無知に生きてきたので、色々な分野のことを学びたい。
3回生からは理系科目ばかりになってしまうようなので、1、2回生の間に文系内容の講義を聞きたい。文化や美術のことを学びたい。
理系だからこそ、人文社会系科目を重視して、豊富なバックフィールドを育成したい。具体的には心理学など。
具体的にはわからないが、自分の殆ど知らない分野で世界が広がるようなものを学んでみたい。
自分の視野が広がりそうなら何でもよい。
自然科学系以外にも美術史や哲学など学んだことのないもの。
第二外国語をなるべく早くマスターできるように頑張りたい。
自分の専門や生活、趣味に繋がっていくようなことを学びたい。おもしろそうな授業がたくさんあったので、期待している。

建築学。今、他にも考えている。
専攻に関連ある教養教育科目を学びたい。
英語が話せるように頑張る。

3) 物理工学科 (アンケート提出率 96.4%)

Q.1. あなたは京都大学で何を求め、どんなことに取り組みたいですか。

A. 以下のとおり (:男子、 :女子)

京都大学には世界的にも有名な教授がいるとの事なので、高度な授業を受けしっかり吸収したい。
幅広い教養、すなわち理系教科だけでなく文系教科、社会科学や哲学系など今まで学ぶことに取り組まなかったものにも挑戦したい。人間的なものごとの考え方はきちんと身につけたい。自分がやりたいことを具体化させ、欲求を明確にしたい。

まずは高度な内容の授業を求めたい。高校では得られなかった専門知識を吸収し、自分のものにしていきたい。さらに自分の周囲にいる人達が皆レベルの高い人なので、そのような周囲の人達に積極的に向き合って豊かな人間になりたい。

将来のロケット技師の夢に向けて、それに必要な基礎、および専門科目を学習し、同分野の専門書なども読んでみたい。加えて広く浅く様々な分野の学習をしたい。ゆえに京大には、それらへの糸口や、より良い学習の場を求める。

自分がやりたいことを、よりハッキリと見つけて、それに向かって進んでいく。自分の興味のある事を専門外でも少し学びたい。

深い興味を持ち、新しい勉強をどんどんしていきたい。かつ、特に興味をそそられる事を見つけ、それを深く研究していきたい。

物理・数学・外国語をしっかりと身につけて、航空系の技術者になりたい。

核物理を専攻して原子力に関する知識、技術を深く学びたい。

多角的な課題の解決を求め、地球社会の調和ある共存の成立に取り組む。

生き甲斐となるような学問。理系ではあるが、人間に根源的にかかわることに取り組みたい。(文系のような事もしたい)

今、マイクロロボットに関して研究したい。京都大学に留学している間に日本語がうまく話せるように努力したい。全面的な知識を身につけたい。自分なりの人生観と価値観を持ちたい。自分にとって日本語は外国語なので、授業中にわかりにくいところがあると思う。留学生のために特別な授業材料などが出来たら役立つと思う。立派な学生になりたい。

京都大学で専門的な学問だけでなく、幅広く人文・社会系の学問にも取り組みたいと思う。また、勉学だけでなく何か部に入り、それにも力を入れたいと思う。

勉学に運動に励んでいきたいと思う。特に勉学においては自分の興味のある分野に関する知識を含めていきたいと思う。

しっかり学ぶための教育環境、質の高い講義。主としてしっかり勉強して自分の取り組みたいこと(地球の環境問題)を実現したい。

スポーツ実習から語学まで、何につけてもめいっぱいやるに値すると思えるものがたくさんあって欲しい。そういう事があればなんでもやりたい。

物理学を中心に自然科学について広く深く学び、自分の最も興味のある分野を見つけ、さらに発展的に研究したい。その研究が社会に役立てばなおよい。また、視野が狭くならぬよう社会などについても学び、豊かな人間になりたい。将来は国際研究もできるよう語学を身につけ、話せるようになりたい。

深い教養を身につけ、専門分野の知識と技術を吸収して、将来活躍出来る人間へと成長したい。

幅広い知識。高度な専門的な技能。京都大学でしか受けられない授業。使える英語力。

多様な考えを持った人々との意見交換。幅広い教養を身につけていきたい。

よりよい自分を目指して、基礎教養を身につけてさらに自分の専門科目の知識を深めていきたい。

物事の真理を求め、その解明をしたい。

エンジニアになりたいと思っているが、まだ漠然としているので具体的に何がやりたいのかを見つけたい。

専門的な知識のみに特化するのではなく、一人の人間として幅広い見識を身につけたいと思う。そのために通常では触れる事の少ない国際的なものにも取り組みたい。また、教育にも興味があるので、本格的に取るかどうかはまだ別にしてもそちらの方面にも取り組んでみたいと思う。

今まで自分が興味を持たなかった事に目を向けて、幅広い知識を養いたい。
豊かな人生のために、京都大学で色々な知識を身につけて能力を伸ばしていきたい。学業はやっぱり第一。工学部に入ったが人文科目も興味があるので、たくさん習いたい事がある。サークル活動などで新しい友達と知り合って留学生として色々な国の人と交流したい。充実した生活を送りたい。
航空宇宙工学。とにかく充実した毎日を過ごしたい。
勉強やサークル活動など幅広く活動したいと思う。4年間で自分の夢を成し遂げるための土台を作りたいし、京都大学にはこのようなことが出来るような環境を期待している。
まず様々なことをやって自分が他人に負けないような分野を見つけ取り組みたい。
自分の興味の範囲を広げる。知的好奇心を活発にさせ、自分の目標を見据えて勉強する。
学問の根底的探究(「学問とは何か」との問いを立て、かつ、それに答えるということを円環的に繰り返す)とそれにもとづく確固とした意識の流れとしての専門的学問を自らのものとして掴むという試み。
数学、物理学、化学などの基礎をしっかりと勉強して、後の研究に困らないようにしたい。
様々な価値観を持つ人々との対話によって、多面的視点を獲得したい。
自分の興味のある分野の知識を深めたい。
自分のやりたいことを見つけ、研究していきたい。
「自由な学風」のもとで本当に自分にあった有益な学習をしたい。特に人工現実感等の研究に取り組みたい。他の大学では出来ないような研究などをしてみたい。特に高校の時は実験などが少なかったので、実習などを取り組んでいきたい。
最も興味ある分野を求めて、その分野を深く追求したい。
高校時代にあまり出来なかった、自分の興味のある事を徹底的にやってみたい。また、自分と生き方が大きく異なる人、自分の知らない世界を持っている人と触れ合いたいと思う。
今、興味を持っている航空・宇宙工学の分野の知識をもっと手に入れたい。一つの知識に偏らないように広い分野の学問を習って、教養のある人になりたいと思い、勉強だけでなくクラブかサークルに参加して、人間関係もうまく出来るようになりたい。
求めるもの：素晴らしい人。取り組む事：自分から働いていくという事。
エネルギー関係。特に核エネルギー工学について学びたいと思う。
自分を高める。そのため教養、人との交流を深め、何か本気で打ち込めるものを見つけ取り組む。
良い人間関係を作りたい。自分の知らない多くの事を学びたい。
今までよりもより専門的な知識を得たり、これまで全く未知だった分野に取り組んでみたい。やりたい勉強をやりたいだけやりたい。将来につながるものを身につけたい。親友を作る。
京都大学には、素晴らしい先生方がたくさんいるので、より質の良い授業を求める。勉学に励むのはもちろんの事、サークル活動などにも積極的に参加し、自己の成長を図りたいと思う。いつかソーラーで飛ぶ飛行機の研究もしたいと思う。
幅広い教養。
物理工学科に入る事が出来たので、以前から興味があった医学という分野に機械分野の側面から取り組み、医療に工学を存分に活用させたい。そのためにも1、2回生の間に基礎となる分野を身につけたい。
自由に選択出来る講義を受けて、なりたい人間になる。豊富な知識を身につけたい。脳や神経の知識と物理を合わせて、人間のようなロボットを実現しようと思う。
東京にはない京都独特の雰囲気の中で、最先端の技術、学問を自ら進んで吸収したい。具体的には航空宇宙学コースに進みたい。
高度職業人として求められる。知識、技術、その他の習得。
自分が本当にしたい事を見つけ、それに取り組みたい。
専門知識のさらなる追求に取り組みたい。(継承、そして発展)
自学自習を基本とするが、適度なサポートが欲しい。自分でこの分野になら打ち込めるというものを見つけるために出来るだけ様々な分野の学習を行なう。
存分に学問を出来る環境を求めている。それを生かして豊富な教養と確かな専門を身につけたい。
専門的な事、その分野での最前線の状況を見てみたい。
科学が人類の未来にいかに関与出来るかを模索しつつ、専門知識、技能を習得する。豊かな人間関係を持つ。バスケに励む。
将来、自分の専門分野と関わりのある職業に就くにしる、関係のない職業に就くにしる、京都大学で学んだことが無駄にならないように幅広い教養を身につけた上で、専門的な内容を学びたい。

未来社会の糧となるような分野の科学に対する基礎を探究し、応用に取り組む。

質の高い講義。勉強が出来る環境。

色々。

色々やりたい。

勉強面では基礎的なものから、より高度で専門的なことまで学び、身につけ、将来に生かせるようにしたい。

また、その他の生活面では、サークル活動などを通して様々な人達と関わり、幅広い事を身につけたい。

高度な授業内容や幅広い科目を求めて、その中から現在・将来に本当に熱心に出来るものを見つけてそれに組み込んでいきたい。

高校までとは違って、より専門的な教養を身につけ、それを自分自身で率先してやる。

必要最低限以上に束縛されることがなく、自由の重みを感じながら、自律性を養えるような環境を求める。大学での講義だけにとどまらず、バイト、サークルなどを通して、様々な経験を積んでいきたい。

専門的な勉強、サークル、家から自立した生活など、充実した日本人になりたい。

学問のみでなく、世界への見聞を広めたいと思う。

専門的な知識、技術を求め、新しい材料の開発に取り組みたい。

自分の専門分野に対する深い知識、理解を得、それをもって他人と深い議論を交わし、さらに理解を深める事。

やることを自分で選ぶ事によって生まれる高い意識をもって勉学に取り組む事。

現在の世界における諸問題を解決し、人々の生活を豊かなものへと発展させていく方法などを探究するために必要な知識・教養を身につけていきたい。

愛。

求める事：わかりやすく、高度な授業。勉強する上で、向上心をもってお互いに刺激を与えあう事が出来るような友人。取り組みたい事：自学・自習の姿勢を持ち続ける事。広い範囲の学問に触れる事。今までやった事のない事をたくさん体験すること。

非常に高いレベルの講義を受け、常に自分から学ぼうとする姿勢を身につけ、日本だけにとどまらない人間になりたい。そのために友人はもとより、様々な人々とのコミュニケーション能力を育めるような積極的に人と関わっていく生活を送りたい。

小さい時から京都大学の「自由の学風」に憧れを持っている。基礎的な知識も、先端的な技術も「自由の学風」の下で身につける事は自分にとって魅力的である。京大での4年間に、将来に自分が好きな分野で実力を発揮できるように頑張りたい。

今は専門的な学問の事が全然わからないので、何とも言えない。卓球を頑張りたい。

エネルギー工学。数学、物理、化学の知識。宇宙基礎工学。石油に代わるエネルギー。宇宙ステーション開発。より高度な知識の習得。高校でほとんど出来なかった実験の授業に積極的に取り組みたい。スポーツもやってみたい。高校では触れることの出来ない高度な内容の講義を受けたい。

京都大学の校風である「自由」を取り間違えることなく、勉強に励み、自分の興味のある講義に出て将来どんな職業につきたいのかを探して、それが見つければ、ひたすらそれに向かってつき進みたい。

機械工学の研究に取り組む。幅広い教養を身につける。

自分の興味のある機械や宇宙について学びたくて工学部に入ったが、それだけでなく、様々な分野の講義を聞いたりサークル活動なども行ない、充実した大学生活を送りたい。

幅広い知識を得て、興味ある物事に関する知識を増やし、専門とする科目を学ぶ上で役立てていきたい。また、その専門とする科目を完全に習得していく。

自分がどのようなことに向いているかを探し、積極的に専門的なことを深く学びたい。幅広い教養を身につけたい。

求めるもの：自由（勉強・生活・生き方など）取り組みたいもの：人間的な成長。知識の増強。

今は専門的なことはさっぱり分からないが、自分が一生をかけてやり抜きたいと思えるような分野を見つけて、そのプロフェッショナルを目指したい。具体的には工学というものが社会の中でどのような役割を果たすべきか、また地球環境との調和をどのように図るか、を常に意識しながら取り組める研究をしてみたい。

自分の生涯の学習の中での極限を見極めたい。そして、自分自身の限界を超えて、新しい自分の可能性を見つかけたい。日本屈指の京都大学で世界トップクラスの研究に従事し、新たな発見などをして、日本の科学をもっと発展させたい。

社会に出て働くのに必要なレベル以上の高いレベルの知識、技術を得るための学問を求め、機械工学に関する幅広い学問を学んでいきたい。

専門的な知識、経験を積み、幅広い視野で物を見る姿勢を身につけたい。航空や宇宙に関する事を学び、その

知識や経験を実際に活かして、色々な事をしてみたい。
視野を地球規模に広めて、色々な事を研究していきたい。
自分の興味のある分野に対して一層興味を深められれば良いと思う。具体的には航空、宇宙の分野が以前から好きだったので、これに関する知識をたくさん得られるように、このような分野に取り組みたい。
国際感覚を身につけて、日本だけでなく外国でも通用する人間になりたいので、高校の時よりも外国語に力を入れたい。
京都大学で教授や学生などから様々な刺激を受け、勉強はもちろん、あらゆる事に興味をもって励んでいきたい。機械工学系に進み、研究していきたい。
丁寧に高度な講義。世界的に最先端の内容に関する講義。
理数系の科目だけでなく、文科系の科目も積極的に学び、文系の立場からも物事を考えることができるようになりたい。また、京都大学生であることに誇りを持ち、その自由な校風を生かして大学では学べない事に関しても独学していきたい。
理系内容だけでなく人文系の内容もバランスよくとっていきたい。特に環境問題に関するものや環境問題に取り組むために必要な事、または役に立つと思うことを学びたい。
レベルの高い授業を聞きたい。
将来、仕事に就こうと思う分野の知識を深め、実験、研究などに取り組んでいきたい。また、多くの人と接し、素晴らしい人間関係を築き上げていきたい。
将来エンジニアとして働くために、専門的な知識や技術を身につけたい。
最先端の講義が受けられるので、4年間で人間として大きく成長するため積極的に講義を受けたいと思う。
幅広い教養を求め、勉強だけでなくスポーツやバイトなどとの両立に取り組みたい。その中で、社会に出ていくために必要な能力を得られるように努力したい。
自分にはないものを求めて、それに対して正しいか妥当かを常に考えて自分の幅を広げたい。
新しいものに出会い、そのものへの自己の適応能力を高めていく。また、自分の真の力を見る。
優秀な先生方が多数おられるので、高度な授業を受け、それを自分のものにして、人間的な成長を目指したい。
また、様々な先生と接する中で、自分に合った専門分野を見つけたい。
専門的な(解読不可)満足感、楽しさ。何か打ち込めるものが見つかればと思う。
京都大学では知識、人徳を求め。取り組みたい事などは詳しく考えていないのが現状であるが、今は勉強をする事、運動をする事だけ考えている。
色々な人と出会って、世界を広げたいと思う。
自分の興味のある事とことん追求出来る環境を求め、それを追求したい。
自分の尽きない興味に挑戦したい。
自分の興味のある分野はもちろんのこと、今まで興味の薄かった分野についても幅広い知識を得、その上で自分の目指す研究を取り組みたい。
広く学問的な知識を得、いわゆる専門バカではなく、幅広い視野を持ち研究に取り組むために必要な素養を深めたい。
国立中学、高校に通っていて自分が身を置く環境の重要性を感じた。京都大学に入学して、優秀な人たちの中に自分も身を置き、共に成長していけたら良いと思う。
自分の目指す夢に向けて、出来るだけの努力をする。基礎をしっかりと。京大に入ったことを後悔しないような生活を送りたい。(今は少し後悔している)
自分の持っている能力を最大限に引き出して欲しい。そのために自分も京都大学を大いに活用するつもり。
特に自分の興味のある専門科目を深く学び、将来研究するための知識や技能を身につけたい。
知識を増やすと共に知性に磨きをかけたい。今は漠然と機械に関連した職につきたいと考えているが、4年間、色々な事を知り深く考え、さらに自ら働きかけることでそれを具体的にしていきたいと思う。また、サークル・バイト活動を通して様々な社会経験をし、交友関係を広げていきたいと思う。
新しい分野を始めて、いろいろな事を学びたい。
自分の夢を実現させるために自分にとって何が必要であり、何が求められるのかを知りたい。自分の追い求めることだけでなく、様々なことについて学びたい。
深く幅広い知識・教養・素晴らしい人間性。自分が興味のある、役に立つ高度な事。
勉学。クラブ活動。
将来、研究などをする時のために下地作り。他人との交流において、知識を深めたり考え方の幅を広げる事。
将来に何をしたいか詳しく見つけられてはならず、今は漠然と機械に関する技術者や研究者になってみたいと

いう思いしかないので、自分が一生打ち込む事が出来るものに出会うための場を京都大学に求め、文理問わず様々な科目に挑戦したり、教官と接する事で、自分のやりたいことを見つけていきたい。

将来、外国へ行き、そこで生活し、その地の人々と会話しても恥じる事のないよう、専門分野に限らず、哲学・思想・法・政治等に関心を持っていたい。時間の制約上それら全てを履修することが叶わなくても友人等から学びたい。そういった意味で様々な方面にアンテナを張ってほしい。

今までに感じた疑問や関心について学べれば良いと思う。それ以外にも新しく興味が持てる事を探して深く理解出来るようになりたい。実験や実習も楽しみである。

今、いくつかある自分のやりたい事の中で、将来、進む道を見つけてその分野を深く学んでいきたい。知的興奮をたくさん味わいたい。

専門的な研究、技術力、深い教養を求め、優れた工学研究、特に宇宙開発に取り組みたい。

今までは受け身に近かった学習を自ら進んで受ける学問にまで高めたい。

専門科目を深く学ぶ一方で、それ以外の教養科目にも幅広く取り組み、「専門バカ」とならぬよう生きていく糧にしたい。

高校までで物理（特に原子関係）の事についてあまり学習しなかったので、もっとくわしく学びたい。あと今まではあまり実験等をしていなかったで、身の周りの物理現象と理論との関わりを確認したい。

大学でしか学べないような事を学びたい。

自分が興味を持っている物理について理解を深め、最終的に何か人の役に立つものを開発出来る能力を身につけたい。特に力学やナノテクに興味がある。

実際に使われている最先端の理論を学びたい。

今までの高校生活とは違って自分から進んで行動を起こしていけるようにしていきたいと思う。また、積極的に講師やサークルの先輩などと話して、視野を広げていきたい。

自分には才能というものがかけてもなく、努力するといっても「死ぬ程」したこともない。20年弱「早寝、早起きで規則正しく毎日少しずつ」をモットーに生きて来た。京大で1番獲得したいと思うのは創造力である。自分自身で道を切り開き、独創的な考え方で前進するという研究者にとって最も重要であると考えられる力である。しかし、独創性、自由な考え方、といっても基盤、土台がしっかりとしていないと自由な考え方をしていくつもりがあらぬ方向へ向かっているという事になると思うので、まず学部生活4年間で「真似ぶ」かつ「考える<自分の頭を使って>」ということ念頭において学問を行なっていこうと思う。今、将来専門分野にしたいと考えているのは複雑系<complexity>である。まず、最初は知能に興味を持った。きっかけは京大の数年前の後期の問題で「ロボットが人間のように滑らかに動く事が出来ないのは、我々が我々人間の脳内を解明できていないからであり、脳のシステムは数学的、工学的に数式で表せる」というような内容を読んだ事からである。また、後に創発<emergence>の論文を読み、アリの例にとったその説明に感銘を受け、これは知能と関係があると思った。その頃に複雑系を知り、これだ！と思ったので、これを学びたいと思う。

将来やりたい事が決まっているので、それに関わる知識を中心に、それに携わる環境で勉強したい。それ以外には自分の興味、関心を持てる事を中心に勉強したいし、それが自分の身になるようにしたい。せっかく入った大学なので、無駄には過ごしたくない。

自然科学分野だけでなく、人文科学の分野も幅広く学んで統合的にバランスのとれた人間になりたい。そのために日々勉強を怠ることなく、積極的に色々な事に挑戦していきたい。

理系科目だけでなく、興味のある歴史（特に日本史）についても学んでみたい。理系科目では核融合やプラズマに関連した授業にも積極的に出て、外国語では英語をペラペラに話せるように使いこなしていきたい。

現在は主に機械系を考えているが、将来の進路を決定することが第一。さらに、より専門的な研究などを行ないたい。

求めるもの：自由と充実した環境（施設など）航空に関する分野の素養を深めたい。

最先端技術。特に宇宙関連のことに取り組みたい。

高度な知識と応用力を求める。物事を色々な面から考えられるよう知識の多角化をしたい。

将来、研究者になりたいので、自然科学の分野でいろいろな事に触れたい。特に人の役にたつような研究内容を見つけ出したい。そのための高度な知識を身につけるよう努力する。また、海外でも研究できるよう留学等も体験したい。

将来、学問の道で食べていく上で必要な専門知識。すなわちこの分野に関しては誰にも負けない。そんな力の基盤の形成に役立つハイレベルな講義。高校過程では扱わなかった高度な数学（微積等）を用いて宇宙関係の物理学（特に力学関係）に触れて、勉強していきたい。

知的興奮を求め、大いに勉学に励む。

今までより専門的に学んで、実践的な知識を身につけたいと思う。

将来、社会に出た時に京大で学んで良かったと思えるような知識や技術を身につけたい。それと学業だけでなく、色々な人生、経験を積み重ねたい。

将来の仕事に役立つ知識を得るのはもちろん、この大学に入ったからには、日本国内や世界の中で有名な先生方の様々な考えを聞き、社会に出た時に生かす事が出来るようにしたい。

数学、物理学の基礎をしっかりと身につける。好奇心を持って何が解決されるべき問題で何が本質であるのかを自分で見極める。自分にとって普段なじみの薄い分野について見識を広めていく。

自分が何をしたいのかを発見すること。

中学、高校を通して得られなかった、生きる目的、生きがいというものを最初に求めたい。その上で自分の思考力、興味で満たしていただけるようなことを学びたい。とにかく生きる目的を見つけなければ。

これまで体験したことのないことをして新たな世界を発見したい。

とりあえず部活動などを頑張ろうと思う。

京都大学には充実した外国語教育を求めたい。英語はもちろん、第二外国語の取得にもつとめたい。また、パソコンを自由につかいこなせるように頑張ろうと思う。

勉学面においては将来やりたいことを改めて考え、その分野での深い社会に出ても十分に使えるものを学びたい。信頼出来る友人関係を持ちたい。

自分のやりたい事、具体的に言えばロボット関係、宇宙関係の知識と経験を得たいと思う。また遠隔操作出来るロボットなどを実際に作ってみたい。また情報の仕方を学びたいと思う。

航空宇宙工学に興味があるので、それを学ぶための基礎となる学問を学んでいきたい。他にも専門的なものにこだわらず、あらゆる分野の知識に幅広く触れてみたい。もちろん学問以外でもやりたいことはたくさんある。以前から興味はあったが、受験のため高校で学べなかった分野の知識を得たい。

今の時点で最も興味を持っている分野が本当に自分に適したものであるということを確認できるような学習に取り組みたい。あるいは他に興味のあることを見つけたい。本学の自由の精神に基づいて自ら学ぶという研究者の精神を身につけるための努力もしていきたい。

物理学を学んで、興味ある分野を見つけていきたい。

高度な学問。

諸先生方の熱心な指導を求め、自分の興味のある分野にまじめに取り組んでいきたい。

勉強とスポーツの両立、自己の確立。

国際性を求め、英語をしゃべれるようになりたい。

機械工学の知識・技術。色々な人に会い、色々な考えに触れたい。何か自分の手で作りたい。

産・学・官の関係に縛られる事なく、「自由」に研究の出来る環境をつくり、維持して欲しい。学問をおろそかにせず、1、2年の間は人間関係を大切にしていきたい。将来的に創造的な仕事をしたいので、それを可能にするために京都大学で得られる知識を身につけたい。高校時代、触れることのなかった自然における根幹的な原理、真理を学びたい。宇宙や量子論など。

環境を第一に考え、地球のためになることをやっていこうと思う。そのために、京都大学で必要な知識を学び、役立てていきたい。

幅広い分野に興味を持ち、それらの分野について少しでも多くの知識を得たい。

教科書や参考書などに載っているような知識だけでなく、京大だけでしか得られないような知識を吸収出来るような授業をして欲しい。そしてそのような研究をしてみたい。

研究に必要な幅広い基礎知識を身につけたい。

学び、学び、学び、時には遊んで、また学び、充実した生活をし、良き日本人となり卒業する。

最近、映画等で大きな役割を担うアニメトロニクスやSFに出て来る様なロボットに憧れ、工学の道を歩みたいと志望した。少しでも、その憧れに貢献出来るように学問にアプローチしたい。

様々な分野の知識を求め一方で、自分の学びたい分野についても進んで取り組んでいきたい。

求めるもの：充実した施設 取り組みたいこと：学問の探究

今までの（途中解読不可）派手な生活から抜け出し、物理的にも精神的にもより自立した積極的な生き方への転換期として頑張りたい。

京大でしか受けられない講義を受け、専門知識を身につけ応用したい。

幅広い知識の取得。自分が進んで取り組めるものを探す。人間形成。

高校の時から、ずっとロボットを作る事に憧れていた。幸いに京都大学にもロボティクスに取り組んでいる方がいらっしやるので、それを学びたいがために京都大学に入った。ぜひとも、この大学での4年間、目一杯学

び、世界に誇れるようなロボットを作れるようになりたい。
将来、自分の専門とする分野を見つけるために、多くの人話を聞いて多くのことを学んでいきたい。
専門的な知識に触れることによって、自分の関心のある分野の知識を深めたい。
勉強を含め、色々な事を学んでいきたい。
機械の勉強をしようと思っている。また、実験があれば出来るだけ参加したい。その気になればなんでも勉強できる所であると思っている。
自分の興味のある事の知識を深める。就職するために必要な知識や幅広い知識を身につけて、知識豊かな人になる。たくさん知人を作りたい。
大学生の間でしか出来ない事、具体的にはアルバイトや部活またはサークル活動等を存分に味わいたい。また、今まで受験勉強のために、なかなか色々な分野の情報を得る機会がなかったので、大学生活の中で、本を読むなり、旅行するなりして様々な教養をもった人間になりたい。
専門分野において、指導的立場で活躍出来るような能力を見極め、それを習得したい。また、国際的なコミュニケーションが出来るような能力も習得したい。具体的には外国語での会話、研究発表、協同研究など。必要だと感じるものがあれば、その都度、積極的に学んでいきたい。
今のところはエネルギー関連に興味があるが、色々な研究や授業を通して、自分の進路を決定したい。
何事にも幅広く取り組んで、精神的に成長したい。
一度聞いたら忘れられないような講義を求める。
社会で役立つ知識と専門的な知識。ほどよく学んでほどよく遊ぶ。
専門的な知識と広い分野における基礎を学びたい。とにかく真剣に講義を受け、様々な面で将来に役に立たせることが出来るよう努力する。
早く自分のやりたいことを見つけて、それに対する知識を深めていきたい。
友達、遊び、スポーツももちろんやりたいが、勉強もしっかりして熱中できるものを見つけたい。
高校までの受け身的な授業ではなく、疑問などは限界まで探究したい。特に理系科目(物理など)で高校理科の時に習った事をさらに深く勉強していきたい。同時に人文・社会科学系の科目も多様に履修し、視野を広げていきたい。
専門的な技術や知識。また、様々な人との人間関係などを求め、実験などに積極的に取り組み、サークルも自分にあったものを探して入りたい。
生きていく方向、理由を見つけたい。見つかったら、それについて必要な知識、技術を得たい。
勉強はもちろんのこと、スポーツにも取り組みたい。
将来はロケットの開発に携わりたいので、そのための高度な基礎知識や幅広い知識を得たいと思う。
様々な地域出身の人と交流を深め、人間としての幅を広げ、感性を磨きたい。高校とは違い、自分の興味ある分野を深く追求したり、実験や研究を通してより実践的な知識を身につけたい。
今の自分になり新たな分野の開拓と専門的研究。
知識、教養を身につけ豊かな大学生活を送れるようになりたい。一言でいうなら楽しくありたい。
小学生の頃から一つの夢を持っている。それはいつかロケットを飛ばしたいというものである。大学まで頑張ってきた事も、これからの事もこの夢のおかげである。これからは技術者として自立できるように頑張りたい。環境が整えられている中で、自分を見失わないと決心している。航空、宇宙の図書館で、これまで以上に科学書に触れ、経験していきたい。語学を自然に使いこなせるように学びたい。目標は NASDA、NASA、ESA!! 何よりも、今の気持ちを忘れずにやっていきたい。
色々な人と知り合いたい。
将来的に宇宙開発事業に携わっていきたい。専門的学術知識の習得。宇宙開発における倫理面の考察を当面の目標とする。
幅広い教養を身につけるために、積極的に講義などに参加したい。
高校では積極的に勉強しなかったので、大学では能動的に学びたいと思う。大学がそういう意欲を受け入れてくれる場であると思っている。
今までは、どちらかと言えば勉強させられてきたが、自発的に研究をするように学ぶ事の楽しさをもっと教えて欲しい。
質の高い講義、豊富な資料を活用し、知力の向上に努めたい。
今まで夢見て来た SF のような装置を実現するため、その技術の基礎を学びたい。
機械に関する知識や技術といったことを修得したい。それが主としてあるが、その他にもなるべく幅広く学んでいきたいと思う。教養教育を積極的に生かしていきたいと思う。

自由な校風のもとに、専門だけではなく、一般的な知識も学んでいきたい。

自分の中にひとつ、この分野なら大抵の人には負けないという分野を作りたいと思う。

自分が学びたい事を学べる環境を求め、幅広い考え方や知識を身につけることに取り組みたい。

信頼できる人間関係を築くこと。また、3年目に入るまでにしっかりと勉強して、希望通りのコースに入り、その後、宇宙工学を学びたいと思う。そのための基礎を2年間でしっかりと積み上げたい。

将来、航空系の分野で活躍していくために必要な基礎知識を自ら積極的に自学自習していきたい。

将来の職業や生活を充実させるものを求め、幅広い分野にわたる教養を身につける事に取り組みたい。

物理と数学の専門的で今の自分にとって未知な領域をじっくりとつきつめて、将来最先端のところで活躍できるような人間になれるように努力する。まず、英語を究めて、第2外国語も使えるようにする事で、外国の優秀な人々と関わり、国際的に活躍できるように努力する。

自分にしか出来ない事をまず見つけ、エキスパートになりたい。また、目標なども決まっていないので、色々模索する。

自分が興味をもち、(途中解読不可)と思った事に素直に取り組んでいこうと思う。

勉強、スポーツに熱心に励み、また、よく遊んで友人を多く持ち、人間としてレベルアップしたい。また、出来るだけたくさんの事を経験したい。

豊かな人間関係を築きたい。航空宇宙工学を勉強していきたい。

物理、数学等の分野の理解を深め、航空宇宙工学の分野に取り組んでいきたい。将来的に宇宙航行機等の製作に関わる技術を身につけられるよう、京都大学で勉学に取り組みたい。

航空宇宙工学を学びたいという漠然とした動機を持ったまま京都大学に入学した。しかし、それはただ飛行機やロケットが好きだというだけで何も自分で詳しく調べてみようとしなかったからではない。受験時代にインターネット等、可能な限りの手段を使って航空宇宙工学について調べてみたが、内容が高度過ぎて違いがはっきりと理解できなかったからである。今、思えば愚かな話であるが、本屋に専門書を見に行った事もある。当然、理解出来なかったが、収穫はあった。まず、この本が読めるようにならないことには航空宇宙工学がどのような学問かもわからない、まず基礎的な(今の自分には難しいが)数学や物理を身につけなければという事がわかった。さらに今回のガイダンスを受講し、人文科学系の学問も自分には必要だと言われたので、力を入れてみようと思う。大学院での本格的な学問への基礎を養いたい。

言語能力を高め、外国人と上手にコミュニケーションがとれるようにしたい。

流体力学、構造力学を学びたい。理論と実際のどちらかに偏る事を避けたい。英語で口げんかが出来るようになりたい。

航空宇宙工学を学び、ロケットや人工衛星などを作りたい。

今まで知らない、あまり興味のなかった世界にも触れてみたい。また、高校時代には、やりたくても出来なかった事をして、一生の人生の糧となる事を見つけた。

最高の学習環境。革新的なものを生み出すための勉強。

幅広く勉強して、本当にやりたい事を見つける。

将来、研究者になるために必要な知識、教養を身につける。また、語学力を身につけ、国際感覚を養う。

新しいものを作り出すための能力の修得。

高度な専門知識を求め、伝統的な「自由」な校風を十分に利用していきたい。

幅広い分野の知識を取り入れていきたい。

専門的な知識と幅広い教養を身につけたい。大学には学ぶために来たので、授業に積極的に臨む。大学生生活を充実させるために部活動に入り、文武両道を達成したい。興味のある様々なものから自分に最も合ったものを見つけ、それに関連した職業につけるように努力したい。

高度な施設、環境、教授等に囲まれた中で幅広い知識や教養を学び、自主的に行動(途中解読不可)な人間になるように努力したい。

何をするか決めてはいないが、自分の関心を引き、一生をかけて取り組む価値のあるものを見つけたいと思う。まず、そのために数学、理科の基礎固めをする。

将来、物作りに携わる仕事がしたいので、その基礎となる知識を得たり、高度な先端研究に触れてみたいと思う。具体的には輸送手段関係の研究を見てみたいし、関わることが出来れば幸いである。また、新しい友人や教官と出会ったり、今まであまり取り組まなかったスポーツ系のクラブに参加して自己を成長させたいと思う。高校では出来なかった深い学問と、専門分野に特化した学問を学びたい。

工業デザイン関係のことを将来やりたいので、大学ではとりあえず工学の基礎を学んで、あとはいかに人間に優しく、かつ美しいものを造る術を学びたい。

高校の時から大学では物理をやりたいと思っていたので物理について学習したいというのが第一にあるが、他にも数学など主に理系の分野に興味があるので、高校の範囲を越えたもっと深い知識を得たいと思う。高度な内容の教育。それを自分のものにし、自分が行なう研究に役立てていきたい。また、世界レベルの研究者とも関わってみたい。勉学にはもちろん力を入れたいが、サークル活動やバイトなど、人生経験を増やすためにやっていきたいと思う。勉学の面では、物理系、特に宇宙関係の事を学びたいと思う。

Q. 2. 本日の全学共通教育のガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか。以下のとおり（ :男子、 :女子）

大学でしか学べないことがたくさんあるとの事なので、それらをこの4年間で頑張りたい。
科学的教科では、さらに発展した科目をとり、自分の知識を拡張させ、文化的教科で教養を身につけたい。
理系なので教養として必要な文系の学問を学びたい。理系でありながら文系の知識も非常に深い、そんなマルチな人間を目指したい。
高校で興味があった世界史分野の発展科目。また宇宙系以外のB群も出来れば取ってみたい。例えば化学系など。語学は第2もだが、英語を父と並べるくらいまで学びたい。
これから考える。
過去の人々の考え方などを広く知り、考えたいと思ったので倫理学や歴史を学びたい。
哲学・心理学。
常識的・良識的かつ柔軟な思考が出来る人間になるよう専門科目にこだわることなく、人文、語学など幅広く熱心に勉学に励みたいと思う。
優れた研究者および高度な専門能力となりうる技能を学び熟成させたい。
広く人間にかかわるようなことを幅広く、豊かに（学びたい）
将来の専門研究のため、今、基礎知識を学びたい。それに専門以外の知識も学びたい。自分の頭を充実するため。
人文・社会科学にも力を入れ、また理系の科目も幅広く学びたい。
自分のこれからの生き方および考え方に役立っていくような事を学んでいきたいと思う。
自分の幅を広げられるように色々な分野のものを受けていきたいと思うが、数理科目や語学で手一杯になりうるかもしれない、出来るかどうか...
個人的に興味のある歴史、芸術。B群の中でも物理工学科で課せられる以外にも建築や運動科学など。
社会の現状。科学の社会におけるあり方。豊かな人間性とは何か。これからの社会に必要なもの。地球社会の一員として、人間としてのあり方など。
理系科目では指定科目を中心に物理学や微積分をマスターし、文系科目は思想や文化について学びたい。
歴史。日本語以外での授業。KUINEP等で異文化のこと。
自分の考えを持って考える科目を選んで、自分の独自の視点をしっかりと持てるような科目。
人文系のことをしっかり学びたい。
自分が生きている理由を見つけられる講義。
地域文化系の学問、他国の文化に興味があるので。
一人の人間として社会についてよく知るために現代国際政治論、社会学基礎論など教育関係として教育学基礎論などを学んでみたいと思う。
文武両道を成し遂げたい。
数学と物理の基盤知識を十分に身につける。将来専攻したい科目の授業を一つ二つとって外国語の面もしっかり勉強したい。趣味としてスポーツの授業を楽しくやって興味のある人文科学も（学びたい）
文理関係なく幅広い分野について学びたい。特に外国語については力を入れたいと思う。
高校の時には学ぶことの出来なかった事を学んでいきたいと思う。
工学的なものをやってみたい。
自分の興味を広げ、人格を成熟させる。浅く広く学習する。
広範で、かつ深い知へのアプローチをしたい。
留学生なので、哲学、社会学などだけでなく日本の文化、歴史なども学びたい。
理系である工学部なので多元的な視点で思考出来るようになるために、文系科目を学びたい。特に現在、日々話題となっている経済の問題などには興味がある。

一步深く踏み込んだ知識。
文系科目にも力を入れ、幅広い素養を身につけたい。
理系に属する分野はもちろんのこと、人間性を豊かにするような勉強もしたい。
具体的に何を学びたいというのは無いが、興味を持ったものから進んで学びたい。
A群について。世界のトップレベルの学に触れてみたい。
具体的にはわからないが、日本の文化、外国語やその国の文化、風俗、習慣などを詳しく知ってみたい。主にスペイン。
短期間ではあるが、初めて習うドイツ語を日常会話ができる程度まで上達したいと思う。理系の分野だけでなく、A群の授業も積極的に取っていききたい。
興味はあるが、文系なので、取れそうもないような科目。
外国語を学ぶことによって、どんな新しい視野がどのように開かれてゆくかわからないので、まず、それを知りたい。また、その新しく開かれた視野をもとにして、自分のやるべきことを見定めたいと思う。
知的な興奮をかき立てるようなことを学びたい。
外国語。
政治、経済など実用的なもの。哲学など考えさせてくれるもの。詳しく勉強してみたいと思っていたもの。
高校での世界史の授業が楽しく、非常に好きだったので、世界史の事が学べたらと思う。また、文化についても興味があるので、様々な国の文化が学べればと思う。
科学史、哲学、神話学、文学、倫理観。
人文、社会科学分野の知識が欠落しているので、そこを補っておきたい。それと同時に将来自分の選択するであろう分野の基礎をぬかりなく固めておきたい。
人間科学、心理学など、生物科 主に脳や神経に関する内容。
外国語はもちろんの事、他国の文献に多く触れたい。また、ただ訳すような読み方ではなく、言葉のもつニュアンスすらも理解できるようになりたい。
先人が蓄積した知の体系に触れる。趣味的探究の充実。
知らなくても生きていけるが、知っていたら得するような事を学びたい。
世界の平和のために役立つような世界観について学びたい。
人文系にも積極的に取り組んでいきたい。
哲学など高校までで習えなかったものを学んでみたい。
文系科目など自分の専門としていく事以外の科目。
経済学、哲学、その他面白そうなもの。
歴史と哲学と物理系の本を読むために必要な数学と物理の基礎。
量子力学などのミクロな科学。
自分の専門以外の理系科目を学んで知的好奇心を満たす。
色々。
まだ、わからない。
理系なので人文・社会系を学ぶ機会はこの先ほとんどないので、幅広い教養を身につけるために興味を持ったものをどんどん学びたい。
専門的なものにはない、教養として今しか取り組めなくて自分に興味のあることを学んでみたい。
理系だからといって理系科目にこだわらず、文系だからといって文系科目にこだわらず、両方を身につけていきたい。
単位や理系・文系、専門にとらわれず興味を持った対象を深く学びたい。教養教育を受ける間に広い視野で考えることができるようにしたい。
せっかく京都大学にきたので、哲学などをしたい。
理系分野のみにとどまらない、国際人としての常識。
社会に出た時に通用する広範囲の知識。
自分の専門分野だけではなく、経済など世の中を見るのに広い視野をもてるに足る教養。
自分の領域を広げるために第二外国語を熱心に学びたい。
科学的な発展、発達を社会的な立場からも考えていきたい。
今の自分より上の自分になれるような事。
哲学や芸術といった人文・社会科学系のもの。
美術、芸術に触れ、芸術作品をより深く味わうことができるようになりたい。

語学（特に第二外国語）、歴史や地理や社会についての知識。理科系の基礎知識（特に数学）、コンピューター技能。スポーツ。

将来、役には立たないかもしれないが、おもしろそうな事。文系科目。

文系科目。

高校では、与えられるままに授業を受け、勉強していたが、大学では自主的に勉強しなければならないので、自ら進んで何かをするという力を身につけたい。

京都大学に来たからには、内容の濃い、高度な授業を吸収し、人文社会系の授業は受ける機会がないので、おろそかにすることのないようにしたい。もちろん自然科学系の授業も頑張りたい。

理数系科目に関する高い知識。日本史。

以前から興味を持っていた事を多分野にわたって学びたい。

今まで、あまり学んだことがなく、今から科学に深く関わっていく上で哲学的なものを学びたい。

A群科目を中心として幅広い教養を身につけると同時に、自分の興味ある専門的なことにも役立つように、学んだことを活かしたい。

まだわからない。これから色々な授業を見学したり、内容を吟味して学びたいものを発見しようと思う。

地域文化というものを知らな過ぎるので、色々な地域の人々の考え方や慣習といったものを学んでみたい。特にイスラム圏やアジアの事をもっと知りたい。

理系であっても、文系科目の教養を備えていわゆる文化人になりたいと思う。理系の可能性を文系科目から発見したいと思う。人文学や健康科学(?)にも興味があるので、少し学んでみたい。

自分の進みたい道以外にも様々なことに興味をもって学びたい。

英語や英語以外の外国語など。

幅広い知識を得るためにも専門的な事を学ぶためにも英語だけに限らず外国語をしっかりと学びたい。

これからの国際社会で幅広く活躍出来るように、語学文化などもあまり好きではないが、逃げずに頑張って学ぼうと思う。

1つの学科に限定することなく、総合的な学習をしたい。また、英語講義というのも1度は受けてみたい。

工学系はもちろん、その他のあらゆる分野について学びたい。法律や生物など、興味のあるものはどんどん学んでいきたい。

自分の学部に関することだけでなく、広く自分の将来の研究に活かしていけるような事を学びたい。

日本だけでなく、他の国の文化や社会についても学びたい。

人文系では地理や経済や行動学を学んでみたい。他に、余裕があれば哲学・世界史も学んでみたい。

歴史など。

工学系の分野だけでなく、多岐にわたる分野において知識を深めていきたい。特に人文系について学び、今までの狭かった視野を広げていきたい。

社会に出て役に立つ、幅広い一般教養を学びたい。

高校の時には学べなかった事をたくさん学びたい。一つ一つの講義を大切にしていきたい。

今まで触れることのなかった分野で、実用性とは関係なく面白く興味のもてることを学びたい。

今まで知らなかった新しいもの。これから基盤になり得るもの。

幅広い分野に精通した人間を目指すため、自然科学系以外の科目も学びたい。そうすることでより専門分野の理解も深まるはずだと思う。

理系の勉強が大事なのは最もだが、将来の社会生活の中で京大の先生方に教わる文系の授業が非常に役に立つと思う。正しい倫理観を身につけたい。

色々な分野を広く、浅く。

幅のある知識とそれをいかす頭の使い方。

世界史をさらに深くやれたら良いと思う。

高校の時、世界史をとっていたので特定の地域の歴史をもっと深く学びたい。

1、2回生のうちに哲学など自分の「隠れ文系」的な面で学びたい。

今まで自分があまり興味を持っていなかった文系科目をあえて学びたいと思う。

科学技術を社会学的な視点から評価してみたりすること。あとは哲学など。

自分が履修したいと思っていた専門的な教育が、初めから学科の指定科目に入っていて安心した。A群で法学を学んだり、B群で専門的な数学、物理を学びたいと思う。

理系専門人ではなくて、幅広い知識を持ったオールマイティな人になることができるように学びたい。もちろん専門的な知識もしっかりと学ぶようにしたい。

哲学、歴史、芸術などを学び、色々な事を深く考えることができるようになりたい。
専門科目ではないが興味があり、それについて知りたいと思うもの。自分の生活の中で深く考えさせられる事。
心理学、経済学、法学。
大学でしか学べないような事。
今まであまり学んでこなかった事についても、意欲をもって学びたい。
将来において後悔せず役に立つようなこと。
自国や他国の歴史や文化。
世界の歴史。特に戦争など科学が悪用されてきた事を繰り返さないために、学んでおくべき考えられる分野。
ポケットゼミで対話の中で勉強していく力を得たい。文系科目（特に社会）を学んでみたい。使える語学力を身につけたい。
まず専門分野への入口として数学には力を入れたい。そして、語学力を磨く事に時間を惜しまないようにしたい。後は興味のある分野の諸々の事柄を学びたい。
理系科目以外の哲学、思想等を学んでみたい。将来専門とする科目以外の事をたくさん学んでみたい。
環境のこと、生物のことなど、理工以外に自分が興味のある分野を学びたい。
社会科学よりも人間行動学などの根源的なことを学びたい。
工学系の授業は言うまでもなく、A群と呼ばれている人文科学系の授業も楽しんで受けたい。自ら興味のある人文科学系の学問は何かを見つけられたら良いと思う。
今まで歴史や社会科学系列に興味を持って来たが、それ以外にも哲学や思想について学びたい。
物理、化学、数学について詳しく。特に量子力学などについて詳しく学びたい。
社会、経済を学問の面から学びたい。
文系科目は今までじっくり学ぶ事が少なかったので、文系科目も深く勉強してみたい。
今までほとんど触れたことのない哲学などを学んでみたい。
学科で決められた科目はもちろんだが、1、2回生でしか学べないA群の人文科学系の科目に頑張って取り組みたい。
理系ながら思想に興味があり、ルソーやマルクスなどの西洋思想を中心に、その背景となる世界史を学びたいと思う。
外国語。
人文科学の分野では歴史、考古学など。自然科学の分野では高校では習わなかった生物学を学びたい。
総合的に幅広い知識をもって人間性を高めたい。
専門的な研究等を行なうために必要な基礎知識、そして自分の知的欲求を満たす事柄を学びたい。
人文科学も自然科学もバランスよく学びたい。特に高校時代に歴史をやっていなかったので、歴史に関する事を学びたい。
自然科学だけでなく、歴史にも力を入れて学びたい。
自分にはない考え方を学びたい。
将来、しっかりした考え方を持つため、哲学を学びたい。
自分は工学部なので理系に属しているが、文系関係の人文系も学び、一人間としての知性を向上させ、考える力を養いたい。
対話を根幹とした卓越した知の継承と、創造的精神の涵養を目的とする学問。
全く違う分野を学ぶ機会は少ないと思うので、歴史なども世界を広げるために学びたいと思う。
外国語を学び、将来、外国語に不自由する事なく生活出来る程度まで外国語の力を高めたい。
日本史や物理、化学系の専門知識。
とにかく幅広く色々な事柄に触れて、それについて考える時間を作りたい。外国語などの基礎的な教養をしっかりと身につけたいと思う。
自分が興味を持っていて疑問に思った事。
全学共通科目履修などを書くことのように、自分の頭の中でよく考える習慣を身につける。そしてわからないあるいは疑問に思うことは誰かに聞くという「対話」が出来る方法を学びたいと思います。
自分には縁がないと思っていた事。
外国語が大事みたいなのでしっかりやろうと思う。
文系科目も軽視せず勉強しようと思う。心理学や法の勉強などを学んでみたい。
自分の興味のある経済学や哲学など。
とりあえず外国語は英語の他、中国語とフランス語を学びたい。自分の好みによるが、哲学、宗教の概念的な

事も学びたい。

外国語は絶対に真剣に取り組もうと思う。他にも人文・社会学系の講義は、これから学ぶ機会もだんだん少なくなると思うので、よく考えた上で必要なものを学びたい。

専門分野以外の科目。

数学、物理などの理系科目は工学部科目としてずいぶんあるようなので、それらを通じて将来の基礎を築くとともに教養科目の中で社会問題などについて知る機会を持ちたい。学問相互の境界がなくなりつつある時代なので高校でも扱われなかった分野に手を伸ばすのもいいと思う。

外国語をしっかりと学びたい。

まだわからない。

高校までの詰め込み型の教育ではなく、より高度で幅広く、自由な学問を学びたい。

自然科学系の学問と語学を真剣に学びたい。

材料学、英語。

哲学、心理学を学んでみたい。

地球の環境問題に対応するような、機械工学またはエネルギー工学を学びたい。

高校時代、世界史を選択していたが内容が浅かったので、深く学びたい。

国際社会の中でコミュニケーションをとる必要があるので、言語を学んでいきたい。

少しでも興味のある学問を学びたい。

工学部らしい科学的な内容の講義だけでなく、文学などの他系統の学問を含め、幅広く学びたい。

地球全体の調和を保つ事を考えられる教養。

哲学または歴史。

理系学部なので受験終了と共に外国語以外の文系科目とはおさらばだという考えが少なからずあったが、決してそういうものではないということが分かった。むしろ大学に入ってからこそ高等な科目を学べる機会を得る事が出来るのだから。これを機に哲学などを少しでもかじってみたい。

文系・理系に依らずに幅広く様々な分野について学び、人間性を高めていきたい。

自分の進みたいと思っている方向とは違う世界の学問。

基本的な政治経済のしくみを学びたい。経営学に関する講義にも参加して技術と管理、経営の双方の素養を(途中解読不可)...たい。

後に役立つ、人生にプラスとなる事を学びたい。自分が専攻する分野の基盤を作りたい。

自分が興味を持てるもの。理科系の学問。

専門的な事をやりたいために大学に入ったので、どうしてもその方面に偏りがちになり、視野が狭くなってしまっているのではないかと。それを防ぐために全く未知の分野を学んで異質な世界に触れてみたいと思う。例えば歴史や哲学など。今まで興味のなかったことを学んでみたい。

人文分野の科目も真剣に学ぼうと思う。

自分の専門的な分野以外の深い知識に触れ、幅のある勉強をしたい。

自分の考えを豊かにするような事を学んでいきたい。

工学的なもので興味があるものは、色々勉強してみたい。

まだわからない。

自分の専門分野のみにとらわれず、幅広い視野と知識を身につけたい。偏った考えしか持てないのは、人間として貧しいと思うので、色々な意見や教育を受け入れていきたい。

自分の専門分野の専門的知識だけでなく、その分野についての客観的な評価等を学び、その上で適切な判断が行えるような人物になりたい。

主に地理に関する事を学びたい。

工学の専門分野はもちろん、哲学思想や歴史などの人間性を深め、道徳的な成長のできるもの。

説明にもあった通り、幅広く学び、教養を深めたい。特に経済を学びたい。

自分の趣味にあったものと将来役立つであろうもの。

哲学や行動科学などを学びたいと思う。

自分が行く方法とはまた違った分野を学び、幅広い知識を身につけたい。

今しか学べない文系

寄りのもの。

高校までの受験英語とは違った使える英語を英語講義や KUINEP の講義を通して学びたい。物理系の講義には積極的に参加し、将来、研究に役立てたい。

中国史。自然科学系。

自分を高める事。

理系科目を中心に外国語も頑張りたい。

とにかく色々な種類の講義を受けてみたい。

自分の興味のある分野はもちろん、今まであまり興味のなかった人文系の学問にも触れてみたいと思う。

B群はもちろんのこと、A、C、D群についても万遍なく学びたい。

人生の糧となるもの。人生に新たな風を吹かせるもの etc...

フランス語を学ぶことが視野を広げるために役立つことを知り、思想を多様にしたい。教養なのに、どうし専門家が教えるのだろうか...と思っていたが、それが京大なのだと言われ通じてわかった気がする。狭い視野を捨てるように努力する。

外国の文化と芸術。

大学受験の科目に無い分野。

今まであまり触れたことがない人文・社会系のことを幅広く学びたい。

物理・数学以外。

自分のやりたい医用工学はいろいろな分野の知識が必要なので、バランス良く、かつ中途半端にならないように学びたい。

物理学、哲学などを学び、物事存在について考えたいと思う。

工学部(理系)だからといって全ての興味を理系に向けるのではなく、理系の考えに結びついてくるような歴史、哲学、文学などの文系の分野にも手を出して、そこから生まれる新しい「理」のアイデアをつかみ取りたい。

哲学、思想といったものや芸術等に関するものなど、今後学ぶ機会が少ないようなものを積極的に学んでみたいと思う。

今まで自分がほとんど知らなかったようなことを学んでみたい。

専門に関係が薄いことを、より多く学びたい。

専門分野を学び始めてからは学ぶ機会がなくなるものを中心に、広い知識を身につけたい。

「理系」に偏らないで文系科目もしっかりと学び、将来的に有用と思えるもの、または自分の考えが未来展望に良い方向に作用するようなものに触れてみたいと思う。

自分の知識の幅を広げるためにも多くの分野を学びたい。

自分も興味があり、地球社会について考えていくうえで役立つ事。

専門科目にはない内容で、これから学習する機会が少ない、人文科学系の科目。理文関係なく、世界的に活躍している先生の授業に出る。

語学をしっかり学び、自在に使いこなせるようにしたい。数学や物理を詳しくやり込みたい。

理系だということは気にせずに、自分が興味を持ったことは何でもやりたいと思う。

一般教養を広く、専門教養を深く学びたい。

理系の科目より、むしろ人文系の科目をたくさん取りたい。

今ある社会問題について深く考えさせてくれるようなことを学びたい。

語学を確実に身につけたいと思う。また、科学が人間のおよぼす影響等を人文科学の立場から学べるような授業をとれば良いと思う。

高校の時、世界史をやっていたので、その延長となる内容を学びたい。

いわゆる文系の人とも、話が出来るようになりたい。それによって、将来の人間関係を広げる事が出来ると思う。広く、浅く(出来れば深く)色々かじってみようと思う。

心理学をかじってみたい。

国際交流に関する事。歴史上の偉人の思想、信念など。

自分の今までの人生とは全く違った価値観をもつ文化などについて。

西洋史、芸術関係を学びたい。

自分の専門とは関係ないが、個人的に興味のある語学、歴史学など。

歴史等の人間の活動記録。

興味はあるが、今まで手のつけられなかった分野に挑戦していきたい。

人間性を高めるもの。一般的な社会知識。

自分の専門にしようと思うものと他のものを学びたいと思う。国際関係や法律などを学びたいと思う。

全学共通科目の中ではB群くらいしか興味がなかったが、せっかく貴重な教育を受けられるので、今まで興味

を抱かなかつた分野を受講し、教養を広げたい。例えば地理とか哲学とか。
工学部としての専門的な教養学習にとどまらず、文系科目や医科系などの分野も学び、物事を多角的にとらえられるような人格形成に役立てる。
日本史、日本古典文学を通し、昔の日本について、これまでより深く学びたい。東洋史にも興味がある。
世界の根本を構成するものに興味がある。理系でいえば物理学の範囲だが、自然科学の方からは、あまり解明されていない脳の働きや意識というものを、心理学、哲学、宗教学などを通して学んでみたい。
理系にとっておるそかになりがちな人文・社会科学を中心に広く素養となる学問。
芸術関係のことも学びたいと思う。他にも色々と手を伸ばしてみたい。
今まで出会ったことのない考え方を知りたい。
語学をしっかりと学び、その国の人と意志疎通が出来るようになりたい。
自分の学びたい自然科学系のみでなく、人文・社会系の科目も豊富な知識が得られ、外国語も幅が広がると思うので、その方面でも興味のある事は積極的に学びたいと思う。

4) 電気電子工学科 (アンケート提出率 96.4%)

Q.1. あなたは京都大学で何を求め、どんなことに取り組みたいですか。

A. 以下のとおり (:男子、 :女子)

今は分からないが、何か熱くなれるものを見つけて、それに取り組みたい。

新しい多くの経験をし、その中や今までの経験の中から目標となるものを見つけていきたい。その目標を求め、それに向かって幅広い知識をつけ、応用することに取り組みたい。

自分が将来必要になるだろうことをどんどん学びたい。色々難しそうなのが多いと思うが、しっかり学んでいきたい。

専門分野(情報学)の充実した学習、研究。さらに多様な授業(特にA群)に出て、新たに興味を抱くものを見つけたい。

専門知識を学び、大学でのみ学べることを学びたい。

自由と友情。部活や自炊。

詳しいことは分からないが、精一杯頑張りたい。知力だけでなく、人間として大きくなりたい。

専門的知識や人文学社会学などの理系的観点からの考察。

高校までには学べなかった、理系においての専門的な分野や文系の広い分野に取り組みたい。また、興味を持ったものを追求したい。

今まで学んだことのない事。生活に慣れてから新しい事にチャレンジする。

興味があることをして、専門的な知識を身につけ、人間として一回りでも二回りでも出来る限り、成長できるようにしたい。

自分が興味を持っている分野を中心にその他、自分にとって必要だと考える分野を学んでいきたい。

国際的に活躍できる人になるための、知識や技術を身につけたい。自然科学系のコンピュータ等を中心に勉強したい。また、日本史や哲学なども学んで人間としても成長したい。そして自分の知識や技術を十分に発揮するためにも、語学を学び、出来ることなら外国の大学などにも行きたい。外国に行った時、誇りをもって行動出来るようになるためにも、自分の専攻する学問だけでなく、日本の歴史や倫理について学びたい。

大学に入学するまでの学習のように自分のやりたいことと関係のないことも学ばなければならないというのではなく、もっと自分のやりたいと思うことと直結した内容について深く学びたい。

自分が興味を持ったもの、惹かれるものに対して、積極的に接し、学び取ることや、新しい人間関係の構築。環境を守るためのクリーンエネルギーを学びつつ、電気系統の研究をしていきたい。

世界レベルの研究を可能にする豊富な設備と資金を使い、他大学では出来ないようなデバイスの開発。

高校教育における理科系科目の教育を改善するにはどうしたらいいのか、そのための方法を考えたい。(数学、英語と比べ、画一的で抽象的で興味の持ちようがなかったのだ。)

高校で得た数学、物理等の知識をさらに深め、大学でしか学べないことを積極的に学び、社会に貢献できるような研究に関わっていきたい。

高校での勉強のように、知識を頭に入れて、自分で納得して終わるような紋切り型の学習だけでなく、応用を実践できるような学習をやってみたい。京都大学という大きな大学で、広く深い知識に触れて、自分の力で教養を深めていきたい。

創造力をつけていきたい。高校では学べなかったことにも取り組んでいきたい。

今まであまり興味を示さなかった分野も積極的に取り組み、その一方で、自分の目指す専門的分野においては、隅々まで学び、自分の知識をより広く、深いものにしようと思う。

工学の専門的な学習だけでなく、以前から興味があった経済学を学んでいきたい。

卒業後、社会に出て役立つような知識とそれを上手く繰る能力。自分が興味を持った様々なこと。

将来したいことをまだ決めていないので、色々な授業に出て決めたい。

将来就くだろう仕事に役立つような知識の勉強。

コンピュータ、情報処理の知識、方法が知りたい。

夢を求め、自分の本当にやりたいことを見つけるため、偏見を持たず、あらゆる分野に取り組みたい。

最新の科学技術、研究内容などを知り、それに対する知識を深め、自分自身で研究等を通して、新しい発見などをしていきたい。

将来に繋がる教養を求め、自分を確立するように取り組みたい。

適度な一般教養を身につけ、社会に出た時、一人前の人間となれるように勉学に励みたい。特に英語は、社会に出て通用程度までにしたい。あと、大学生活が生き生きとなるように、情熱をささげられるクラブ、サークルを見つけ、取り組んでいきたい。社会勉強のスタートとして、アルバイトも経験してみたい。

電子工学をやりたい。実験等を重ねて理解を深めていきたい。

興味のある分野のことを積極的に学び、人間関係を広げて有意義に過ごしたい。

学問をしたい。広く、深い知識をつけ、世の中に役立つ人になれるように学問をしたい。

専門的な知識や技術をはじめ、自分に役立つものであれば、何でも興味のあることを幅広く。

自分の将来の理想とする技術研究者に近づけるように頑張りたい。具体的には、情報、通信の分野や制御に関する機器システムを開発できるような研究者になることであり、かつ、幅広い視野、考え方を持つ、高い倫理性を持った人間になることである。そのために京都大学に求めることはこのままのスタイルを充実させることだと思う。授業は受け手がいかに積極的に活用するかだと思うし、いかに有機的に身につけるかが大切だと思う。京都大学の特徴は総合大学であり、しかも各学部がどれもハイレベルな研究をされていること、京都という土地にあることだと思う。これらの利点をしっかり活用したい。

専門科目にとらわれず、総合的な学力を身につけたい。そのために幅広い分野にわたる講義を受講しようと思う。一方で得意、専門分野を究めたい。

より高レベルな講義を受け、少しでも多くの知識を身につける。特に外国語、第二外国語。

自分を人間的に成長させてくれるような場を求め、そのためにさまざまなことがやりたい。

世界を渡り歩ける知識と教養。やりたいことは具体的にはまだ決まっていないので、様々なことに取り組んでその中から本当にやりたいことを見つけていきたい。

専門職に就くための専門知識の修得。

自分に出来ること、自分がすべきことを自分でやる器量と、自分に出来ることを自分で見つけ出す想像力、教養、(後半判読不可能)

友人作り。自分の熱中できるものを発見し、取り組む。理系の教養はもちろん、文系の素養も身につけたい。専門的なことを学びたい。

すべての機械の知識を得て、すべての機械を作れるようになり、繰れるようになりたい。

今まで自分がしたことのない新しいことを見つけ、挑戦していきたい。

将来社会に出て役立つようなことに取り組んでいきたい。

今までは理系科目に偏った学習をしていたので、社会等を学び、教養に幅を付けたい。

世界を震撼させるような最先端なテクノロジーに取り組みたい。

ラグビーをやるつもりだったが、今はアメフトに傾いている。

自然科学系の学問のみ真剣に取り組むのではなく、人文・社会科学系の学問についても深く学び、受験勉強に集中するあまり、狭まりがちになっていた視野を広げ、様々な事柄に触れていきたい。

一生の友人と夢(あるいは目標)が欲しい。

学問に触れることを通じて、様々な価値観を身につけ、そして専門的技術を学びながら、第一級となる研究をしていきたい。

高校で学んだ数学や物理、化学について、もっと深く学んでみたい。特に整数論や微分方程式、相対性理論を学んでみたい。高校では勉強する科目に選択の幅がなかったが、大学では自由に科目を選択することができるので、より、積極的に勉強に取り組みたい。

色々あるが、一番はやはり広い知識を得ることに努めたい。

高いレベルで自分がある程度自由に学べる場を求め、将来何かを変えるような研究に取り組みたい。

自立への一歩として、勉強、サークル、私生活を通していろいろなことに取り組みたい。
ハードウェアについての知識を学びたい。
工学部ではあるが、自由な学風がモットーなのだから、文系科目、理系科目とも幅広く学びたい。専門の分野にも力を入れたいが、専門外の興味のある分野にも積極的に取り組みたい。
語学にしっかり取り組む。授業外ではサークル。
自由な学風のもとで、自分の教養の幅を広げていきたい。多くの友人を持ち、その中で他の人から得られるものを出来るだけ吸収していきたい。
何か一分野について誰にも負けないような技術、知識を求める。コンピュータ、機械が好きなので、取り組んでいきたい。
小学一年～高校三年(浪人も含む)の15、6年の間、通信簿の成績をよりよくするというレースに参加していたようなのだが、これからはそのようなレースには参加せずに、日本人としての素養を学び、国際社会の中で臆することのない教養を身につけたい。そのようなことを京大に望む。もちろん、専門の知識を身につけることも必要だが、自分自身の能力として、研究者にはなれないと思うので、やはり教養を重視する。
はっきりと何かをやりたいと決めて入ったわけではなく、漠然と、テレビ、新聞に載っているような化学の最先端に触れたいと思って入学した。
将来の目標のために必要な専門知識。
色々な人との出会い。興味を持つものを探し、それについて学びたい。
知識と教養。
様々な個性を持つ人と出会い、それにより自分を高める。一生取り組める何かを探す。
自分が将来したいことをもっとはっきりさせ、また、将来の自分のための基礎をしっかりと作りたい。
電気についての専門的知識。経済。歴史学。
質の高い学識を求め、質の高い学習に取り組みたい。自分の力で生き抜くために、一人暮らしに取り組む。日本一になるために、アメフトに取り組む。人間らしく生きるために真の友達を見つけない。
自分は何を出来るか、何に興味があるかを見つけない。自分が没頭できるものを探したい。
専門とする分野以外にも手を出し、幅広い知識を身につける。その中で、豊かな人間関係を築き上げたい。
専門分野についての深い知識を得ること。語学等基礎的な教養もしっかりつけていきたい。
小さいことからの夢だった新幹線、リニアモーターカーを作ることに関係する仕事に就くための知識と技術を身につけたい。
様々な分野においての教養を深めたい。
自分を含めて親類にも電気系に進んだ人がたくさんいるので、彼らを参考にしながら自分自身に適した、より具体的な分野を求め、それを追求する。
京都大学の自由の学風のもとで、人生において必要とされる一般的基礎教養はもちろんのこと、現代社会を動かしているシステム、及び、最先端技術、知識を深く学び、大学院、研究を通して、基礎教養を基盤として、それらのシステム、最先端技術、知識を探求、把握、実用していきたい。
真の学問に根差した教育を求め、自身の教養を高め、特に人間性を高めることに取り組みたい。
先端技術の知識やその応用などを身につける一方で、サークルなどで良い人間関係を築きたい。
今まで食わず嫌いだっただ、敬遠していた分野のことに手を伸ばしてみたい。
多くの人間と関わりを持ち、視野を広くする。また、信頼しあえる関係を結ぶ。幅広い分野にわたる知識を身につけ、バランスを保つ。何かに傾倒して、他のことに目が行かない人間にはなりたくない。
工学系の専門分野を深く理解したい。人文系の学問などにも触れ、様々な刺激を受けたい。
知的好奇心を刺激するテーマ、内容である、専門的で高度な授業を求め、積極的に取り組むことで、知識や教養を身につけたい。
色々なことを学んで、多角的にものを見て、多角的に物を考えることが出来るようになりたい。
自分の学科だけでなく、他の分野のことについても深く学びたい。
組織(国家や企業など)を動かす指導者としての教養と資質を身につける。
束縛のない自由な環境において、自分で自己管理し、自立した生活にも慣れていきたい。社会的な関わりにも慣れていきたい。留学生と会話し、外国語の上達を促進させたい。
電子回路等の専門分野の学習。
自分の興味ある分野を専門的に学び、学問だけでなく、人間的に成長していきたい。
自分の視野を狭めることなく、様々なことを学んでいきたい。
電気系統のことを学びたいと思い、電気電子工学科に入ったので、自分の満足のいくほど、電気関係について

色々学んで研究していきたい。

自然科学系では、現在の科学、及び現在までの科学について総合的に学び、発展継承させていきたい。これにより、科学の進歩を目指したいので、大学ではそれに見合っただけの勉学を学びたい。文系科目では、人間性を養っていきたい。

豊かな人間性育成のための様々な人との出会い。

自ら調べ、学ぶことにおいて、どういう風に調べていけばよいのか等において導いて欲しい。また、今まで常に受動的に学んでいたのが、少しずつでも能動的になるよう、努力していきたい。

物理学が好きなので、物理を中心として、自分の興味ある分野についての様々な知識を身につけたい。

人間性を高めたい。

語学の習得、及び科学系科目の習得。

関心のある学問の研究。知的好奇心を満たす。

日本国内でも上位にある学校で高等教育を受け、卒業して社会人になった時、学んだことを十分に生かせることが出来るように学習に取り組んでいきたい。

基礎と専門の知識を身につけて、豊かな大学生活を過ごしたい。将来、社会のために、つまり、社会の人々の豊かな生活を目指して自分の力を尽くしたい。まず、学業第一で、様々な活動に参加して、教養人になりたい。哲学や芸術を中心に学び、人間性を豊かにしたい。京大では1、2年のうちは学部でも自分の好きな授業を取ることが出来るときいていたが、全く興味のない工学の授業が必修になっていて、多くの時間を取られるので心外である。

自分の本当にしたいことを見つける。大学の設備、環境が充実していて欲しい。卒業後もずっとつきあっている友人を見つける。

出来るだけいろんなことを学び、立派な社会人になりたい。

京都大学において日本最高級の教育を求め、日本最高級の技術教養をもって人間になることを求める。自分という人間をより磨き上げていくためなら、学科は無論のこと、課外活動、サークル等、時間と体力、生活(後半判読不可能)

自由な発想。大学生活をしながら取り組みたいことを見つけて、それに取り組む。

今まで習ってきたことよりも、より高度なものを習得したい。

自分自身が今後社会に出てどのような方面にむいているのかわかるように、よく考えることが出来る環境を求める。

自分の興味のある分野についての知識を求め、また、今までに触れたことのなかった分野についても勉強していきたい。

専門分野において高校では学べなかった高度な内容を求め、電気関係のより高度な内容に取り組むたい。

勉学だけでなく、これから生きていくうえで、一人の日本人として、また国際人として頑張れるように、運動や社会経験もし、幅広い教養を身につける。

様々な分野にわたって専門的な知識を修得したい。また、中途半端な勉強をせずに出来る限り、自分のものにしたい。

今、自分が何をすべきであるかよく分からない。現在、親元から離れたこともあり、頭が混乱気味である。とにかく、目の前にあることに関して取り組み、一つ一つ終わらせたい。落ち着いてから改めてこの問題について見つめ直していきたい。

将来、宇宙関連の仕事に就きたいので、それに関する高度な知識を得たい。

京都大学は有名な大学で総合的な人材を育てており、勉強だけでなく、いろんな方面から教えてもらえると思う。21世紀に向いている人材になりたいため、専門的な技術はさることながら、別の素質を持たなければならない。そのためには京都大学で鍛えて、豊かな大学生活をしながらいろいろな知識を身につけて、社会に責任をもって頑張りたい。

物理的知識とその応用。

高校までの授業は決められた事を決められた分だけやっていたが、大学では自分の求めることをやっていきたい。その点で京大は多くの中から自分で探して選べるから良いと思う。また、本当に自分のやりたいこと自体も大学生活の中で見つけていきたい。

自分の志望した電気系の専門知識の真の理解を第一に、他の場所では得られない、世界水準の教育を貪欲に受けていきたい。高校では無理だった大掛かりな実験などをしたい。今まで体験したことのない、大学生の間でしか出来ないことに取り組む。

何でも学びたいことを学べると思った。サークル活動を中心に交友関係を広めていきたい。

今のところ専門的なことは分からないので、文理関係なしに知識を吸収して、本当は自分が何に興味を持っているかを自覚したい。それが見つかったら深めて、その間連分野も広く学びたい。実際は学業に励むこともメインにしながら、他の色々なことにも取り組んで経験を深めたり、交友関係を広げたりもしたい。自分とは異なった考えを持つ様々な人との交流。自分の長所を発見し、それを伸ばすこと。視野を広げること。工学部としての専門的な知識やクラブ等を通じて得られる経験を手に入れたい。

幅広い知識。心ゆくまでの読書。

高校では習わなかったような専門的なことを学び、生活で活かせるような実践的な事を学びたい。

知力、体力、精神力を向上させられるよう、教養専門科目や運動などにバランスよく取り組みたい。また、知識や経験を道具として使いこなせるようになりたい。

自分とは違った価値観、考え方をを持った人との出会いを大切に、自分の世界を広げていきたい。そして、諸問題に様々な観点から取り組み、常に自分なりの答えを見つけていこうと思う。

I would like to learn, which new thing, nothing in the world, (such as about invention). And I would like to get new knowledge about the subjects, somebody took the Nobel Prize. In my country, nobody think to get the Nobel Prize. I asked about the university of Kyoto of the best university in south Asia. I think I can get lots of things other than studying.

自由な学風ということなので、自分の興味がある分野についての洞察を深めたい。英語には地震があり、ある程度のコミュニケーションも取れるので、それ以外の言語(仏、独等)について、会話、読み書きが出来るようにしたい。いくつ出来ても損をすることはないので、貪欲にいきたい。勉強以外のことも一生懸命にスポーツもそうであるし、色々な人と知りあいたい。お金(学費)を払ってまで遊ぶつもりはないので、勉強中心になると思う。そうなるのが理想。

不安定な知識ではなく、大人になっても忘れないようなしっかりした知識を身につける。身につけることが出来る環境にして欲しい。人のために役立つものよりも、まず、自分が楽しいものや便利なものについての知識や経験を得て、将来の準備をしていきたい。

オリジナリティに溢れ、全く新しい、又は改良を加えた物を作り出せる能力を身につけたい。

今、出来ることを幅広く何でもやってみたい。

最終的には自分の考えを形に出来るような創造力や技術力を身につけることを希望する。大学での学業を通じて、その力を着実にものにしていきたい。

Q.2.本日の全学共通教育のガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか。

A.以下のとおり(:男子、 :女子)

今までであったことのないようなちょっと変わったことを学びたい。

電機関連のことだけでなく、化学や環境などの他の分野を幅広く学びたい。

自分が将来必要になるだろうことをどんどん学びたい。色々難しそうなのが多いと思うが、しっかり学んでいきたい。

今、自分が興味のある科目。情報専門外では歴史学、法律学。とことん自分の好きな科目に走りたい。

外国語を習得したい。

哲学、アジア史、地理学等。

きちんとした正確な基礎力を養いたい。

型や既成概念にとらわれない自由教育に基づく幅広い智慧的なもの。

人文科学系。

一年でしか学べないものを中心にやっていきたい。

自分が今まで興味があっても学ぶ機会を失っていた色々な分野のものを選んで学びたい。(電気的なことはもちろん、医学的なことも学んでみたい。)

英語の本を読むだけでなく、英語で自分の意志を他人に伝えられるくらい、英語を修得したい。

一回生の間は、外国語の修得を第一の目標として、自然科学の基礎をよく学びたい。

自分の所属する工学系の内容のみならず、それをより一層幅広い分野で生かし、多くの人々と意志疎通出来るようにする外国語や哲学系の学問を学びたい。

とりあえず卒業に必要な科目とマイナー嗜好。

心理学や自然地理学についても学んでみたいが、今までにあまり触れていない歴史学など色々なことを学びたい。

理系の専門科目のみならず、知識人として必要最小限の人文系科目。

哲学、哲学史、自然科学史などの学問についての歴史。

外国語、特に英語はこれからの国際社会を生きていくうえで、とても大事になってくると思うので、気を抜かぬよう、しっかり取り組みたい。自分の人間性を広めるために広範囲に及ぶ内容を学習し、吸収していきたい。第一に、新しい知識を積極的に学習し、自身の教養として身につけていきたい。そのために全学共通教育科目をよく考え、慎重に選びたい。第二に、専門的分野を学習できる数少ない機会だから意欲的に取り組みたい。自分が興味を持てる内容のこと。

理系の人間として生きていく中で、他の面でも人生を豊かにできるようなもの。

経済学。経営学。

A群では日本の古典などが中心。B群では数学、物理などを程よく。興味を持った科目はどんどん学んでいきたい。

京大ならではの授業を受けたい。人文科目は好きなので頑張りたい。

普段、自分からは進んで学習できないような勉強。

A群：以前から興味を持っていた心理学系を学びたい。

西洋の哲学や歴史に触れたい。工学系であるが、幅を持った人間になりたい。

A群の哲学、経済学などを学んでみたい。苦手な語学を落とさないようにしたい。

教養としての文学。

外国語を重点において、様々な分野を試してみたい。

あまりなじみのない思想論などを学びたい。

外国語をしっかり学びたい。ほか、物理関係。

文系の科目を履修することによって、幅広い知識を身につけたい。

学べるものは学びたい。

人文、社会系が大切だと再確認した。経済に興味があり、これからの工学にはロボットと人間、セキュリティとプライバシー、法律など人文、社会的視野で考えるべきことが多いと思うので、それらを重点的に学びたい。理系科目ばかりでなく、文系科目でも興味を持ったものを積極的に受講したい。

中国語

自分が興味を持ったもの。

将来役立つことを学びたい。

将来に役立つこと。

哲学。自分が面白いと感じるうえにまわりの役に立つようなものを見つけるヒントになりそうなもの。

社会学関係。世界の政治。哲学。

専門的なこと。

工学の基礎。

自分が知らないことはたくさんあると思うので、知識を増やして、自ら物事を判断できるような力を身につけたい。

人間的に成長できるようなことを考えられるものに取り組みたい。

外国語を話すことを学べるような科目を学びたい。

これからの人生をより豊かにするような教養を学びたい。

物知りになれそうなこと。

興味のある分野から、それに関連した国や文化などまで、出来る限り広い領域について学びたい。また、自分の専門でない、自然科学系分野についてもある程度、教養と呼べるまで学んでみたい。

哲学に興味があるが、今まで手を付けずに過ごしてきたので、哲学に触れてみたい。

理系ではあるが、人文、社会分野の基礎的知識も積極的に身につけ、豊かな価値観、人間性を養っていきたい。

人文、社会科学系の科目で、地理学を学んでみたい。身近にある化学物質が一体どういうもので、どのように作られているのか知りたい。有害な化学物質が環境に与える影響等も知りたい。

具体的にはまだ分からないが、外国語を中心にこれから先あまり触れることがないようなものにも、幅広く触れたい。

自分の専門となるであろう工学的なこと以外の、もう二度と学べるチャンスがないような教育を学びたい。

色々なジャンルの科目を受けて、自分が進む道のヒントを学びたい。

中国人とすらすら会話できるくらいに中国語を修得したい。

人間の心理や教育の方面について学びたい。B群も工学部の指定のものは、結構制限されているけれど、可能ならば、それ以外でも学んでみたい。

人文系を多く学びたい。

理系科目だけでなく、文系科目についても学習し、現在研究している先生から直に話を聞き、進んだ内容の知識を増やしていきたい。

今まであまりなじみのなかった、哲学、思想、経済学を学びたい。

日本の近代史（明治以降）など。中国の歴史。

もともと社会（特に地理）が好きだったので、大学に入っても専門科目だけではなく、そういう勉強も学びたい。

法学や歴史、文学。

自分が成長するようなこと。

歴史などの文化を学びたい。特にヨーロッパの文化に関心がある。

教授が研究してきた専門分野をかいま見る。

単なる大学だけの教育としてではなく、今後、人間として知っておくべきことや自分の専門分野に役立つことを学びたい。自分の専門分野しか知らないというのは、一人の人間としてまだまだ小さいと思う。

経済、歴史学。物理の基礎。

特別、役に立つことではなくても、自分にとってプラスになるもの。

哲学や倫理。

哲学。

様々な国の技術者と情報交換出来るようになりたい。

自然科学系。言語、文化関係。

京大の著名な教授の方々の講義を聞く機会に恵まれたので、自分の専門と全く異なる分野（人文科学等）にも積極的に取り組みたい。

まずは現代社会に必要とされる一般教養を焦らず、じっくりと確実に履修していきたい。専門教育に必要とされる教科（電気工学）はもちろんのことである。

まだ詳しくは分からない。

やりたい分野はもちろん学ぶが、他の分野も積極的に学んでいきたい。生命科学等に意外に興味がある。

哲学を学んでみたい。

都市と人間の関わり。政治、都市システム、経済。各国の歴史、文化。エネルギーと人間。哲学。

さまざまな人間とコミュニケーションを取るために、語学をしっかりとやりたい。また、将来、自分の専門とすべきものについても、しっかりとやりたい。

自然科学系をないがしろにすることなく、人文科学系の知識も学びたい。

自分の今後の人生の礎となるように、全般に渡ってまんべんなく学びたい。

法律、歴史。

政治、経済の基礎。

自由に科目選択が出来るので、工学部として必要な科目だけでなく、様々な分野の学問を勉強したい。

他国の文化について広く学びたい。

これから学ぶ機会の少ない分野を真剣に学びたい。

自分を高めることの出来る言語教育。

理系科目以外で人文社会系の科目を学ぶ機会は滅多にないので、そういったものも満足のいくまで色々学びたい。

教養として世界に通じ、かつ世界をリードしていくようなものを学びたい。

学際的な研究（仕事）をする際に背景知識として役立つこと。

今まで触れもしなかった新たなことについて多くを学び、自分という人格を高めていきたい。

理系教科だけでなく、人文系の今まであまり学んだことのないような未知の分野について、哲学など学んでみたい。あと、高校の時に学んだ世界史が面白く、今の国際関係などにも興味があるので、そういったことを扱った講義があれば学んでみたい。

今しか出来ないこと。

理系の基礎科目。

これからの人生において役に立つこと。視野を広くするために必要なこと。

将来の生活において学んだことを十分に生かせるような学習に取り組んでいきたい。

各分野の基礎知識を学びたい。専攻の科目だけでなく、もっと幅広い分野の勉強を進めたい。特に外国語と物理学と数学について学びたい。

フランスに留学し、そのまま現地の大学に編入したい。
 歴史、思想を主にしたい。文理関係なく、幅広く。
 文系授業を受けたい。工学科とは関係のない分野を教養教育として学びたい。
 語学の単位を落とさないように頑張る。
 理数系教科だけでなく、外国語も頑張りたい。
 自分の目的（音響などの研究）に近い教育を学びたい。
 哲学。経済学。法学。
 自然科学系の内容は専門分野でもやるので、人文系の地理学や社会科学系を学びたい。
 人文社会系のなじみのない分野で幅広く、専門的なことを学びたい。もちろん、自然科学系の分野でも深い知識を学び取る。
 理系科目に限らず、人文・社会系科目も履修し、外国語に力を入れていきたい。
 自分の専門としたい分野だけでなく、もっと幅広い分野について学んでいきたい。
 前から興味があった哲学、心理学系を学びたい。
 留学生なので、教養教育についてよく分からなかったが、ガイダンスを受けて少し分かってきた。大学生は専門的学問だけでなく、各方面のことを勉強すべきで、人文科学や心理学や論理学等で教養がある人間を目指して努力するべきである。日本のことや、理科系学生の教材にないものを勉強したい。哲学や経済学など。文学的な教養も学びたい。
 A群に毎日の生活の中で、特に関わらない内容が多かったと思うので、そういったものもやってみたい。
 異文化（言語、文明、歴史含む）を積極的に学びたい。
 人文科学系において、幅広い教養を身につけたい。
 文理に共通するようなこと。外国語も出来るだけ多く学びたい。
 今まで学ぶ機会がなかったこと。新鮮な気持ちになれること。視野が広がること。
 スポーツ、芸術、社会等、工学部の枠にとらわれずに幅広く学びたい。工学部の枠とは違うものを学びたい。
 人の深層心理。
 工学部の専門知識に偏るのではなく、文化的なことたくさん学びたい。
 大学にいる間にしか学べないような、自分の専門外の知識や考え方を学びたい。
 今まで出会ったことのない思想や学問に触れて、知識を豊かにする。また、そうすることで本当に興味が持てるものを発見していきたい。
 In my country, there is no subject of languages in faculty of engineering, we should learn English. But here we should learn another languages. We can closer to the world. After learning languages, we can learn cultural things about another countries.
 まだそれぞれの講義について何も知らないので分からないが、経済の仕組みに興味があるので、そういった講義を取るにせよ、取らない切にせよ、勉強はしたい。
 難しく理解できないものではなく、考えさせられるものを特に学びたい。また、楽しいことや興味が湧いてくるようなことを学んで、他の人にその面白さや奥の深さなどを伝えたい。また、面白いことや興味が湧いてくるようなものを学びたい。
 専門的な知識のみならず、幅広い知識を身につけたい。
 哲学等。
 B群に関しては、この先も専門科目として学ぶことが多いので、技術が社会において、応用される時に関わる「経済」についての分野について学んでみたい。

5) 情報学科 (アンケート提出率 96.4%)

Q.1. あなたは京都大学で何を求め、どんなことに取り組みたいですか。

A. 以下のとおり (: 男子、 : 女子)

文理に捕われることのない、幅広い知識。それに追隨した学習。
 最先端の学問が学べる場なので、積極的に学んで、それを自分のものに出来るようにしたい。
 学ぶ知識をただ覚えるだけでなく、それを理解し、さらに応用することが出来るよう、勉学を進めていきたい。
 また、専門分野のみを深く理解するだけでなく、その他の分野の基礎的な知識を広く学び、それを専門分野に少しでも応用していきたい。
 今までに習ったことのない知識の獲得、自分自身の学びたいと思う分野を学習し、積極的に自分から勉強するように心がけたい。

自分の発想を豊かにするようなことを取り組みたい。
今はまだよくわからないので、少しずつ見つけていきたい。
すばらしい知識を求め、そして、勉学だけではなく、人間性の方向においても健康的な成長を求めている。また、留学生として、日本の先端的な科学技術を学び、日本社会を経験することも京都大学でやっていきたい。そして、時間があれば、サークルや体育会に参加して、たくさんの日本人の友達を作りたい。
興味ある分野の知識を深めたい。
柔軟な姿勢、精神・学習能力の向上。新たなコンピュータ開発、又は、プログラミング技術の習得に取り組みたい。
自分のやりたい事をさらに広く探求し、深く掘り下げたい。これから先、自分の進んでいく道を見つける。奥行きのある人格の形成。
自分の興味のある数学的なことや、コンピュータを使ったことに特に取り組んでいきたい。
未だ全く固まっていない自分の将来像を探求したい。そのための豊かな環境を求める。
学業、学術についてはもちろんであるが、友人との交流を深め、幅広く教養や興味を広げていきたい。
専門的知識の修得、広範な知識の修得」とともに、全力を傾けてやっていきたい。大学でしか出来ない経験を積みみたい。
多くの人々と触れ合い、物事を多角的にとらえられるようになりたい。
勉学のみならず、スポーツ、社会性等、いろいろな方面で成長していきたい。
人工知能に興味があり、画像、音声認識について学びたい。
やりたいことを探す。
知恵と知識。世界で活躍する先生方からの講義。落ち着いた環境。
専門的な内容を学び、知的好奇心をみたしたい。
京都大学で新しい教養、今までに自分が知らなかった教養を学びたい。そして自分が今現在、興味ある分野をもっと掘り下げて勉強したい。
将来、社会的に有意義で生産的な職業・社会活動において、先端的役割を担えるよう、高度な技術、教養を身につけたい。
特定の分野にこだわらず、色々な分野を学びたい。自分の興味が移り変わっても、それに対応できるくらいの基礎学力の確立をしたい。
自分の学びたい学問を見つけ、真剣に取り組みたい。それから、その学問の勉強と部活を両立し、友達や先輩や教授と良い人間関係を築き上げていきたい。
ついていくのが精一杯なくらいの高水準の授業。特に情報関連は、可能な限り、高い能力を身につけているように努力したい。
専門的な科目だけでなく、そうでない科目にも興味を持ち、幅広い知識や視野をもてるように頑張りたい。
自主的な生活をしたい。
情報系(PC等)について詳しい知識を得たい。そのために情報処理についての勉強を主に取り組みたい。
大学内で興味を持つ分野を中心に深く学び、それを踏み台にして自ら研究していきたい。
情報学のための基礎的知識、専門的知識を身につけたい。また、運動部、又はサークルに所属して心身共に鍛えたい。
ハイセンスな講義を聞き、興味のあるあらゆることに対して、取り組んでいきたい。
人工知能実現に向けての研究、また同時に新たなインターフェイスとしての人間の(後半判読不可)
より高度な知識やサークルなどから得られる社会的協調を学びたい。
情報についての専門知識を身につけたい。
高度な内容の学問を学びやすい環境を求め、その中で自分が満足できるだけの勉強をじっくりやっていきたい。
本気でやろうと思えば何でも出来そうな気がする。そういうわけで、やる気があるものには何でも取り組みたい。専門も教養も、ひたすら貪欲に、広く深い知識と思考の枠組みを獲得できるよう、努力するのみ。少なくとも、京都大学という名前に見合うだけの人間にはなりたい。
専門分野に関する知識を深めたい。
情報工学という分野について、根底から学んで、これまでの人々が見落としてきた部分を展開させ、これからの人々に困惑しない明るく楽しいコンピュータを提供したい。
世界に通用する高度な専門知識・技術の習得。一生のものとなるような友人関係。
レベルの高い知識にふれ、予習、復習、そして、授業を通して、その知識を出来るだけ多く、自分のものにしていく。

「これだ!」と思えるようなことを見つけ、それを研究してみたい。

卒業すること以外、考えていない。

まずは快適な自学自習の環境。特に情報関係には先生方にもまだ分からない分野がたくさんあると思うので、それらに取り組んでみたい。高校の時には社会として「世界史」しか学んでいないので、例えば、日本史、例えば、倫理、心理学のようなものも教養として身につけたい。

コンピュータ関係の仕事に就きたいと思っているが、具体的に何をしたいのかまだわからないので、京大でそれを見つけたい。今まで、歴史や言語などに興味はあったけれど、深く学んだことがないので、それを学びたい。

数学、理科に関する幅広い知識と、コンピュータを扱う技術の向上。

専門的な知識と倫理的な感性を求める。

特にこちらから求めるものはなく、京都大学には自分が取り組んでいきたいと思うことは全て揃っていると思う。取り組みたいと思うことは、数学や、情報学科に入学したことを機にプログラミングやネットワーク社会における知識や技術の取得に取り組みたい。

より広い知識を求め、出来るだけ、その道のプロに近づけるよう努力したい。

しっかり学んで教養を深めたい。

専門的知識を身につけたい。

これから見つけていきたい。

深い専門知識を習得し、それを wield、自分を含めて、人が「幸せ」になれる、感じるものを創造したい。京都大学に求めるものとしては、知的好奇心を満たす講義、充実した環境。

幅広い知識を得、また専門分野においては、深い知識を身につけたい。自由の中から本当に自分がしたい事を見つけ、打ち込みたい。

それぞれの分野の最前線で活動している教授方の生きた講義を聞き、それらを自分なりに吸収していきたい。

何か興味深いことを発見し、それに全力で打ち込みたい。

自分の興味のあるものを見つけて専門に勉強していきたい。

人工知能の研究を目的として、構築する技術と脳科学、認知科学を学びたい。カオス理論やフラクタルも自発的に発達する脳を作る上で役にたち(後半判読不可)

自分の興味のある科目を学び、さらに深く学びたい。

パソコンのソフト面での知識(プログラムやその仕組み)を学びたい。小説を書いたり、創作活動を行いたい。

高度な専門知識と幅広い教養を身につけられるようにしたい。(専門バカになってしまわないように)

サークル活動に積極的に参加したい。

思想や社会の仕組みといったものにも造詣の深い理系人間になりたい。

楽しい大学生活を求め、サークル活動を楽しみつつ、勉強もしっかりと取り組みたい。

社会に出て役立つ技術を修得したいと思う。

興味のあることに積極的に取り組みたい。勉強だけでなく、クラブやサークル活動に参加したい。

最先端の技術、柔軟な思考力、豊かな人間性、優秀な人材。学科、学部を超越するような総合研究が出来ればと思う。

将来役に立つ専門知識はもちろん、興味のあるものにも積極的に参加したい。あとは、京都の自由度を学びたい。自由すぎるのは難しいけれど、一度経験したい。

講義以外にもサークル活動等を含めて、受動的にはなく、自分から進んで様々なことに取り組みたい。京大のそのような校風を生かしたい。

学びたいことは色々ある。

向上心豊かな人々の作り出す、自分自身にプラスになるような環境や雰囲気を求める。

ただ専門分野を学ぶだけでなく、幅広い分野を学習したい。

勉学に励み、色々知識を身につけたい。

日常生活では決して触れる機会のない分野に関する深い講義。単位をとりこぼさない程度に勉強することにも取り込む。

国際化してゆく社会で活躍する力。

将来、世界的規模での研究に取り組めるような学識・技術を身につけたい。

興味のあるところにどんどん突っ込んでいきたい。

専門的な高度教育を受け、探求心を向上させ、未知の物事への理解を深め、探っていきたい。

区分にこだわらず、幅広い知識を身につけること。かつ、専門分野は深い知識を、自主性をもってきちんと行

動すること。

心身の充実、安定を求める。即物的な思考にとらわれず、幅広い目をもって学習に取り組みたい。

専門的な能力を得ることに加え、第二外国語にも力を入れたい。

最近のロボット開発について学んだり、取り組んだりしたい。

自分の興味のあることに取り組みたい。

専門技術を習得する。いろいろな考え方に触れ、広い視野を持った人になる。

自分の自信になること。

打倒、米国でのコンピュータ勉強。Windows を越えるものを考えよう。

レベルの高い講義を受け、自分の専門以外の分野でも自分なりの意見を持てるくらいの知識を得たい。専門分野では無論、とことん追求していきたい。

今まで自分が触れなかったり、触れようとしなかった分野の学問にも積極的に取り組みたい。授業を受けるからにはその授業をしっかりと吸収したい。部活動、サークルの面では特に団体競技のスポーツに取り組みたい。

バイトも経験したい。そしてこれらのことを通して、人間的に一回りも二回りも大きくなって卒業したい。

高校までは机に向かい、公式を覚えるというような勉強が多かった。大学では、もっと実践的なことを学びたい。

今までで得ている知識は本当に小さいものだろうから、京大では、分野にあまりこだわらずに広範囲に勉強したい。いろいろな分野について勉強した上で、自分が本当にやりたいことを発見したい。

情報関係の専門知識はもちろん、心理学等の学習をし、総合的な知識を身につけたい。授業には真面目に取り組み、その上でサークル等の活動にも積極的に参加していきたい。

Q.2. 本日の全学共通教育のガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか。

A. 以下のとおり（ : 男子、 : 女子）

文系と理系にとられることのない幅広いこと。

具体的にはないが、自分の視野を広げていくなど、色々なことを学びたい。

人間性を高めるようなものや貴重な経験となるようなものを学び、又、専門分野とも関連づけていきたい。

専門的分野だけでなく、それ以外の今しか学習できないような一般的な知識を少しでも学んでみたい。

専門知識だけでなく、広く学びたい。

他では受けられないような高度な授業。自分が深く興味を持つ授業。これから役立つ授業。

工学部の学生の本分である数学、又は物理や情報に関する知識以外に、哲学、芸術などのような人間性を豊かにするような教養教育を受けたい。

特に文系科目を重点的に学びたい。具体的に哲学と歴史。

語学、哲学。

西田哲学の内容を少しでもいいから理解できるようになりたい。また、外国語の教養、外国文化について深く知りたい。他学部の基礎内容をのぞき、学ぶことも出来るだけやっていきたい。

外国語をはじめとして様々な分野について学んでみたい。

実用に関係ない細かい知識。「広く浅く」も面白いと思う。

自分の将来就きたい職業に役立つような教養。または、全く新しい興味を湧かせるような教育。

人文、社会などをどんどんやってくださいとのことなので、楽しみである。哲学に興味があるので取っていき

たい。

様々な地域、様々な時代の人々の生き様や思想、慣習等を学びたい。

高校時代より数学の奥深さに魅了されており、そのため、大学の教科書等には非常に興味があり、自分の数学に対する知識、能力を高めていきたい。

理系科目ばかりを重視するのではなく、多分野のことも学び、総合的知識を身につけられるようにしたい。

狭い視野でなく、幅広く学びたい。

まずは、外国語、交流の手段だけでなく、いろいろな国の人の生活や考え方等についても知りたい。それに応じる人文科学及び社会科学科目も必要だと思う。もちろん、専門科目の基礎として、B群の自然科学科目も着実に勉強に取り組むつもりだ。

人文的科目もおろそかにせずにやりたい。

心理学、哲学、文化人類学やマスコミ論といったものを学びたい。

社会活動の基となるような学問や、また、興味のある学問を通じて、教養ある人間性を育てるよう学んでいき

たい。

法、経済分野にも興味があるので、それらを中心に幅広く学びたい。

将来、学んだことを生かせるようなことを学びたいと思う。

A群の中で、昔から興味があった科目を学び、高校レベルよりもっと深い知識を得たいので。

経済に興味があるので、経済についてのことや社会についても学んでみたいと思う。

自分のためになること。

主に情報学の勉強をしたい。また、将来のために語学について詳しく学びたいと思う。

教養教育といってもその内容は非常に深く、専門的であることがわかったので、それを自らの生活、研究に生かせるようなことを学びたい。

理系科目のみならず、文系科目もなるべく深く理解し、総合的知識を身につけたい。

ひとまず、これを最後に二度と学ばないであろう、人文系の科目について教養教育として学びたいと思う。

出きるかぎり広範囲にわたり、かつ、人工知能の研究に必要であろうこと。たとえば、心理学等(途中判読不可)

自分の学部の専門科目だけでなく、幅広い教養を身につけたい。

思想に興味があるので、この分野について深く学びたい。

自分の好きな教科で、工学部では学ばない、地歴・公民の分野の勉強を学んでいきたい。

A群科目。理系の人間にとって、疎縁になりがちであるが、京都大学という、質の高い授業を展開してくれる場にいながら、熱心に取り組まないのはもったいない。将来、役に立たなくても良いので、自分の人間としての幅を広げたいと思う。

興味、関心があり、常に楽しみながら学べること。

人文、自然科学という、一見して工学とは無縁とも思える世界との関係を見いだしたり、人間として、考え、行動していけるようなことを学びたい。また、多方面の分野において、知る喜びや考え出す喜びが得られるように学んでいきたい。

自分の将来に役立ちそうな科目。自分の知的興味をくすぐるもの。

人文社会科学系の科目に真剣に取り組むのは、この1、2年が最後になるうえ、今までは、自分にとってあまり興味のわかない科目でもあったので、興味をもって学んでいきたい。

外国語といったこれまでは受験という観点から向き合ってきた科目を大学で新たな視点から学びたいと思う。

理工系は、自主的に学んでいくことが出来ると思うけれども、人文社会科学系はこの時期を逃すと、恐らく、二度と自分から学ぶことはないと思うので、是非とも授業を取りたい。

今まで、自分が興味を持っていた理系分野は言うまでもなく、人文科学や社会科学など、様々な分野に興味を持ち、深く学び、学識豊かな人間になりたい。

専攻しない歴史、哲学などに取り組んでみたい。

もしかしたら人間がこれ以上、深入りすべきではないのかもしれないクローン技術や核関連技術などに対し、倫理学などを学ぶことを通して、技術者の立場として考え、あるいはストップをかけたりに出来るようになりたい。

数学が好きなので、高校では教えて貰えなかった難しい内容について学びたい。

心理学系のことをやってみたい。

人文系の科目を学びたい。

世間に通用するような幅広い知識。人間的に豊かになれるようなものを学びたい。

色々な分野を学んでみたい。

自分の興味のあることを学びたいが、まだ具体的にどんな講義があるのかわからないので、これから考えようと思う。

多すぎて決めかねるが、興味のある分野も多いので、適当なものを選択し、決められた期間、きっちりと学びたい。

高校まででは中々学ぶ機会のなかった経済や法律について学びたい。

幅広い教養を身につけたい。

文化人類の科目を通して、人間の思想や物の考え方を学んでいきたい。あることが人類全体に共通するもの(後半判読不可)

一般人として常識的なことを学び、広い観点から物事を捉えられるようになりたい。

情報論など人工知能に関係しそうな物や心理学など。また、高校では物理、化学を選択だったので、生物系の学問を学びたい。

理系教科もちろんのこと、文系科目についても自分の興味のある分野を中心に（地歴など）、つまこんで学習しようと思う。

人文系の学問を中心に色々なことを学びたい。

哲学、経済。

心理学。

自然科学系。

自分の専門科目だけでなく、自分の興味のある科目を中心に、文理問わず学びたい。

B 群科目が主である工学部だからこそ、A 群科目を履修して、幅広い知識、センス、考え方を学びたい。「狭く浅く」よりは、「広く浅く」。出来ることなら「広く深く」。

言語と情報関係を中心に、自分の特に興味があるものならば、ポケットゼミも参加したい。

専門分野以外の分野についても奥深く学んで、一つの分野に特化した知識ではなく、幅広い知識を身につけたい。

芸術論、論理学、文化論等色々学んでみたいが、時間割的にそう多くは取れないらしい。

自分の専門にしたい分野に何らかの形で関係し、かつ自分が興味を持っていること。

工学系とは異なった種類の学問を学習したい。

たくさんありすぎて、まだ決めかねるが、趣味がわくことを学んでいきたい。

外国語については、一般の書籍程度を読みこなせるまで学びたい。特に英語はニュースの内容がハッキリと理解できるまでにはなりたい。国際政治について、地球について等にも興味を持っているので、教養教育のうちに学んでおきたい。

経済学など。

理系科目を第一にしたいが、いろんな学問を学びたい。

世界の広さ、深さ、幅、穴の中。

人間の精神を追求していきたい。極小の世界から成り立つ極大の宇宙の姿を学んでいきたい。

固執することなく、流動的に興味のある事柄を学びたい。

繰り返されるだけのものではなく、常に新たな発見と共にあり、好奇心と探求心を満足させる科目を学びたい。

論理学など、情報学に多角的に役立ちそうなもの。

芸術に関することや心理学。

理科系のもだけでなく、文系のもも学びたい。

価値観が変わるような思想に出会いたい。

自分を一回り大きくしてくれるもの。

微分をしてみたい。積分は敬遠しつつやりたい。

「どんなこと」というのが具体的な分類を指すならば、哲学、思想系。自分なりの意見をもって差し支えないくらいの基礎は修得したい。

思想、哲学の分野に対しては敬遠の気持ちというか、偏見があったので、そういったものをなくし、積極的に取り組みたい。数学系の学問を頑張りたい。

工学系でない科目を 1、2 年の時はなるべく多く取りたい。専門的な分野だけでなく、広い範囲の知識を得たいと思う。

せっかく哲学の京都に来たのだから、哲学を学んでみたい。今の自分にはあまり興味をひかれないものでも、積極的に学びたいと思う。

哲学や心理学に興味があるので、その分野を中心に視野を広げていき、様々なことに興味を持ち、学びたい。

6) 工業化学科 (アンケート提出率 96.4%)

Q.1. あなたは京都大学で何を求め、どんなことに取り組みたいですか。

A. 以下のとおり (: 男子、 : 女子)

工業化学分野は京都大学が日本でトップと聞いているので、その高度な学術に触れたい。

せっかく京大に来たので、最先端の学問に触れたい。色々な人と触れ合って、いろいろ吸収したい。友達の幅を広げたい。大学生活を楽しみたい。

専門能力をもちたい。

自由。

将来どんな仕事をするかを定めるためのものを求める。

自分の好きなことに取り組みたい。

勉学のみでなく、スポーツもやりたい。
クラブやサークルに入って人間関係を広げる。専門的な教養を身につける。
教養が豊かで人間性が高く、責任を重んじ、地球社会の調和ある共存に寄与する。優れた研究者になりたい。
世界最先端の技術と最高の環境のもと、人間を含む地球そのもののレベルアップを促進させるような研究をしたい。
専門的な知識を身につけて、それを1つの道具として、それらの知識を出来る限り社会に還元していきたい。
十分な施設、教授陣。最先端化学技術の研究。
総合的に学問を学び、視野の広い人間になりたい。その中でも化学分野について深く学びたい。
知識豊かな人間になる。自己表現力を高める。日々精進。
色々な化学に関する知識を吸収し、それを生かせるようになりたい。
自分の可能性を広げる場として、大学をどんどん利用したいと思う。学部ではいろいろなことをやってみたいと思う。その中で、学問の基礎となることをしっかり学びたいと思う。今、自分が大学でやりたいと思っていることは「生命科学」に近く、化学とは少し違うが、色々な話を聞いてそのように進むのが一番自分の夢に近づくかを考えたいと思う。
一生を通して仲良くつきあえる友を作り、自分のやりたい学問を極めていきたい。
勉強でもサークル活動でも、自分のできることに何でも全力で取り組み、その過程で豊かな人間関係を築きたい。
技術者、研究者として高い能力を身につけたい。
自由を求め、やりたいことに取り組みたい。
大学では勉強を中心として、スポーツにも取り組んでいきたい。
自分の能力を高めること。知力、体力の向上を目指し、努力したい。
これから考える。
高度な授業に参加し、積極的に学習していきたい。
これから考えていきたい。とりあえず自由にいろいろやりたい。
幅広い知識を得る。
京都大学では社会へ出る前の準備をしたい。また、純粋な学問をして、利益とは関係のないことをしたい。
好きな科目である化学を専門的に学び、最先端の研究に取り組みたい。
大学にはそうした勉強できる機会を求め、分子化学系の実験に取り組みたい。
専門的な知識の修得。
できるだけ色々なことを勉強したい。
今は特にないので、これからの学生生活で見つけていきたい。分子工学に興味があるので、それについて学びたいと思っている。
とりあえず英語と中国語。
充実した大学生活を送りたい。
高校でやってきたような勉強のような賢さではなく、もっと実践的な知識。いろいろな人と触れ合い、人間性を伸ばしたい。
いろいろな人に会って、いろいろな考え方を学びたい。部活かサークルに入って楽しみたい。一度に複数の事をしっかりやれるようになりたい。色々な意味で“大人”になりたい。
質の高い講義を受けて、1、2回生のうちに外国語の基礎固めをして、コースに分かれてからは、その分野を徹底して掘り下げて深く学ぶ。
自分の視野を広げるためにいろいろな人と接したい。
興味を持っているものに対する深い知識を提供してもらい、自分の出来る限りの努力をして知識を得たい。
京都大学の自由な学風に憧れて目標校とし、何を求めるかはまた考えていない。学問を追求するとともに、大学でしか出来ないような楽しいことも追求したいと思う。
高度な専門教育と幅広い教養(特に哲学、歴史など)存分に興味のある学問に打ち込める。
専門の科目だけでなく、いろいろな分野のことに興味をもって勉強したい。
外国語の読み、書き、話すことができるようになりたい。文系科目にも興味を持って学習する。
幅広い基礎知識から高度な専門知識まで様々なことを学び、自分の能力を高めていきたい。
せっかく京都大学に来たのだから、とことん頂点にのぼろうと思う。
今までしてきた勉強は与えられてするものばかりだったので、自分の興味のあるものを積極的に学んでいきたい。

友人を求める。未知の有機物に取り組みたい。

まず、自分とは違った考えをもつ人達とたくさん接して、自分の人間性、視野を広げていきたいと思う。

英語以外の外国語にも積極的に取り組みたい。

まだ明確に進みたい分野が決まっていないので、大学での講義を通して将来自分がする仕事を見つける。

専門的な内容を深く学びたい。幅広い知識を身につけたい。サークル活動など、勉強以外にもいろいろなことに挑戦したい。

新しいことを色々と学習していきたい。

研究とともに新しいものを創り出すための技術を身につけたい。また、高校の頃から興味があった量子学について学びたい。

勉強の知識や交友関係を深めたい。

様々な分野の講義を受けて、学問することとは何かを常に問い続けていきたい。

高校では習わないような専門的な内容を学びたい。特に有機化学のもっと専門的な内容。

幅広い知識、幅広い人間関係を築いていきたい。

すばらしい教授がたくさんいるので、そのような教授たちに自分にとって興味があることを学びたい。

将来、大学を出てからは勉強しても専門的なものが中心になると思うし、まず幅広い教養や視野を身につけたいと思う。また、今まで少し苦手意識をもっていた語学には力を入れていきたい。勉強に限らず、チャレンジ精神をもって取り組んでいきたい。

教養を深めたい。

この京都大学という設備や教官に恵まれた環境を精一杯活用し、単なる単位取りのための勉強でなく、純粋な知識を身につける勉強をしたい。

人生の目標、生涯かけてやりたいと思う事を見つけること。

授業が次の機会につながっている可能性。(特に)自分の生活に関係すること。

幅広い分野の勉強をし、高校の時、あまりできなかった部活動にも積極的に参加して充実した4年間を送りたい。

今までクラブと勉強ばかりしていたので、これからはなるべく多くの事を経験したい。多くの価値観をもった人に触れてみたい。

人間性を高めるために幅広い知識を得るとともに、世界に適用する専門的な知識・技術を身につけたい。

健康な大学生活を求めると共に英語を日常語のように使えるように学習したい。

豊かな人間性を育み、個性をのばしたいと考えている。

より幅広く、専門的なものを学びたい。クラブも頑張ってみよう。

これまで「受験勉強」=「机上の勉強」しかしてこなかったため、大学生活を通じて社会勉強に努めたい。また、読書にふけることで年に数度の知的感動を味わいたい。

とりあえず、やりたいことを見つけたい。

京都大学でおこなわれている幅広い授業の中から、自分に適したものや、これまで自分にはなかった考え方を身につけられるようなものを選択し、消化していけるようにする。

化学、物理、数学にとどまらず知識を増やしたい。それによってよりより人間性、価値観を広げたい。

しっかり勉強して最強の学力、専門的能力を身につけたいと思う。工学化学科なので、化学をかつちりやる。

京都大学にせっかく入学出来たのだから、とにかく勉学に励みたい。

知識を求めるつもり。

最先端の研究にも触れた講義。

第一に将来どの方向に進んでいくかを決定すること。そのために理系科目だけでなく文系科目にも積極的に取り組みたい。第二に友人を増やす。全国各地から様々な人達が集まってくるので、クラスやサークルを通じて人脈を広げたい。

サークルやクラブ活動。

力と自由を求め、勉強、スポーツ、生活、全てをひっくるめてとにかく京大で生き抜く。

世界レベルの教授陣による高度な講義。有機化学関連の学問を大成したい。

京都大学の特徴の1つである自由な校風のもとで、社会に貢献できるような内容に取り組みたい。

化学について深く学び、その中で自分の成すべき事を考え、それが社会に貢献できることになるようにしたい。いろいろな人と交流し、いろいろなものに興味をもってチャレンジする。

制約のない幅広い自由性を求め、今まで誰も取り組んでいない発想していないかつ社会貢献できることに取り組みたい。

様々な分野の学問について深く学びたいと思う。

将来の方向性。幅広い教養。

交友関係を広めつつ専門分野についての深い理解を得たい。

深い専門知識。生涯付き合える友人。いわゆる文系科目における興味のある学問に触れる。

専門として学ぶことはもちろん。しかし共通科目により文理の壁のない人になることを求め、講義、生活、サークルなど多方面にわたる人間を目指し人間として大きくなりたいと思う。

今しかできないことを求め、それを最優先して取り組む。

化学を極めたい。

特にしたい事もなく大学に入ったが、高校の時は勉強ばかりしていたので、自分のしたい事や興味のあることをやっていきたい。

自分のすすむべき道。

新しい事を知りたい。

先端の技術の教育を求め、それを修得し、人々の役に立つことに使っていきたい。

将来、役に立つことを学びたい。

どの科目もしっかり勉強したい。

土台の確立。

部活と勉学を両立して、高校生活では体験できなかったことを経験したい。

幅広い知識や人脈を学習サークルを通して得る事によって、新しい事に取り組みたい。

広く色々なことに取り組みたい。

専門的な知識を身につけることに努力したい。

広範囲な知識を求め、興味をもったことなど色々なことに取り組みたい。

興味深い実験、議論。実験に積極的に取り組みたい。

まず第一に社会に出てから1人で生きていけるだけの社会性を身につけたい。そして、せっかく京都大学に入学したのだから、社会に出て一流として働いていけるだけの力をつけたい。

今は受験も無事終了し、ホッとしている。最初はなにはともあれ友達作りに励みたいと思う。

大学の授業では、今までの勉強とは違うように見えるのでいろんなことに興味が引かれる。まだ、はっきりとは決められないが、役に立つことを学びたい。

自分が将来的に専門分野として取り組みたいと思える事と巡り会いたい。また、音楽的なこともやっていきたい。

最先端の実験や研究。

研究者になるために基礎知識を身につけたい。

整った環境の中で、自分の専門を極めたい。

自分が好きで興味のもてることを精一杯学びたい。勉強に限らず。様々なことに挑戦し、自分を高めたい。

将来、社会の中で重要な役割を果たし、貢献できるだけの力を知識だけでなく、もっと広い意味で身につけたい。自分にぴったりくるものを見つけてそれに取り組みたい。

自己向上の環境...高校までの授業は比較的浅く、大学でより充実したものを学びたい。自分自身の勉強...自分でやりたいことについて深く掘り下げる。夢の実現...はねかえり係数が「1」または「2」のものをつくる。

摩擦係数が「0」のものをつくる。永久機関。

自分が興味を持っている分野を自由に学びたい。

高い教育水準のもとで学ぶことにより、自分を高める事。取り組む事は理系科目が中心になるだろうが、単に自分に興味のあることでも幅広く取り組んでいきたい。

今までやってこなかったことに取り組んでみたい。そして将来、特にやりたいことがみつからないのでそれを見つけていきたい。

学習の面でも、部活でも充実した生活。今まで科学系の本しか読んで来なかったので、小説などの本が読みたい。一人旅がしたい。

化学の分野において世界に通用する力を身につけたい。またサークルなどの課外活動にも積極的に参加して特に音楽的な面で自分の力をのばしたい。

高い人格、広い教養、強い責任感を持ち合わせ、かつ深い専門知識を身につけた人間になりたい。勉強はもちろんのこと、サークル活動などにも積極的に取り組み、充実した大学生活を送りたい。

知識だけでなく、ものの考え方をしっかりと身につけること。

国際的な視野を広げたい。

社会において、先駆的な役割を果たせるような実力を身につけたい。
高校生の時に興味を持っていたが勉強出来なかったこと、基礎知識がないために追求することができなかったことを学びたい。
サークル活動。
多くの人との交流を通して、いろんなことを得たい。勉学を怠ることなく真剣な態度で臨みたい。視野を広げられるようにしたい。
海外へ留学出来るように幅広い範囲の学問を学ぶ。
ひとかどの男にしてほしい。
これからの人生を華やかなものにする。生き甲斐や目標を探し、やりたいことの見つかった時にそれを実行できる能力、技術、知識を身につけられるよう学業中心で頑張りたい。
様々な分野の学問にふれたい。
専門的な知識、クラブ、サークルで体を強くする。
ある程度、自由に出来るみたいなのでこれから考える。
自分で学問を研究していくことを学び、その中で出来ていく友達と勉強やスポーツをやっていききたい。
最高の話を聞くために来た。だから文理を問わず講義を受けていきたいと思う。特に文系科目、人文学系の授業に興味があるので、理科以外にもどんどん取り組んでいきたい。体力的な面でもサークル活動などを通じて鍛えていきたい。精神面も鍛えたいと思うが、今のところ方法は未定。
「大学で学問を教わった」と社会に出て堂々と言えるように、社会が求めている人材になることを求め、その目標を達成するために出来る限りのことに取り組みたい。
自分の将来に役立つ勉強をしていきたい。勉強だけでなく、バイトもできるだけやって社会勉強したい。でも、落ちこぼれないようにする。
自分の将来の目標を見つけて、それを見つける過程や目標に向けて全力で取り組みたい。
地球社会に貢献できる社会人として成長できるように学問だけでなく、スポーツ活動にも進んで参加し、総合的に自分の能力を高めたい。
国際化社会に対応できる人間になるために語学を頑張る。
自主的学習のための環境。広い分野への積極的学習を取り組みつつ、深く理解する分野をもつ。
多くの部、サークルに参加し豊富な人生経験値を得たい。
高度な学問を学び、自己を向上させられるように充実した時間を過ごしたい。
質の高い授業を求め、化学全般にとくに力をいれたい。
様々な分野を勉強し、幅広い知識を得たい。
自然だけでなく、人文・社会科学の学習にも力を入れ、視野の広い人間となるように努力したい。
様々な分野に首をつっこんでみて、自分の興味のある分野を見つけたい。積極的に行動したい。人間的に成長したい。“自分”をつくりたい。
化学系の研究、特に高分子系の研究者になりたいと思っているので、そうなるための基礎から応用まで知識を吸収していきたい。
まず、化学学科に入ったので化学に特に力を入れて学びたい。他の理系科目もしっかり取り組みたいが、語学・人文学も広い視野を持つために必要だと思う。生活面では自分の時間を無駄に使わないように心掛けて大学生生活がなんとなく過ぎてしまうのだけは避けたい。
京都大学の校風である自学自習を心に留めて、自分の興味ある授業を探し、積極的に取り組んでいきたい。また、スポーツにも積極的に取り組み文武両道を目指したい。
豊かな教養と確かな専門性を身につけ、自分独自の研究を行ないたい。
数学、化学を中心に学びたい。化学は特に高分子化学に興味がある。外国語は文法だけでなくリスニングや会話にも力を入れたい。
化学が好きで工業化学科を選んだので、化学についてはかなり勉強したい。他にも興味があること、興味がわいたことは積極的に取り組みたい。
何を専門にするかなど、未定のことが多過ぎるので、それらを後々になって後悔することのないよう満足のいく選択をしていきたい。
今までほとんど縁のなかった物事の最先端に触れ、色々なことを知りたい。
専門知識の修得。言語を中心に学びたい。
高分子化学をやりたいと思う。しかし、他にも様々な授業を受ける過程において、興味のある分野がみつければ、その時はその時で変更してもよいと思う。

高度な学習、人との出会いを求め、授業、サークル活動に取り組みたい。

高校では1、2年遊びほうけて、3年+1年の間に必死でつめ込み勉強し辛かった。大学では1年から真面目にゆっくり楽しく学びたい。

大学は自分自身が“何かをしよう”とか“何かを学ぼう”と思えば実行できる場所だと思う。だから、出来るだけ自分の知らない事や世界に積極的に触れて人間として成長したいと思う。

文・理問わず幅広い基礎的な知識を身につけ、広いものの考え方が出来るようにしたい。自らの社会復帰を目指したい。

学び、遊ぶ事。

自分を求め、やりたいことを見つけたい。

国際社会で活躍できる力を身につけたい。

高度な研究。

文系、理系の別にとらわれずに、様々な分野を学びたい。理系分野では、特に理学系の基礎科学の分野を学びたい。

未定。

自由に勉強できること。新しい事。

日本最高級の授業。

いろいろなことを学び、大きな人間になりたい。運動もしたい。

専門的な知識。

有機、高分子化学の研究。

工業化学科に入ったからには、まずとにかく化学について教養を深めたい。豊かな環境・設備の中で、他大学では得られなかったであろうと思えるような知識・経験を手に入れたい。そうした上で、他分野についても教養を深め、どこへ行っても自信を持って「京大生」と言えるようになりたい。

今まで自分には見えなかったもの(色々な意味で)を見つけたい。ずっと、そう思ってきたので京都大学に入っても変えずにいきたい。

化学の道を極め、生き甲斐を求めたい。

高校で学んで来た化学について、より深い知識を身につけていきたい。何よりも楽しんで学べることを目指して体をこわさないように頑張りたい。楽しい教授に出会えるように頑張りたい。

自分は将来やりたいことが、まだ決まっていないので化学の世界に触れながら、この大学生活で決めたいと思う。

自分が学びたいことを、はっきり決め、ものにしたい。

研究者になるために京都大学の工学部に入ったのだから、それに必要な能力を身につける。

経営、哲学などを学びつつ、工業化学の専門知識の修得。

社会で役立つような知識と研究力、思考力をつけるために、自力で考え、自力で行動する力をつけようと考え、積極的に意見を出そうと考えている。

色々な講義を聞いて、今の地球環境についてよく知り、地球環境を改善できるような研究などをしたい。

専門知識や考え方を身につけ、自分で進んで学び、探究していけるようになりたい。また、専門以外の分野も積極的に取り組んで、視野の広い考えを持ち、それを専門にも生かせるようにしたいと思う。

規則正しい生活を求める。運動と勉強の両立。

すばらしい「自由」を悪用するのではなく、この自由の中で自分を高め、自己を決定していきたい。一人暮らしをすることによって、自立、自律した人間になりたい。全て積極的に行動したい。

学問に対する興味を深め、高度な分野まで学びたい。今のところは有機化学などをやりたい。

専門知識を学び、多分野にわたって将来の研究に生かせるような勉強をしたい。

生物、物理、化学の境界に取り組みたい。

勉強、学問と体育会、サークルなどの活動を中心としたい。語学の勉強もしたい。

専門的知識と同時に、様々な教養を身につけていきたい。

社会に求められる優れた研究者になるための準備をしたい。

色々な事柄を目で見て、本当に自分の求めている事を見つけたい。さらに色々な事を体験し、人間的にも成長したいと思う。

広い知識を身につけ、化学を中心に生物と関係する分野に取り組みたい。

幅広い分野の友人関係をつくりたい。専門的な学問をやりたい。出来るだけ早く先端的なことに触れてみたい。

応用化学や工業化学などの「工学的な化学」がしたい。韓国の有名な物理学教授によると韓国には理学的・理

科的な化学科はあるが、応用化学や有機化学など工学的・専門的な化学科は少ない。だから、応用化学・工業化学は一種の Upgrade 化学と言える。そういう化学に取り組みたい。

理系科目はもちろんの事、人文・社会科学系の科目も真剣に取り組みたい。昨年は予備校に通いつめており体を動かしていないので、D 群も真剣に取り組む。

自分の体や心を鍛え、人間的に大きくなる。そのために教養をつけたり、たくさんの経験を積み、他者を思いやりたい。

まだまだ学びたいことがたくさんあるので、そういう事を大学に求める。

知的好奇心の満足。

勉強だけでなく、サークル活動等に幅広く取り組み、多くの事を学びたい。生活力をつけたい。

人生の目的を見つけたい。

科学者としての技術・力を身につけ哲学等の教養科目にも取り組んでいきたい。

自分は医療と化学の接点の部分で研究していきたいと思う。そのための基礎はもちろん、今まで触れたことのない学問に触れていきたいと思う。教授と対話して深さを身につけたい。

質の高い教育と自由な校風を求める。化学を極めたい。

専門科目や一般教養科目に関わらず、いろいろな授業を受けて知識を増やしたい。サークルに入り、様々な人間関係をつくりたい。

幅広い教養を求め、とりわけ化学の高分子の研究に取り組みたい。

勉強をされていて楽しいと思えるような分野を中心に色々な科目を学んでみたいと考える。

求めるもの：知識と、それを生かす術、それらを分かち合える人達。取り組みたいもの：この先、人口爆発・環境破壊などで今の生活水準を維持する事がきつくなると思うので、貧困層を生まず、むしろ今より減らすくらい人が豊かに暮らせる技術の開発に取り組みたい。

一人前に育ててくれる教官。

世界レベルの専門的な研究内容に積極的に触れていきたい。

自由の理念をはき違えず積極的に勉学に取り組む。

社会で通用する責任者となること。そのためには幅広い知識が必要だと思う。京都大学では文・理両方の科目を徹底的に学習したい。特に外国語に興味があるので、外国語を特に学習していきたい。

たくさんの人と会うことによって、幅広い考え方ができるようにしたい。

興味ひかれるものに出会って、納得いくまで取り組みたい。学業だけでなく、いろいろなことをやって何かひかれるものを発見して飽きるまで続けたい。

今までやってきた勉強を基礎として、自分が本当に興味を持ち生涯続けていくことの出来るような学問を見つけたい。京都大学でしか出来ないような自由な勉強をしたい。興味のあることに自分から進んで取り組んでいきたい。

理系科目はもちろん英語をマスターして、世界に通用する科学者になれるように頑張る。自分の意見をはっきりと述べる事ができるようにしたい。

より専門的で高度な知識。今までの教育過程ではできなかった実験をしてみたい。

社会に出てからも役立つような知識を得たい。人間的に成長出来るようなことを学ぶ。

専門科目を軸に様々なことに前向きに取り組む。特に実験科目に力を入れたい。

有機化学について。

広い世界を見る事。

太陽エネルギーの開発に関係することを学びたい。京都大学には、その基礎知識と最新の技術について教えて欲しい。また、他の事についても幅広く最近の研究で、どんなことをやっているか教えて欲しい。

学問やサークルやバイトを通して、人間的に大きく成長したい。

まだ明確には決まっていないが、1、2 回生のうちに自分の取り組みたい事が見つけられることを期待する。

Q. 2. 本日の全学共通教育のガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか。

A. 以下のとおり (: 男子、 : 女子)

理系分野にこだわらない。文系では世界の文化について。

幅広い教養を身につけるために文系の科目もいろいろ学んでみたい。

ここでしか学べない高度な学問を学びたい。

国際的な事。

興味のあること。

自分の好きなことに取り組みたい。

科学系だけでなく、文科系、特に経済学を学びたい。

興味のあること以外の知識。

哲学。

具体的にこれが学びたいというのではなく、教養教育を通して物事を多面的にとらえるような考え方を身につけていきたい。

A群としては歴史系を、B群としては化学を中心として物理、生物等を。

分野を問わず取り組んでいきたい。

自然科学全般についての基礎。A群科目。

幅広い文化背景を学びたい。

教養教育も広く、いろいろやりたいと思うが、やはり語学をしっかりやりたいと思う。語学を道具として上手く使いこなせるようになるまで頑張りたいと思う。

今まで、あまり関心をもたなかった文科系の授業も楽しみにしている。文理共に教養を高めたい。

心理学なども少し学んでみたいと思う。

教員免許のとれる講座や、興味のある講座をとりたい。

哲学。

国際社会でも活躍... (後半判読不可)

紳士たるにふさわしい知識と教養を学びたい。

社会はいかにして動いているのかを知りたい。

いろいろなことを広く学びたい。

まだあまりよくわかっていないので、授業を受けながら興味があるものを探したい。

人文科目。

心理学や精神分析など。

必修科目を中心に、その他に外国の歴史や興味を持った科目を学びたい。

今までに興味があったことと、それとは全く別のものを学びたいと思う。

専門的な知識を深めるための基礎学を学びたい。

A群科目をたくさん受けようと思う。

A群科目も意欲的に学んでいきたいと思った。

歴史(特に日本史)、世界を知るには日本をまず知りたい。

幅広い分野について学びたい。

興味があって自分の教養をのばせるもの。

高校では全く習わなかった「生物」関係のことを学びたい。ドイツ語を頑張りたい。

文化系の分野(思想、哲学等)

視野の広い、色々な考えを出来る人間になるための様々なこと。

高校で学んだ世界史の知識を深めたい。興味のある人文系の授業をとりたい。語学力を向上させたい。

個人的に興味のあった経済、歴史などをやってみたいと思う。特に世界大戦後を。

哲学・歴史などの文系科目。

心理学等の分野にも興味があるので機会があれば履修してみたい。

これからの人生にプラスになるような教養を身につけたい。

自由な校風を生かして、高い自律性を獲得したい。グローバル化のうねりの中で異なる文化への理解を深め、外国語を身につけたい。

自分が思うに文系科目を学ぶということは人間の内面を鍛えるということだと思っている。修士過程に進んでからは哲学や社会学にかかわることは極端に減ると思うので、今の時期に哲学などに触れたい。

化学系だけでなく物理系の講義をとりたい。

外人とのコミュニケーション。

今まであまり縁のなかったA群科目を積極的に受けていって知識を深めていきたいと思う。

自分の将来に直接関わってこないことでも、教養を身につけるために幅広く学んでいきたい。

今までに学んだことがないような新しいことを学びたい。幅広い分野について学びたい。

心理学。

心理学や法律といった本格的な科目。

理系科目だけでなく文系科目も真面目にやりたい。

一社会人として恥ずかしくない程の教養を身につけたい。

哲学系。

色々学びたい。

外国語、理系科目を中心に一生懸命学びたい。

A群の社会系にも力を入れていきたいので、特に語学は頑張りたい。出来れば英語講義の授業も参加してみたい。

幅広く学びたい。

工業化学科に入り、特に好きな化学には力を入れて頑張りたい。また、コンピュータや文系の学問などにも触れてみたい。

学部に関する分野に偏らない。いろいろな知識を修得したい。幅広い視野を持てるように、様々な事関心を持って学びたい。

世界史関係(世の常識(良識)とは)

今、興味があること。日本史、環境問題、心理学などを学んでみたい。

教師になりたいと思っているので、教員に必要な単位は必ず取り、出来れば教育論なども学びたい。また、1年浪人した時に医学部の人と同じクラス(ちなみに京大コース)で、今まで医学にはまったく興味がなかったが、1年間共に勉強して、生命や医学論などにも興味がわいたので、単位がとれるのならやってみたい。

文、理にかかわらず、高校まででは学べなかった様々な分野のことを学びたいと思う。

高校では教えられなかった内容を学習したい。

人間性が豊かになり、他人を幸せにすることのできる科目を学びたい。

高校で学んだことのない事や不十分だったところを学んでいきたい。

人文科系の学習に打ち込めるのも1回生のうちなので、できる限り頑張りたい。

人文系の内容のことに興味がわいた。

初習外国語を特にきちんと学ぶ。

特に哲学、宗教に興味があるので、それをメインに学びたい。

化学。

専門に対して役立つことを学びたい。

幅広いだけでなく役立つこと。

一、二回生でしか学べないA群の講義を積極的に受講し、少しでも教養を広げていきたい。また、外国語が二つに増えるので今まで以上にその国の文化にも目を向け言語だけに留まらない学習を心掛けたい。

興味のあること。

せっかく京都に来たので歴史。

自分の人間性、知識を豊かにできる学問、大学を卒業してからは学習が困難な学問。なるべく人文系を学んでおきたい。

化学のみでなくそれ以外のことも学びたい。

理系ではあるけれども、人文・社会系統についても多く学んでみたい。

日本と世界の地理。

世界にも通じる自分の宝となるもの。

勉強してよかったと思えるような、今後、役立つこと、ためになることを学びたいと思う。

有機化学、世界史。

哲学、法学関係。

多くの講座があり、まだ何を学ぶかは決められないが、未知の分野に手を伸ばすことで新しい世界を見てみたい。

単位について一般に理解できた。自分で目指している姿「イイ大人」を目指したいと思う。理系・文系と区別のない人になれるための手段があると確信できた。工業化学科の自分にとって、A群が貴重だと思う。自分に無理のない程度に特にA群を学んでいきたい。エキスパートであることと同時にジェネラルパーソンを目指していきたい。BだけでなくA、D、Cを積極的に学んでいきたいと思う。

変わったこと。

幅広い知識、教養を身につけたい。

人文科学系の授業を受けられるのは大学1回、2回生だけだということで、いろいろ受けてみたい気がする。

自分の興味のあること。
今まで知らなかった事。
理系だからこそ文系科目に力を入れ、いろんなことを多面的に見ていきたい。
偏りのあり過ぎない幅広い知識。
検討中。
英語のマスター
精神とか夢。
地理や化学と地球環境の関係。
一般常識に欠けているほうなので、いろいろなことを吸収したい。
異文化について。
日本の古典文学や日本史、出来れば林学も学びたい。
理系なので文系科目を積極的にやっていきたい。
まだ決められない。
今までに触れたことのない分野と接したい。
哲学。
様々な学問に触れて自分の専門ではない学問についても深く学びたい。
人文科学系の講義を積極的に取っていきたい。
視野を広げるために幅広い分野について積極的に学びたい。
違った考え方を身につけ、人生をより豊かにする。
今までは学べなかった分野を勉強したい。
文系科目を中心に、少々興味のある医学も出来ればと思っている。文系科目については特に決めていないが、興味のあることを幅広く取り組みたい。
今までやったことのないこと。高校などにはないような(ユニークな)こと。また、高校であまり学ばなかった生物学など。
哲学など。
将来、科学に関わる上で必要となる素養として語学や人文系の科目も含め多様な方面の勉強をしたい。
専門となる理系科目以外の興味を持ったものも積極的に学びたい。
自分のやっていることと、実社会の関係の捉え方。
幅広い分野に渡って学びたい。
専門分野にとらわれない学習をしたい。
外国語や人文科目などのうち、今まで、あまり勉強していなかったことを学びたい。
実際を見ないとわからない。
高校で履修しなかった「生物」、国際関係のこと。高校では深く学べなかったことについて学びたい。
B群が専門になっていきそうなので、A群、C群。特にC群の外国語に力を入れていきたい。
自然科学系は勿論のこと、それ以外のものも時間と能力の許す範囲で、出来るだけ多くのことを学びたい。具体的には全くの未定。
人生を豊かにする非現実的科目。
数学などの基礎科目や、人文系の考え方を学びたい。
興味のあること。おもしろそうなもの。
一回から専門もやりたい。
いろいろな教授の話を聞いて、いろいろな人の考え方を学んでみたい。
今までやっていない人文科学系の科目をやりたい。
興味をもった事を学ぶのが第一。
講義の名称を見ても、それがどんな内容なのかよくわからないが、とりあえず多種多様に講義を受けたい。
自分の人間性を豊かにするような知識・教養を身につけたい。
これからの人生で困難に立ち向かった時に、それを克服できるような人間として全体的に成長できるようなことを学びたいと思う。
理系だからといって、理系の科目のみに力を入れるのではなく、豊かな人間になるよう文科系の科目も学びたい。
今後の自分の考え方のもととなる教養。
多彩な価値観。

自分の視野を広げられるようなこと。

自分が興味のあること。

世界で活躍出来るようなことを学びたい。

歴史、思想。

地球規模の考え方。自分個人を深める考え方などに触れたい。

今まで触れてこなかった文学系もしくは歴史、特に世界史、西欧史を学んでみたい。

歴史はもともと好きなので学びたい。国際関係なども知っておく必要があると思う。

歴史に興味があるので学びたいと思う。また、哲学にも少し興味がある。

人文・社会科学系の科目を特に重視して幅広く学びたい。

学問だけでなく、人間関係も大切にし、人間的に成長したい。

まだ、あまりよくわからないが、興味のあることは積極的に学びたい。

人文系で興味のある歴史・哲学や自然科学系で、あまり触れることがなさそうな分野もやってみたい。

自然科学系科目にとらわれずにいろいろなことを勉強したい。特に法学など。

高校では学べない事を学びたい。

古典。

A群に大変興味がある。ぜひ幅広く学びたい。また、ポケットゼミを1回生だけでなく、もっと開講してほしい。

まだ、どのような授業を受けられるのか分からないが、将来、有効になると思う事を積極的に学びたい。

特に歴史、文化、民族、心理学、哲学、法律等。

語学。

楽しいこと、興味のあることを学びたい。

幅広く文系の教科についても学びたい。

経済学。

哲学的な分野について学びたい。また、学問領域の境目に位置するような分野に興味がある。他には脳科学にも興味があるので、ポケットゼミに是非参加したいと思う。

全部。特に人文科学とのバランスを重視し、人間性、知性、ともに立派になる。

理科系はもちろん文科系も学びたい。

化学、生物。

幅広い知識を得たい。

外国の文化のようなもの。

今まであまり興味がなかった人文、歴史など。

社会系では歴史・経済の辺りが得意ではないが、興味があるので学習したい。

正直、授業内容を見ても、ほぼ初見というようなことばかりなので、数日の間に人から聞いたり、自分で調べて決めたい。

幅広くいろいろなことに取り組んでいきたい。

京都大学に入っただけだと言われないように、ここにあるものをほとんど吸収していけるように、教授の話をよく聞いて、楽しんで学んでいきたい。

専門の知識だけを得るのではなく、幅広い知識を得たいと思うので、A群科目を頑張りたいと思う。

世界史や哲学という理系では、あまり縁がなさそうなことを学びたい。

完全に自分の専門だけという人間にならないようにする。

経営、哲学、心理学、薬学。

過去の思想家が、どのような社会を理想とした、化学と人間の関係はどのようなものであるべきかを学ぼうと思っている。

自分の知識の幅を広げられるように文系科目をより多く学びたい。

工学部の専門過程にかかりっきりになる前に、幅広い分野の学問に興味をもって、吸収してきたいと思う。

英語と数学の学力の向上。

何のスペシャリストになるにしても人間として必要不可欠な教養を身につけるため、人文・社会化学系の科目もおろそかにしないようにしたい。

哲学や社会科学など。

海外の文化を知り、多分野にわたる知識をつけたいと思う。

仏語を頑張りたい。

独力では出来ない学問をしたい。

主に社会学関係のこと。

1つの分野の専門バカになってしまわないように、様々な視点から物事を見る事が出来るようになりたい。専門分野のみでなく、自分が興味のある心理系の事を学んでみたい。

自由な選択が出来るということなので、文系の授業にも顔を出して、思想的な刺激を受けたいと思う。

豊かな教養は人間性を高めるというので、自然科学系以外にも、人文、社会系もやってみたい。

みんな興味があるが、特に地理学を学びたい。

言語系、思想系について学びたい。

宗教、思想、哲学、美術、芸術。

歴史(世界史)を学びたい。

講義をざっと見て「おもしろそう」「受講してみたい」と感じたものがかなり多くあった。この好奇心を満足させたい。

まだまだよくわからないが、理系だけに偏らず、幅広い知識と考え方を身につけたい。

将来少しでも役立つようなこと、関心がもてることを学びたい。

哲学、経済学。

化学の基礎と人文系のこと(良く知らないのでも)幅広く勉強したい。

幅広い視点でもって物事を見極める能力を身につけたい。そのためにも自分の専門とするもの以外の科目もしっかりと学習していきたい。

政治・経済などの社会科学。地理などの地域・文化学。

外国語とその背景文化。地理学。

その分野の魅力を知っている教授の話聞き、教授の教えようとする事にとどまらず、どのような雰囲気の下にその方々が立っておられるのかを見てみたい。

心理系...自分がこう言う相手はそれをどう受け取り、何を思うかといった事。イスラム史...キリスト教国アメリカに近い国に住んでいるので、ムスリムの考えがいまいち伝わってこない。理解したい。

専門教育を受けた時。理解に苦しむことがないように、基礎的な内容をみっちり勉強したい。

興味をもったことをやる。

地歴系の科目、外国語を学びたいと思った。特に3、4回生になると、このような科目を学習する機会はかなり少なくなると思うので、1、2回生のうちにしっかり学習したいと思った。

理系の分野のものだけでなく、文系科目についても深く勉強したい。

京都でしか学び得ないことや、京都ならではの教養を身につけたい。

化学、特に有機化学をどんどん深く掘り下げた勉強がしたい。他にも社会の事を広く学びたい。

物理系の勉強をしたい。

自学自習の精神。向上心、高度な知識。

理系の科目はもちろん、A群で歴史に関する事を学びたい。

群・必修などにかかわらず(ある意味で見境をつけず)学びたい。

経済学について。

将来に役立たないようなことも学びたい。歴史、心理、行動学などをやりたい。

特になし。幅広く、色々なことに触れてみたい。

心理学など。

理系ではあるが、語学についても学習することで多面的な価値観を身につけたいと思う。

10. 農学部

1) 資源生物科学科 (アンケート提出率 96.8%)

Q.1. あなたは京都大学で何を求め、どんなことに取り組みたいですか。

A. 以下のとおり (: 男子、 : 女子)

机上だけの勉強でなく実習を通じた勉強をしたい。また、理系科目の専門知識だけでなく文系科目の知識も身につけ、広い視野から考えられるようになりたい。

資源生物科学科での専門的内容を勉強するとともに、様々な分野の授業を学んで、知識や思考を深めたい。

自分の進む道を決め将来のための能力を身に付けるとともに専門外のやりたい事をやる。

高い専門性を身に付けること。

学部にとらわれず、様々なことを学べるという京都大学の自由さを十分に活用して、専門外の文系の勉強をしてみたいと思う。また、自分に負けずに英語の勉強に励み、使える英語を身につけたい。さらに今までの勉強に対する受け身の姿勢を改め、自分から積極的に学んでいきたいと思う。

しっかり勉強して、将来、生物領域において人間のために役立ちたいと思う。農学部・資源生物学科の学生なので、害虫を殺す、農産物の農産を目指す。

社会に出て一人前の大人として立派に活躍できるように、できるだけ色々なことに積極的にチャレンジしていきたい。

自分が世界のために出来ることを、最大限するために必要な知識・人格を形成する。人間が未永く幸福に生きていける環境を産み出せる人間になる。

幅広い教養を身に付け、また新しいことにも挑戦してみたい。

研究職につきたいので、それに必要となる知識を教えてください。また、勉学でなく人間関係においても多くの友人を作り交友関係をどんどん広げて行きたい。

質の高い教養の修得を求め専門に対する深い研究に取り組みたい。

積極的に何らかの活動に参加する、多くの友人をつくる等、卒業後に、この多様性の社会をよりよく生きられるように努力する。

農学部で生物の勉強をし、部活、サークル等で多彩に活動する。

自分の目標をあやふやなものから、はっきりしたもの出来るよう勉学、その他様々な活動に励みたい。

専門学。

高い質の知識を求めると共に、生活の糧となるあらゆることを体得してゆきたい。

見聞をひろめ学問においても生活においても広い視野を持ちたい。興味ある分野の中でさらに研究対象となりうる研究をクローズアップし、研究者となるための基礎を築きたい。

勉強や研究に集中できる環境と設備。自分が興味を持ったことをとことん学んでいきたい。

興味のある分野を追求する。

学科に関係する分野では専門的な深い知識を身に付け、将来環境問題などの難題解決に貢献できるよう努力したい。また、その他の分野も幅広く学び、自分の知識を偏りのない柔軟なものに育ててゆきたい。

文理問わず広く学びたい。

中高の時よりも専門的なことを勉強し、より深い知識を得ることに務めたい。

全国各地からたくさんの方が来ているので、それらの人々に触れ、親しくなり、日本各地のことを知る。学問においても積極的に取り組み、単位は落とさないようにしたい。

何を求め...自由な環境と将来のための専門技術。どんなことに...将来に役立つ事。

ただの詰め込式の勉強ではなく、自分の意志で学び、身につくような勉強をしたい。また、そうして身につけた知識や考え方が実際に役立ったり、自分の視野を広げるようなものであると、なお良いと思う。

幅広い知識を得ること、また深い専門知識とそれを将来役立たせていく上で、必要な倫理感をもつこと。

果樹について研究し、優れた形質を持った品種を作り出したい。そしてそれを世界中に広めて世界の食料問題の解決の手助けとしたい。

自分が将来やりたいことのために様々な方面の知識を得て、そこから実際にどうすれば目標を達成できるのかを考えたい。また、他にも自分の興味のある学問については積極的に参加したい。

自分がこれからどうしたらいいのか、人生を何に費やしたらいいのかを探したい。

本当に自分がやりたいことを探す。異なる環境で育った様々な人との交流。

将来的には地球環境の改善に貢献する研究者になりたいので、一生懸命に勉強したい。特に生物、化学に力を入れたい。また、図書館の文献、教授の話などで深い教養を身につけたい。

理系だけでなく文系教科も学び、幅広い教養を身につける。

将来、食糧生産関係の仕事もしくは研究ができるように専門的な知識を得たい。

自分の興味のあることに対して京都大学という環境を活かして、積極的に取り組みたい。フィールドワークによる研究等をしてみたい。

人文・哲学等文科系の学習をしっかりとし、知識の幅を広げ、物事を様々な方向から考えられるようにしたい。

最終的にはその知識を総動員し、職漁問題の解決を目指して研究したい。

幅広い知識を追求し、人間性を高めたい。

中学・高校とは違い、大学でしか出来ないことに積極的に挑戦したい。

広い知識と視野を持つために、とにかく色々な事に取り組む。

生物の専門知識を学び、その研究にたずさわられるようにしたい。

幅広く学ぶ。特に生物は極めたい。色々な人と話をして視野と人間性を広げたい。
自分が熱中できる学問分野を探し求めて、部活などもしっかりやっていきたい。
色々な知識技術を身に付け、よりビッグな人間になりたい。友達も死ぬほどいっぱい欲しい。
農学において自分の興味関心が持てる分野。その分野で活躍できるようになりたい。
限界を決めつけず、広く興味を持ち、深い専門知識を持ちつつ、バランスもとれた人になる。
特に大学に求めることはないが、学生からの積極的な働きかけに対し、丁寧に対応してほしい。新しいことに挑戦し、自分の可能性を探っていきたい。
人の役に立てるようなことを学びたい。
各分野の先端で活躍されている教授の方々から多くの教養を得たい。
農学部で植物について勉強したいと思う。教養科目では、理科系の授業だけでなく、文科系の授業も受けられるので、様々な分野について学びたい。
語学を特に頑張りたい。
興味のあることについて深く追求したい。同時に苦手だと思ふことにも積極的に取り組むことができれば良いと思う。
生命科学の研究者になるための学習と留学するために必要な能力を養いたい。学問の幅にとらわれない学習をしたい。
自分の学部だけでなく、他学部に関する授業をポケット・ゼミを利用して受けてみたい。物理系の実習や化学系の実験など。
多くの人と話したり、本を読んだりして、人間の器を大きくしたい。
研究職に就けるために必要な知識を求めている。また、人間性の改善にも取り組みたいと思う。
自分の目的とする職業に通じる授業だけでなく、様々な資格を得るために必要な授業にも積極的に出席しようと思う。
様々な専門の方の話聞いて視野を広げながら、以前から学びたいと希望していた分野を深く学び、研究していきたいと思う。
生物について今までよりも幅広く、深く勉強したい。
多様な経験を積むことで人間的により豊かになりたい。
生物について深く学びたい。
最先端の現在の学問に触れ、研究すべき課題を見つける。
様々な教養を身に付けたい。バイオテクノロジー、クローンに関することを学びたい。英語力も上げたい。
優れた学習環境と快適な学生生活の中でしっかりと学習したい。
今までしなかった事を色々したい。
専門的知識、興味あること(生態学など)、実習。
自分の興味のある分野をより深く学ぶ。
自分の興味がある事を自由に深く学んで行けるように努力したい。また、勉学以外にも様々な人や物事に触れて人間的に成長したい。
勉学のみならず、サークル活動やバイトなど様々なことにチャレンジしたい。
自由な学風を生かして、人間関係を作りまくって楽しむ。
知恵を求め、色々なことに取り組みたい。
何もかも忘れて打ち込める何かを見つけない。
専門知識を身につけると同時に、様々な人から幅広い意見を聞き、その後の人生に役立てたい。
疑うことと考えること。
大学で教育を受ける目的は自分を高めることにあると思うので、その目標が達成できるようさまざまなことを試していき、自分を向上させていきたい。
勉学と部活を両立したい。
高校では得られなかった知識や何かの専門的知識。
普通の学生生活では送れない。ドデカイことをやってみたい。
専門知識だけでなく、幅広い知識を身につけて自分の研究が社会に対してどのような意味をもつのかを考えられるようになりたい。
主に生物系科目を中心とした科目の知識とそれらを入手するための技術。取り組みたい事...園芸に関連する遺伝子の勉強。
授業をしっかり自分のものになりたい。学祭に燃えたい。クラブを楽しみたい。先生や学生から刺激を受けた

い。本を読みたい。
高度な研究を求めて、土壌学などの農学の生産環境についてのことなど。
サークル、生物学にとことん打ち込みたい。
自分が興味を持っている生物関係の勉強がしたい。京都についていろいろと知りたい。
真剣にやる、手を抜かない。といったことが出来るようになりたい。
より専門的な学問をしっかりと学び、豊かな知識を身につけたい。それらを生かし、将来に結び付けていきたい。
勉強だけではなく、部活、アルバイトなどをして充実した毎を送りたい。
自分の興味のある分野を広げて深める。今まで漠然としか知らなかった研究のことや将来つく職業に役立つ知識を得る。勉強だけでなく、サークル活動や一人での生活も充実させ、4年後に振り返った時、精一杯やったと思える4年間にする。
沙漠部を作って沙漠を緑化したい。勉強したい。畑を少しやりたい。しゃべったり考えたりするより行動する人になりたい。本を読みたい。いい友達を作りたい。伝記、歴史も学びたい。
いろいろな地方出身者と仲良くなり、その地方につれていってもらふこと。また、来て良かったと思えるような環境を求めている。
今まで出来なかったことを勉強したい。微生物の体のしくみや生態に興味があるので、それに関連する講義を受けたいと思う。また、サークル活動も楽しみたい。自分で考えて学ぶ姿勢を身につけたいと思う。
農学部では食糧問題のことを学んで、その方面の勉強に取り組んでいきたい。一般教養科目では、A群で、今まで興味を持ただけで通り過ぎてしまっていた科目を選択して学んでいきたい。部活に入って4年間頑張っていきたい。色々なことを全ての感情で接して一生懸命やっていきたい。
話し合いができる先生を見つけ、専門的なことと教養にバランスよく取り組みたい。
自分の専門の分野を含め、広く学べたら良いと思う。
将来は食糧、環境問題対策に関係のある研究者などをして。また、人文科学にも多少の興味があり、民俗学なども学んでみたい。大学には、自分の欲しい情報や知識を不足なく提供してもらいたい。
本当に自分がしたいと思ったことをできるような環境をつくりたい。
生物に興味があるので、専門的な知識が欲しい。そのための勉強はまじめにする。その他、文学、哲学も面白いと思う。弓道もやりたい。
関心のある事柄をひとつひとつきっちりと身につけていきたい。ただ、一定の事柄のみにとどまるのではなく、広い範囲の事を学び、学問に対する視野を広げたい。
人間として深味を加え、研究者として成功するための専門性を身につけたい。
野生動物の保護。

Q.2. 本日の全学共通教育のガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか。

A. 以下のとおり（ :男子、 :女子）

様々な専門分野によって、1つのことでもどんな考え方で、どんな視点から見るのかを知りたい。なかなか学ぶ機会のないことを学びたい。
広い分野の内容を学び、知識を増やしたい。外国語は特にしっかりと身につけたい。
興味のあること。
将来、役立ちそうなもの。
高校では学べなかった生物についての専門、心理学などについて学びたい。
社会科学を勉強し、自分の知識を広げて将来の専門知識の勉強をする。
英語を自由に使えるようになることと、科学や社会に関することを幅広く学びたい。
広い視野を持った人間になるためのことを学ぶ。少しでも興味のある授業は積極的に出て、色々な人の話を聞く。
理系だけでなく文系科目も多く学びたい。
教養、学識のある立派な人間になれるような講義を受けて、幅広い知識を学びたい。
学部にとらわれずに、大学特有のものや事を学びたい。
若いために、まだ社会や世界のことを部分的にしか知らない自分が多様性の社会をよりよく生きられるように視野を広げられるようなこと。
生物、中国語、歴史。

特に外国語に力を入れたい。(目指すは十か国語だから)初めでつまづかないようにしたい。
興味あること全て。
理系科目だけでなく、文系科目も学びたい。但し、理系科目は数学を除く。
行動科学、日本文化に関する事。基礎科学。
テレビやニュースなどで見たり。聞いたりして興味をもったことを学んで詳しく知りたい。
社会人として一般的な知識であることを身につける。
これまで触れる機会の少なかった政治・経済に関連する事。
専門だけでなく広く学ぶ。
様々な分野の講義を受けて幅広い知識を得たい。
やってみてやりがいのありそうなものをやる。
将来に役立つ教育。
東洋史や地理、自然科学系など、身のまわりのことをいろいろ学びたい。
専門では得られない、様々な分野を学びたい。
人間と自然が調和した生活の一つのモデルとして昔の日本や、文明と離れて生活していた世界各地の原住民の生活について学びたい。
高校のころあまりやらなかった物理学を基礎から学びたい。また将来必要になると自分が思う学問(経済学など)自分の興味のある学問(世界史など)あとは生物学をもっとよく知りたい。
理系科目、農学部系科目以外のことについても学び、深い人間になりたい。
生物関係、言語関係。
高校のときには勉強しなかったが、昔から興味があった哲学を勉強したい。また、歴史の勉強もほとんどしていなかったので、歴史(特に東洋)を勉強したい。
哲学や動植物に関する事。
外国語を学びたい。
自分の興味のある分野について学びたい。ポケットゼミも良さそう。
人文・哲学系の事を幅広く。
理系、文系問わず幅広く学びたい。
生物関係の様々な研究や実習に参加したい。余裕があれば選択した2ヶ国の外国語以外の言語にも触れてみたい。
世界で動き回るための語学力、教養。
今まで、学んだことのない第2外国語に興味がある。
あまりよくわからない。
全般にわたって幅広く学びたい。
この世の真理を見極めたい。
農学に関する生物学や化学。社会に出ても必要だと考えられる人文系科目。
色々なこと。特に自分の専門でないこと。
語学を中心とした文科系の科目も頑張りたい。
大学でしか学べないようなこと。
専門教科では学習できないことを中心に幅広い教養を身につけるため、人文学など文系の学問を学びたい。
社会で使える英語を身につけたい。幅広い知識を身につけたい。
農学部らしいことは、これから3回生や4回生になってから学べるので、人文系の科目を今のうちにたくさん学び、いろいろな分野について詳しい人になりたい。外国語を話し、書けるように努力したい。
自分の系、学部の科目だけではなく幅広い分野に興味を持ち、多様な科目を履修したいと思う。
情報科学の基礎と、それを応用することを学びたい。法律などを学びたい。民俗学などを学びたい。
京都大学は語学を学ぶ機会が豊富に与えられているので、英語だけでなく、第2外国語に積極的に取り組みたい。
哲学や経済学を学びたい。
とりあえずは生物学の基礎、物理学の基礎、哲学の基礎を学びたい。時間が一杯一杯ならその限りではないと思う。
その後の専門科目がスムーズに学べるくらいの基礎作りのための学習をしたい。
これまで学んだことのない分野も学び、専門にしたい分野に生かせるようにしたいと思う。
国際関係の政治や経済について学びたい。

幅広い分野に手を広げつつ、将来の自分の職業を見据え、その基盤としたい。
生物系を中心に、広く様々な事を学びたい。
文系・理系の区別なく、自分の興味の向いたものならできるだけのことを学びたいと思う。
歴史、文明、芸術。
様々な分野からいろいろと役に立つことを学びたい。
将来役に立つこと。
多様な知識を得られるようなこと。
自分の興味のある分野だけでなく、多岐にわたる知識を身につけ、視野を広げたい。
英語以外の外国語や今までに学んだことのない科目を幅広く身につけるいい機会なので、自分の興味や知識の幅を広げたいと思う。
広範な分野の勉強をしたい。
ポケットゼミに興味をもった(有機化学)。
思わぬところで役に立つこと。
自分の専門となる分野以外のこと。もしかしたら今まで知らなかった何かに目覚めるかもしれない。
外国語が将来大事になると思うので、語学を一生懸命学んで、語学力を上げたい。
歴史と経済と政治。
将来、専門になることだけでなく興味を持った多方面のことをやっていきたい。
外国語をしっかりと学びたい。
興味、関心がある事は専門的知識を、たとえなくても一般的知識は身につけたいと思う。
生物関係を中心に学んでいきたい。
人文科学系や社会化学系の科目も興味をもって積極的に学びたい。
幅広く、深い内容。特に先人の思想と哲学。
具体的には、生物学、語学、国際的な視野を広げる講座(特にアジア・アフリカ地域に興味がある)を受講吸収したい。自分の学部以外の所の授業も受けてみたい。
文理問わず、哲学や経営学、経済学などの文系学問から、生物学などの理系学問などいろんなことを学びたい。
さまざまな分野の学問をしたい。
理系科目だけでなく、日本史等の講義を受けて、幅広い知識を身につけたい。(社会に出た時に役立つように)全然意味がわからなかった。
将来的に必要なことはもちろん、それとは直接関係なくても自分の興味のあることを学び、知識の幅を広げたい。
理系であっても、政治や経済や国際政治についても学びたい。
政治について学びたい。江戸のよさについて。人格を身につけたい。
高校のときは理系科目ばかり勉強していたので、もっと視野を広げるためにも文系の授業に積極的に参加したい。
KUINEPの講義に興味があります。ポケットゼミにも積極的に参加したいと思う。
今まで興味をもただけで勉強するには至らなかった教養、そういうものが本当はすごく大切なものだと思うので、そういうものを学んでいきたい。
広く学び、広い視野を身につけたい。
自分が将来専門として学ぶ分野以外にも、視野を広げるために学びたい。とくに、深い内容を全くの初心者にも教えてくれるポケットゼミをぜひとも受講したい。
人文、社会科学では民族学や集団心理学でも理系なので、難しい話だと思う。自然科学では、生物学、環境学などを学びたい。フレキシブルに考えることができるようにいろんな事を学びたい。
理系分野だけでなく。
一つの事柄についても、一つの考え方だけでなく様々な人の様々な考え方、視点を見聞きたい。
自分が今までまったく疎遠だった科目。

2) 応用生命科学学科 (アンケート提出率 96.8%)

Q.1. あなたは京都大学で何を求め、どんなことに取り組みたいですか。

A. 以下のとおり (: 男子、 : 女子)

何事にも積極的に自律的に行動し、勉強面も運動面も充実した生活を送る。

自分の興味のあることだけでなく、様々な分野の勉強に取り組みたい。

将来の日本を築き上げていく人材として世の中に貢献できるように様々な知識と能力を身につけるために、勉強に励むだけでなく、クラブ活動など、勉強以外のことにも出来るだけ参加し、充実した学生生活を送りたい。

興味のある生物学、生化学について、より専門的な知識を得て、大学院、それ以降で研究に取り組みたい。友人、上回生、教官の方々から刺激を受けて、より、自主的で自立したサークル活動。

自分が興味を持っている遺伝子のことや理科系以外の人文学系のことにも勉強して、人間としての深みを持てるようになりたい。そのため、人文学系の授業にも積極的に参加していきたいと思います。

文系、理系を問わず、広い知識をつけることと、幅広く、たくさんの人と知り合いたい。DNAに興味があるため、専門的な知識、技術を身につけたい。自分から力をつけていきたい。

英語を含めた外国語の上達。サークル活動を通して友情を深めたい。資格を取りたい。幅広い知識を得る。気楽な生活。

自由を生かして勉強のみならず、他の今までにしたことのないようなことにも挑戦していきたい。

大学院に向けて必要な知識を身につけ、また、卒業後に自分の進むべき学問を見つけるため、得られるだけの知識を得たい。他はただだと過ごすことなく、サークルなど精力的に取り組みたい。

人間性を高めるために、自分の専門としていく分野だけでなく、いろいろな知識を蓄えることに努力したい。また、3、4回生なって専門分野を学んでいく際に、1、2回生の時に得た知識が自分の視野を広げてくれることを望みたい。

自分のやりたいと思っていること(バイオテクノロジー、遺伝子分野)についての幅広い知識を得たい。

バイオテクノロジーとは何かを学ぶ。スポーツをする。

自分の興味のある分野について、幅広く専門的なことを学びたい。

せっかく総合大学に入学したのだから、理系の学問だけではなく、文系の学問もたくさん学びたい。

専門知識を高めたいし、専門以外のことにも触れて教養をつけたい。それから国際社会に対応できる人になりたい。良き友人に出会いたい。

遺伝子工学に関する知識。バイオテクノロジー関連の技術。現在の最新の進化論についての情報。

勉強とクラブの両立。自分のやりたいことをしぼって深めていく。

自分の興味のある分野、学びたい分野を深く追求したい。

勉強を頑張るのはもちろんだが、サークルや部活に入って、課外活動も頑張り、色んな人と付き合い、人間関係を深めていきたい。

自分を高めるためになることなら、何でも挑戦したい。勉強とサークル活動を両立させたい。

高校では得られなかった専門的な知識を求め、最先端の研究に取り組みたい。

高校までで色々な物事を学んできたが、それでも自分の興味のある事ですら深く学んでいないと思う。だから、大学では、今までの学生生活では学べなかったような事を積極的に学んでいきたいと思う。

専門科目や教養科目を幅広く学び、サークルや人との関わり合いを通じて人間的に成長すること。

自分が勉強したいことを勉強するため、自分の学科のカリキュラムなどを調べて、興味がある科目があつて決めた。また、専門科目以外の興味がある科目は受けたい。

理系の科目だけでなく、文芸、芸術等の一般的教養を身につけることが出来る授業システム。

いろいろな分野の講義を受けて、自分の視野を広げたい。課外活動などにも、いろんな事に取り組みたい。

将来自分がどうしたいのかを探したい。今まで参加したことのない活動に参加して、視野を広げ、興味の持てるものを探したい。

勉強も、勉強以外のことも頑張りたい。

高度な設備や講師のある環境の中で、豊かな知識を身につけたい。

勉強だけでなく、友人関係にも積極的に取り組んでいきたい。

一生をかけて打ち込めるような興味あること(研究等)を見つけて、取り組みたい。また、未長くつき合える友人と出会いたい。

自由を求める。科学の最先端を研究したいが、いきなりは無理なので、それを出来るようにするための基礎的な部分を学びたい。それに加え、幅のある人間になるために、偏りなく、いろいろな学問を学びたい。いろいろな学部の友人を作って情報を交換したい。

自分の進みたい道とか、生き甲斐を見つけたい。

サークル等にも入りたいし、勉強もいろんなことをしてみたい。今までは、結構、言われることをするという感じだったので、積極的に勉強も取り組みたい。留学も出来たらしてみたい。

専門的知識を身につけ、教養を深める。

一年間の浪人生活中に非常に興味を持った哲学、思想、歴史、芸術、言語等を学びたいと強く思っている。以前は、大学での勉強は将来のための手段だと思っていたが、今は、大学の勉強はそれ自体で目的に成りうると思っている。一生目的に出来るような学問に出会いたい。農学を選んだのは、農学に興味があるということもあるが、幅広く科学を学びたいということと、現実的な問題として、確実に自分で生計をたてられるようになりたいということもあるので、これらも達成したい。

少なくともやらなければならないと思っていることは、「自分」というものを作り上げる上で、「この人がいなかったら...」という人に対して、恥ずかしくない人間になることである。これが出来なければ、大学に来た意味はゼロである。専門に対しては、自分も自然の一部であるという姿勢を忘れずに取り組みたい。

本業（農学）を学ぶ。余計（サークル含む）も学ぶ。人間的、知的に飛躍。

京都大でたくさんの知識や経験を得て、器の大きい人間になりたい。

自分が何をどこまで出来るのか知りたい。今、興味のある学問分野にとどまらず、ここでしかないものも含めて幅広い教養を身につけたい。人間関係を広げたい。

専門分野に限らず、多様な学問に触れて、物事を多角的にとらえることの出来る人物に成長したい。

専門的な知識を身につけたい。

夢と希望を持った大人になるために、多くのことに一生懸命取り組みたい。

生徒が自分で考えたこと（勉強・研究、その他にしろ）を自己の責任でもって実行していくのをアドバイスしてくれる環境を求める。大学では自分の知的好奇心を満足させていきたい。

実践的な知識とそれと実践するだけの行動力を求めて、新しい生物学の分野の開拓に取り組みたい。

自主性を伸ばす。

色々なことを経験して教養をつけたい。大学側に求めるような「受身」の立場ではなく、積極的に自分から「おもしろい」と思えるものを探していきたい。

興味深いことに、他の人に迷惑をかけたたり、命を失わない程度に積極的に挑戦してみる。高いレベルの学問に触れられると思うので、そこから自分が最もやりたい事は何かを広い視野をもって探す。

勉強するために再入学したので、勉強を中心とした生活をしようと思います。その他にサークルに入ったり、友人を作ったりしていきたい。

農学の分野だけでなく、他の学部の分野においても、いろいろなことを学び、様々なことに取組んでいきたい。

Q. 2. 本日の全学共通教育のガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか。

A. 以下のとおり（　：男子、　：女子）

自分の専門とする分野についての高度な知識を身につけたい。

自分にとって未知な範囲の学問。

世界に通用する人間になれるように、語学力を向上させること。学部にかかわらずいろいろな科目を学びたい。文系の科目にも興味があるので、積極的に受講し、幅広い分野で勉強したい。

理系、文系に偏ることなく、いろいろな分野の授業を受けて、幅広い知識を得ることが出来ることを学びたい。理系科目だけに偏らず、歴史に関することを学びたいと思う。化学に関することも学びたい。

外国語。心理学。

聞いていて面白いと思うこと。

生物と化学について学びたいと思い、入学したが、それだけでなく、哲学などについて学んでみたいと思った。自分の好きな数学、世界史などをさらに深く学び、また、外国語をしっかりと勉強し、自分のものにしたい。人間的に成長するために、今まで思いもよらなかった世界や知識を学びたいと思う。

A群：神学、哲学。B群：バイオテクノロジー。

農学の基礎を学ぶ。

普段、深く知る機会のないことなどを学びたい。

昔から政治経済がさっぱり分からず、ニュースも理解できないことが多いので、政治経済の学問を学びたい。外国語を学ぶことで、その文化や国のことも知りたい。とても楽しみ。

社会学、心理学、国際情勢、経済学などを学びたい。語学の力がかなり不足しているので、そのことを克服したい。

第二外国語をマスターする。

バイオテクノロジーの研究をしたいのだが、それを視野に入れ、哲学も学んでみたい。

理系学問だけでなく、文系学問も積極的に学んでいきたい。

専門分野で外国人とディスカッションするための英語。

いろいろな視点からの幅広い知識を学びたい。

英語以外の外国語もよく学びたい。また、自分の興味がある事を積極的に学びたい。

理系科目だけでなく、文系科目も幅広く学び、総合的に教養を身につけていきたい。

まだわからない。

高校までには学ぶことの少なかった文学者、哲学者の思想やその背景について。また、コンピュータに関する深い知識について。

高校で生物をあまり習わなかったので、生物に関係する事を積極的に学んでいきたい。第二外国語も全く習った事がないので、しっかり勉強していきたい。

専門的な知識を身につけていくための基盤。(直接的、間接的両方の意味で)

将来、専門的になる勉強に繋がる事を学びたい。

自分の学びたい学問に役立つ高度な知識。

自分の好きな科目や興味のある授業を時間が許す限り受けていきたい。

日常生活で利用しているものについて、それがどこからどうやってできるのか等。

京都大学、あるいは関西地方でしか出来ないこと。将来の仕事に役立つそうにもないこと。せっかく総合大学に入ったのだから、理系ばかり学んでいないで文系も学びたい。

専門とは関係なくても、将来のビジョンを広げてくれるものを学びたい。

いろんな授業を考え期間中に受けてみて、自分が気に入るのを見つきたい。いろんな人と交流できたらと思う。

第二外国語を学ぶことで、異文化についてより深い理解を得るようにしたい。

哲学、思想、歴史、芸術、言語を学びたい。

自分が主にやりたいこと以外のことをやるのは違う思考のチャンネルを作るために非常に役立つと思う。自分は理系系ではあるが、小学校の頃から、歴史、法律、憲法は大好きな分野であったし、高校の頃からは、極めて少ない字数で、情景、心情などを表現しようとする和歌、俳句などにも興味を抱き始めている。(自分で書くことは出来ないだろうが)少なくとも、もし、海外に出られるようなことがあれば、自分の国に対してのある程度の側面を説明することができ、海外の文化に対しても理解力のある人間になりたい。

最近の大人はすく、「常識がない」と言うが、「常識」をあえて得ようとは思わない。

文理問わず、自分が本当に興味のあることを発見し、それを追求したい。

色々なことに応用のきく知識や考え方。出来るなら全ての分野にわたって学びたい。

社会人文系では主に教育、政治、経済などについて学びたい。自然化学系では脳と神経についての専門知識を学びたい。

興味があることだけでなく、幅広く様々なことを学びたい。

人間性を広め、多様な考え方を学びたい。

理系の枠に捕われず、文系科目にも理解を深めたい。(世界史を今までほとんどやっていないので、そういうものも学びたい。)

理系の専門的な科目だけでなく、文系科目などの一般的な知識も身につけるため、幅広い分野を学びたい。

経済学。

文系、理系の科目にこだわらず、色々な分野に興味を持ち、広く学びたいと思う。

東洋史、アジアの歴史、中国語などを学んで、アジアをもっと知りたい。バイオサイエンス、微生物、生物資源など。宇宙や薬も。

興味のある範囲で出来るだけ広い分野の勉強をしていきたい。

英語、中国語などの外国語を通して、海外の事情など様々なことを学びたい。

3) 地域環境工学科 (アンケート提出率 96.8%)

Q.1. あなたは京都大学で何を求め、どんなことに取り組みたいですか。

A. 以下のとおり (: 男子、 : 女子)

興味があることを探して、それにしっかり取り組みたい。

今まで触れたことのないような専門的な知識を増やし、自分に本当に適した分野というものを探していきたい。

専門分野に偏った知識や知恵を身につけるだけでなく幅広い教養を身につけたい。

自由に学習できる雰囲気。自学自習に励みたい。

専門科目だけでなく広い教養と国際感覚を身に付けたい。

全ての面で人間として成長できる場を求めているので、勉強、サークルなどあらゆる方面で燃えたい。

専門科目だけでなく、色々な分野のことを学んで知識を広げるように頑張る。

環境に関する専門分野を学ぶことで、環境保全運動の促進に一役買って行きたい。

充実した学生生活を求め、積極的に勉強に取り組みたい。

専門分野についての高度な知識を身につけるために、受け身ではなく自ら進んで学ぶという姿勢で勉強をしていきたい。まだ、どのような分野を研究していこうかという目標は、はっきりと決まっていないので、とにかく色々な視点から学んでいきたい。

幅広い教養と専門的知識を求め、授業に取り組む。

将来専門的な自分の能力を活かすことのできる職業に就くための知識修得。科学的な物の捉え方、考え方を身につける。

人格の形成。

自分の感性を広げる知識と技術を望む。また、クラブ活動により体を動かし鍛練することを日常生活の一部として取り組む。

授業やサークルなどで充実した生活を送りたいと思っているので、無理しない程度に積極的に参加したい。

数多くの先生や友人達と出会いたい。自分が今までやったことのない分野に積極的に取り組んでいきたいです。専門科目をつきつめてやりたい。

生物学か生化学がやりたかったので、そちらの勉強をしながら再受験を狙う。

自分のやりたいことを見つけたい。バイオテクノロジー。

多くの知識を得るために、色々な本を読むなどして勉強していきたい。

精神的な自立。自分で考えて行動する。

各分野の権威の方々の授業から学問の楽しさを知り、また幅広い経験をしてみたい。

京都大学の自由な学風の中で探究心を持って勉強に励み、学問だけでなく、スポーツや趣味などにも十分に取組んでいきたい。

実際に役立てられる知識。

図書館をたくさん利用したい。

人間社会、生活を自然環境に合わせてものにし、地球環境を改善するための知識・技術を学ぶ。

興味のあることなどを中心に、様々なことに挑戦し、自分のやりたいこと、進むべき道を見つけていきたい。

大学に対しては、不自由のない大学生活が送れるように多方面からの支援、援助をお願いしたい。

自分の本当に取り組みたい事を見つけ、それに向かって全力を尽くしたいと思う。

色々な方面の知識を身につけ、勉強以外のことにも挑戦していきたいと思う。

優れた設備や講義により、知識そのものと同時に自主的に学ぶ精神を得、また勉学以外にも多くの人間関係の中に入り、それらどちらによっても自分が社会に積極的に参加出来るような人間となるのは勿論のこと、知性と倫理性を兼ね備えた、社会に貢献できる人間となれるよう取り組みたい。

せっかく夢の京都大学に入ったので、色々頑張りたいが、理系科目が好きなので極めたい。自分の好きな分野（化学の有機や数学の複素など）を勉強してもっともっと好きになれたらいいと思う。あと、実演をいっぱいして感動を味わいたい。

自由な校風の中で思いっきり様々なことに挑戦したい。大学生活の中で自分がどんな人間であるか、そしてどんな可能性を持っているかを知りそれからの自分自身の人生のしっかりとした礎を築いていきたい。

内面、外面含めた自己の飛躍。

深い専門知識の修得。

自分の好きな科目の化学や生物を深く勉強していきたい。

Q.2. 本日の全学共通教育のガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか。

A. 以下のとおり（ :男子、 :女子）

様々な視点からの物事の捉え方。

とりあえず興味のある分野を。またそこから自分で発展させていけたらすごいと思う。そうなれるように頑張ってみるつもりである。

自分の興味を中心に幅広い科目をとっていきたい。僕は農学部だが、農学は文理にまたがる学問なので文科系の科目も積極的にとりたい。

国際交流。

自分の専門科目では学べないものを学ぶ。学部外の知人を作り、広い視野を手に入れたい。

分野に関係なく、幅広く自分の興味が向くものを学びたい。

色々な分野のことを学んで、興味のあることを見つける。知識を広げる。

多岐に渡る学問に触れ、学ぶことで広い視野を手に入れた上で、専門分野を学び、より深い知識を身に付けていきたい。

今までに学んだことのない分野について教養をつけたい。

人生を豊かにしてくれるような幅広い知識を身につける。

数学、英語、物理。

自然科学系の科目を自分の将来のために履修するものとするのに対し、教養教育としては社会科学、人文科学系の科目を、現在持っている好奇心、探究心を満たすために履修しようと考えている。

新しい価値基準。

農学知識や数学的思考の理解・修得を主として専門外の事柄に関する講義についても触れておきたい。

学部に関係ありそうなことを主として、そうでないことからでも、役に立つことがあると思うので、色々学びたい。

文系、理系科目にこだわらず、幅広い分野の教養を積んで、興味や関心の領域を広げたい。

特になし。

法律、数学。

あらゆる分野について教養豊かな人になりたい。

最低限必要な教養としての知識。

農学に関するだけでなく、経済学にも興味があるので幅広いことを学んだ上で、農学の専門を学びたい。

文理問わず、自分の興味ある分野の勉強をしてみたい。

視野を広く持ち自分の専門はもちろんのこと、それ以外の学問を学んでいきたい。

様々なものの見方、考え方。

数学や色々なこと。

まず第一に自分が関心を持っている分野に対して知識を深めたい。また、その他の分野についても、ある程度の知識を得て広範囲に学んでいきたい。

自らの教養を高めるために語学に取り組み、多様な文化における思考能力を少しでも得ようと思う。

理系だけではなく、文系のことでも学びたいと思う。

社会、世界をとりまく様々な制度、歴史、現状を理解し、それらの問題に対して自主的に考え、自らの意見をしっかりと持つことが出来るようになり、孔子の言うところの「学び」と「思ひ」の両立を果たせるような、高度で正しい内容を学びたい。

色々なこと。

苦手の語学をしっかりと学びたい。また様々な立場、時代の人々の思想を学びたいと思う。

生物学、心理学、有機化学、生態学。

語学学習。

今までに習ったことのない科目をやりたい。

4) 食料・環境経済学科 (アンケート提出率 96.8%)

Q.1. あなたは京都大学で何を求め、どんなことに取り組みたいですか。

A. 以下のとおり（ :男子、 :女子）

自由を求め、サッカーに組みたい。

自分の専門だけじゃなく、色々な方面のことも学んでみたい。勉強だけではなくて、(勉強ももちろん頑張るけれど) 友達をたくさん作って楽しい学生生活を送りたい。

京都大学で英語、フランス語の2つの外国語をしっかり身につけて、世界の色々な多くの人と交流したい。世界に通じるような知識をたくさん身につけて、地球環境保護、世界平和に貢献したい。今の世界の中で、日本ができることは何かを考えつつ、日本にしかできないことに取り組みたい。

運動、勉強、遊びをバランスよく取り組みたい。

理系のみには偏ることのない幅広い知識を求め、自己を成長させるあらゆることに取り組みたい。

知識人となること。自然保護に関しての認識経験を深める。

知的興奮。科学

広い知識を身につけ、知的な人間になるために努力したい。

外国語や異文化を学んだり、留学したりする。

自分の中にある興味・関心のすべてを試してみたい。学んでみたいことや知ってみたいことを幅広く試した上で、最終的な進路を決めたい。サークル活動も積極的に関わりたい。

何かひとつ専門分野をみつけて、それについて専門知識、技能を身につけ、論文を書けるようになることを目標にする。

あまり縁のなかった学問の厳しさを体現し、その学問が現実(人間生活)とどのように関わっているかを調べ、研究したい。

今までには気付けなかった事や知ることの出来なかった事を発見し、さらに幅広い視点から様々な事について考えたい。

1つの考えに固執せず、様々な考えに触れ、柔軟な思考力を手に入れて、半世紀後の日本の繁栄、さらには世界の発展に貢献することができるような力をつけられるようにしたい。

将来的には国際的な食糧格差の問題に取り組みたいので、その基盤となる知識など。一人暮らしの大変さを身にしみさせる。

食料問題や難民、発展途上国の問題に取り組みたいので、発展途上国の現状についての情報を図書館などで集めたりしたい。また、勉強だけでなく、大学でしかできないことをたくさん経験してみたい。

高校時代は化学や宇宙開発に興味があり、理学部を志望していた。結局、学力の都合で農学部を受検したが、先日の学科ガイダンスを受けて、専門科目のやや文系的な内容にかなりの戸惑いをおぼえている。先が全く見えてこないことがたいへん不安だが、一回生の間に色々模索して、将来の道を確定していけたらと思う。自学自習の校風を活かして、資格取得にも手をのばしてみたいと考えている。

大学を出てから何をするのか、大まかなことを早く決めたい。

共に学び、悩むことの出来る友人と出会い、サークルや部活に打ち込みながら将来につながる勉強がしたい。

自分が学ぶ科目の面白さを見つけない。

自分が取り組むべき課題を発見し、解決に努めたい。具体的には「ゴミを減らす取り組み」に関わっていききたい。

自分。

子供の頃から抱いていたワクワク感を持ち続け、宇宙の神秘を追い求め、将来は小さな子供達の目標となるような物理学者になりたい。

将来に向けて幅広い視野を育て、又、多くの友人を作り、大学生活を大いにエンジョイしたい。

「学問の最先端」についての知識と、自分とは異なる感覚、人生観などを持った人との出会いを求める。そのため、授業にただ出るだけでなく、教官との交流。サークル活動などを通しての触れ合い。

京都大学で、文系・理系の双方について、深い知識を身につけ、又、国際社会で通用する様な言語能力を習得し、近代社会の生み出した弊害(南北問題、地球環境問題、倫理性を無視する経済システム)について考えていきたいと思う。

環境と開発の調和に関すること。

授業にサークルにバイトに遊びをこなし、忙しいながらも充実感が味わえ、かつ京大生だということで一目置かれる理想の京大生を目指す。

求めるもの：充実した学生生活、幅広い知識、人間関係。取り組みたいこと：サークル活動、読書。

環境問題に関心がある。ただ、高校の時、思っていたようなこととは違うアプローチの仕方が色々ありそうなので、そういったものは積極的に取り組みたい。あと、外国語は、聞いたり、話したりが苦手なので、どうにかしたい。

Q. 2. 本日の全学共通教育のガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか。

A. 以下のとおり (:男子、 :女子)

アグリビジネス。

せっかく京都に来たので、歴史や古典の深いところも学んでみたい。興味はあったけど、苦手で避けてきたので…。

わくわくするような学問。

経済、経営関連のこと。

将来、役に立つような広範な知識を学びたい。

哲学等文系教科。実習、演習(学外での)

すべて。

法律なども学びたいが、学部指定のコマ数が教養教育期間なのに多すぎて自由度が少なすぎると感じた。

幅広い分野にわたって高い教養を身につける。

自分の専門だけでなく、むしろ専門とは何の関わりもないことを色々知っておきたい。

自分の考えをはっきり表現できるようになるための基礎となる知識を身につけたい。

農学部にあまり関係がないのですが、天文学と日本史を図書館等を利用して学びたい。

理系科目のみならず文系科目についても真剣に学びたいと思う。

世界の中での日本の役割と使命が明確にできるように政治学と社会学を学びたい。

語学教育ではいろいろな文献を読めるように、基礎からしっかり学びたい。

幅広く勉強したいので、文系理系関係なく、いろんな科目を勉強したい。特に語学には力を入れたい。

情報処理やプログラミングなどに興味があります。幅広く知識を吸収していきたい。

経済や政治を学びたい。

幅広い知識を身につける。特に実用的な外国語を学び、視野を広げたい。

他国の文化。

様々な分野の科目を受講し、人生のインプットを増やしたい。ある問題について一般的な意見に耳を傾けるとともに、自分自身の意見を揺さぶられながらも確立させていきたい。

未知。

今はただただ専門分野だけをやるのではなく、広範囲にわたる知識、知恵が必要だと思うので、色々な分野の面白さを吸収して人生の糧としたい。

21世紀に入り、これからは農業が問題になってくる時代になると思います。その中でも農業用水による水質汚染の問題の解決をしたいと思っている。そのためにも、あらゆる側面から現状を見つめるため、多くのことを学びたい。

社会に役立つ行動の基盤作り。

現代の社会問題について考えていく上で、必要な知識(資本主義等の経済論、近代文明の作られてきた歴史等)を学ぶとともに、本当に人の為となる社会システムを作る上で、何が必要かを探索する学問(哲学、倫理学等)にも触れてみたい。

世の中に役立つこと。

地球環境問題についての知識が欲しくて農学部を選んだが、実際に授業が始まらないと具体的な内容が分からないので、とりあえず、「地球を救うための学問を求めるとする。

第二外国語、思想学、雑学

理系のものにとどまらず、人文系のものにも興味を持ちそうな内容があったので、時間の許す範囲で、そういうものを学びたい。

5) 森林科学科(アンケート提出率 96.8%)

Q. 1. あなたは京都大学で何を求め、どんなことに取り組みたいですか。

A. 以下のとおり (:男子、 :女子)

自分が理想像として持っている将来の夢が実現した時に、そこで生活、学習に役立つようなことを学び、時間を有効に使うことで学業だけでなく、他の様々なことにも挑戦し、将来の夢が叶うように京都大学で生活を送りたい。

人生の基盤を作る。要望として、ポケットゼミを受け放題にして欲しい。

専門的知識だけでなく、広く一般的な知識を身につけて、その知識を実際に役立てるようにしたい。学問だけ

でなく、サークルや自治会などにも積極的に参加したい。いろいろなことを自分でやってみて“味のある”人間になりたい。

幅広い知識をもとめて深く多岐にわたる環境問題についての解決について取り組みたい。環境問題のために学ぶという形ではなく様々な事を学んでいって、その結果の一部を活用するという形で取り組んでいきたい。様々な視点から物事をとらえ、自分の考えを確立できるように様々な考え方を知って吸収していきたい。サークルで自分の好きな事を究めたい。いろいろな事を学んで視野を広げて、専門について深く学びたい。専門的な知識を身につける。興味の幅を広げる。いろいろな経験をして、頭の中を豊かにする。将来役立ち、又、学んでいて興味がわく授業や環境を求め、専門だけでなく、教養もしっかり学びたい。森とか木の勉強をして十分な知識を身につけたい。

現在模索中

勉学に励む。

知識を増やしたい。自分のしたい専門だけでなく、いろいろな事を知りたい。そして一つの見方に固定されてしまうことなく、違った見方をすることで、自分のすべき道を見つけたい。今まで避けていたことにも取り組みたい。

高度で自由な学習環境。大学でしか得られない知識の修得。

様々な分野についての内容ある講義を求める。また、できるだけ多くの講義を取り、教養を少しでも多く身につけられるよう勉学したい。

考えていない。

はるか遠くに広がる学問の地平線を見渡せるような人間になる。

「農学部だから」という理由で理系の科目をやるばかりではなく、自分が少しでも興味をもてる授業に積極的に取り組みたい。勉強以外の活動、主にサークル活動などに参加して、勉強も大切にしつつ、精神力を磨き、友人をつくりたい。

求めるものは今まで興味があったけど、知らなかった知識で取り組みたい事はそれを自分の血肉にすること。できれば外国語を新しく2つやりたいと思いながら、25コマ埋めると死ぬらしいので単位と必修科目と相談する。

自分が興味を持っていることを確認、具体化して、その項目を探究する。

まだわからない。色々なものを見て... (後半判読不可)

ハイレベルな講義と社会的世界的問題の解決に取り組みたい。

今まで見えなかったものを求め、真の学問に取り組みたい。

知識と教養を身につけ、人間的にコクと深みのある人間になりたい。そのために興味をもった物には可能な範囲でチャレンジし、大学生活ならではのこと、大学生活においてしかできないことをすべてやり遂げたい。細かい目標としては、海外へ旅をすること。勉強ばかりにはならないように、でも、勉強第一で頑張りたい。目指せ!!完全燃焼!!

将来に関する様々な教養を身につけるための情報の提供を受け、それを今後に生かすための行動力を身につけ、専門的な能力を伸ばしたい。

知的探究との出会い。

熱帯雨林や砂漠などの専門知識を求め、語学も含めた幅広い分野にも取り組みたい。

仕事に役立つ知識。

人としてよりよく生きるための勉学を学びたい。

自然環境や環境問題について学び、自然保護や環境問題の解決を目指したい。

自律性を確率し、自由に学べる環境下で、サークルなどへの参加も行い、積極的に様々な事に取り組みたい。

自分の興味のある学問を見つけ、その学問をしっかりと学ぶ。

今までのような画一的な知識ではなく、自分の興味のあること(わくわくするようなこと)を学びたい。広く、かつ深い友人関係を築きたい。古都・京都のことをもっと知りたい。

高い教養を積極的に身につけたい。

自分の可能性の模索と考え方を広げる。

様々な知識を身につけ、環境破壊等の問題を考える。いろいろな人との出会いにより、社会性を身につける。人間的成長を求めサークル、バイトに取り組みたい。

全国から集まってきた優秀な人たちと交流して、世界が認める研究を行なっている京大の施設や情報を利用して、主に講義以外で自分で学問をしたい。

環境問題に対する専門知識を修得したい。

人間関係を広げる。

科目選択の自由性を最大限に生かし、専門知識を豊かにするだけでなく様々な分野にわたる理解を深めることにより、豊かな人間性を実現し、これからの国際社会で適用する人材となることを目指し、さらに積極的にサークル活動に参加することで人間関係を育成し、精神的・肉体的に充実した大学生活を送る。

専門的な深い知識。

大学でこそできるような専門的なことを学べる環境と、その姿勢を認めてくれる人たち。まだ、将来のことをはっきりとは決めていないので、いろいろなことを知って道を定めたい。

幅広い知識を持った豊かな人間になる事。自分の将来についてよりはっきりした方向性を持つ事。

知的興奮を味わいたい。高校時代は決められたことを習っていただけなので、自分から積極的に学びたい。

日本一の大学と考え入学したので、日本一の講義を求めたいと思う。森林の保全について考えたい。

色々な事を経験して幅広い人間になること。

今、自分の興味のあることについての知識、理解を深め、さらに自分で考え、講義によって得られた知識などを発展させていきたい。

地球温暖化を引き起こす原因、およびそれに伴う諸問題を学び、見当し、解決の糸口を考えたいと思う。この極めて多面的で多大な被害をもたらす長期的な問題に、どういった視点を持ち、また、どういう切り口で取り組んでいくかを、日本あるいは世界の先端である京都大学の教授の考え方を聞き、話し合うことで自らの視野を広げ、諸問題に取り組みたいと思う。

自分はまだ子供で無知ある。京都大学で自分の好きな講義を受け、サークル活動をして多くの知識または知恵（生きる方法）を身につけて、他の人に与えることの多い人間になりたいと思う。

学生時代にしかできないような体験（サークル、バイト、旅行など）をたくさんしてみたいと思う。また、高校までのような机上中心の授業はおもしろくなかったので、大学では多くの実験を通して、その感動を味わいたい。

未解決の問題、または発展途上の問題に取り組み、より良い状況に導きたい。

サークル紹介での先輩達の間性豊かさに驚いた。高校では自分の伸びる可能性を押しとどめていたようだった。様々な人との会話を通じて学び、人間性を高めたい。

京都大学だからこそできる実習とか演習（全国にある演習林やLAとの授業など）に出来るだけ積極的に参加して、自分の将来に役立つような専門的な本物の知識を修得したい。

関心のある分野を自主的に追求し、知識・技術を身につけたい。勉強だけでなく人間性の面でも、柔軟性、幅の広さを伸ばしたい。

自分の本当にしたい事を見つけて、それに取り組む。

京都大学で新しい挑戦を迎え、自由学習の雰囲気の中でよい学習習慣を養成し、留学の本当の意味と意義を求めたい。

居住・自然環境や人間と自然との関係などの知識と経験を得て、人間と自然との共生関係・方法を研究したい。受験勉強は全くおもしろくなかったので、おもしろくて、自分からもっと知りたい、と思うような事について、時間に追われることなく、じっくり取り組みたい。

Q.2. 本日の全学共通教育のガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか。

A. 以下のとおり（　：男子、　：女子）

今、持っている将来の夢が実現して、新たな生活を始めた時に、そこで役に立つような教養教育を学び、後の生活に生かせたら良いと思う。

知的興味の対象を広げるため、様々な分野の学問に接したい。

文系科目を多くとりたい。特定の分野に偏らないようにしたい。

理科系のことばかりにかたよらず、文科系のことでもたくさん知識、教養として身につけたい。

様々な分野へと応用できるような基盤となる考え方を学びたい。

化学、生物、芸術論を学びたい。

興味のある事柄について、理解を深めたい。

自分の学びたい専門分野以外のことで、知っていると役立つことや興味深いことを学びたい。

木とか森林に関係ありそうなこと。

授業等を見てからでないと判断出来ない。

あらゆる分野を学びたい。

今まで知りたくなかった、あいまいだった分野も学びたい。

将来に生かせるようなこと。

理科系科目を中心に幅広く様々なものを学びたい。

将来役に立ちそうな事。

実際にはどうかはわからないけれど、自分が生きていくうえで役に立つだろうと思えることを学びたい。また、知っていれば自分のためにも、他人のためにもなるような知識を得たいと思う。そのためには文系科目を多く取りたい。

心理学と歴史。理系でいうなら高校の時にはやらなかった物理。

専門内容にまで役立つ外国語。

語学、人権や差別などの... (後半判読不可)

21世紀の社会で役に立つような知識と教養を身につけたい。特に語学には力を入れて話せるようになりたい。幅広く奥深く社会のことから自然科学まで興味をもったものは、どん欲に学びたい。

京大の自由さを最大限に生かすため、文系の科目を多めにとりたい。心理学の勉強とかやってみたい。専門的に高度な知識よりも幅広い知識を身につけたい。

広い範囲で通用する高度な事。

己の好奇心を満たすもの、様々な人や物事を理解するのに役立つ事。ポケットゼミは1つじゃなくて2つくらい受けられるといいと思う。

語学。

スポーツ科学。物理の基礎知識。

研究段階に入ってしまうと、他の事はやれないほど専門化が進むと聞いているので、1、2年のうちに教養として、知識として、ふさわしい人文系の科目を学びたい。

専門分野以外のことを幅広く学べることを利用し、専門分野以外に興味のある宇宙や心理学などについて学びたい。

自分の学部、学科の内容とは異なる様々な事を学ぶ機会、環境がととのっているので、広範囲にわたる分野を積極的に学びたい。

外国語を学び、世界に出て通用する人間になりたい。

環境関係はもちろんのことだが、歴史などのことも学びたいと思う。

生涯にわたって使えるよう語学をしっかり学びたい。

文学や哲学という人間の考え。

社会関係、生物関係。

世界のこと。

ポケットゼミには非常に興味があるので、ぜひ履修したい。

語学をマスターしたい。

外国の風土、文化について学びたい。

自分が何に本当に興味があるか。

将来の専門にはあまり関係ないが、興味のある分野を詳しく楽しみながら学べたら良いと思う。(芸術、哲学など)

幅広い内容の事。

歴史に興味があるので、日本史、世界史の授業を受けてみたい。

様々な分野を経験することで、人間としての幅を広げたい。

興味のあるものを探するために、とりあえず今は色々な種類を勉強したい。

専門的な知識だけでなく、幅広く人間的にも成長できるようなことを学びたい。

いろいろ講義を聞いて興味の湧いたものをしっかり学びたい。

物理をやってみたい。

今まで受けたことのない科目を受けて、自分の興味のある科目を増やしたい。また、第二外国語が使われている国に行って、その知識を試す事が出来るくらいになりたい。

自分の理性を育てるのに役立つ、自分が知的好奇心を持てること。

京大に入って、自分の意見をあらゆることに関して持ち、発言することを努力したいと思う。そのためには、少人数で発言重視、自分の意見が反映されるポケットゼミをとりたいと思う。さらにあらゆることに関して意見を持つためには、今までの高校教育の範囲にはなかった大学ならではの様々な分野、特に自分がこれから進むべき道とは一見関係のない分野、文系分野にも積極的に参加し、知識分野を広げたいと思う。もちろん、自

分の好きな数学、物理分野に関しても、怠ることなく懸命に学びたい。

全学共通なので、農学部という学部にとらわれずに興味のある分野のことを学んでいきたい。他の分野のことにも興味を持てるのは良い事だと思うし、自分の視野も広がるだろうから様々な教養を身につけていきたい。専門の内容と直接関わりのない授業も、できるだけ幅広く学び知識、人間性の幅を広げたい。

自分が将来社会に出て恥ずかしくないような教養をつけたい。

第二外国語を学んで、もっと国際的な人になりたい。そして、社会人として社会や人文学を勉強したい。

一応、将来的にやりたいことはあるが、まだ他にどんな学問があるかも全くわからない。世界が狭いので、たくさんの方に触れて、幅広い視点を持ちたい。

平成15年度新入生アンケート報告書

平成16年3月発行

発行 京都大学高等教育研究開発推進機構

〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町

TEL 075-753-6513

京都大学高等教育研究開発推進機構

〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町

TEL 075-753-6513